



Ready?



TOKYO MARATHON 2019

東京が
ひとつになる日。

MEDIA GUIDE

2019年3月3日[日] 開催

兼ドーハ2019世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会
兼マラソングランドチャンピオンシップシリーズ 2018-2019～東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会～
兼アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズXII



東京都庁
Tokyo Metropolitan
Government

10km

日本橋
Nihombashi

マラソン
Marathon

東京駅前・行幸通り
Tokyo Station / Gyoko-dori Ave.

救護所 Medical Stations

A	スタート救護所	東京都庁第二本庁舎2F入口
B	5km救護所	軽子坂MNビル前
C	10km救護所	日本橋西川ビル横道上
D	10kmフィニッシュ救護所	コングレススクエア日本橋前
E	15km救護所	駒形橋西詰交差点
F	20km救護所	深川一丁目交差点
G	22km救護所	清澄庭園公園広場
H	24km救護所	安田学園
I	26km救護所	浅草橋(京葉道路起点道路)
J	28km救護所	花王本社ビル横
K	30km救護所	数寄屋橋交差点
L	32km救護所	新橋四丁目交差点東
M	34km救護所	パンダイナムコ未来研究所付近(住友不動産三田ビル)
N	36km救護所	シティハイツ桂坂内
O	38km救護所	東京都障害者福祉会館前
P	40km救護所	新橋四丁目交差点西
Q	フィニッシュ救護所	フィニッシュ地点
R	大手町プレイス救護所	大手町プレイスカンファレンスセンター内
S	丸の内救護所	東京海上日動ビルディング新館横
T	馬場先門救護所	馬場先門
U	MY PLAZAホール救護所	丸の内MY PLAZA
V	東商グランドホール救護所	丸の内二重橋ビル内
W	国際フォーラム救護所	東京国際フォーラムE1ホール内

給水所 Aid Stations

1	5km	S W	6	17km	W F	11	30km	S W
2	7km	W	7	20km	S W	12	32km	W F
3	10km	S W	8	22km	W F	13	35km	S W
4	12km	W	9	25km	S W	14	38km	W F
5	15km	S W	10	27km	W F	15	40km	S W

S スポーツドリンク Sports Drinks W 水 Water F 給食 Foods

東京マラソン2019 沿道協力企業・団体一覧

東京マラソン2019は、コース沿道の各企業・団体様にご協力いただいております。

株式会社新宿アイランド／新宿三井ビルディング／西武新宿ベベ／大東京信用組合 新宿支店／
米輪商事株式会社 市ヶ谷SS／中央大学／学校法人東京理科大学／
株式会社セントラルプラザ／ルコ・ネットワークサービス株式会社／公益財団法人特別区協議会／
住友不動産株式会社／首都高速道路株式会社／首都高速道路サービス株式会社／
株式会社／バンダイ／宮沢模型株式会社／ミドリ安全株式会社／
学校法人ケイ・インターナショナルスクール K. International Preschool／安田学園／田中商店／
千歳糖業株式会社／花王株式会社／滋養倉庫株式会社／八重洲地下街株式会社／
森トラスト・ビルマネジメント株式会社／京浜急行バス株式会社／三菱商事株式会社／
環境省自然環境局屋外苑管理事務所／国土交通省京国道事務所／
東京海上日動火災保険株式会社

(敬称略・コース順)
2019年1月12日現在

コース高低図 Elevation Profile



2/28 THU.~3/2 SAT.
東京マラソン
EXPO 2019会場
Tokyo Marathon
EXPO 2019
ランナー受付
Packet Pick-Up

第10回を迎えた2016大会より起用。このロゴの異なる色の線のひとつひとつは、東京マラソンに参加するランナーやボランティア、観衆のひとりひとりを表し、様々なストーリーが織り重なることでひとつの大きな感動を生み出す東京マラソンの大会コンセプト「東京がひとつになる日。」を表現しています。



The logo was renewed in 10th annual Tokyo Marathon in 2016. These colored lines woven together represents all the participating runners, volunteers, spectators and their individual stories to express the event theme, "The Day We Unite".

東京がひとつになる日。

The Day We Unite.

世界のトップアスリートを間近に観て感動する。また、トップアスリートとともに走る市民ランナーも、個々の目標・目的を持って、唯一無二のマラソンというドラマのストーリーを完結する。38,000人全員が主役になる一日に。

今日初めて会った仲間と一緒に、さまざまなやりがいを感じながら笑顔でランナーを支える。見ず知らずのランナーの頑張る姿をみて自然に手が伸びた。支える喜びが誇りへと変わる一日に。

家族の応援に来たのに、いつの間にか見ず知らずの人を応援していた。その懸命な姿に感動を覚える。足がふらつくランナーをいつの間にか声が枯れるまで応援する心の高揚を感じる一日に。

走る喜び

Joy of Running

While it's inspiring to see the world-leading athletes up close, recreational runners running alongside elite runners can also run the marathon in their own unique way according to their individual goals. It's the day when 38,000 people all get to play the lead role.

支える誇り

Pride of Supporting

Uniting with fellow supporters that you meet for the first time to support runners with a smile. They may be complete strangers, but you can't help but reach out to runners who are trying their best. It is the day when the joy of helping other people changes into a sense of pride.

応援する楽しみ

Delight of Cheering

You only came along to cheer on your family, but you eventually find yourself cheering on complete strangers as well. It's inspiring to see someone trying their best. It's the day when emotions run high, as you cheer on runners until you lose your voice.



Ready?



TOKYO MARATHON 2019

東京が
ひとつになる日。

デザインコンセプト

一見、マラソンのスタートシーンに見える、カラフルなビジュアル。よく見ると、さまざまな普段着が並んでいることに気が付きます。東京マラソンは一年で一日のお祭り。でも、その背景にはいろいろな職業、いろいろなライフスタイルの人の日常がある。東京マラソンに関係するひとりひとりが、大会当日だけでなく、ふだんの生活そのものと走ることを融合させている。その熱量がひとつになって東京マラソンを形作っていることを表現しています。2019年のキャッチコピーは「Ready?」です。これまで東京マラソンに関係してきた「走る人」「支える人」「応援する人」、そしてまだ関心のない人にも、「これから、何か面白いことが起きそうな気がする」という期待感を伝えていきます。マラソンらしい呼びかけで出走前のワクワク感を直感的に表現しました。

Design Concept

At first glance, the image looks like a colorful depiction of the start of the marathon. However, on a closer look, one can see that it is actually a collage of ordinary clothes. The Tokyo Marathon is a festival that happens only once a year. However, it is supported by many lives of ordinary people with different occupation and lifestyles. Each and every person involved in the Tokyo Marathon is passionate to run, not only on the day of marathon-but every day. This image depicts how passion and enthusiasm unites as one to form the Tokyo Marathon.

The marathon's slogan for 2019 is "Ready?" which expresses the feeling of "Something exciting is bound to happen!" to runners, volunteers, staff, and spectators that have been involved with the Tokyo Marathon in the past, as well as people who have yet to take an interest in the event. The slogan, which reflects the spirit of the marathon, intuitively conveys the feeling of excitement in the air before the start of the race.

概要

コースマップ Course Map	002
大会要項 Race Information	006
東京マラソン2019オフィシャルパートナー Tokyo Marathon 2019 Official Partners	010
ランナーデータ Participants Data	011
公式日程 Official Schedule	012
東京マラソンに関する数字 Facts and Figures	014
チャリティ事業 22 Charity Recipient Programs	016
ボランティア Volunteers	017
賞金 Prize Purse	018
アボット・ワールドマラソンメジャーズ Abbott World Marathon Majors	019
IAAF ゴールドラベル / アジア選手権 IAAF Gold Label / World Championships in Athletics Trial	028
マラソングランドチャンピオンシップシリーズ Marathon Grand Championship Series by JAAF	029
Project EXCEED Project EXCEED by JITA	030

大会要項

OVERVIEW

大会名称	東京マラソン2019 (英文名: Tokyo Marathon 2019) 兼ドーハ 2019世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会 兼マラソングランドチャンピオンシップシリーズ2018-2019～東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会～ 兼アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズXII		
主催	一般財団法人東京マラソン財団		
共催	公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、読売新聞社、日本テレビ放送網、フジテレビジョン、産経新聞社、東京新聞		
後援	スポーツ庁、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、東京商工会議所、公益社団法人東京都医師会、公益財団法人東京防災救急協会、東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、公益社団法人東京都看護協会、公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、東京都商店街振興組合連合会、東京都商店街連合会、公益財団法人東京都体育協会、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会、報知新聞社、ラジオ日本、サンケイスポーツ、夕刊フジ、ニッポン放送、フジサンケイビジネスアイ、扶桑社、東京中日スポーツ		
主管	公益財団法人東京陸上競技協会		
運営協力	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会		
特別協賛	東京地下鉄株式会社		
協賛	スターツ、山崎製パン株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、ビー・エム・ダブリュ株式会社、近畿日本ツーリスト、第一生命保険株式会社、セイコーホールディングス株式会社、セコム株式会社、東レ株式会社、日本マクドナルド株式会社、株式会社みずほ銀行、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、アサヒビール株式会社、アメリカン・エクスプレス・インターナショナル、Inc.、全日本空輸株式会社、株式会社フォトクリエイト、全国労働者共済生活協同組合連合会、コニカミノルタ株式会社、久光製薬株式会社、大和証券グループ、資生堂ジャパン株式会社、株式会社バンダイナムコエンターテインメント、HJホールディングス株式会社、日本光電、コーユーレンティア株式会社、株式会社シミズオクト、EMTG株式会社、株式会社ドール		
協力	国土舘大学、首都高速道路株式会社、ヒビノ株式会社、TANAKA ホールディングス株式会社、一般社団法人築地市場協会、一般社団法人新宿淀橋市場協会、一般社団法人道路清掃協会、京王プラザホテル、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会		
種目	マラソン (男子・女子、車いす男子・女子) 10km (ジュニア&ユース・視覚障害者・知的障害者・移植者・車いすの各男子・女子)		
開催日時	2019年3月3日(日)	9時05分	車いすマラソン・10km スタート
		9時10分	マラソン・10km スタート
		10時50分	10km 競技終了
		16時10分	マラソン競技終了
テレビ放映	日本テレビ系全国ネット		
コース	マラソン：東京都庁～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪～日比谷～東京駅前・行幸通り(日本陸上競技連盟・IAAF / AIMS 公認コース) 10km：東京都庁～飯田橋～神田～日本橋(記録は公認されない・順位はネットタイムによる)		
競技規則	国際陸上競技連盟(IAAF)並びに日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。 なお本大会は、IAAFが認定するゴールドラベルレースであるので、IAAF Road Race Label Regulations(IAAF ロードレースラベリング規定)も適用される。また、IAAFの規則により、ドーピング検査を実施する。 車いすマラソンに関しては、世界パラ陸上競技連盟(World Para Athletics)競技規則及び本大会規定による。なお、World Para Athleticsの規則により、ドーピング検査を実施する。		
制限時間	マラソン：7時間 10km：1時間40分	車いすマラソン：2時間10分 車いす10km：35分	※1 制限時間は、号砲を基準とする。 ※2 交通・警備、競技運営上、関門閉鎖時刻を設ける。関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させる。

定 員	38,000人(マラソン:37,500人、10km:500人)
参 加 資 格	以下の条件にあてはまる者で、主催者が出場を認めた者。
	1) マラソン 大会当日満19歳以上
	1-1) 一般 6時間40分以内に完走できる者
	1-2) 準エリート 「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2019」に定める推薦基準に達する者
	1-3) エリート ・2018年度日本陸上競技連盟登録競技者で、別途定める参加基準に達する者 ・招待選手(日本陸上競技連盟が推薦する国内・国外の者)
	1-4) 車いす一般 レース仕様車で2時間10分以内に完走できる者
	1-5) 車いすエリート ・2018年度日本パラ陸上競技連盟登録者かつ2019年IPC登録予定者で、大会当日にWorld Para Athletics国際クラス(T53・T54)を所持している者。なおかつWorld Para Athletics公認大会で、男子1時間50分以内、女子2時間以内の記録を有する者 ・招待選手(日本パラ陸上競技連盟が推薦する国内・国外の者)
	2) 10km 大会当日満16歳以上
	2-1) ジュニア&ユース 大会当日満16歳から満18歳までの1時間30分以内に完走できる者(2000年3月4日以降、2003年3月3日までに生まれた者) ※東京都が東日本大震災復興支援を目的として企画する事業に参加する者を含む。
	2-2) 視覚障害者 大会当日満16歳以上 1時間30分以内に完走できる者
	2-3) 知的障害者 大会当日満16歳以上 1時間30分以内に完走できる者
	2-4) 移植者 大会当日満16歳以上 1時間30分以内に完走できる者
	2-5) 車いす 大会当日満16歳以上 レース仕様車で35分以内に完走できる者
	※車いすのレース仕様車とは大会当日に適用される最新のWorld Para Athletics競技規則に定められた規格の車いすのことを指す。
賞 金	マラソン・車いすマラソンの競技成績により賞金を別途定める。
参 加 料	マラソン:国内10,800円、海外12,800円 10km :国内 5,600円、海外 6,700円 ※事務手数料・消費税込み。
参 加 受 付	1) 方 法 公式ウェブサイト https://www.marathon.tokyo/ から受付 2) 期 間 2018年8月1日(水)から8月31日(金)まで 3) 参加者の決定 申込者多数の場合は抽選を行う。 4) 入 金 当選者は指定期日までに参加料の入金手続きを完了のこと。 ※チャリティランナーの受付は7月2日(月)から7月31日(火)まで行う。先着順4,700人。 ※アクティブチャリティ(300人)の受付は8月31日(金)まで。 ※東京マラソン財団公式クラブ ONE TOKYO プレミアムメンバーを対象とした先行受付を7月2日(月)から7月31日(火)まで行う。定員3,000人。申込者多数の場合は抽選。 ※「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2019」の概要は公式ウェブサイトを参照のこと。 ※エリート・車いすマラソン(エリート)の参加受付は12月から行う。
ランナー受付	2019年2月28日(木)・3月1日(金)・2日(土) 東京マラソン EXPO 2019 お台場特設会場(お台場青海地区 NOP 区画)にて行う。 ※大会当日は、受付を行わない。
そ の 他	1)主催者の責によらない事由で大会が中止の場合、参加料の返金等は一切行わない。 2)本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。

Race Information

OVERVIEW

Race Name	Tokyo Marathon 2019 also serves as selection trial for: • 2019 IAAF World Championship in Doha • Marathon Grand Championship Series (MGC) 2018–2019~Japanese Olympic Trial for Tokyo Olympic 2020~ • Abbott World Marathon Majors Series XII
Organizer	Tokyo Marathon Foundation
Co-organizers	JAAF (Japan Association of Athletics Federations) ; Tokyo Metropolitan Government; The Yomiuri Shimbun; Nippon Television Network Corporation; Fuji Television Network, Inc.; Sankei Shimbun Co., Ltd.; The Tokyo Shimbun
Supporting Organizations	JAPAN SPORTS AGENCY; Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism; Japan Tourism Agency; Metropolitan Tokyo Mayors' Council; Japan Sports Association; Japanese Olympic Committee; Japanese Para-Sports Association; Japan Para Athletics; Nippon Keidanren (Japan Business Federation); KEIZAI DOYUKAI (Japan Association of Corporate Executives); The Tokyo Chamber of Commerce and Industry; Tokyo Medical Association; Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association; Tokyo Private Ambulance Call Center Registered Companies Liaison Council; TOKYO NURSING ASSOCIATION; Tokyo Convention & Visitors Bureau; Tokyo Federation of Neighborhood Associations; Tokyo Federation of Shopping Center Promotion Associations & Tokyo Federation of Shopping Centers; Tokyo Sports Association; Community Sport Leaders Tokyo; The Hochi Shimbun; Radio Nippon Co., Ltd.; Sankei Sports; Yukan Fuji; Nippon Broadcasting System, Inc.; Fuji Sankei Business I; FUSOSHA Publishing Inc.; The Tokyo Chunichi Sports
Managing Organization	Tokyo Athletics Association
Operation Supporter	Tokyo Sports Association for the Disabled; Kanto Para Athletics
Presenting Partner	Tokyo Metro Co., Ltd.
Official Partners	STARTS CORPORATION INC.; Yamazaki Baking Co., Ltd.; ASICS Japan Corp.; Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.; BMW Japan Corp.; KINTETSU INTERNATIONAL; The Dai-ichi Life Insurance Company, Limited; SEIKO HOLDINGS CORPORATION; SECOM CO., LTD.; Toray Industries, Inc.; McDonald's Company (Japan), Ltd.; Mizuho Bank, Ltd.; Seven-Eleven Japan Co., Ltd.; ASAHI BREWERIES, LTD.; American Express International, Inc.; ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD; Photocreate Co., Ltd; ZENROSAI (National Federation of Workers and Consumers Insurance Cooperatives); KONICA MINOLTA, INC.; Hisamitsu Pharmaceutical Co., Inc.; Daiwa Securities Group; Shiseido Japan Co., Ltd; BANDAI NAMCO Entertainment Inc.; HJ Holdings, Inc.; NIHON KOHDEN CORPORATION; KOYOU RENTIA Co., Ltd.; Shimizu Octo, Inc.; EMTG Co., Ltd; Dole Japan, Inc.
Official Suppliers	Kokushikan University; Metropolitan Expressway Company Limited; Hibino Corporation; TANAKA HOLDINGS Co., Ltd; TSUKIJI MARKET ASSOCIATION; YODOBASHI WHOLESALE MARKET ASSOCIATION; Tokyo Road Management Association; Keio Plaza Hotel Tokyo; The Council for Area Development and Management of Otemachi, Marunouchi, and Yurakucho;
Events	1) Marathon (Men, Women, Wheelchair Men, Wheelchair Women) 2) 10km Race (Men and Women for Junior & Youth, Visually Impaired, Intellectually Challenged, Organ Transplant Recipients and Wheelchair categories)
Date & Time	Sunday, March 3, 2019 9:05 a.m. – Wheelchair Marathon and 10km Start 9:10 a.m. – Marathon and 10 km Start 10:50 a.m. – 10km Finish 4:10 p.m. – Marathon Finish
Broadcaster	Nippon Television Network Corporation
Course	Marathon : Tokyo Metropolitan Government Building — Iidabashi — Kanda — Nihombashi — Asakusa Kaminarimon — Ryogoku — Monzen-nakacho — Ginza — Takanawa — Hibiya —Tokyo Station/ Gyoko-dori Ave. (This course is certified by the JAAF and AIMS/IAAF.) 10km Race: Tokyo Metropolitan Government Building — Iidabashi — Kanda — Nihombashi. (Results are considered unofficial. Finishing place is determined by net time.)
Competition Rules	The races will be conducted in accordance with the rules and regulations of the IAAF, JAAF and the Race Organizer. IAAF Road Race Label Regulations also applies to the Tokyo Marathon 2019, which has been certified by the IAAF as a Gold Label road race. Doping control is conducted under IAAF Anti-Doping Regulations and/or Japan Anti -Doping Regulations. World Para Athletics Rules and Regulations and the competition rules of the Tokyo Marathon applies to the wheelchair marathon. Doping control is conducted under World Para Athletics Anti-Doping Regulations and/or Japan Anti-Doping Regulations.
Time Limits	Marathon: 7 hours; Wheelchair Marathon: 2 hours and 10 minutes 10km Race: 1 hour and 40 minutes; Wheelchair 10km race: 35 minutes (i) The time limits are based on the gun time (not on the net time) . (ii) The cut-off time will be enforced at each checkpoint due to limited duration of traffic control, security operation and event operation. The runners, who fail to pass through the checkpoint before the cut-off time will be disqualified from the race. Furthermore, runners who lag excessively behind the cut-off time pace may be asked to leave the course at anytime.

Maximum Number of Entrants	38,000 Runners (Marathon: 37,500 runners; 10km Race: 500 runners)																				
Eligibility	<p>Those who fulfill the following conditions, and whose participation is approved by the organizer.</p> <p>1) Marathon: Must be at least 19 years of age on the race day.</p> <table border="1"> <tr> <td>1-1) General</td><td>– Runners who are capable of completing the race within 6 hours and 40 minutes.</td></tr> <tr> <td>1-2) Semi-Elite Athletes</td><td>– Athletes who satisfy the requirements set forth by the “RUN as ONE – Tokyo Marathon 2019”.</td></tr> <tr> <td>1-3) Elite Athletes</td><td>– Athletes, registered with the JAAF in fiscal 2018 who satisfy the special requirements set forth by the JAAF. – Invited Athletes: National and international runners nominated by the JAAF.</td></tr> <tr> <td>1-4) General Wheelchair</td><td>– Wheelchair users who are capable of completing the race within 2 hours and 10 minutes using the racing wheelchair.</td></tr> <tr> <td>1-5) Elite Wheelchair</td><td>– Athletes registered with the JPA in fiscal 2018, and to be registered with the IPC in fiscal 2019. – Athletes who are in the sport classes T53 – 54 of World Para Athletics Classification. – Athletes who have the following record in the tournament of the World Para Athletics certified races: 1 hour and 50 minutes or under (Men) 2 hours or under (Women) – Invited Athletes: National and international athletes recommended by the JPA.</td></tr> </table> <p>2) 10km Race: Must be at least 16 years of age on the race day.</p> <table border="1"> <tr> <td>2-1) Junior & Youth</td><td>Runners between 16 and 18 years of age on the race day, who are capable of finishing the race in 1.5 hours (Runners born between March 4, 2000 and March 3, 2003 are eligible). *Including those runners who are selected separately by the Tokyo Metropolitan Government under the projects related to the Great East Japan Earthquake Recovery support.</td></tr> <tr> <td>2-2) Visually Impaired</td><td>Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours.</td></tr> <tr> <td>2-3) Intellectually Challenged</td><td>Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours.</td></tr> <tr> <td>2-4) Organ Transplant Recipients</td><td>Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours.</td></tr> <tr> <td>2-5) Wheelchair</td><td>Wheelchair users aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race in 35 minutes on the racing wheelchair.</td></tr> </table> <p>* Racing wheelchair requirements are specified in the “The latest rules and regulations applicable to the event day” set by the World Para Athletics.</p>	1-1) General	– Runners who are capable of completing the race within 6 hours and 40 minutes.	1-2) Semi-Elite Athletes	– Athletes who satisfy the requirements set forth by the “RUN as ONE – Tokyo Marathon 2019”.	1-3) Elite Athletes	– Athletes, registered with the JAAF in fiscal 2018 who satisfy the special requirements set forth by the JAAF. – Invited Athletes: National and international runners nominated by the JAAF.	1-4) General Wheelchair	– Wheelchair users who are capable of completing the race within 2 hours and 10 minutes using the racing wheelchair.	1-5) Elite Wheelchair	– Athletes registered with the JPA in fiscal 2018, and to be registered with the IPC in fiscal 2019. – Athletes who are in the sport classes T53 – 54 of World Para Athletics Classification. – Athletes who have the following record in the tournament of the World Para Athletics certified races: 1 hour and 50 minutes or under (Men) 2 hours or under (Women) – Invited Athletes: National and international athletes recommended by the JPA.	2-1) Junior & Youth	Runners between 16 and 18 years of age on the race day, who are capable of finishing the race in 1.5 hours (Runners born between March 4, 2000 and March 3, 2003 are eligible). *Including those runners who are selected separately by the Tokyo Metropolitan Government under the projects related to the Great East Japan Earthquake Recovery support.	2-2) Visually Impaired	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours.	2-3) Intellectually Challenged	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours.	2-4) Organ Transplant Recipients	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours.	2-5) Wheelchair	Wheelchair users aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race in 35 minutes on the racing wheelchair.
1-1) General	– Runners who are capable of completing the race within 6 hours and 40 minutes.																				
1-2) Semi-Elite Athletes	– Athletes who satisfy the requirements set forth by the “RUN as ONE – Tokyo Marathon 2019”.																				
1-3) Elite Athletes	– Athletes, registered with the JAAF in fiscal 2018 who satisfy the special requirements set forth by the JAAF. – Invited Athletes: National and international runners nominated by the JAAF.																				
1-4) General Wheelchair	– Wheelchair users who are capable of completing the race within 2 hours and 10 minutes using the racing wheelchair.																				
1-5) Elite Wheelchair	– Athletes registered with the JPA in fiscal 2018, and to be registered with the IPC in fiscal 2019. – Athletes who are in the sport classes T53 – 54 of World Para Athletics Classification. – Athletes who have the following record in the tournament of the World Para Athletics certified races: 1 hour and 50 minutes or under (Men) 2 hours or under (Women) – Invited Athletes: National and international athletes recommended by the JPA.																				
2-1) Junior & Youth	Runners between 16 and 18 years of age on the race day, who are capable of finishing the race in 1.5 hours (Runners born between March 4, 2000 and March 3, 2003 are eligible). *Including those runners who are selected separately by the Tokyo Metropolitan Government under the projects related to the Great East Japan Earthquake Recovery support.																				
2-2) Visually Impaired	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours.																				
2-3) Intellectually Challenged	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours.																				
2-4) Organ Transplant Recipients	Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1.5 hours.																				
2-5) Wheelchair	Wheelchair users aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race in 35 minutes on the racing wheelchair.																				
Prize Purse	For both the marathon, and wheelchair marathon races, the prize purse based on the results will be awarded in accordance with separate rules.																				
Entry Fee	<p>Marathon: Japan residents- 10,800 Yen (from overseas- 12,800 Yen) 10km Race: Japan residents- 5,600 Yen (from overseas- 6,700 Yen) *Tax and handling fee included.</p>																				
Application	<p>1) Procedure: Online entry: https://www.marathon.tokyo/en/</p> <p>2) Application Period: Applications must be received between Wednesday, August 1, 2018 through Friday, August 31, 2018.</p> <p>3) Screening: If the applications exceeds the maximum number, the entrants will be randomly selected by lottery.</p> <p>4) Payment: Selected entrants must pay the entry fee by credit card before the deadline.</p> <p>* Applications to charity runners will be accepted from Monday, July 2 to Tuesday, July 31, on a first-come, first-served basis (up to 4,700 charity runners). Applications to Active charity runners (300 applicants) will be accepted until Friday, August 31.</p> <p>* Priority applications from the premium members of ONE TOKYO, the official club of Tokyo Marathon Foundation, can be submitted from Monday, July 2 to Tuesday, July 31 (3,000 runners). Entrants will be selected by the lottery if applications exceed the maximum number.</p> <p>* For the details on the RUN as ONE – Tokyo Marathon 2019, please refer to the Tokyo Marathon official website.</p> <p>* Applications of elite runners and elite wheelchair athletes will be accepted from December.</p>																				
Packet Pick-Up	<p>Date : Thursday, February 28, Friday, March 1, and Saturday, March 2, 2019 Venue: Tokyo Marathon EXPO 2019 at Odaiba-Aomi Event Area (N,O,P) *There will be no entry or packet pick-up on the race day.</p>																				
Others	<p>1) Entry fees are non-refundable in the event of the cancellation of the race if such cancellation is not attributable to the organizer.</p> <p>2) The event will be operated in compliance with all national laws and regulations.</p>																				

東京マラソン2019オフィシャルパートナー

》OVERVIEW《

Tokyo Marathon 2019 Official Partners

プレミアパートナー Premier Partner

東京地下鉄株式会社
Tokyo Metro Co., Ltd.

メジャーパートナー Major Partners

スターツ
STARTS CORPORATION INC.

山崎製パン
株式会社
Yamazaki Baking Co., Ltd.

アシックスジャパン
株式会社
ASICS Japan Corp.

大塚製薬
株式会社
Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.

メインパートナー Main Partners

ビー・エム・ダブリュー
株式会社
BMW Japan Corp.

近畿日本ツーリスト
KINTETSU
INTERNATIONAL

第一生命保険株式会社
The Dai-ichi Life
Insurance Company, Limited

セイコーホールディングス
株式会社
SEIKO HOLDINGS
CORPORATION

セコム
株式会社
SECOM CO., LTD.

東レ株式会社
Toray Industries, Inc.

日本マクドナルド株式会社
McDonald's Company (Japan), Ltd.

アクティブパートナー Active Partners

株式会社
みずほ銀行
Mizuho Bank, Ltd.

株式会社
セブン-イレブン・ジャパン
Seven-Eleven Japan Co., Ltd.

アサヒビール
株式会社
ASAHI BREWERIES, LTD.

アメリカン・エクスプレス・
インターナショナル, Inc.
American Express
International, Inc.

全日本空輸
株式会社
ALL NIPPON
AIRWAYS CO., LTD

株式会社
フォトクリエイト
Photocreate Co., Ltd

全国労働者共済
生活協同組合連合会
ZENROSAI (National Federation of Workers
and Consumers Insurance Cooperatives)

コニカミノルタ
株式会社
KONICA MINOLTA, INC.

久光製薬
株式会社
Hisamitsu
Pharmaceutical Co., Inc.

大和証券グループ
Daiwa Securities Group

資生堂ジャパン
株式会社
Shiseido Japan Co., Ltd

株式会社/バンダイナムコ
エンターテインメント
BANDAI NAMCO
Entertainment Inc.

HJホールディングス
株式会社
HJ Holdings, Inc.

サポーターパートナー Supporting Partners

日本光電
NIHON KOHDEN CORPORATION

コユーレンティア
株式会社
KOYOU RENTIA Co., Ltd.

株式会社シミズオクト
Shimizu Octo, Inc.

EMTG株式会社
EMTG Co., Ltd.

株式会社ドール
Dole Japan, Inc.

ランナーデータ

OVERVIEW

Participants Data

■ 申込人数 2018年9月1日現在 / Applicants (As of September 1, 2018)

単位: 人 / The number of person

種目 Events	マラソン Marathon			10km					
	マラソン 全体 Marathon	種目別内訳 Data of the Register		10km Race	種目別内訳 Data of the Register				
		一般 General participants	車いす Wheelchair		ジュニア &ユース Junior & Youth	車いす Wheelchair	視覚障害者 Visually Impaired	知的障害者 Intellectually Challenged	移植者 Organ Transplant Recipients
定員 Quota	37,500	37,490	10	500	290	10	50	100	50
うち抽選対象 Random drawing	27,370 ^{※1}	27,360	10	400 ^{※2}	190	10	50	100	50
申込者数詳細 Applicants	330,271	330,251	20	940	238	8	141	470	83
申込者合計 Total	331,211 人								

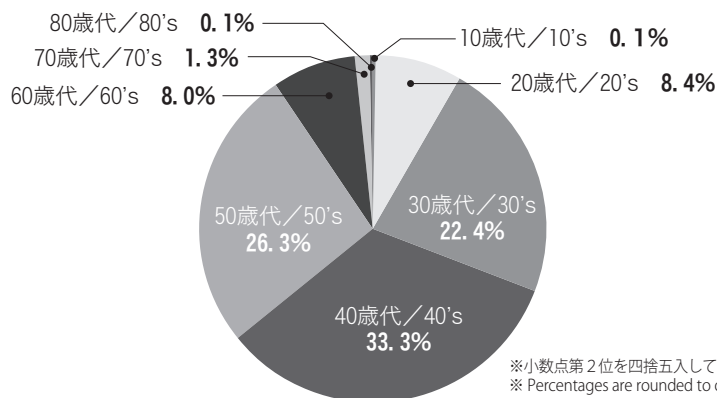
※1 抽選対象27,370人(エリート・準エリート・車いすエリート・ONE TOKYO プレミアムメンバー・チャリティランナー 除く)

27,370 runners chosen by lottery (excluding Elite, Elite Wheelchair, RUN as ONE - Tokyo Marathon Semi-Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)

※2 抽選対象400人(復興支援ジュニア & ユース 除く)

400 runners chosen by lottery (excluding the runners invited through the educational program under the Great East Japan Earthquake recovery efforts)

■ マラソン参加者・年代別集計 / Participants by Age Group—Marathon



※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※ Percentages are rounded to one decimal place.

■ 種目別最高年齢 / Oldest Participants

国内 Japan		海外 Overseas	
男子 MAN	女子 WOMAN	男子 MAN	女子 WOMAN
マラソン Marathon Age 89 (東京都 TOKYO)	マラソン Marathon Age 83 (東京都 TOKYO)	マラソン Marathon Age 83 (アメリカ UNITED STATES)	マラソン Marathon Age 79 (デンマーク DENMARK)
10km Age 74 (茨城県 IBARAKI)	10km Age 79 (東京都 TOKYO)	10km Age 52 (タイ THAILAND)	10km Age 65 (香港 HONG KONG)

公 式 日 程

》OVERVIEW《

2月1日～ 3月6日			東京マラソンウィーク2019	東京都内
2月26日	火	14:00	選手村開村	京王プラザホテル本館42F
2月28日	木	9:15 - 10:30	東京マラソンEXPO 2019 プレスツアー	お台場特設会場 (お台場青海地区NOP区画)
		10:45 - 11:00	東京マラソンEXPO 2019 オープニング	
		11:00 - 20:30	東京マラソンEXPO 2019 一般ランナー受付	
3月1日	金	10:40 - 15:00	プレスカンファレンス (主催者会見、車いすエリート・マラソンエリート出場選手会見)	京王プラザホテル南館5F エミネンスホール
		11:00 - 20:30	東京マラソンEXPO 2019 一般ランナー受付	お台場特設会場
3月2日	土	9:50 - 10:45	東京マラソンファミリーラン2019	臨海副都心シンボルプロムナード公園
		11:00 - 12:00	東京マラソンフレンドシップラン2019	臨海副都心シンボルプロムナード公園
		11:00 - 17:00	東京マラソンウィーク2019 オフィシャルイベント フィニッシュエリアを見に行こう!丸の内仲通りイベント	丸の内仲通り 丸ビル 1F マルキューブ
		11:00 - 19:30	東京マラソンEXPO 2019 一般ランナー受付	お台場特設会場
		13:00 - 16:00	2019ジャパンレースディレクターズミーティング (主催:日本陸上競技連盟)	TFTホール500 TFTビル西館2F
		13:00 - 16:00	車いすマラソン選手受付	京王プラザホテル南館3F
		13:00 - 16:00	エリート選手受付	京王プラザホテル本館3F
		16:00 - 17:00	テクニカルミーティング(マラソン)	京王プラザホテル本館
		17:00 - 18:00	テクニカルミーティング(車いす)	
		21:00	開催決定会議(前日)	AP東京丸の内
3月3日	日	4:00	開催決定会議(当日)	スタート本部/ 都庁第二本庁舎二庁ホール
		6:00 - 7:00	招待選手・エリート選手スペシャルドリンク受付	京王プラザホテル本館3F
		6:30 - 7:00	車いすマラソン選手受付	京王プラザホテル南館B1F 駐車場
		8:54	スタートセレモニー開始	都庁第一本庁舎前
		8:55	大会会長挨拶・開会宣言	
		8:58	国歌斉唱	
		9:05	車いすマラソン・車いす10km スタート	
		9:10	マラソン・10km スタート	
		10:30頃	車いすマラソン男子 フィニッシュ/簡易表彰	フィニッシュエリア表彰ステージ
		10:45頃	車いすマラソン女子 フィニッシュ/簡易表彰	
		10:50	10km競技終了	コングレスクエア日本橋前
		11:10 - 12:10	10km表彰式	コングレスクエア日本橋2F アトリウム
		11:15頃	マラソン男子 フィニッシュ/簡易表彰	フィニッシュエリア表彰ステージ
		11:35頃	マラソン女子 フィニッシュ/簡易表彰	
		12:00 - 12:30	選手会見・レースディレクター会見 車いすマラソン男女優勝 マラソン男女優勝・日本人男女トップ選手	丸ビル 7F 丸ビルホール
		13:00 - 15:30	RUN as ONE - Tokyo Marathon 2019 "Wild Card Award"	丸ビル 1F マルキューブ
			車いすマラソン男女表彰式	
			マラソン男女表彰式	
			Next Generation Athlete Award 2019	
			マラソングランドチャンピオンシップ チケット贈呈式 アボット・ワールドマラソンメジャーズ チャリティ寄付金贈呈式	
		16:10	マラソン競技終了	東京駅前・行幸通り
3月4日	月	11:00	選手村閉村	京王プラザホテル本館42F

Official Schedule

February 1- March 6			Tokyo Marathon WEEK 2019	Tokyo metropolitan area
February 26	Tue	2:00 p.m.	Opening of Athletes' Village	Keio Plaza Hotel, Main Tower, 42F
February 28	Thu	9:15 a.m. - 10:30 a.m.	Tokyo Marathon EXPO 2019 media tour	
		10:45 a.m. - 11:00 a.m.	Tokyo Marathon EXPO 2019 opening ceremony	The Odaiba-Aomi Event Area (N,O,P)
		11:00 a.m. - 8:30 p.m.	Bib Pick-up at Tokyo Marathon EXPO 2019	
March 1	Fri	10:40 a.m. - 3:00 p.m.	Press conference (Organizer's and elite athletes' press conference)	Keio Plaza Hotel, South Tower, 5F (Eminence Hall)
		11:00 a.m. - 8:30 p.m.	Bib Pick-up at Tokyo Marathon EXPO 2019	The Odaiba-Aomi Event Area (N,O,P)
March 2	Sat	9:50 a.m. - 10:45 a.m.	Tokyo Marathon Family Run 2019	Symbol Promenade Park
		11:00 a.m. - 12:00 p.m.	Tokyo Marathon Friendship Run 2019	Symbol Promenade Park
		11:00 a.m. - 5:00 p.m.	Tokyo Marathon WEEK 2019 Official Event Marunouchi Naka-dori Event "Let's go see the Finish area!"	Marunouchi Naka-dori Marunouchi Building, 1F (MARUCUBE)
		11:00 a.m. - 7:30 p.m.	Bib Pick-up at Tokyo Marathon EXPO 2019	The Odaiba-Aomi Event Area (N,O,P)
		1:00 p.m. - 4:00 p.m.	2019 Japan Race Directors Meeting (Organizer: JAAF)	TFT HALL 500
		1:00 p.m. - 4:00 p.m.	Wheelchair athlete registration	Keio Plaza Hotel, South Tower, 3F
		1:00 p.m. - 4:00 p.m.	Elite runner registration	Keio Plaza Hotel, Main Tower, 3F
		4:00 p.m. - 5:00 p.m.	Technical meeting (Marathon)	
		5:00 p.m. - 6:00 p.m.	Technical meeting (Wheelchair)	Keio Plaza Hotel, Main Tower
		9:00 p.m.	Go/no-go decision making regarding a race start	AP TOKYO Marunouchi
March 3	Sun	4:00 a.m.	Final go/no-go decision making regarding a race start	Start headquarter/ Metropolitan Gov. Building No.2
		6:00 a.m. - 7:00 a.m.	Registration for invited and elite runners' special drink	Keio Plaza Hotel, Main Tower, 3F
		6:30 a.m. - 7:00 a.m.	Wheelchair athlete registration	Keio Plaza Hotel, South Tower, B1F, Parking
		8:54 a.m.	Start ceremony	
		8:55 a.m.	Greeting from the Chairperson	
		8:58 a.m.	National anthem	Front of Metropolitan Gov. Building No.1
		9:05 a.m.	Wheelchair Marathon and 10km start	
		9:10 a.m.	Marathon and 10km start	
		10:30 a.m.	Wheelchair Men - Winner's award ceremony	Award stage at Finish line
		10:45 a.m.	Wheelchair Women - Winner's award ceremony	
		10:50 a.m.	10km finish	Front of the CongressSquare Nihonbashi
		11:10 a.m. - 12:10 p.m.	10km awards ceremony	CongressSquare Nihonbashi, 2F, Atrium
		11:15 a.m.	Marathon Men - Winner's award ceremony	
		11:35 a.m.	Marathon Women - Winner's award ceremony	Award stage at Finish line
		12:00 p.m. - 12:30 p.m.	Post-race press conference with top finishers and Race Director Wheelchair and marathon winners, 1st Japanese Marathon finishers	Marunouchi Building, 7F (MARUBIRU HALL)
		1:00 p.m. - 3:30 p.m.	RUN as ONE - Tokyo Marathon 2019 "Wild Card Award"	Marunouchi Building, 1F (MARUCUBE)
			Wheelchair top finishers award ceremony	
			Marathon top finishers award ceremony	
			Next Generation Athlete Award 2019	
			Marathon Grand Championship ticket presentation	
			AbbottWMM Charity check presentation	
		4:10 p.m.	Marathon finish	Tokyo Station/ Gyoko-dori Ave.
March 4	Mon	11:00 a.m.	Closing of Athletes' Village	Keio Plaza Hotel, Main Tower, 42F

東京マラソンに関する数字

OVERVIEW

★ご提供元 オフィシャルパートナー ☆ご提供元 協力

給水等	給水所	18カ所 [コース約2.5kmごと計15カ所他スタート、10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ※給食は5カ所 [17km以降約5kmごと]
	スポーツドリンク	約337,300杯分 ポカリスエット ※1杯120ml ★大塚製薬
	水	約410,100杯分 クリスタルガイザー※1杯120ml ★大塚製薬 ※緊急時対応として11カ所 [15km以降各給水所]のバックアップ水源
	紙コップ	約1,063,900個 (水、スポーツドリンク用)
	バナナ	約36,000本 [スタート、17km、32km、38km、10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ★ドール
	ランチパック	約39,450個 [スタート、10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ★山崎製パン
	一口クリームパン	約16,000個 [22km]
	ぶどう糖	約28,500粒 [27km、32km]
	梅干	約25,000個 [27km、38km]
	チョコレート	約17,920粒 [32km、38km]
	栄養食品	約81,920本 [ポカリスエットゼリー&アミノバリュー顆粒-スタート、カロリーメイトゼリー-22km、 ボディメンテ ゼリー-10kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ★大塚製薬
	みかん	約30,000個 [スタート、22km、27km、38km、10kmフィニッシュ] ☆豊洲市場協会/淀橋市場協会
	塩飴	約12,300個 [17km、32km]
	ようかん	約12,000個 [22km]
設備・物品	仮設トイレ	74カ所 1,144基 [スタート628基、コース上447基、マラソンフィニッシュ69基]
	特設スタンド	588席 [スタート360席、マラソンフィニッシュ228席]
救護	救護所	25カ所 [スタート～コース上16カ所《20kmまで5kmごと、以降約2kmごと》、フィニッシュエリア 《医務室含む》9カ所]
	AED	150台 [スタート～コース救護所25台、フィニッシュエリア21台、モバイル隊24台、BLS隊40台、 BLSサポート隊34台、選手村他6台] ★日本光電
	BLS 隊	40隊 80人 [救護所、コース上約1km間隔に40隊配置]
	BLS サポート隊	34隊 68人 [救護所、BLS隊の間約500m付近を2人以上でサポート]
	モバイル隊	24隊 48人 [コース上を自転車で行くAED対応のメディカルスタッフ]
	ドクター等	医師70人、看護師109人、トレーナー155人、その他(東陸、ボランティア)約425人、ランドクター50人
	救護車両	35台 [スタート、各救護所1-2台、《サポートキャブ含む》]
車両	手荷物トラック	38台 [マラソン36台(10トン29台、4トン6台、エリート用4トン1台)、10km1台(4トン1台) 《予備車両1台含む》] ※1台あたり約400～1,100個積載
	収容バス/ワゴン	83台 収容バス51台、収容ワゴン14台、車いす収容ワゴン18台
沿道対策	交通規制	銀座 5時間05分、芝高輪 6時間20分、丸の内仲通り 6時間50分(長時間のエリア) 交通規制チラシ約28万枚、交通規制チラシDM約24万戸、 ポスター約4万枚《電車・バス中刷り含む》、ラジオ告知約700回
ボランティア	予定数	12,923人 (延べ人数)
EXPO	出展ブース数	107ブース 110社(団体)
マラソン祭り	会場数	25会場 (沿道会場24、祭りメイン会場1)
	出演者	約3,500人 (総出演団体数 約130団体)
競技	ペースメーカー	12人 【エリート対象】大会で定めたレースペースで選手を引っ張る役目の走者: 男子レースペースメーカー6人、女子レースペースメーカー6人
	ペースセッター	33人 【一般ランナー対象】ランナーのレース記録を目安に走る走者: 3時間<5人>、3時間30分<6人>、4時間<7人>、4時間30分<5人>、5時間<5人>、5時間30分<5人>
	完走サポートランナー	5人 【一般ランナー対象】参加ランナーを完走させるペースでサポートする走者
警備/誘導	警備員/誘導員数	約6,000人
	金属探知機台数	54台 [スタート50台、フィニッシュ4台]
その他	スタッフウェア	約16,000着(ボランティア及び大会関係者) ★アシックス/東レ

2019年1月31日現在

Supported by ★ Official Partners ☆ Official Suppliers

Fluid & Foods	Aid Stations	18 stations (every 2.5km, Start, 10km Finish, Marathon Finish); there are 5 food aid stations (every 5km after 17km)
	Sports drinks	Approx. 337,300cups (POCARI SWEAT) ※1 cup = 120 ml ★Otsuka
	Water	Approx. 410,100 cups (Crystal Geyser) ※1 cup = 120 ml ★Otsuka ※11 spots of backup water sources
	Paper cups	Approx. 1,063,900 cups
	Bananas	Approx. 36,000 ★Dole
	Lunch Pack	Approx. 39,450 ★Yamazaki Baking
	Creampan (Bread)	Approx. 16,000 - 22km
	Glucose sugar drops	Approx. 28,500 (27km, 32km)
	Umeboshi (Pickled plum)	Approx. 25,000 (27km, 38km)
	Chocolate	Approx. 17,920 (32km, 38km)
	Nutrition Foods	Approx. 81,920 (POCARI SWEAT Jelly & AMINO VALUE GLANULE-Start, Calorie Mate JELLY-22km,BODYMENTÉ Jelly - 10km Finish, Marathon Finish) ★Otsuka
	Mikan (Mandarin orange)	Approx. 30,000 - Start, 22km, 27km, 38km, 10km Finish, ☆TOYOSU MARKET/YODOBASHI WHOLESALE MARKET
	Salt candies	Approx. 12,300 (17km, 32km)
Facilities	Sweet bean jelly	Approx. 12,000 (22km)
	Portable toilets	1,144 at 74 locations (628 – Start, 447 – Course, 69 – Marathon Finish)
Medical	Temporary stands	588 seats (360 seats – Start, 228 seats – Marathon Finish)
	Medical Stations	25 Stations (16 stations at the start and throughout the course; 1 per every 5km until 20km and 1 per every 2km from 20km till finish. 9 at the Finish area, including the Medical Office)
	AEDs	150 *AED = Automated External Defibrillator ★NIHON KOHDEN For detail →P126
	BLS teams	40 two-person teams (At medical stations and along the course every 1km) *BLS = Basic Life Support
	BLS support teams	68 staffs (34 teams of at least 2 staffs support for BLS teams deployed in between medical stations and BLS teams)
	AED bike teams	48 staffs (24 teams of medical staffs on bikes, equipped with AED)
	Medical staffs	70 doctors, 109 nurses, 155 trainers, 50 run doctors and approx. 425 other staffs (including Medical Station's volunteers)
	Emergency vehicles	35 (1-2 at Start and each medical station)
Vehicles	Baggage trucks	38 trucks <<including 1 backup trucks>> *36 trucks (10t x 29, 4t x 6, 4t for elite x1) for Marathon, 1 trucks (4t x 1) for 10km (400-1,100 baggages per truck)
	Buses & Wagons	51 buses , 14 wagons for runner pickup, 18 wagons for wheelchair
Traffic Control	Road closure	Primary closures: Ginza 5h 05min, Shiba Takanawa 6h 20min, Marunouchi Naka Do-ri 6h 50min Approx. 280,000 flyers, 240,000 flyers for direct mail Approx. 40,000 posters (including ads on train/bus), 700 radio announces
Volunteers		12,923 (For detail)
EXPO	Exhibitor booths	107 booths, 110 exhibitors
MARATHON FESTA	Venues	25 venues
	Performers	Approx. 3,500 (130 groups)
Race	Pacemakers [Elite]	12 *The runners who run with the designated lap time for elite runners. 6 for Men's race; 6 for Women's race
	Pace-setters [General]	33 *The runners who set the running pace for the following finish time :3hrs(5), 3hrs 30mins(6), 4hrs(7), 4hrs 30mins(5), 5hrs(5), 5hrs 30mins(5)
	FINISH Support Runners	5 *The runners who support the participants to finish the race in time.
Security & Guard	Security guards	Approx. 6,000
	Metal detectors	54 (Start area: 50 ; Finish area: 4)
Others	Staff wears	Approx. 19,500 for volunteers and staffs ★ASICS/Toray

As of Jan 31, 2019

チャリティ寄付先22事業

OVERVIEW

22 Charity Recipient Programs

TOKYO MARATHON 2019 CHARITY



東京マラソン2019を通じて一定額以上寄付をいただいた方の中でご希望者には、チャリティ活動をPRしていただくためにチャリティランナーとして参加していただきます（マラソンのみ先着5,000人まで）。寄付先事業は全22事業（20団体）があり、寄付者がその中から選びます。

Among individuals donating a fixed amount or more through the Tokyo Marathon Charity, and those wishing to participate in the 2019 marathon can do so as Charity Runner (5,000 marathon entry on first-come, first-served basis). The participant can choose whichever program they wish to donate from the total of 22 charity recipient programs (20 non-profit organizations).

※金額は 2019年1月31日 17:00 現在 / As of 5:00 p.m. on Jan. 31, 2019

SPORTS III LEGACY			
TOKYO MARATHON FOUNDATION			
事業①	56,300,000	事業②	14,017,000
事業③	29,418,000		
 公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・ チャリティーズ・ジャパン Ronald McDonald House Charities Japan 94,219,000	 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本 Special Olympics Nippon Foundation 36,039,000	 特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会 Japan for UNHCR (United Nations High Commissioner for Refugees) 39,906,000	 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 Japanese Para-Sports Association 30,756,000
 公益財団法人 そらぶちキッズキャンプ Solaputi Kids' Camp 35,193,148	 認定特定非営利活動法人 ファミリーハウス Family House 31,721,042	 認定特定非営利活動法人 育て上げネット Sodateage Net 19,374,000	 公益財団法人 東京防災救急協会 Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association 13,151,000
 認定特定非営利活動法人 Teach For Japan Teach For Japan 14,016,000	 認定特定非営利活動法人 カタリバ Katariba 24,714,000	 公益財団法人 東京都農林水産振興財団 Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries 21,979,000	 公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン Plan International Japan 14,948,000
 公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団 Tokyo Sport Benefits Corporation 9,320,000	 認定特定非営利活動法人 フローレンス Florence 16,313,000	 認定特定非営利活動法人 かものはしプロジェクト Kamonohashi Project 11,811,046	 認定特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 Doctors Without Borders Japan 18,336,000
 認定特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会 Association for the Arts, Toy and Playing Activities / TOKYO TOY MUSEUM 7,518,000	 認定特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン Peace winds JAPAN 23,476,000	 認定特定非営利活動法人 ACE Action against Child Exploitation 17,321,000	TOTAL 579,846,236

▼ 詳しくはこちら ▼

www.marathon.tokyo/charity/

東京マラソンチャリティ お問い合わせ事務局

VOLUNTEER

TOKYO MARATHON 2019

あなたの笑顔がTOKYOと世界のキズナになる。
Your smile unites the world

東京マラソンのボランティアには、これまでの12大会でのべ13万人の方が参加し、ランナーを励まし、大会を活気づけることで、東京マラソンの大きな礎を築いてきました。ランナーが安全に、そして持てる力を出し切れるようにあらゆる場面でサポートしています。

Nearly 130,000 people have joined and taken part as volunteers in the twelve events held to date. They consistently provide a solid foundation for the Tokyo Marathon, cheering on runners and helping to liven up the entire event. They provide essential support across the board, enabling runners to finish the race safely and meet their full potential.

ボランティア体制 Operational Structure

ボランティア活動が円滑に行われるために、ボランティアを「メンバー」、「リーダー」、「リーダーサポート」という役割で活動し、組織化を図っています。

In order to carry out volunteer activities more smoothly, volunteers are organized into 3 groups; members, leaders and deputy volunteer leaders.

メンバー 多言語対応メンバー

約11,000人

Approx. 11,000 Members/
Foreign Language Members

現場で「ランナーを支える」役割を担います
These volunteers are responsible for providing support to runners on-site.

リーダー

約700人

Approx. 700 Leaders

メンバーを支え「とりまとめる」役割を担います
These volunteers take responsibility for supporting and managing Members.

リーダーサポート

約90人

Approx. 90 Deputy Leaders

リーダーのサポートと大会スタッフと現場を「つなぐ」役割を担います
These volunteers provide on-site support to Leaders and coordinate with marathon staff.



参加者データ (大会当日のみ) / Applicants Data

2018年12月27日現在 / As of December 27, 2018

年代	人数	割合	在住地域	人数	割合	職業	人数	割合	性別	人数	割合
10代	306	3.0%	関東	9,757	95.6%	会社員・公務員	5,678	55.6%	男性	4,378	42.9%
20代	693	6.8%	中部	201	2.0%	主婦	1,393	13.7%	女性	5,826	57.1%
30代	979	9.6%	近畿	100	1.0%	アルバイト・パート	995	9.8%	合計	10,204	100%
40代	2,511	24.6%	東北	81	0.8%	無職	688	6.7%			
50代	3,542	34.7%	北海道	25	0.2%	自営業	569	5.6%			
60代	1,674	16.4%	四国	13	0.1%	学生	467	4.6%	参加人数	人数	割合
70代	459	4.5%	中国	15	0.1%	その他	414	4.1%	初めて	633	33.7%
80代	40	0.4%	九州・沖縄	12	0.1%	合計	10,204	100%	経験あり	1,248	66.3%
合計	10,204	100%	合計	10,204	100%				合計	1,881	100%

東京マラソン過去大会実績データ Statistics from Past Races

開催年 Year	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
ボランティア 配置人数 Number of Volunteers	全体 Total 10,049 (+都立高校生 2,621)	8,297 (+都立高校生 3,618)	9,946 (+都立高校生 3,100)	9,208	10,450	10,726	10,888	11,003	11,611	11,469	13,369	13,232
	男性 Men	—	3,953	4,903	4,849	5,560	5,129	5,682	5,899	5,338	6,357	5,787
	女性 Women	—	4,344	5,043	4,359	4,890	5,597	5,206	5,104	6,273	5,112	7,582

賞金

OVERVIEW

Prize Purse

1 マラソン

Marathon

(1) 賞金 Prize Purse (単位/Unit: 円/JPY)

順位	Place	賞金 Prize Purse	
		男子 Men	女子 Women
1位	1st	11,000,000	11,000,000
2位	2nd	4,000,000	4,000,000
3位	3rd	2,000,000	2,000,000
4位	4th	1,000,000	1,000,000
5位	5th	750,000	750,000
6位	6th	500,000	500,000
7位	7th	400,000	400,000
8位	8th	300,000	300,000
9位	9th	200,000	200,000
10位	10th	100,000	100,000
計	Total	20,250,000	20,250,000

世界記録 (WR)

男子 Men
エリウド・キプキョゲ(ケニア) KIPCHOGE, Eliud (KEN) 2:01:39 (2018年ベルリン・Berlin)

女子 Women

ポーラ・ラドクリフ(イギリス) RADCLIFFE, Paula (GBR) 2:15:25 (2003年ロンドン・London)

日本記録 (NR)

男子 Men
大迫 傑 OSAKO, Suguru 2:05:50 (2018年シカゴ・Chicago)

女子 Women

野口 みずき NOGUCHI, Mizuki 2:19:12 (2005年ベルリン・Berlin)

大会記録 (CR)

男子 Men
ウィルソン・キプサング(ケニア) KIPSANG, Wilson (KEN) 2:03:58 (2017大会)

女子 Women

サラ・チェプチルチル(ケニア) CHEPCHIRCHIR, Sarah (KEN) 2:19:47 (2017大会)

(2) 記録ボーナス Record Bonuses (単位: 円 / Unit: JPY)

項目 Term	記録ボーナス Record Bonuses		備考 Remarks	
	男子 Men	女子 Women		
世界記録 World Record (WR)	30,000,000	30,000,000	男女1位のみ	1st place only
日本記録 Japanese National Record (NR)	5,000,000	5,000,000	男女国内1位のみ	1st-place Japanese only
大会記録 Course Record (CR)	3,000,000	3,000,000	男女1位のみ	1st place only
計 Total	38,000,000	38,000,000		

2 車いすマラソン

Wheelchair Marathon

(1) 賞金 Prize Purse (単位/Unit: 円/JPY)

順位	Place	賞金 Prize Purse	
		男子 Men	女子 Women
1位	1st	1,000,000	1,000,000
2位	2nd	500,000	500,000
3位	3rd	300,000	300,000
4位	4th	100,000	100,000
5位	5th	80,000	80,000
6位	6th	60,000	60,000
7位	7th	40,000	40,000
8位	8th	20,000	20,000
計	Total	2,100,000	2,100,000

世界記録 (WR)

男子 Men
ハインツ・フライ(スイス) FREI, Heinz (SUI) 1:20:14 (1999年大分国際・Oita)

女子 Women

マニエラ・シャー(スイス) SCHAR, Manuela (SUI) 1:36:53 (2018年ベルリン・Berlin)

日本記録 (NR)

男子 Men
洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota 1:20:52 (2013年ソウル国際・Seoul)

女子 Women

土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako 1:38:07 (2013年大分国際・Oita)

大会記録 (CR)

男子 Men
クート・フェンリー(オーストラリア) FEARNLEY, Kurt (AUS) 1:26:00 (2016年)

女子 Women

土田 和歌子(日本) TSUCHIDA, Wakako (JPN) 1:41:04 (2016年)

(2) 記録ボーナス Record Bonuses (単位: 円 / Unit: JPY)

項目 Term	記録ボーナス Record Bonuses		備考 Remarks	
	男子 Men	女子 Women		
世界記録 World Record (WR)	1,000,000	1,000,000	男女1位のみ	1st place only
日本記録 Japanese National Record (NR)	500,000	500,000	男女国内1位のみ	1st-place Japanese only
大会記録 Course Record (CR)	200,000	200,000	男女1位のみ	1st place only
計 Total	1,700,000	1,700,000		

3 総額

Grand Total

(単位: 円 / Unit: JPY)

項目 Term	賞金 Prize Purse
賞金合計 Total Prize Purse	44,700,000
ボーナス合計 Total Time Bonuses	79,400,000
総額 Grand Total	124,100,000

※金額はいずれも税込みです。

※賞金は協賛企業各社からのご協力により実施いたします。

Tax included on all prize purse.

All prize purses come from the official partner's cooperation.

Project EXCEED®の施策である日本記録「突破」褒賞制度が適用されます。

詳細は projectexceed.com ➡ P30

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

OVERVIEW

Abbott World Marathon Majors

東京マラソンは、 世界6大マラソンのひとつです。

The Tokyo Marathon is One of the World's Greatest Six Marathons

■アボット・ワールドマラソンメジャーズについて

世界中のランナーにとってアボット・ワールドマラソンメジャーズ (AbbottWMM) で競うことは、非常に名誉あることです。世界最大規模の主要6大会-東京・ボストン・ロンドン・ベルリン・シカゴ・ニューヨークシティで構成されるAbbottWMMはランナーに恩恵をもたらす独自の取り組みを行っています。

- 他では出来ない経験-各大会の素晴らしい運営は、ランナーに最高のレース体験を保証します。
- シリーズ覇者決定-エリート選手は毎年、AbbottWMMシリーズ大会において、優勝賞金をかけて競います。
- マラソン競技の発展-AbbottWMMは競技としてのマラソンの発展に向け、アンチ・ドーピング規定の推進をはじめとした様々な活動に積極的に取り組んでいます。

■歴史

ボストン、ロンドン、ベルリン、シカゴ、ニューヨークシティマラソンの各主催者が、エリートランナー及び一般ランナーが参加するマラソン大会におけるグローバルなリーダーシップを提供するという使命のもと、2006年にAbbottWMMを創設し、東京マラソンは2013年に加入しました。ランニング業界を主導する組織が一致団結し、マラソン競技の発展とエリート選手の意識向上を目指すと同時に、ランニングファンの間におけるエリートレースへの関心を高めるべく活動しています。

2014年10月、世界的ヘルスケア関連企業のアボットとワールドマラソンメジャーズ (WMM) は、新たなパートナーシップを結んだことを発表しました。アボットは東京マラソン2015から、シリーズの初タイトルスポンサーとなりました。Tim Hadzimaが2014年12月にAbbottWMMのゼネラルマネージャーに就任しました。

シリーズの新形式-東京マラソン2015から、それまでの2年周期シリーズに代わり、1年周期における対象レースでのポイントを競う新シリーズとなることが、2015年2月に発表されました。さらに2015年4月には、2016年ボストンマラソンからシリーズを拡大し、車いすレースも加えてスタートさせることを発表しました。

AbbottWMMは昨年、Dalian Wanda Group (大連万达集団 (ワンダグループ))と10年間のパートナーシップを締結し、アジア (日本除く) やアフリカを含む新たな地域の大会を追加することによるシリーズ拡大を目指していることを発表しました。シリーズへの追加大会選定に向け、AbbottWMMが定める厳い評価基準を満たす候補レースを選定しています。

また、AbbottWMMは、2017年4月23日 (日) 開催のVirgin Money ロンドンマラソンで幕を開けたシリーズXIIにおいて、賞金体系を拡張し新たなチャリティプログラムを導入しました。この賞金体系の再構築により、マラソン、車いすマラソン双方のシリーズに関し男女上位3選手が称えられます。以前は優勝者のみに賞金が授与されていました。

シリーズXIIでは、レースを完走した何万人ものランナーを代表し地域コミュニティに永続的な足跡を残すべく、26.2マイルの旅を全うしたランナー1人ひとりに対し、アボット・ワールドマラソンメジャーズが1ドルを寄付することとし、その総額を、寄付先として選ばれた2つのチャリティ団体で等分します。

2017年11月、AbbottWMMおよびそのパートナーであるアボット社とワンダグループが、グローバルな年代別マラソンランキングシステムと年代別世界選手権の設立を発表しました。男女ともに40-80+の年代を対象としたワールドランキングはシリーズXIIの開始とともにスタートし、各年代グループの上位選手は、2020年のVirgin Money ロンドンマラソンにて開催される第一回AbbottWMM Wand Age Group World Championshipsへの出場資格を得ます。9つの年代別グループに該当するランナーたちは、50を超える世界中の予選大会のうち2大会分のタイムに基づきポイントを獲得します。



XII
SERIES

■About the Abbott World Marathon Majors

For runners across the globe, competing in an Abbott World Marathon Majors (AbbottWMM) race is a significant accomplishment. Six of the largest and most renowned road races in the world the Tokyo, Boston, Virgin Money London, BMW BERLIN, Bank of America Chicago and TCS New York City Marathons make up AbbottWMM. The organization delivers several unique benefits to runners:

- Unparalleled experiences - operational excellence at each race ensures a premium race - day journey for runners
- Championship Series - professional runners competing in AbbottWMM qualifying events compete for a prize purse every year
- Advancement of marathoning - AbbottWMM organizers aggressively champion anti-doping protocols and other efforts to move the sport forward

■History

Organizers of the Boston, London, Berlin, Chicago and New York city marathons joined together in 2006 to create AbbottWMM with a mission of providing global leadership in elite and mass participation marathons. The Tokyo Marathon entered the collective in 2013. These industry leading organizations are now united in their effort to advance the sport, raise awareness of marathons' elite athletes, and increase the level of interest in elite racing among running enthusiasts.

In October 2014, Abbott, a global healthcare company, and the World Marathon Majors announced a new partnership. Abbott became the race series' first-ever title sponsor, effective at the Tokyo Marathon 2015. Tim Hadzima was appointed as the general manager of the Abbott World Marathon Majors in December of 2014.

A new series format-a one-year cycle of qualifying races-was announced in February 2015, beginning at the Tokyo Marathon 2015, replacing the previous two-year series format. In April of 2015, it was also announced that the series would expand to include wheelchair athletes, starting at the 2016 Boston Marathon.

Recently, AbbottWMM announced an agreement with Dalian Wanda Group Co., Ltd to develop a ten-year strategic partnership aimed at expanding the Series with events added in new regions such as Asia (outside Japan) and Africa. The organization is now in an ongoing process identifying candidate races that will be required to meet AbbottWMM's stringent criteria before selection for the Series.

In addition, AbbottWMM expanded its prize structure and introduced a new charity program for its Series XI, which began at the Virgin Money London Marathon on Sunday, April 23, 2017. The prize money is now restructured to recognize and reward the top three men's and women's finishers in both the open and wheelchair Series. Previously, only the individual champions received prize money.

In Series XII, to leave a lasting footprint in each local community on behalf of the thousands of runners who cross the finish line, Abbott World Marathon Majors will donate \$1 for every runner who completes their 26.2-mile journey, with the total amount raised being split between the two chosen charities.

In November 2017, the AbbottWMM and partners Abbott and Wanda Group announced the creation of a global age group marathon ranking system and age group world championships. World rankings for men and women aged 40 to 80+ was launched at the start of Series XII and the top-ranked athletes in each age group will qualify for the first AbbottWMM Wanda Age Group World Championships which will take place at the Virgin Money London Marathon in 2020. Runners in nine age groups will earn points according to their times from two of more than 50 qualifying marathons around the world.

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

OVERVIEW

Abbott World Marathon Majors

■シリーズ形式

AbbottWMMチャンピオンは、1年のシリーズ期間中に開催されるポイント対象大会を通して決定され、シリーズには、かつてないほどの厳しいアンチ・ドーピング規定も導入されています。AbbottWMMシリーズは1年周期で開催され、以下の大会が対象レースとなります：東京マラソン、ボストンマラソン、ロンドンマラソン、ベルリンマラソン、シカゴマラソン、ニューヨークシティマラソン、オリンピック/パラリンピックマラソン、IAAF/World Para Athletics世界選手権マラソン。

ポイントシステム：1年間のスコアリング期間中、対象レースで最も多くポイントを獲得した男女選手がAbbottWMMシリーズチャンピオンとなります。スコアリング期間中、最大2つの対象大会でのポイントが加算されます。シリーズタイトルを獲得するには、少なくとも2つの対象大会に出場する必要があります。3つ以上の大会でポイントを得た場合は、より良い成績を残した2大会分のみポイントが加算されます。車いすマラソンの場合には、最大4大会分/5大会分（5大会以上出場の場合、より成績の良い4大会。パラリンピックまたは世界選手権が含まれるシリーズでは、より成績の良い5大会分）のポイントが加算されます。

各大会において、下記ポイントが与えられます。

1位 / 1st place	2位 / 2nd place	3位 / 3rd place	4位 / 4th place	5位 / 5th place
25 points	16 points	9 points	4 points	1 point

車いすボーナスポイント：シリーズXIIから導入された新たなスプリント勝負を通し、車いす選手たちは、ボーナスポイント8点を獲得するチャンスを得ました。アボット・ワールドマラソンメジャーズの6大会は、それぞれ独自にボーナスポイント勝負のロケーションを設定し、一定区間でのタイムトライアル勝負にするか、ある一地点での勝負にするか決定できます。一地点での勝負の場合は、最初にその地点を通過した選手に8ポイントが与えられ、区間設定の場合には、区間通過時点での順位によらず、区間ラップタイムが最も速い選手が8ポイントを獲得します。選手はシリーズXII中、最大3大会においてボーナスポイントを獲得できます。

賞金総額：マラソン、車いすマラソン双方のシリーズにおいて、男女上位3選手に賞金が授与され、その賞金総額は82万ドルです。

ドーピング違反：AbbottWMM 規定のもと、IAAF（国際陸上競技連盟）、世界アンチ・ドーピング機構（WADA）、各国の陸上連盟および各AbbottWMM大会により定められたアンチ・ドーピング規定に違反した選手には、AbbottWMMシリーズタイトルを獲得する資格が無いものと見なします。選手はAbbottWMM行動規範を遵守するものとします。

シリーズ：各シリーズは1年周期で開催され、シリーズの開始と終了は同じAbbottWMM大会となります。

■Series Format

The champions of the Abbott World Marathon Majors are determined through a one-year cycle of Qualifying Races featuring unprecedented anti-doping protocols. The Abbott World Marathon Majors Series cycles through one year of competition and consists of the following Qualifying Races: Tokyo Marathon, Boston Marathon, Virgin Money London Marathon, BMW BERLIN MARATHON, Bank of America Chicago Marathon, TCS New York City Marathon, Olympic/ Paralympic Marathon and IAAF/World Para Athletics Championships Marathon.

Point System: The champions of the AbbottWMM Series are the male and female athletes who score the greatest number of points from Qualifying Races during the one-year scoring period. During each scoring period, points from a maximum of two Qualifying Races will be scored. An athlete must start in two Qualifying Races over the Series cycle to be eligible for the championship. If an athlete earns points in more than two events, the athlete's highest two finishes will be scored.

The Wheelchair Series will follow the same rules, with the only difference being the number of races that count for the title. In Series without World Championships or Paralympic Games it will be the best four of seven races to score. In years with either of those events, it will be the best five of eight races to score.

Points are allocated following each race as follows:

Wheelchair Bonus Points: New for Series XII, wheelchair athletes will be able to take home a potential eight bonus points in the new sprint competition. Each of the six Abbott World Marathon Majors will determine the location of the bonus points competition, with the option of providing a point-to-point time trial challenge or a single point marker on the course. In a single point competition, the eight points will be awarded to the athlete who crosses the mark first. In a point-to-point competition, the points will be awarded to the fastest to complete that section, regardless of their place in the pack at that time. The maximum amount of times an athlete can win the additional points over a series will be three times.

Prize Purse: The top three men's and women's finishers in both the open and wheelchair series are awarded prize money, with a total prize purse of \$820,000.

Doping Violations: Under AbbottWMM rules, no athlete who has been found guilty of any anti-doping rules enforced by the IAAF, World Anti-Doping Association (WADA), National Federations, or any of the individual AbbottWMM races is eligible to win the AbbottWMM championship title. Athletes must comply with the AbbottWMM Code of Conduct.

Series: Each series starts and ends at the same Qualifying race over a one-year period.

PAST SERIES CHAMPIONS

過去シリーズチャンピオン

Series	Men	Women
Series I (2006-07)	Robert K. Cheruiyot, Kenya	Gete Wami, Ethiopia
Series II (2007-08)	Martin Lel, Kenya	Irina Mikitenko, Germany
Series III (2008-09)	Samuel Wanjiru, Kenya	Irina Mikitenko, Germany
Series IV (2009-10)	Samuel Wanjiru, Kenya	Irina Mikitenko, Germany
Series V (2010-11)	Emmanuel Mutai, Kenya	Edna Kiplagat, Kenya
Series VI (2011-12)	Geoffrey Mutai, Kenya	Mary Keitany, Kenya
Series VII (2012-13)	Tsegaye Kebede, Ethiopia	Priscah Jeptoo, Kenya
Series VIII (2013-14)	Wilson Kipsang, Kenya	Edna Kiplagat, Kenya
Series IX (2015-16)	Eliud Kipchoge, Kenya	Mary Keitany, Kenya
Series X (2016-17)	Eliud Kipchoge, Kenya	Edna Kiplagat, Kenya
Wheelchair Series X (2016-17)	Marcel Hug, Switzerland	Tatyana McFadden, USA
Series XI (2017-18)	Eliud Kipchoge, Kenya	Edna Kiplagat, Kenya
Wheelchair Series XI (2017-18)	Marcel Hug, Switzerland	Manuela Schar, Switzerland

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

» OVERVIEW »

Abbott World Marathon Majors



Abbott World Marathon Majors Races - Series XII

アボット・ワールドマラソンメジャーズ大会 - シリーズ XII

Race	Date
BMW-BERLIN MARATHON	Sunday, September 16, 2018
Bank of America Chicago Marathon	Sunday, October 7, 2018
TCS New York City Marathon	Sunday, November 4, 2018
Tokyo Marathon	Sunday, March 3, 2019
Boston Marathon	Monday, April 15, 2019
Virgin Money London Marathon	Sunday, April 28, 2019
BMW-BERLIN MARATHON	Sunday, September 29, 2019

Abbott World Marathon Majors Series XII Leaderboards (as of January 2019)

AbbottWMM シリーズ XII リーダーボード (2019年1月時点)

Men's Runners—Top 10

1 . Eliud Kipchoge (KEN)	25 pts.
1 . Lelisa Desisa (ETH)	25 pts.
1 . Mo Farah (GBR)	25 pts.
4 . Amos Kipruto (KEN)	16 pts.
4 . Mosinet Geremew (ETH)	16 pts.
4 . Tola Shura Kitata (ETH)	16 pts.
7 . Geoffrey Kamworor (KEN)	9 pts.
7 . Suguru Osako (JPN)	9 pts.
7 . Wilson Kipsang (KEN)	9 pts.
10 . Kenneth Kipkemboi (KEN)	4 pts.

Women's Runners—Top 10

1 . Brigid Kosgei (KEN)	25 pts.
1 . Gladys Cherono (KEN)	25 pts.
1 . Mary Keitany (KEN)	25 pts.
4 . Roza Dereje (ETH)	16 pts.
4 . Ruti Aga (ETH)	16 pts.
4 . Vivian Cheruiyot (KEN)	16 pts.
7 . Shalane Flanagan (USA)	9 pts.
7 . Shure Demise (ETH)	9 pts.
7 . Tirunesh Dibaba (ETH)	9 pts.
10 . Edna Kiplagat (KEN)	4 pts.

Men's Wheelchair Racers—Top 10

1 . Daniel Romanchuk (USA)	67 pts.
2 . Marcel Hug (SUI)	48 pts.
3 . Brent Lakatos (CAN)	33 pts.
4 . David Weir (GBR)	18 pts.
5 . Johnboy Smith (GBR)	9 pts.
6 . Jordi Madera Jimenez (ESP)	5 pts.
7 . Aaron Pike (USA)	4 pts.
7 . Hiroki Nishida (JPN)	4 pts.
9 . Kurt Fearnley (AUS)	1 pts.

Women's Wheelchair Racers—Top 10

1 . Manuela Schar (SUI)	83 pts.
2 . Susannah Scaroni (USA)	25 pts.
3 . Madison de Rozario (AUS)	24 pts.
3 . Tatyana McFadden (USA)	24 pts.
5 . Sandra Graf (SUI)	13 pts.
6 . Lihong Zou (CHN)	9 pts.
7 . Aline Dos Santos Rocha (BRA)	4 pts.
7 . Elize Ault-Connell (AUS)	4 pts.
9 . Margriet Van Den Broek (NED)	2 pts.
10 . Katrina Gerhard (USA)	1 pts.

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

OVERVIEW

Abbott World Marathon Majors

東京マラソン Tokyo Marathon



東京マラソンについて

東京マラソン財団主催の東京マラソンは、第一回大会を2007年2月18日に開催し、申込者は95,044人、参加者は30,870人となりました。優勝者は男子がケニアのダニエル・ジェンガ(2:09:45)と女子が日本の新谷仁美(2:31:01)。今では30万人を超える申込者と参加者3万6000人近くを集める大会にまで成長しました。

「東京がひとつになる日。」というコンセプトのもと、東京マラソンはランナー、ボランティア、観客をひとつにします。2011年からは独自のチャリティプログラム「Run with Heart」を導入し、2019大会では、寄付者は22事業から支援先を選択することができます。

10回記念大会からはロゴを一新。ランナー、ボランティア、応援する人を象徴するデザインで「東京がひとつになる日。」を表現。また、2017大会から東京駅前・行幸通りでフィニッシュする新コースに変更となり、男女ともに国内最高記録が更新され、2018大会では設楽悠太が16年ぶりに日本記録を更新(2:06:16)しました。2020年東京オリンピックの開催が近づく中、国内外からより注目と人気を集めています。

ABOUT THE TOKYO MARATHON

Organized by the Tokyo Marathon Foundation, the inaugural Tokyo Marathon was held on February 18, 2007, and drew 95,044 applicants and 30,870 participants. Kenya's Daniel Njenga (2:09:45) and Japan's Hitomi Niiya (2:31:01) were the first champions. Since then, the Tokyo Marathon has grown to draw over 300,000 applicants and nearly 36,000 participants.

Through its theme, "The Day We Unite," the Tokyo Marathon brings together runners, volunteers, and spectators. In 2011, the Tokyo Marathon implemented its own charity program, "Run with Heart," through which participants and supporters can contribute to charitable activities of their choice among 22 activities.

From its 10th anniversary event, Tokyo Marathon 2016, the official race logo has been renewed to present the portrayed images of the runners, volunteers and cheering crowds along the course, which symbolizes the race theme "The Day We Unite." In addition, Tokyo Marathon 2017 featured a new course that finishes in front of the Tokyo station area, and both the men's and women's all-comers records were set in the race. And in 2018, Yuta Shitara improved the national record for the first time in 16 years. As the 2020 Tokyo Olympic Games approaches, the Tokyo Marathon is also gaining more attention and popularity from home and abroad.

初回開催年 / Inaugural Running

2007

最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

35,501 – 2011

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2013	34,819	27,819	7,000
2014	34,126	27,203	6,923
2015	34,049	26,827	7,222
2016	34,697	27,121	7,576
2017	33,974	26,278	7,696
2018	34,542	26,637	7,905

観衆人数 / Estimated Number of Spectators

1,300,000

賞金総額

44,700,000 円

(男子・女子優勝はそれぞれ11,000,000円、男子車いす・女子車いす優勝は1,000,000円)、記録ボーナス有

Prize Purse

JPY 44,700,000 *Approx \$411,000

(JPY 11,000,000 (\$101,000) apiece for male and female champions, JPY 1,000,000 (\$9,200) apiece for male and female wheelchair champions) + record bonuses

公式チャリティ

東京マラソン2019チャリティ "Run with Heart"

(東京マラソンによるスポーツレガシー事業他、21の寄付先事業)

Official Charities

Tokyo Marathon 2019 Charity "Run with Heart"

(Sports Legacy Program by Tokyo Marathon Foundation, and 21 other recipient programs)

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:03:58	Wilson Kipsang, KEN, 2017
Women's Runners:	2:19:47	Sarah Chepchirchir, KEN, 2017
Men's Wheelchair Athletes:	1:26:00	Kurt Fearnley, AUS, 2016
Women's Wheelchair Athletes:	1:41:04	Wakako Tsuchida, JPN, 2016

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

OVERVIEW

Abbott World Marathon Majors

ボストンマラソン Boston Marathon



ボストンマラソンについて

1896年アテネで初開催されたオリンピックに触発され、翌1897年、Boston Athletic Association (B.A.A., ボストン体育協会) のメンバーによってマラソン大会が創設されました。ボストンマラソンは創設以来毎年開催され、(1918年度は第一次世界大戦の影響で個人レースよりも軍隊のリレーを主体に開催されましたが) 今日では世界で最も歴史のあるマラソン大会です。時を経てスタートとフィニッシュの位置に多少の変更はありましたが、コースの大部分は当初のまま維持されています。

1924年から、ホプキントンをスタートとして、アシュランド、フレーミングハム、ナティック、そしてウェルズリーへと下るコースとなりました。ニュートンに差し掛かると、有名な“心臓破りの丘”へと徐々に上りコースとなります。ランナーは丘の頂上に到達して初めてそこから4マイル離れたボストンの街を目にすることができます。ブルックラインを走り抜けると、コースはフィニッシュとなる歴史あるボイルストンストリートに入ります。そのコースと長い歴史に加え、ランナーの、性別・年代別参加基準タイムが設けられていることも、ボストンマラソンの特徴となっています。

ABOUT THE BOSTON MARATHON

Inspired by their experience at the 1896 Olympic Games, several members of the Boston Athletic Association founded their own marathon in 1897. The race has been run every year since (though the 1918 edition featured a military relay rather than an individual race due to World War I) and is now the world's oldest annual marathon. Both the start and finish lines have moved slightly over the years, but much of the course remains exactly as it was originally designed.

Since 1924, the race has begun in the town of Hopkinton, and from there the point-to-point course descends through Ashland, Framingham, Natick and Wellesley. Upon entering Newton, the course gradually rises to the famous Heartbreak Hill. As runners reach the top, they can see downtown Boston for the first time, four miles in the distance. After running through Brookline, the course enters Boston where it finishes on historic Boylston Street. Runners must qualify for entry by meeting time standards corresponding to gender and age, which is another aspect—besides its course and longevity—unique to the Boston Marathon.

初回開催年 / Inaugural Running

1897

最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

35,868 – 1996

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2013	17,600*	10,649	6,951
2014	31,925	17,582	14,343
2015	26,597	14,580	12,017
2016	26,629	14,463	12,166
2017	26,581	14,570	12,011
2018	25,831	14,203	11,628

2013年の大会では、フィニッシュラインで発生した事象によりコース上のランナー 5,633 人が止められました。これらのランナーは完走者数に含まれてはいないものの、ランナー本人へ予想フィニッシュタイムが提示されています。

*In 2013, 5,633 runners were stopped on the course due to the events that occurred at the finish line. These runners were given projected finish times, though are not counted among this finishers total.

観衆人数 / Estimated Number of Spectators

500,000

賞金総額

\$868,000ドル

(男子・女子マラソン優勝はそれぞれ150,000ドル

男子・女子車いすマラソン優勝はそれぞれ25,000ドル

Prize Purse

\$868,000

(\$150,000 apiece for the male and female champions, \$25,000 apiece for the male and female wheelchair champions)

公式チャリティ

36団体

Official Charities

36

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:03:02	Geoffrey Mutai, KEN, 2011
Women's Runners:	2:19:59	Buzunesh Deba, ETH, 2014
Men's Wheelchair Racers:	1:18:04	Marcel Hug, SUI, 2017
Women's Wheelchair Racers:	1:28:17	Manuela Schar, SUI, 2017

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

OVERVIEW

Abbott World Marathon Majors

ロンドンマラソン Virgin Money London Marathon



Virgin Moneyロンドンマラソンについて

1979年に John Disley と今は亡き Chris Brasher はニューヨークシティマラソンを走ったことをきっかけに、「ニューヨークのような大会をロンドンでできないだろうか?」と考えました。

「ロンドンにもコースはある……。しかし、世界中のランナーを受け入れるためのホスピタリティはあるだろうか?」。翌年 Brasher は、1970 年代後半のランニングブームが到来したばかりのアメリカを訪れ、ボストンマラソンを目の当たりにし、再びニューヨークシティマラソンにも訪れました。そこで大会の組織運営や資金調達などを学び、帰国後すぐに、Brasher と Disley は Gillette (ジレット) と 75,000 ポンド (約 1,000 万円) で 3 年間のスポンサー契約を締結し、チャリティの仕組みも創設、そして大会における 6 つの指針を定めました。

第 1 回大会は 1981 年 3 月 29 日に開催され、20,000 人以上の申込みがあり、7,747 人が参加しました。完走者 6,255 人の先頭に立って優勝したのは、男子が、手をつなぎながら同着フィニッシュしたアメリカの Dick Beardsley とノルウェーの Inge Simonsen、女子はイギリス記録も更新した Joyce Smith でした。翌 1982 年の大会は世界中から 90,000 人以上の申込みがあり、18,059 人が参加しました。

以降もロンドンマラソンはさらなる発展を続け、2016 大会では 40,000 人以上が完走し、エリート選手は賞金総額 313,000 ドル (約 3,300 万円) をめぐって競い合う大会にまで成長しました。

エリートレースでは男子・女子共にロンドンで世界記録が樹立されています。2003 年にイギリスの女子選手ポーラ・ラドクリフが記録した 2:15:25 という世界記録は現在も破られていません。レースは 196 ヶ国以上で視聴され、イギリスでは BBC 放送で 400~500 万人が視聴しています。

ABOUT THE VIRGIN MONEY LONDON MARATHON

In 1979, after running the New York City Marathon with John Disley, Chris Brasher questioned whether London could stage such a festival: "We have the course ... but do we have the heart and hospitality to welcome the world?" Later that year, Brasher travelled to America, where the running boom of the late 1970s had started. He witnessed the Boston Marathon and revisited the New York City race. He studied both races' organizations and finances. On his return, Brasher and Disley secured a three-year contract with Gillette for £75,000, established the organization's charitable status, and set down six main aims for the event. The first London Marathon was held on March 29, 1981. More than 20,000 people wanted to run; 7,747 were accepted. There were 6,255 finishers, led home by American Dick Beardsley and Norwegian Inge Simonsen who crossed the finish line hand in hand. Joyce Smith broke the British record to win the women's race. The 1982 race received more than 90,000 applicants from around the world. The entry was limited to 18,059.

Since then, the London Marathon has grown to more than 40,000 starters and finishers, and elite runners compete for \$313,000 in prize money. Both the men's and women's pro runner world records have been set in the race, including the current women's mark of 2:15:25, set by Paula Radcliffe of Great Britain in 2003. The race is viewed in more than 196 countries worldwide and watched by between four and five million viewers in the UK via the BBC.

初回開催年 / Inaugural Running

1981

最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

40,272 – 2018

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2013	34,280	22,031	12,249
2014	35,800	22,608	13,272
2015	37,671	23,281	14,390
2016	39,140	24,020	15,120
2017	39,487	23,978	15,509
2018	40,272	23,771	16,501

観衆人数 / Estimated Number of Spectators

759, 000

賞金総額

313,000 ドル (男子・女子優勝はそれぞれ 55,000 ドル)、タイムボーナス・記録ボーナス有

公式チャリティ

2018 年の公式チャリティ・オブ・ザ・イヤーは Teenage Cancer Trust (ティーンエイジ・キャンサー・トラスト: TCT) でした。TCT は癌で苦しむ 10 代の若者たちが若者らしく過ごせるよう支援します。

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:03:05 Eliud Kipchoge, KEN, 2016
Women's Runners:	2:17:01 Mary Keitany KEN, 2017 (women only)
	2:15:25 Paula Radcliffe, GBR, 2003 (mixed)
Men's Wheelchair Racers:	1:28:57 Kurt Fearnley, AUS, 2009
Women's Wheelchair Racers:	1:39:57 Manuela Schar, SUI, 2017

Prize Purse

\$313,000 (\$55,000 apiece for the male and female champions)+ time and record bonuses

Official Charities

Teenage Cancer Trust (TCT) was the official Charity of the Year in 2018. TCT helps teenagers suffering with cancer carry on being young people.

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

OVERVIEW

Abbott World Marathon Majors

ベルリンマラソン BMW Berlin Marathon



BMW ベルリンマラソンについて

ドイツで最も有名な陸上クラブの一つであるSC Charlottenburgのランナーたちが、1974年にベルリンマラソンを初開催しました。大会コースは、1981年にグルーネヴァルト(大きな森)から西ベルリンの中心街へと変更。西ベルリンを占領していたイギリス、フランス、アメリカ軍の支援もあり急速な発展を遂げた大会は、ドイツで最も大きく質の高いマラソン大会へと成長しました。1989年11月にベルリンの壁が崩壊し、新たな時代が幕を開け、ドイツ再統一3日前の1990年9月30日のベルリンマラソンから、ベルリン東西を通りブランデンブルク門をくぐり抜けるコースへと変更されました。2001年大会で高橋尚子が女子選手として初めて2時間20分(2:19:46)の壁を破りました。2018年、エリウド・キプチョゲが人類史上初めて2時間2分を切るタイムを出しました。平坦で高速な周回コースは、2003年に大幅変更されています。

BMW ベルリンマラソンは世界の中でも素晴らしいロードレースの一つとして成長してきました。ケニアのポール・テルガトは2003年、ベルリン統一の象徴であるブランデンブルク門を通過してフィニッシュした最初の選手となり、また2:04:55で世界記録を更新しました。その後今日にいたるまでに、ハイレ・ゲブレシラシエ(2回、史上初の2時間4分切り)、パトリック・マカウ、ウィルソン・キプサング、デニス・キメット(史上初の2時間3分切り)、エリウド・キプチョゲ(2:01:39で史上初の2時間2分切り)が世界記録を樹立しています。

ABOUT THE BMW BERLIN MARATHON

A group of runners from one of Germany's most prestigious athletics clubs, SC Charlottenburg, organized the first Berlin Marathon in 1974. In 1981, the race moved from the Grunewald (a large forest) into the city center of West Berlin. Supported by the three Western forces of Great Britain, France, and the United States, the race quickly developed into Germany's biggest and highest-quality marathon. After the Berlin Wall collapsed in November of 1989, a new era began. On September 30, 1990, three days before reunification, the course of the Berlin Marathon was redirected through the Brandenburg Gate and hence both parts of Berlin. In the 2001 race, Naoko Takahashi became the first woman to break the 2:20 barrier. In 2018 Eliud Kipchoge became the first man to stay under 2:02 hrs. The flat and fast loop course was then changed significantly for the 2003 race.

The BMW Berlin Marathon has developed into one of the world's finest road races. In 2003 Paul Tergat of Kenya became the first man to cross the new finish line at Brandenburg Gate—the symbol for reunification—and setting a world record of 2:04:55. Six world records have been set after that until today by Haile Gebrselassie (twice, first man under 2:04), Patrick Makau, Wilson Kipsang, Dennis Kimetto (first man under 2:03) and lately Eliud Kipchoge clocking 2:01:39 (first man under 2:02).

初回開催年 / Inaugural Running

1974

最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

40,650 – 2018

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2013	36,549	27,557	8,992
2014	28,946	22,178	6,768
2015	36,767	27,857	8,910
2016	35,999	26,771	9,228
2017	39,235	28,163	11,072
2018	40,650	28,377	12,273

観衆人数 / Estimated Number of Spectators

1,500,000

賞金総額

マラソン 300,000ドル

(男子・女子優勝はそれぞれ45,000ドル)、タイムボーナスあり
車いすマラソン 32,000ドル

(男子・女子優勝はそれぞれ6,800ドル)

Prize Purse

\$300,000

(\$45,000 to male & female champions) plus bonus money for times achieved;

Wheelchair prize purse: \$32,000

(\$6,800 to male and female champions)

公式チャリティ

Official Charities

The Realbuzz Group, NYRR Team for Kids, GET KIDS GOING, Imagine for Margo – Children without Cancer, HelpAge Deutschland e.V., NABU – Naturschutzbund Deutschland e.V.

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:01:39 WR	Eliud Kipchoge, KEN, 2018
Women's Runners:	2:18:11	Gladys Cherono, KEN, 2018
Men's Wheelchair Racers:	1:21:39	Heinz Frei, SUI, 1997
Women's Wheelchair Racers:	1:36:53 WR	Manuela Schär, SUI, 2018

* WR: World Record

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

OVERVIEW

Abbott World Marathon Majors

シカゴマラソン Bank of America Chicago Marathon



Bank of Americaシカゴマラソンについて

1976年、ランニング愛好家の小さなグループがラサールストリートのメトロポリタンYMCAに集まり、シカゴでのマラソンを計画しました。この創設者グループが1977年9月25日に構想を実現させ第1回目のシカゴマラソンを開催、地元から4,200人が参加しました。シカゴマラソンは、今では44,000人を超える完走者と約170万人の観衆を集めるまでに成長しました。平坦な高速コースは、歴史あるグラントパークでスタート・フィニッシュし、レイクビューやグリークタウン、リトルイタリー、ビルセン、チャイナタウンそしてブロンズビルを含む、29の文化的に多様な地区を通過します。周回コースであること、そして豊富な公共交通機関が利用可能であることによって、コース沿いの多くの場所で友人や家族がランナーを応援することができます。シカゴマラソンには昔から世界最速のランナーたちが集い、2度の男子世界記録(Steve Jones, 2:08:05, 1984; and Khalid Khannouchi, 2:05:42, 1999)、そして2度の女子世界記録(Catherine Ndereba, 2:18:47, 2001; and Paula Radcliffe, 2:17:18, 2002)更新の舞台となっています。

ABOUT THE BANK OF AMERICA CHICAGO MARATHON

In 1976, a small band of running enthusiasts met at the Metropolitan YMCA on LaSalle Street to discuss and plan a marathon in Chicago. This founding group realized their vision on September 25, 1977, when they hosted 4,200 local participants in the first Chicago Marathon. The Bank of America Chicago Marathon has since expanded to more than 44,000 finishers and an estimated 1.7 million on-course spectators. The flat and fast course begins and ends in historic Grant Park, sweeping through 29 diverse and colorful neighborhoods including Lakeview, Greektown, Little Italy, Pilsen, Chinatown, and Bronzeville. The loop course and abundance of public transportation options enables friends and family to cheer their runners on at many locations along the course. The Bank of America Chicago Marathon has a long history of hosting the world's fastest runners and has been the site of two men's world records (Steve Jones, 2:08:05, 1984; and Khalid Khannouchi, 2:05:42, 1999) and two women's world records (Catherine Ndereba, 2:18:47, 2001; and Paula Radcliffe, 2:17:18, 2002).

初回開催年 / Inaugural Running

1977

最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

44,610 – 2018

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2013	39,122	21,595	17,527
2014	40,659	22,242	18,417
2015	37,459	20,207	17,252
2016	39,313	21,638	17,675
2017	44,341	22,842	21,499
2018	44,610	23,923	20,687

観衆人数 / Estimated Number of Spectators

1,700,000

賞金総額

803,500ドル

(男子・女子優勝はそれぞれ100,000ドル)、
タイムボーナス・記録ボーナス有

Prize Purse

\$803,500

(\$100,000 apiece for the male and female champions) + time and record bonuses

公式チャリティ

170団体

Official Charities

170

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:03:45	Dennis Kimetto, KEN, 2013
Women's Runners:	2:17:18	Paula Radcliffe, GBR, 2002
Men's Wheelchair Racers:	1:26:56	Heinz Frei, SUI, 2010
Women's Wheelchair Racers:	1:39:15	Tatyana McFadden, USA, 2017

アボット・ワールドマラソンメジャーズ

OVERVIEW

Abbott World Marathon Majors

ニューヨークシティマラソン

TCS New York City Marathon



TCSニューヨークシティマラソンについて

NYRRを代表とするイベントのひとつ、TCS ニューヨークシティマラソンは、世界で最も愛され、誰しもを受け入れる大会であり、生涯またとない挑戦やスリルを求めるエリートランナーや一般ランナーを魅了するマラソン大会です。1970年にわずか127人がセントラルパークを4周走って始まったニューヨークシティマラソンは、目覚ましい成長を遂げてきました。今では毎年、世界中から52,000人を超える参加者が、スタテンアイランドのヴェラザノ・ナローズ・ブリッジの袂からスタートし、ニューヨーク5区全てを通過しながらセントラルパークでフィニッシュする、刺激と興奮に満ちたコースを走るため11月のニューヨークシティを訪れます。ランナーの目的は様々で、賞金のため、自慢になる思い出作りのため、チャリティあるいは自己ベスト更新のために走ります。ランナーは沿道の100万人以上の観衆から声援を受けます。

ABOUT THE TCS NEW YORK CITY MARATHON

NYRR's premier event, the TCS New York City Marathon is the most loved and most inclusive marathon in the world, attracting elite athletes and recreational runners alike for the challenge and thrill of a lifetime. The race has grown tremendously since it began in 1970 with just 127 runners racing four laps of Central Park. Now, more than 52,000 participants from all over the globe flock to New York City every November for an adrenaline-filled road tour of all five boroughs, starting on Staten Island at the foot of the Verrazano-Narrows Bridge and ending in Central Park. Some run for prize money or bragging rights, others for charity or their personal best. All are cheered on by more than one million live spectators.

初回開催年 / Inaugural Running

1970

最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

52,812 – 2018

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2013	50,266	36,699	19,567
2014	50,530	30,108	20,422
2015	49,595	28,899	20,696
2016	51,394	29,930	21,464
2017	50,773	29,682	21,091
2018	52,811	30,657	22,154

観衆人数 / Estimated Number of Spectators

1,000,000

賞金総額

\$825,000ドル

Prize Purse

\$825,000

公式チャリティ

375団体以上

Official Charities

More than 375

大会記録 / Course Records

Men's Runners:	2:05:06	Geoffrey Mutai, KEN, 2011
Women's Runners:	2:22:31	Margaret Okayo, KEN, 2003
Men's Wheelchair Racers:	1:29:22	Kurt Fearnley, AUS, 2006
Women's Wheelchair Racers:	1:43:04	Tatyana McFadden, USA, 2015

IAAF ゴールドラベル

OVERVIEW

Gold Label

東京マラソンは、国際陸上競技連盟 (IAAF) が世界の主要ロードレースを格付けするラベリング制度において、2010 大会より最高位のゴールドラベルを取得しております。



IAAFの定めるラベリングに関する主な要件

	ゴールドラベル
競 技 者	IAAFの定める世界ランキングトップ200位までの競技者を少なくとも男女各6名(男女別レースの場合には各7名)招待。かつ、大会が行われている大陸(東京の場合はアジア)の上位100位までの競技者を少なくとも4名(性別問わず)招待。
テ レ ビ 放 映	主催国において全レースのライブ中継をテレビ放映またはウェブストリーミング配信する。 また、少なくとも10カ国で、全レース映像をテレビ放映またはウェブストリーミング配信(ライブあるいは録画中継)する。
公 平 性	賞金、ボーナスに関しては国籍や性別で差があるとはならない
そ の 他	上記の他に、技術的要件(計測・道路の閉鎖等)、ドーピング要件等がある

Requirements about the Labeling of IAAF

	Gold Label
Athletes	To invite a minimum of 6 men + 6 women (for single-gender races, 7 athletes) from the pool of athletes who have the Gold status (Men ranked 1-200 and women ranked 1-200) and also to have a minimum of 4 athletes (regardless the gender) selected from their continent's top 100 list.
TV	To televise full live coverage (TV or web-streaming) in the host country and full coverage (either live or delayed) on TV or web-streaming in at least 10 countries/territories.
Equity	There should not be any differential of the prize money or the bonus by his or her nationality or gender.
Other	Other than the above, there are some technical requirements on measurement, road closure, doping, etc.

The Tokyo Marathon was designated "Gold Label", which ranks the highest at the IAAF labeling system for world's major road races, in 2010.

世界陸上競技選手権

OVERVIEW

IAAF World Championships

ドーハ2019世界陸上競技選手権大会 マラソン日本代表選手選考要項 Selection Trials for the IAAF World Athletics Championships, DOHA 2019

※東京マラソン2019が対象となる男子に関する項目を抜粋

1.編成方針

世界に通用するマラソン選手育成のため、ポスト東京オリンピックも視野に入れつつ、本大会での入賞を目指す競技者で選手団を編成する。

2.選考競技会

男子

- 1) 第72回福岡国際マラソン選手権大会(2018/福岡)
- 2) 東京マラソン2019(2019/東京)
- 3) 第74回びわ湖毎日マラソン(2019/大津)
- 4) 2018北海道マラソン(2018/北海道)
- 5) 第68回別府大分毎日マラソン(2019/別府)

3.選考基準

編成方針に基づき、選考競技会出場者の中から、男女最大で3名を下記の優先順位で選考する。ただし、2019年9月のファイナルエントリ一時点で、国際陸上競技連盟(以下、IAAF)が定める本大会の参加資格を満たしていることを条件とする。

- (1) 選考競技会において、その競技会での成績によりマラソングランドチャンピオンシップ(以下、MGC)の出場資格を獲得した競技者及び選考競技会参加前に、MGCの出場資格を獲得している競技者のうち、選考競技会においてその競技会での成績によりMGC出場資格を獲得できる成績を収めた競技者の中で、各選考競技会における記録・順位・レース展開・タイム差・気象条件等を総合的に勘案しつつ、本大会で活躍が期待される競技者。
- (2) 選考競技会において日本人3位以内の競技者の中で、各選考競技会における記録・順位・レース展開・タイム差・気象条件等を総合的に勘案しつつ、本大会で活躍が期待される競技者。(最大2名)
- (3) 2019年5月31日現在でIAAFが発表しているマラソン種目のワールドランキング(テストサイト含む)日本人上位者の中で、本大会で活躍が期待される競技者。

4.選考方法

全ての選考競技会終了後に、選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し、原案策定会議で選考し、理事会において決定する。選考基準(3)での選考が生じる場合は、2019年6月に強化委員会にて選考原案を作成し、選考委員会にて決定することがある。

5.その他

- (1) 本大会の参加資格に係る参加標準記録(男子:2時間16分00秒/女子:2時間37分00秒)有効期間は、2018年3月7日から2019年9月16日まで。
- (2) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数はIAAFが定めるエントリ数の上限の枠を保証するものではない。
- (3) 代表選手は本連盟が定める義務を遵守するものとする。
- (4) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規程に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合
- (5) 代表選手の決定から本大会までの期間が長いことに配慮し、男女各1名の補欠を選考し、ファイナルエントリまでに正選手に故障などが生じた場合は、補欠が正選手となり本大会に出場する。
- (6) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。
- (7) 本大会は、2019年9月27日～10月6日までドーハ(カタール)で開催される。

以上

マラソングランドチャンピオンシップシリーズ

OVERVIEW

Marathon Grand Championship Series

Marathon Grand Championship Series

マラソングランドチャンピオンシップシリーズ2018-2019～東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会～日本陸連は、2020年東京オリンピックのマラソンにおいてメダルを獲得するため、これまでの実績と課題を基に、オリンピックに向けた強化とリンクした新たな選考方法を実施します。



Marathon Grand Championship Series 2018-2019: the 2020 Tokyo Olympics Marathon Trials:

With the goal of winning a medal by Japanese athletes in the 2020 Olympic Games in Tokyo in mind, the JAAF has decided to adapt a new Olympic marathon team selection method, which would conform to its current athletes' development plan, based on the assessments of previous successes as well as known problems.

2017年夏より「マラソングランドチャンピオンシップシリーズ (MGC シリーズ)」をスタートさせ、「マラソングランドチャンピオンシップ (MGC)」で2枠、「マラソングランドチャンピオンシップファイナルチャレンジ (MGC ファイナルチャレンジ)」で1枠(※)の代表を決定します。

国内の男子5大会、女子4大会をMGCシリーズ指定競技会とし、2017年夏～2019年春(2017-2018シリーズ、2018-2019シリーズ)で実施します。大会毎の順位と記録をクリアするとMGCファイナリストとなり、「MGC」への出場権を得られます。



(※)MGCファイナルチャレンジにおいては「MGCファイナルチャレンジ派遣設定記録」を突破した記録最上位の競技者をMGCファイナルチャレンジの全指定競技会終了時点において、即時内定とする(ただし、MGCシリーズに出場(完走)、又はMGCの出場資格を有することが条件)。前記を満たす男女それぞれの競技者がいない場合、MGC2位又は3位の競技者を内定とする。

MGCファイナリストとなるための大会毎の順位+記録

男子

大会名	日本人順位 + 記録	日本人順位 + 記録
福岡国際マラソン	1-3位 2:11:00以内	4-6位 2:10:00以内
東京マラソン	1-3位 2:11:00以内	4-6位 2:10:00以内
びわ湖毎日マラソン	1-3位 2:11:00以内	4-6位 2:10:00以内
別府大分毎日マラソン	1位 2:11:00以内	2-6位 2:10:00以内
北海道マラソン	1位 2:15:00以内	2-6位 2:13:00以内

女子

大会名	日本人順位 + 記録	日本人順位 + 記録
さいたま国際マラソン	1-3位 2:29:00以内	4-6位 2:28:00以内
大阪国際女子マラソン	1-3位 2:28:00以内	4-6位 2:27:00以内
名古屋ウィメンズマラソン	1-3位 2:28:00以内	4-6位 2:27:00以内
北海道マラソン	1位 2:32:00以内	2-6位 2:30:00以内

※ただし、既にMGCファイナリストの資格を有している競技者は、日本人順位に含まない。

日本陸連 MGC 特設サイト → www.mgc42195.jp/

Project EXCEED 実業団マラソン特別強化プロジェクト

「Project EXCEED」では、マラソン日本記録の“突破”及び“挑戦”という2つの目標を設定し、この目標を達成した選手と監督・チームを褒賞し、表彰を行う取り組みである。



■マラソン日本記録突破褒賞制度概要

対象記録	男子 2 時間 5 分 50 秒のマラソン日本記録突破 女子 2 時間 19 分 12 秒のマラソン日本記録突破 (※日本記録が更新された場合は、その時点の日本記録突破)
褒賞金	選手 1 億円 (同一レース下位での突破 1000 万円) 監督・チーム 5,000 万円 (同 500 万円) (同一記録では、別途定める「挑戦」奨励金との重複受賞を認めない)
対象選手	(実業団登録の有無にかかわらず) 日本陸連に登録されている日本人選手
対象大会	1. 国内: 日本陸連が記録を公認する大会 2. 海外: 日本陸連が登録選手に参加を許可し、記録が公認される大会 3. オリンピック、世界陸上選手権大会、アジア大会

■実業団選手マラソン日本記録挑戦奨励制度概要

対象記録	男子 【設定A】 2 時間 6 分 59 秒以内 【設定B】 2 時間 7 分台 女子 【設定A】 2 時間 21 分 59 秒以内 【設定B】 2 時間 22 分台 (対象となる記録は、原則として2年ごとに見直しをする。)
奨励金	選手 【設定A】 1,000 万円 【設定B】 500 万円 監督・チーム 【設定A】 500 万円 【設定B】 250 万円
対象選手	実業団登録をしている日本人選手と、その所属チームが実業団においてチーム登録されている場合は監督・チームも対象とする。
対象大会	Project EXCEED 実行委員会が主催者の同意のもと指定する下記国内大会※ (※さいたま国際マラソン、福岡国際マラソン、大阪国際女子マラソン、別大毎日マラソン、東京マラソン、びわ湖毎日マラソン、名古屋ウィメンズマラソンの計7大会)

- ・同一選手が同一年度に複数回にわたり制度の対象記録を更新した場合は、最上位の公認記録を褒賞金・奨励金の対象記録とする。
- ・同一選手が複数年度に渡って褒賞金・奨励金を授与される場合は、その以前の年度の当該選手の記録を上回った場合にのみ対象となる。

Tokyo Marathon 2018



SHITARA, Yuta February 25, 2018

2018 Bank of America Chicago Marathon



OSAKO, Suguru October 13, 2018



TOKYO
MARATHON
2019

ナンバーカード

Bibs

スタートブロック
START Block

B

ナンバーカードの色は
フィニッシュエリア別
Different colors of the Wristbands
and the Bibs indicate respective
finish areas.

スタートエリア入場ゲート
Entrance gate at the start area



手荷物を預ける
トラック・カゴ台車番号
Baggage Truck Number
20-20

AbbottWMM
Six Star Finishers

■マラソン Marathon

招待選手 Invited Athletes



RUN as ONE - Tokyo Marathon 準エリート
Semi-Elite Athletes



ペースメーカー Pacemakers



チャリティランナー
CHARITY Runners



エリート競技者 Elite Athletes



ONE TOKYO 講師
ONE TOKYO Coach



一般 General Participants



ONE TOKYO プレミアムメンバー含
ONE TOKYO PremiumMembers included



手荷物預けなし No-Baggage

■10km

ジュニア&ユース Junior & Youth



視覚障害者 Visually Impaired



知的障害者 Intellectually Challenged



移植者 Organ Transplant Recipients



伴走者
Guide Runners



ペースセッター
Pace-Setters



完走サポートランナー
FINISH Support Runners



マラソン選手紹介

エリートレース展望 Preview of Elite Race	034
エリート選手リスト Elite Athletes List	036
エリート募集要項 Elite Race Information	039
海外招待選手 男子 International Invited Athletes MEN	040
国内招待選手 男子 Japanese Invited Athletes MEN	050
海外招待選手 女子 International Invited Athletes WOMEN	059
国内招待選手 女子 Japanese Invited Athletes WOMEN	071
ペースメーカー Pacemakers	075
RUN as ONE - Tokyo Marathon RUN as ONE - Tokyo Marathon	076

エリートレース展望

》ATHLETES《

東京マラソンレースディレクター

Tokyo Marathon Race Director

早野忠昭

Tadaaki HAYANO



東京マラソンは2017年の第11回大会から平坦な高速コースになり、好記録が生まれています。以前から掲げてきた「グローバル・スタンダード」と呼べるレースを展開できているのではないのでしょうか。

一昨年は元世界記録保持者のウィルソン・キプサング(ケニア)が2時間3分58秒の日本国内最高タイムでフィニッシュ。初マラソンの設楽悠太(Honda)の一時キプサングへと迫る積極的な走りは「日本人でもここまでできるのか」と希望と勇気を与えました。

昨年はそのドラマの続きとなり、設楽が2時間6分11秒で16年ぶりに日本記録を更新しました。日本実業団陸上競技連合のマラソン特別強化策「Project EXCEED (プロジェクト・エクシード)」により、日本記録を樹立した設楽には1億円のボーナスが贈られ、大いに盛り上がりました。また、日本選手の9人が2時間10分を切る快走をみせ、多くの選手が世界と戦う覚悟を示してくれました。大会を通じて、日本男子マラソン界に新時代の風が吹き、なにもにも変えがたい感動があったことを鮮明に覚えています。

今年、第13回大会は、さらにエキサイティングなレースになるでしょう。

男子では世界歴代3位となる2時間3分3秒の自己記録を持つケネニサ・ベケレ(エチオピア)が参戦します。アテネ五輪と北京五輪のトラックで金メダルを獲得し、スピードがあります。果敢に攻めの走りをする選手でもあり、今大会の中心になりそうです。男子では唯一複数回優勝者(2014、2018)で試合巧者のディクソン・チュンバ(ケニア)、昨秋のジャカルタ・アジア大会で井上大仁(MHPS)と競り合ったエルハサン・エルアバシ(バーレーン)ら2時間4分台の選手が5人います。2時間5分台のケニア勢も2人います。海外勢がどのようなレースをするのか興味深いところです。

そして、最大の注目は昨年10月のシカゴマラソンで2時間5分50秒の日本記録を樹立した大迫傑(Nike)になります。初めての東京でどのような走りをみせてくれるのでしょうか。初マラソンとなる2017年のボストンマラソンは2時間10分28秒でフィニッシュ。続く福岡国際マラソンでは2時間7分19秒の好タイムをマークし、昨年のシカゴマラソンでは日本記録。走るたびに着実にタイムを縮めていき、まだまだ底は見えません。ベケレら海外勢と戦うとともに、自らの日本記録を更新する走りを期待したいと思います。

現時点では、男子のペースメーカーは2段階に分けて考えています。一つは30kmまでの1kmを2分57～58秒で刻み、2時間4分30秒から2時間5分10秒のフィニッシュをイメージしています。ベケレらアフリカ勢が中心となり、もちろん大迫も付いていくでしょう。

Ever since 2017, when the new flat and fast course was introduced in the 11th edition of the Tokyo Marathon, fast times are being recorded. The Tokyo Marathon is now a truly world class race.

Two years ago, a former world record holder Wilson Kipsang (KEN) recorded the Japanese all comers record of 2:03:58 on this course. In the same year, a marathon debutante Yuta Shitara (JPN, Honda) ran aggressively and for a while, stayed close to Kipsang. The race gave hope and courage to Japanese runners and fans, leading to the thoughts Japanese can compete well at the world class level.

Sequel to the drama, Shitara recorded Japanese record of 2:06:11 for the first time in 16 years. To add further excitement, the Japan Industrial Track & Field Association awarded Shitara with 100-million-yen prize money as part of Project EXCEED, a program launched to encourage athletes to break national records. Additionally, nine Japanese runners have cracked 2:10 for the marathon, showing that many of them are ready to compete at the world class level. I remember last year's race was nothing like previous years, leading to the new era for Japanese men's marathon.

This year, the 13th edition of the Tokyo Marathon, is expected to be even more exciting than the previous years.

On the men's side, Kenenisa Bekele (ETH), who has the personal best of 2:03:03, third fastest marathon in history on the standard course, head the field. Kenenisa, who is endowed with superior speed, won the gold medal at track events in both the 2004 & 2008 Olympics. He is known for his aggressive running style and thus likely to be the force to be reckoned with in Tokyo Marathon. Total of five 2:04 runners, including great tactician Dickson Chumba, the only two-time Tokyo Marathon champion (2014, 2018) on the men's side, and El Hassan El Abassi (BRN), who battled with Hiroto Inoue (JPN, MHPS) in the 2018 Asian Games, will start the race. Furthermore, two Kenyans with 2:05 marathon best are in the field. It is very interesting to see how the race will unfold.

The most fascinating runner in the field, at least from the Japanese perspective, is Suguru Osako (JPN, Nike), who recorded the national record of 2:05:50 in the Chicago Marathon in October. How will he run his first Tokyo Marathon? In the 2017 Boston Marathon, his debut, Osako recorded 2:10:28. In his second marathon, the 2017 Fukuoka Marathon, he improved his personal best to 2:07:19 before recording the national record in Chicago. He is steadily improving his personal best and his potential is unimaginable. By battling well against the runners from abroad including Kenenisa Bekele, perhaps he can improve his own national record again.

At the present time, two sets of pacemakers are planned for the men's race. First set of pacemakers will lead at 2:57-2:58 /km pace until 30km, targeting the time around 2:04:30 to 2:05:10. Osako, along with the Africans

ぜひ、他の日本勢も先頭グループのペースにチャレンジして、世界のレースを体感してほしいと思います。

もう一つのペースメーカーは1kmを3分で引っ張り、2時間6分35秒あたりがターゲットタイムとなります。昨年の大会で2時間8分8秒の7位に入った木滑良 (MHPS)、2時間8分16秒の自己ベストを持つ中村匠吾 (富士通) らは十分、2時間6分台を目指す力があると信じています。木滑と中村は「最低でも2時間7分台」と思って、挑むのではないのでしょうか。

どうしても期待してしまうのは村山謙太 (旭化成) の走りです。2016年の第10回大会では22km付近まで日本人で唯一先頭集団に食らいつく攻めの姿勢を貫きました。初マラソンでみせた強烈なインパクトを忘れることができません。村山は高速ペースの方が合っている印象があり、流れに乗れば、大化けする可能性を秘めていると考えています。

近年、日本の男子マラソンは活性化されてきました。昨年の大会で設楽、井上が2時間6分台をマーク。井上はジャカルタ・アジア大会を制しました。大迫がシカゴマラソンで日本人初の2時間5分台を記録すれば、昨年12月の福岡国際マラソンでは服部勇馬 (トヨタ自動車) が2時間7分台ながら日本人で14年ぶりに優勝を飾りました。若い力が台頭し、世界との差は少しずつ縮まってきています。私は2020年の東京五輪までに2時間6分台の日本人選手を最低でも5人輩出できるようなレース作りをしていきたいと考えています。

今年は女子も豪華なメンバーが揃い、期待が高まります。海外勢では昨年9月のベルリンマラソンで2時間18分34秒の好タイムをマークして、勢いに乗るルディ・アガ (エチオピア) が中心となります。女子の複数のペースメーカーのうち、一つは2時間17分台のフィニッシュを目指す設定になるかもしれません。そのほかにもベテランのフローレンス・キブラガト (ケニア) ら2時間19分台の自己記録を持つ選手が3人います。

日本勢は既にMGCの出場権を獲得している昨年の大阪国際女子マラソン2位の前田穂南 (天満屋)、ジャカルタ・アジア大会で銀メダルの野上恵子 (十八銀行) が挑みます。リオデジャネイロ五輪1万メートル代表の高島由香 (資生堂) は2度目のマラソンでMGCの出場権を狙い、初マラソンの一山麻緒 (ワコール) は積極的な走りをみせてくれるのではないのでしょうか。興味は尽きません。

男女ともに東京五輪を前に、東京のコースを体感したいトップ選手たちが集結しています。世界基準のハイレベルな走りを見れば、胸が高鳴ります。大迫らが競り合い、日本記録が迫ってくれば、さらにドキドキするでしょう。新たな歴史が作られるかもしれません。コース、選手ともに世界に誇れる「グローバル・スタンダード」な東京マラソン2019を存分にお楽しみください。

headed by Kenenisa Bekele are expected to follow the first set of pacemakers. I would also like to see other Japanese runners to follow these pacers to experience the world class races.

The second set of pacemakers will lead the runners at 3min/km to target the final time around 2:06:35. Ryo Kiname (JPN, MHPS), who finished seventh with 2:08:08 last year in Tokyo, as well as Shogo Nakamura (JPN, Fujitsu), who has the best of 2:08:16, have a potential to record 2:06 marathon. They probably target at least 2:07 marathon in Tokyo.

It is hard not to expect a great marathon from Kenta Murayama (JPN, Asahi Kasei). In the 10th edition of the Tokyo Marathon in 2016, Murayama was the only Japanese to stay with the lead pack as far as 22km. The impact he made in his debut marathon is unforgettable. Many imagine that Murayama runs better at a fast paced marathon. If he is sucked into the fast pace, Murayama could move up several levels as a marathon runner.

In recent years, Japanese men's marathon is on the rise. Last year, Shitara and Inoue recorded 2:06 marathon in Tokyo. Later in the year, Inoue won the Asian Games marathon, Osaka recorded the national record and first 2:05 marathon by Japanese in Chicago, and in December Yuma Hattori (JPN, Toyota Motors) became the first Japanese to win the Fukuoka Marathon in 14 years. With young and upcoming runners on the rise, the Japanese are closing on to the best in the world. I am determined to do everything possible for the race so that at least five Japanese will run 2:06 marathon before the 2020 Tokyo Olympics.

The women's field is also loaded this year with fast runners and thus the expectation for a great competition is high. The rising star from abroad is Ruti Aga (ETH), who recorded the personal best of 2:18:34 at the Berlin Marathon last September. Perhaps one set of women's pacemakers will aim for a 2:17 finishing time. In addition, there are three other runners with the personal best of 2:19 including Florence Kiplagat.

Among the Japanese women Honami Maeda (JPN, Tenmaya), who was second in the 2018 Osaka Women's Marathon and Keiko Nogami (JPN, 18 Bank), who won the silver medal at the 2018 Asian Games, will start the race. They have already qualified for the Marathon Grand Championships (MGC, the Japanese Olympic trial marathon). Yuka Takashima (JPN, Shiseido), who ran 10000m in the 2016 Olympic Games in Rio de Janeiro, is running her second marathon in her attempt to qualify for the MGC. Mao Ichiyama (JPN, Wacoal), making her marathon debut, is expected to run aggressively. Excitement is never ending for this year's race.

With the Tokyo Olympics just around the corner, elite runners, both men and women, are gathering in Tokyo to experience the Olympic course. It is exciting to see the world class competitions. If Osaka and his Japanese rivals come close to the national record, it will add to the excitement. The history may be in making. Please enjoy the Tokyo Marathon 2019, the scene of world class runners running over the world class course.

エリート選手リストー男子

ATHLETES

No.	氏名	Name	国/登録 陸協名 Nation	国/チーム・ クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	身長 cm	体重 kg	出場資格 記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB
1	ケネニサ・ベケレ	BEKELE, Kenenisa	ETH	エチオピア	36	162	57	2:08:53	2018 ロンドン	2:03:03
2	マリウス・キプセレム	KIPSEREM, Marius	KEN	ケニア	30	170	55	2:04:04	2018 アブダビ	2:04:04
3	ビルハヌ・レゲセ	LEGESE, Birhanu	ETH	エチオピア	24	168	55	2:04:15	2018 ドバイ	2:04:15
4	ディクソン・チュンバ	CHUMBA, Dickson	KEN	ケニア	32	167	50	2:05:30	2018 東京	2:04:32
5	エルハサン・エルアバシ	EL ABBASSI, El Hassan	BRN	バーレーン	34	170	52	2:04:43	2018 バレンシア	2:04:43
6	セイツ・トゥラ	TURA, Seifu	ETH	エチオピア	21	175	60	2:04:44	2018 ドバイ	2:04:44
7	ノバート・キゲン	KIGEN, Nobert	KEN	ケニア	26	170	55	2:05:13	2017 アムステルダム	2:05:13
8	ギデオン・キプケテル	KIPKETER, Gideon	KEN	ケニア	26	178	57	2:05:51	2017 東京	2:05:51
9	デメタドゥ・アバテ	ABATE, Deme Tadu	ETH	エチオピア	21	177	54	2:06:47	2018 アムステルダム	2:06:47
10	ビダン・カロキ	KAROKI, Bedan	KEN/東京	横浜DeNA	28	167	50	2:07:41	2017 ロンドン	2:07:41
21	大迫 傑	OSAKO, Suguru	東京	Nike	27	170	53	2:05:50	2018 シカゴ	2:05:50
22	木滑 良	KINAME, Ryo	長崎	MHPS	28	168	53	2:08:08	2018 東京	2:08:08
23	中村 匠吾	NAKAMURA, Shogo	東京	富士通	26	172	55	2:08:16	2018 ベルリン	2:08:16
24	佐藤 悠基	SATO, Yuki	東京	日清食品グループ	32	179	60	2:08:58	2018 東京	2:08:58
25	村山 謙太	MURAYAMA, Kenta	宮崎	旭化成	26	176	56	2:09:50	2018 ゴールドコースト	2:09:50
26	福田 稜	FUKUDA, Jo	福岡	西鉄	28	166	51	2:09:52	2018 ゴールドコースト	2:09:52
27	大塚 祥平	OTSUKA, Shohei	福岡	九電工	24	170	55	2:10:12	2018 別府大分	2:10:12
28	神野 大地	KAMINO, Daichi	東京	セルソース	25	165	46	2:10:18	2018 東京	2:10:18
101	深津 卓也	FUKATSU, Takuya	宮崎	旭化成	31	169	55	2:09:31	2016 びわ湖	2:09:31
102	一色 恭志	ISSHIKI, Tadashi	東京	GMOアスリート	24	169	55	2:09:43	2018 東京	2:09:43
103	サイモン・カリウキ	SIMON, Kariuki	KEN/埼玉	日本薬科大学	22	178	58	2:10:00	2018 東京	2:10:00
104	田中 飛鳥	TANAKA, Asuka	佐賀	ひらまつ病院	29	175	57	2:10:13	2018 東京	2:10:13
105	鈴木 健吾	SUZUKI, Kengo	千葉	富士通	23	163	47	2:10:21	2018 東京	2:10:21
106	伊藤 太賀	ITO, Taiga	静岡	スズキ浜松AC	32	166	53	2:10:52	2017 別府大分	2:10:52
107	高宮 祐樹	TAKAMIYA, Yuki	東京	ヤクルト	31	173	56	2:10:57	2016 東京	2:10:57
108	今井 正人	IMA I, Masato	福岡	トヨタ自動車九州	34	169	56	2:11:02	2017 東京	2:07:39
109	大崎 翔也	OSAKI, Syoya	広島	中電工	27	169	55	2:11:03	2017 ゴールドコースト	2:11:03
110	小山 司	KOYAMA, Tsukasa	群馬	SUBARU	27	168	52	2:11:20	2018 別府大分	2:11:20
111	佐野 広明	SANO, Hiroaki	埼玉	Honda	31	175	52	2:11:24	2017 ベルリン	2:09:12
112	濱崎 達規	HAMASAKI, Tatsunori	沖縄	なんじいAC	30	172	56	2:11:26	2017 防府	2:11:26
113	下田 裕太	SHIMODA, Yuta	東京	GMOアスリート	22	169	53	2:11:34	2016 東京	2:11:34
114	高久 龍	TAKAKU, Ryu	東京	ヤクルト	26	169	54	2:11:45	2018 ゴールドコースト	2:11:45
115	ポール・クイラ	PAUL, Kuira	KEN/東京	コニカミノルタ	29	168	50	2:11:58	2018 北海道	2:11:58
116	藤川 拓也	FUJIKAWA, Takuya	広島	中国電力	26	163	49	2:11:59	2018 別府大分	2:11:59
117	山崎 翔太	YAMAZAKI, Shota	東京	ヤクルト	28	168	56	2:12:15	2018 延岡	2:12:15
118	鈴木 洋平	SUZUKI, Yohei	愛知	愛三工業	24	168	55	2:12:18	2018 シカゴ	2:12:18
119	石田 和也	ISHIDA, Kazuya	福岡	西鉄	34	162	52	2:12:25	2016 別府大分	2:11:57
120	山下 伸一	YAMASHITA, Shinichi	静岡	滝ヶ原自衛隊	33	170	54	2:12:32	2017 防府	2:12:32
121	中村 泰之	NAKAMURA, Yasuyuki	静岡	スズキ浜松AC	34	168	58	2:12:36	2017 防府	2:12:36
122	田中 佳祐	TANAKA, Keisuke	千葉	富士通	30	178	62	2:12:41	2018 延岡	2:12:41
123	日下 佳祐	KUSAKA, Keisuke	千葉	日立物流	27	176	59	2:12:42	2017 別府大分	2:12:42
124	加藤 徳一	KATO, Norikazu	東京	ヤクルト	34	178	64	2:12:48	2018 別府大分	2:12:48
125	窪田 忍	KUBOTA, Shinobu	愛知	トヨタ自動車	27	169	53	2:13:02	2018 福岡国際	2:13:02
126	倉田 翔平	KURATA, Shohei	東京	GMOアスリート	26	171	56	2:13:16	2017 防府	2:13:16
127	酒井 将規	SAKAI, Masanori	福岡	九電工	32	175	59	2:13:31	2018 東京	2:09:10
128	マット・リャノ	LLANO, Matt	USA	アメリカ	30	172	56	2:13:42	2017 フランクフルト	2:12:28
129	飯沼 健太	IINUMA, Kenta	京都	SGHグループ	31	173	55	2:13:43	2016 福岡国際	2:13:43
130	小泉 雄輝	KOIZUMI, Yoshiki	東京	ラフィネ	25	165	51	2:13:50	2018 東京	2:13:50
131	坪内 淳一	TSUBOUCHI, Junichi	福岡	黒崎播磨	31	167	52	2:13:51	2017 別府大分	2:13:51
132	棟方 雄己	MUNAKATA, Yuki	東京	カネボウ	29	174	57	2:13:53	2016 別府大分	2:13:53
133	清水 和朗	SHIMIZU, Kazuaki	東京	東京陸協	31	171	62	2:14:16	2016 東京	2:12:49
134	五十嵐 真悟	IGARASHI, Shingo	埼玉	城西大学クラブ	33	174	64	2:14:19	2018 大阪	2:13:15
135	出口 和也	DEGUCHI, Kazuya	東京	旭化成東京RC	30	178	70	2:14:24	2018 延岡	2:14:24
136	中村 高洋	NAKAMURA, Takahiro	鹿児島	京セラ鹿児島	35	172	54	2:14:25	2018 東京	2:14:25
137	森橋 完介	MORIHASHI, Kansuke	東京	ラフィネ	25	182	60	2:14:25	2018 東京	2:14:25
138	朝賀 勇也	ASAKA, Yuya	新潟	高田自衛隊	31	171	58	2:14:31	2018 東京	2:14:31
139	高橋 憲昭	TAKAHASHI, Noriaki	東京	横浜DeNA	36	174	58	2:14:31	2016 福岡国際	2:12:00
140	橋本 隆光	HASHIMOTO, Takamitsu	茨城	小森コーポレーション	29	176	59	2:14:32	2018 別府大分	2:14:32
141	糟谷 悟	KASUYA, Satoru	愛知	トヨタ紡織	35	178	58	2:14:37	2018 東京	2:11:17
142	治郎丸 健一	JIROMARU, Kenchi	東京	ラフィネ	34	182	65	2:14:48	2018 東京	2:14:48
143	森川 翔平	MORIKAWA, Shouhei	兵庫	山陽特殊製鋼	28	173	57	2:14:53	2018 東京	2:14:53
144	大西 淳貴	ONISHI, Jyunki	東京	サンベルクス	26	171	57	2:15:00	2018 東京	2:15:00
145	大下 浩平	OSHITA, Kohei	広島	広島経済大学	24	169	53	2:15:09	2018 防府	2:15:09
146	寺田 夏生	TERADA, Natsuki	東京	JR東日本	27	174	55	2:15:09	2018 ソウル国際	2:15:09
147	口町 亮	KUCHIMACHI, Ryo	群馬	SUBARU	24	179	64	2:15:15	2018 ゴールドコースト	2:15:15

No.	氏名	Name	国/登録協名 Nation	国/チーム・ クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	身長 cm	体重 kg	出場資格 記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB
148	松本 稜	MATSUMOTO, Ryo	愛知	トヨタ自動車	28	168	53	2:15:31	2018 北海道	2:15:31
149	永井 秀篤	NAGAI, Hidenori	東京	横浜DeNA	25	165	53	2:15:49	2016 静岡	2:15:49
150	渡邊 利典	WATANABE, Toshinori	東京	GMOアスリート	25	169	57	2:15:48	2017 別府大分	2:15:48
151	熊橋 弘将	KUMAHASHI, Hiromasa	兵庫	山陽特殊製鋼	24	163	45	2:15:49	2018 東京	2:15:49
152	松本 翔	MATSUMOTO, Sho	東京	日税ビジネス	33	167	51	2:15:50	2016 大阪	2:13:38
153	柱 欽也	HASHIRA, Kinya	東京	警視庁	31	171	60	2:15:51	2018 東京	2:15:51
154	久保岡 諭司	KUBOOKA, Satoshi	広島	JFEスチール	31	170	57	2:15:55	2018 別府大分	2:14:49
155	大谷 健太	OTANI, Kenta	岡山	JFEスチール	31	181	59	2:15:57	2018 別府大分	2:15:57
156	西山 凌平	NISHIYAMA, Ryohei	愛知	トヨタ紡織	25	171	59	2:16:00	2018 びわ湖	2:15:42
157	高田 翔二	TAKADA, Shoji	静岡	スズギ浜松AC	28	172	60	2:16:16	2018 静岡	2:16:16
158	定方 俊樹	SADAKATA, Toshiaki	長崎	MHPS	26	171	59	2:16:21	2018 別府大分	2:16:21
159	大谷 康太	OTANI, Kouta	岡山	JFEスチール	31	179	59	2:16:24	2018 別府大分	2:16:24
160	牧野 冴希	MAKINO, Saeki	埼玉	DNPL 釣り部	31	183	58	2:16:30	2018 ソウル	2:15:22
161	益田 賢太朗	MASUDA, Kentarou	大阪	NTT西日本	30	172	54	2:16:43	2018 北海道	2:16:43
162	金森 寛人	KANAMORI, Hiroto	茨城	小森コーポレーション	25	167	53	2:16:48	2016 別府大分	2:16:48
163	石田 亮	ISHITA, Ryo	埼玉	自衛隊体育学校	30	167	50	2:16:51	2018 北海道	2:13:52
164	門田 浩樹	KADOTA, Hiroki	東京	東京陸協	33	174	63	2:16:57	2017 別府大分	2:10:46
165	村本 一樹	MURAMOTO, Kazuki	兵庫	住友電工	26	170	56	2:17:16	2018 福岡国際	2:17:16
166	田村 晃晃	TAMURA, Hideaki	東京	東京陸協	30	168	55	2:17:17	2018 別府大分	2:10:54
167	斉藤 翔太	SAITO, Shota	東京	JR東日本	26	166	54	2:17:21	2017 別府大分	2:17:21
168	田口 大貴	TAGUCHI, Daiki	千葉	日立物流	27	160	54	2:17:40	2018 延岡	2:17:40
169	上條 記男	KAMIJO, Norio	東京	サンベルクス	34	171	53	2:17:47	2016 東京	2:13:37
170	千葉 健太	CHIBA, Kenta	神奈川	川崎市陸協	28	165	53	2:17:55	2018 別府大分	2:13:53
171	金子 晃裕	KANEKO, Akihiro	東京	コモディイイダ	24	173	55	2:17:57	2018 大阪	2:17:57
172	齋藤 真也	SAITO, Shinya	山形	天童市陸協	26	170	54	2:17:58	2017 東京	2:17:58
173	五十嵐 祐太	IGARASHI, Yuuta	東京	東京陸協	30	173	60	2:17:59	2016 びわ湖	2:17:15
174	岡田 竜治	OKADA, Ryuji	徳島	大塚製薬	28	171	52	2:18:04	2017 びわ湖	2:18:04
175	黒田 雄紀	KURODA, Yuki	東京	コモディイイダ	23	173	58	2:18:13	2018 つくば	2:18:13
176	井上 直紀	INOUE, Naoki	東京	東京陸協	31	161	47	2:18:15	2018 東京	2:15:05
177	甲斐 大貴	KAI, Hiroki	東京	ラフィネ	24	158	45	2:18:17	2017 東京	2:18:17
178	土田 純	TUCHIDA, Jun	東京	コモディイイダ	29	178	60	2:18:18	2016 東京	2:18:18
179	國司 寛人	KUNISHI, Hiroto	愛知	名古屋大学	25	168	55	2:18:19	2018 加古川	2:18:19
180	児玉 雄介	KODAMA, Yusuke	埼玉	朝霧市陸協	32	168	55	2:18:22	2018 東京	2:16:16
181	山内 英昭	HIDEAKI, Yamauchi	静岡	浜松トニクスRC	33	170	56	2:18:24	2018 東京	2:18:22
182	今村 俊	IMAMURA, Shun	神奈川	プレス工業	34	171	54	2:18:27	2018 長野	2:18:27
183	山下 侑哉	YAMASHITA, Yuya	東京	サンベルクス	27	160	49	2:18:27	2018 函館	2:18:27
184	橋本 雅史	HASHIMOTO, Masashi	山口	武田薬品	32	178	60	2:18:31	2018 東京	2:18:31
185	石原 洸	ISHIHARA, Takeru	埼玉	新電元	33	164	50	2:18:33	2018 東京	2:18:33
186	岡山 春紀	OKAYAMA, Haruki	東京	コモディイイダ	24	170	58	2:18:33	2017 つくば	2:18:33
187	大橋 秀星	OHASHI, Shusei	東京	小平市陸協	28	180	60	2:18:34	2018 東京	2:18:34
188	濱崎 武雅	HAMAZAKI, Muga	山梨	南アルプス市陸協	33	182	65	2:18:37	2016 東京	2:18:37
189	設楽 啓太	SHITARA, Keita	千葉	日立物流	27	169	49	2:18:39	2018 びわ湖	2:18:39
190	阿久津 圭司	AKUTSU, Keiji	群馬	SUBARU	31	176	58	2:18:45	2018 ゴールドコースト	2:13:26
191	蜂須賀 源	HACHISUKA, Gen	東京	コニカミノルタ	24	170	50	2:18:50	2018 北海道	2:18:50
192	井上 翔太	INOUE, Shota	愛知	THRR	29	170	54	2:18:53	2017 びわ湖	2:18:53
193	行場 竹彦	GYOBA, Takehiko	兵庫	芦屋市陸協	33	171	55	2:19:12	2017 愛媛	2:19:12
194	古川 大晃	FURUKAWA, Hiroaki	熊本	熊本大学	23	176	60	2:19:15	2018 鹿児島	2:19:15
195	マルセル・ベルニ	BERNI, Marcel	SUI	スイス	30	189	67	2:19:19	2018 ロッテルダム	2:19:19
196	松岡 直希	MATSUOKA, Naoki	三重	三重陸協	38	169	53	2:19:29	2016 東京	2:19:29
197	吉元 真司	YOSHIMOTO, Sinji	福岡	黒崎播磨	28	173	54	2:19:38	2016 鹿児島	2:19:38
198	星 創太	HOSHI, Sohta	千葉	富士通	31	173	56	2:19:42	2018 函館	2:19:42
199	早坂 光司	HAYASAKA, Koji	宮城	石巻RC	35	165	60	2:19:45	2017 東京	2:19:45
200	吉川 修司	YOSHIKAWA, Shuji	福岡	九電工	33	170	54	2:19:50	2016 延岡	2:19:50
201	宮本 潤	MIYAMOTO, Jun	埼玉	自衛隊体育学校	28	170	55	2:19:54	2016 延岡	2:19:54
202	サムエル・バタラ	BATARA, Samuel	POR	ポルトガル	25	173	57	1:03:52	2017 入江/日本陸連推薦	1:03:52
203	堀尾 謙介	HORIO, Kensuke	兵庫	中央大学	22	183	61	1:01:57	2018 入江/日本陸連推薦	1:01:57
204	畔上 和弥	AZEGAMI, Kazuya	新潟	帝京大学	22	171	54	1:02:30	2018 入江/日本陸連推薦	1:02:30
205	下 史典	SHIMO, Fuminori	三重	駒澤大学	22	174	57	1:02:36	2017 入江/日本陸連推薦	1:02:36
206	堀合 大輔	HORIAI, Daisuke	青森	駒澤大学	22	182	63	1:03:17	2018 入江/日本陸連推薦	1:03:17
207	林 奎介	HAYASHI, Keisuke	千葉	青山学院大学	22	175	60	1:03:28	2017 入江/日本陸連推薦	1:03:28
208	山田 滉介	YAMADA, Kosuke	東京	青山学院大学	22	175	55	1:03:46	2018 入江/日本陸連推薦	1:03:46
209	モアス・アルハワルデヘ	ALKHAWALDEH, Moath	JOR	ヨルダン	30	166	61		日本陸連推薦	

エリート選手リストー女子

》ATHLETES《

Elite Athletes List WOMEN

No.	氏名	Name	国/登録 陸協名 Nation	国/チーム・ クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	身長 cm	体重 kg	出場資格 記録 QT	大会名 Venue	自己記録 PB
51	ルティ・アガ	AGA, Ruti	ETH	エチオピア	25	152	44	2:18:34	2018 ベルリン	2:18:34
52	ボルフェイセ・タデセ	TADESE, Boru Feyse	ETH	エチオピア	30	167	52	2:19:30	2018 ドバイ	2:19:30
53	イエブルガル・メレセ	MELESE, Yebgual	ETH	エチオピア	28	160	40	2:19:36	2018 ドバイ	2:19:36
54	フローレンス・キブラガト	KIPLAGAT, Florence	KEN	ケニア	32	155	42	2:26:08	2018 シカゴ	2:19:44
55	アバベル・イエシャネ	YESHANEH, Ababel	ETH	エチオピア	27	157	42	2:20:16	2018 アブダビ	2:20:16
56	シュレ・デミセ	DEMISE, Shure	ETH	エチオピア	23	159	45	2:22:07	2018 東京	2:20:59
57	ベダトゥ・ヒルパ	HIRPA, Bedatu	ETH	エチオピア	19	155	42	2:21:32	2018 フランクフルト	2:21:32
58	ミミ・ベレテ	BELETE, Mimi	BRN	バーレーン	30	164	62	2:22:29	2018 トロント	2:22:29
59	ヘレン・トラ	TOLA, Helen	ETH	エチオピア	24	169	48	2:22:48	2018 ベルリン	2:22:48
60	ローズ・チェリモ	CHELIMO, Rose	BRN	バーレーン	29	163	45	2:22:51	2017 ボストン	2:22:51
61	ルース・チェビトク	CHEBITOK, Ruth	KEN	ケニア	28	160	37	2:23:29	2018 トロント	2:23:29
62	ジョーンチェリモ・メリー	MELLY, Joan Chelimo	KEN	ケニア	28	170	51	1:05:04	2018 ブラハハーフ	1:05:04
71	前田 穂南	MAEDA, Honami	岡山	天満屋	22	166	43	2:23:48	2018 大阪国際女子	2:23:48
72	高島 由香	TAKASHIMA, Yuka	東京	資生堂	30	153	40	2:26:13	2018 パリ	2:26:13
73	野上 恵子	NOGAMI, Keiko	長崎	十八銀行	33	160	45	2:26:33	2018 名古屋ウィメンズ	2:26:33
74	一山 麻緒	ICHIYAMA, Mao	京都	ワコール	21	158	43	1:09:14	2017 山陽女子ロード	1:09:14
301	安藤 友香	ANDO, Yuka	静岡	スズキ浜松AC	24	161	45	2:21:36	2017 名古屋ウィメンズ	2:21:36
302	清田 真央	KIYOTA, Mao	静岡	スズキ浜松AC	25	155	42	2:23:47	2017 名古屋ウィメンズ	2:23:47
303	吉田 香織	YOSHIDA, Kaori	埼玉	TEAM RxL	37	155	42	2:28:24	2017 名古屋ウィメンズ	2:28:24
304	土井 友里永	DOI, Yurie	千葉	千葉陸協	30	164	56	2:29:49	2018 名古屋ウィメンズ	2:29:49
305	吉富 博子	YOSHITOMI, Hiroko	佐賀	メモリード	35	155	45	2:30:09	2018 福岡	2:30:09
306	松見 早希子	MATSUMI, Sakiko	東京	Go up	30	160	46	2:32:09	2016 名古屋ウィメンズ	2:32:09
307	山口 遥	YAMAGUCHI, Haruka	東京	AC・KITA	31	167	51	2:34:12	2018 大阪	2:34:12
308	木下 裕美子	KINOSHITA, Yumiko	東京	東京陸協	32	154	42	2:34:38	2017 大阪	2:34:38
309	坂本 喜子	SAKAMOTO, Yoshiko	三重	team F.O.R	39	152	39	2:35:40	2018 東京	2:35:40
310	澤島 朋美	SAWAHATA, Tomomi	埼玉	埼玉陸協	26	152	38	2:36:13	2018 水戸	2:35:58
311	鈴木 千晴	SUZUKI, Chiharu	茨城	日立	25	168	50	2:36:32	2018 名古屋ウィメンズ	2:36:32
312	内山 真由美	UCHIYAMA, Mayumi	埼玉	埼玉陸協	26	150	43	2:39:42	2018 大阪	2:39:42
313	鈴木 莉紗	SUZUKI, Risa	東京	SBIRC	34	165	51	2:39:57	2016 東京	2:39:57
314	永岡 真衣	NAGAOKA, Mai	兵庫	シスメックス	25	159	47	2:41:15	2017 北海道	2:41:15
315	里中 志帆	SATONAKA, Shiho	東京	GRIab関東	29	153	42	2:41:38	2018 水戸	2:41:38
316	廣瀬 光子	HIROSE, Mitsuko	東京	東京WINGS	44	159	49	2:41:51	2017 東京	2:30:27
317	丹野 久美子	TANNO, Kumiko	千葉	千葉陸協	30	162	48	2:41:57	2017 東京	2:41:57
318	田中 百子	TANAKA, Momoko	東京	NTTドコモ	32	155	42	2:42:09	2018 東京	2:42:09
319	綾部 しのぶ	AYABE, Shinobu	東京	DreamAC	39	166	48	2:42:31	2018 東京	2:42:31
320	中島 みなみ	NAKASHIMA, Minami	大阪	関西外国語大学	22	158	44	2:43:16	2018 東京	2:43:16
321	松本 恭子	MATSUMOTO, Kyoko	千葉	千葉陸協	48	158	43	2:43:21	2017 東京	2:43:21
322	藤山 あや香	FUJIYAMA, Ayaka	大阪	大阪長居AC	33	154	44	2:43:57	2017 大阪	2:43:57
323	母原 早希江	MOHARA, Sakie	東京	東京陸協	32	161	48	2:44:00	2016 東京	2:41:27
324	藤澤 舞	FUJISAWA, Mai	北海道	札幌エクセルAC	44	159	46	2:44:20	2018 洞爺湖	2:44:20
325	小柳 由香	KOYANAGI, Yuka	長崎	長崎市陸協	45	154	43	2:44:28	2017 東京	2:44:28
326	安川 沙弥香	YASUKAWA, Sayaka	石川	Awake	36	157	47	2:44:40	2018 東京	2:44:40
327	水清田 有紀	MIZUSEDA, Yuki	千葉	千葉陸協	29	150	41	2:44:45	2018 東京	2:44:45
328	屈旨盈	VUT, Tsz Ying	HKG	香港	29	160	48		日本陸連推薦	

エリート募集要項

》ATHLETES《

Elite Race Information

※大会名称などその他の情報▶P6-7

特 別 協 賛	東京地下鉄株式会社
参 加 資 格	<p>(1)次の①・②・③の条件を満たす競技者</p> <p>① 2018年度日本陸上競技連盟登録競技者</p> <p>② 2019年3月3日現在満19歳以上の者</p> <p>③国内外の公認競技会で2016年2月1日以降申込期日までに下記の公認記録を出した者</p> <p>男子マラソン2時間21分以内、ハーフマラソン1時間01分00秒以内、10000m28分00秒以内</p> <p>女子マラソン2時間52分以内、ハーフマラソン1時間11分00秒以内、10000m32分00秒以内</p> <p>(2)日本陸上競技連盟が推薦する男女競技者</p> <p>(3)日本陸上競技連盟が招待する外国・国内男女競技者</p>
競 技 規 則	<p>国際陸上競技連盟 (IAAF) 並びに日本陸上競技連盟規則及び本大会規定による。</p> <p>なお本大会は、IAAF が認定するゴールドラベルレースであるので、IAAF Road Race Label Regulations (IAAF ロードレースラベリング規定) も適用される。</p>
定 員	男女計100人※定員を超えた場合は、準エリートカテゴリーからの出走となることがある。
参 加 料	10,800円
参 加 申 込	<p>(1)期間 2018年12月10日(月)から2019年1月8日(火)17:00 必着</p> <p>(2)方法 氏名、フリガナ、生年月日、所属名を記載し、elite2019@tokyo42195.org へ「エリート参加希望」というタイトルで電子メールにより連絡すること。追ってエントリーフォームを返信する。</p>
出 場 者 決 定	1月21日(月)以降、参加案内、ナンバーカード引換証とともに出場決定通知を送付する。
表 彰	「東京マラソン2019」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。
賞 金	<p>1位 11,000,000 円、2 位 4,000,000 円、3 位 2,000,000 円、4 位 1,000,000 円、5 位 750,000 円、6 位 500,000 円、7 位 400,000 円、8 位 300,000 円、9 位 200,000 円、10 位 100,000 円</p> <p>世界記録 30,000,000 円 (男女1位のみ)</p> <p>日本記録 5,000,000 円 (男女国内1位のみ)</p> <p>大会記録 3,000,000 円 (男女1位のみ)</p> <p>※1 位賞金については、賞金と副賞を一本化。</p> <p>※金額はいずれも税込み。</p>
選 手 受 付	<p>3月2日(土)13:00 ~ 16:00 京王プラザホテル (大会当日は、受付を行わない。)</p> <p>※エリート選手は、大会前のドーピング検査の対象となる場合があることから、受付は選手本人が行うこと。</p>
テクニカルミーティング	3月2日(土)16:00 ~ 京王プラザホテル
スペシャルドリンク受 付	<p>※希望者のみ 3月3日(日) 6:00 ~ 7:00 京王プラザホテル</p> <p>※容器は各自で準備のこと (装飾物を含めたサイズ:直径8cm、高さ35cm まで)</p> <p>※スペシャルドリンクテーブルは、一定時間経過後撤去する。</p>
個 人 情 報 の 取 り 扱 い に つ い て	<p>主催者及び日本陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者及び日本陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。</p>
そ の 他	<p>(1)主催者の責によらない事由で大会を中止した場合、参加料の返金は一切行わない。</p> <p>(2)主催者による健康検査は行わない。各自の責任において最良の健康状態で参加すること。</p> <p>(3)競技者が大会参加中に被った傷害または疾病に対しては、応急処置まで行う。</p> <p>(4)ドーピングコントロール</p> <p>国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。</p> <p>(5)TUE 申請</p> <p>禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は治療使用特例(TUE)の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(http://www.playtruejapan.org/)を確認すること。</p> <p>(6)大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。</p> <p>(7)賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。</p> <p>(8)本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。</p>

海外招待選手 男子

ATHLETES

No.
01

ケネニサ・ベケレ (エチオピア)

BEKELE, Kenenisa (ETH)



DOB : 13 Jun 1982
AGE : 36
Height : 162cm
Weight : 57kg

Personal Bests

5000m	12:37.35	- 2004
10000m	26:17.53	- 2005
Half Marathon	60:09	- 2013
Marathon	2:03:03	- 2016

International Championships Highlights

World Cross Country Championships	
Long:	1st in 2002 - 2006, 2008
3000m	
1st in 2006 World Indoor	
5000m	
1st in 2008 Olympics; 1st in 2009 World Championships	
10000m	
1st in 2004 & 2008 Olympics; 1st in 2003, 2005, 2007, and 2009 World Championships	

	World Cross Country Champ		Track & Road					
			Championships		Progression			
	Short	Long	5000m	10000m	5000m	10000m	Half	Marathon
2003	1st	1st	3rd WC	1st WC	12:52.26	27:49.57		
2004	1st	1st	2nd OG	1st OG	12:37.35	26:20.31		
2005	1st	1st		1st WC	12:40.18	26:17.53		
2007				1st WC	12:49.53	26:46.19		
2008		1st	1st OG	1st OG	12:50.18	26:25.97		
2009			1st WC	1st WC	12:52.32	26:46.31		
2012				4th OG	12:55.79	27:02.59		
2013					13:07.88	27:12.08	60:09	
2014								2:05:04
2016								2:03:03
2017								2:05:57
2018								2:08:53

Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	DNF	Amsterdam	DNF	21 Oct 2018
	2:08:53	London	6th	22 Apr 2018
	DNF	Berlin	DNF	24 Sept 2017
	2:05:57	London	2nd	23 Apr 2017
	DNF	Dubai	DNF	20 Jan 2017
Personal Best	2:03:03	Berlin	1st	25 Sept 2016
	2:06:36	London	3rd	26 Apr 2016
	DNF	Dubai	DNF	23 Jan 2015
	2:05:51	Chicago	4th	12 Oct 2014
(Debut)	2:05:04	Paris	1st	6 Apr 2014

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	DNF	DNF(41km)
22 Apr	London Marathon	Marathon	6th	2:08:53

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
17 Dec	Kolkata 25k	25km	1st	1:13:48
24 Sept	Berlin Marathon	Marathon	DNF	DNF
23 Apr	London Marathon	Marathon	2nd	2:05:57
20 Jan	Dubai Marathon	Marathon	DNF	DNF

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Sept	Berlin Marathon	Marathon	1st	2:03:03
26 Apr	London Marathon	Marathon	3rd	2:06:36

In the Olympic Games and the World Championships, Kenenisa Bekele won six gold medals at 10000m and two gold medals at 5000m. He also won both the long and short races in the World Cross Country Championships, five straight years since 2002. That is not all. In 2004 Kenenisa set the world records at both 5000m and 10000m. In the following year, he improved his 10000m world record again. These records still stand after 15 years. Kenenisa Bekele is one of the greatest distance runners in history.

He had nothing more to prove at track and cross country, and thus Kenenisa moved up to the marathon in 2014. He decided to make his marathon debut in the Paris Marathon, and won with the course record of 2:05:04, one and a half minutes ahead of the second place. He was happy with his performance, which was the sixth fastest marathon debut time over the record eligible course. His second marathon in Chicago was awaited with much anticipation. However, not only he failed to win in Chicago, but his time was slower than his debut time. After DNF at the 2015 Dubai marathon, he decided to run the 2016 London Marathon. The result was the slowest time of his marathon career. It was at the 2016 Berlin Marathon where he finally fulfilled his marathon potential. Although he fell behind Wilson Kipsang, former world record holder, at one point in the race, Kenenisa came back with a vengeance and won with 2:03:03, mere six seconds behind the world record at the time. But unfortunately, he failed to finish three of the next five marathon starts. Furthermore, he did not break 2:05 in any of those marathons. It will be great to see Kenenisa break his personal best again in Tokyo. Incidentally, the fastest marathon by runner over 35 years old is 2:05:27 by Jaoud Gharib, which was recorded in the 2009 London Marathon. We hope for 36 years old Kenenisa to reach that record.

世界選手権と五輪の10000mで6回優勝、5000mでも2回優勝したケネニサ・ベケレは、世界クロスカントリー選手権でもショートとロングの両種目を2002年から5連覇している。それだけではない。ベケレは2004年には5000mと10000mの世界記録を樹立、そして翌2005年にはその10000mの世界記録を再び更新した。それらの世界記録は15年近く経った今でも破られていない。ベケレは陸上の歴史上最も偉大なランナーの一人である。

トラックとクロスカントリーで頂点に立ったベケレは、2014年、満を持してマラソンに進出した。初マラソンとして選んだパリマラソンで、2位に1分半以上の大差をつけて2時間05分04秒の大会記録で優勝した。標準コースでの初マラソンでは当時歴代6位となる、本人も満足する結果だった。故にベケレの2回目のシカゴマラソンは大きな期待を集めた。しかし、優勝を逃しただけでなくタイムも初マラソンのタイムに届かなかった。4回目のマラソンは2016年のロンドンマラソンだったが、タイムは更に遅い2時間6分台に終わっている。ベケレがようやくトラックでの実力に見合うタイムを出したのは5回目のマラソンとなった2016年ベルリンマラソンである。2013年に世界記録を樹立したウィルソン・キプサングから遅れる場面もあったが、やがて追いつき、追い抜き、当時の世界記録に6秒と迫る2時間03分03秒で優勝したのだ。ついに超一流のマラソンランナーになったかに思われたが、その後走ったマラソン5大会のうち3大会で途中棄権しており、一度も2時間5分を切れていない。東京ではもう一度自己ベストを更新したいところだ。36歳以上のランナーによるマラソンの最速記録は、ジャウド・ガリブが2009年のロンドンマラソンで記録した2時間05分27秒だ。現在36歳のベケレにはぜひともそのタイムをクリアしてほしい。

No.
02

マリウス・キプセレム (ケニア)

KIPSEREM, Marius (KEN)



DOB : 17 Mar 1988
 AGE : 30
 Height : 170cm
 Weight : 55kg

►Personal Bests

Half Marathon	62:17	-2013
Marathon	2:06:11	-2016

►Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018				2:07:22
2017				2:06:43
2016			1:02:20	2:06:11
2015				2:09:21
2014				2:10:56
2013			1:02:17	2:09:50

►Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:04:04**	Abu Dhabi	1st	7 Dec 2018
	2:07:22	Rotterdam	5th	8 Apr 2018
	2:06:43	Eindhoven	3rd	8 Oct 2017
	2:13:53	Tokyo	23rd	26 Feb 2017
	2:08:00	Eindhoven	2nd	9 Oct 2016
Personal Best	2:06:11	Rotterdam	1st	10 Apr 2016
	2:09:21	Hefei	1st	25 Oct 2015
	2:10:02	Guiyang	1st	5 July 2015
	2:10:58	Nice-Cannes	4th	9 Nov 2014
	2:10:56	Cancale to Mont St Michel	1st	25 May 2014
	2:10:09	Chunchon	4th	27 Oct 2013
	2:09:50	Milano	3rd	7 Apr 2013
	2:13:49	Chunchon	5th	28 Oct 2012
	2:13:02	Brescia	1st	11 Mar 2012
	2:18:51	Kapsabet to Eldoret	10	20 Nov 2011

** not recognized yet

►2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Abu Dhabi Marathon	Marathon	1st	2:04:04**
8 Apr	Marathon Rotterdam	Marathon	5th	2:07:22

►2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
8 Oct	Marathon Eindhoven	Marathon	3rd	2:06:43
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	23rd	2:13:53

►2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Marathon Eindhoven	Marathon	2nd	2:08:00
31 July	Media Maraton Internacional Bogota	Half marathon	2nd	1:05:31
10 Apr	NM Marathon Rotterdam	Marathon	1st	2:06:11
14 Feb	Marathon Eiffage de l'Autoroute de Dakar	Half Marathon	1st	1:02:20

The first edition of the Abu Dhabi Marathon was held over the flat and fast course and several world class runners started the race. After the pack of three runners passed 30km point with 1:28:42, in the final stage of the race, Kipserelem surged ahead of the world half marathon record holder Abraham Kiptum and won the race with 2:04:04, which was a huge personal best.

In 2011 Kipserelem made his marathon debut in Kenya but his time 2:18:51 was not impressive, despite the high altitude. Two marathons he ran in 2012 were in 2:13 range, which was mediocre at best. He finally recorded a respectable time, 2:09:50, in Milano Marathon in April of 2013. He was third with first sub-2:10 clocking. However, his next four marathons were over 2:10, string of mediocre performances at best. He finally improved his best in the 2010 Hefei Marathon in October in China. He improved his best by 30 seconds to 2:09:21. However, time was far from the world class. In the 2016 Rotterdam Marathon, Kipserelem surged ahead of a debutante Solomon Diksisa in the closing stage of the race and won with 2:06:11, over three minutes improvement of his personal best. It was a real breakthrough race for Kipserelem. On the next five marathons, Kipserelem recorded a streak of 2:06 to 2:08 marathon, except for 2:13 performance in the Tokyo Marathon 2017. Can Kipserelem run 2:04 marathon expected of him in Tokyo?

2018年12月、第1回アブダビマラソンが強豪をそろえて平坦な高速コースで開催された。3人の先頭集団が30kmを1時間28分42秒で通過した後、マリウス・キプセレムが最終盤で、ハーフマラソン世界記録保持者のアブラハム・キプツムを振り切り2時間04分04秒の大幅な自己ベストで優勝した。2011年にケニアで初マラソンを走ったキプセレムのタイムは2時間18分51秒。高地だったことを考慮しても注目に値しない記録だった。翌2012年に走った2回のマラソンはいずれも2時間13分台の平凡なタイムに終わった。ようやくマラソンランナーと言えるタイムを出したのは2013年4月のミラノマラソンだ。初めて2時間10分の壁を破る2時間09分50秒で3位に入ったのである。しかし、その後走った4回のマラソンはいずれも2時間10分台の平凡な記録に終わっている。そのキプセレムがようやく自己ベストを更新したのが2015年10月に中国で行われた合肥マラソンである。自己ベストを約30秒更新する2時間09分21秒で優勝したが、まだ注目される選手ではなかった。2016年ロッテルダムマラソンで、終盤に初マラソンのソロモン・デクシサを振り切り、自己ベストを3分更新する2時間06分11秒で優勝して以来、一段階上のレベルのマラソンランナーとして認められた。その後5回のマラソンでは、東京マラソン2017で2時間13分台の23位に終わった以外は2時間6分から8分台と好タイムを連発している。東京マラソンでは本当の2時間4分台が期待される。

海外招待選手 男子

ATHLETES

No.
03

ビルハヌ・レゲセ (エチオピア)

LEGESE, Birhanu (ETH)



DOB : 11 Sep 1994
AGE : 24
Height : 168cm
Weight : 55kg

Personal Bests

5000m	13:08.88	-2014
Half Marathon	59:20	-2015
Marathon	2:04:15	-2018

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018		/28:18		2:04:15
2017	13:24.89	/28:36	59:46	
2016	13:31.67		1:00:40	

Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:08:41	Chicago	10th	7 Oct 2018
Personal Best	2:04:15	Dubai	6th	26 Jan 2018

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Dec	Kolkata 25K	25km	1st	1:15:48
7 Oct	Chicago Marathon	Marathon	10th	2:08:41
27 May	TCS World 10K - Bengaluru	10km	2nd	28:18
26 Jan	Dubai Marathon	Marathon	6th	2:04:15

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
19 Nov	AirTel Delhi Half Marathon - New Delhi	Half Marathon	1st	59:46
17 Sept	Dam tot Damloop - Amsterdam to Zaandam	10miles	1st	45:38
24 Aug	Weltklasse Zurich	5000m	9th	13:24.89

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Sept	Kobenhavn Half Marathon	Half Marathon	DNF	DNF
12 Feb	RAK Half Marathon	Half Marathon	1st	1:00:40

Birhanu Legese made his marathon debut in the 2018 Dubai Marathon and recorded 2:04:15, third fastest debut marathon in history over the standard course. Although he was only sixth, Legese was only 15 seconds behind the winner Mosinet Geremew. Legese finished one place ahead of Seyfu Tura who will be running in Tokyo. His 5000m personal best is 13:08.88, quite an impressive clocking for marathon runner.

In March of 2015 he made a half marathon debut in Berlin, and won with 59:45, relegating Abraham Cheroben. Legese cracked 60 minutes for half marathon, a hallmark of world class runner. Eight months later in November of the same year, he won the Delhi Half Marathon with 59:20. In the process, Legese defeated Zersenay Tadese, the world record holder at the time, and improved his personal best by 25 seconds. In February of 2016, Legese won the famed RAK Half Marathon. Although his winning time was over 60 minutes, victory at the world premier half marathon is more important. In November of 2017, he ran Delhi Half Marathon again and won with 59:46, his third 59 minutes clocking. He is now a world class half marathon runner. In January of 2018, he made his marathon debut and recorded the 15th fastest marathon time in history, at the time. It was also the fastest marathon by runner under 24 years of age. Naturally, his second marathon in Chicago was awaited with much anticipation but 10th place finish with 2:08:41 was not what was expected of him. However, in December, he won Kolkata 25km road race. He will be running his third marathon in Tokyo.

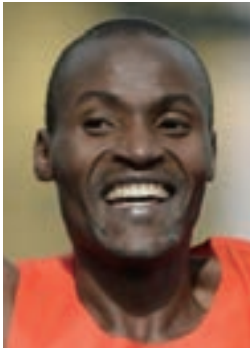
2018年ドバイマラソンで初マラソンに挑み、標準コースでの初マラソン歴代3位となる2時間04分15秒の素晴らしいタイムをたたき出したのがエチオピアのビルハヌ・レゲセである。優勝したモジネット・ゲレミュから15秒遅れの6位だったが、今回東京マラソンを走るセイフ・トゥラよりひとつ上の順位でフィニッシュした。5000mの自己ベストはマラソンランナーとしては一流の13分08秒88。

2015年3月にはベルリンで初ハーフマラソンに挑戦し、58分台の自己ベストを持つアブラハム・チェロベンらを破り59分45秒で優勝した。いきなり一流ランナーの証でもある60分を切ったのだ。8ヵ月後の11月にはデリーハーフマラソンを走り、当時世界記録保持者だったゼルセナイ・タデッセを破り59分20秒で優勝した。自己ベストを25秒更新したのである。翌2016年にはハーフマラソンでは最高峰の大会との評判が高いアラブ首長国連邦のRAK(ラスアルハイマ)ハーフマラソンで勝利をもぎ取った。タイムは60分台だったが、世界中から多くの強豪が集まる大会で優勝したことは大きい。そして2017年11月には再びデリーハーフマラソンで3度目の59分台を記録して優勝、ハーフマラソンでは第一人者といえるランナーに成長した。2018年1月、満を持してドバイで初マラソンに挑戦、当時歴代15位のタイムを出した。その記録は23歳以下としては最速だったのである。当然2度目のマラソンとなったシカゴマラソンは大きな期待を集めたが、2時間08分41秒で10位という残念な結果となった。しかし12月にはインドのコルカタ(旧カルカッタ)での25kmレースで優勝して、東京で3度目のマラソンに挑む。

No.
04

ディクソン・チュンバ (ケニア)

CHUMBA, Dickson (KEN)



DOB : 27 Oct 1986
AGE : 32
Height : 167cm
Weight : 50kg

▶ Personal Bests

Half Marathon	1:00:39	-2014
Marathon	2:04:32	-2014

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018			1:05:23	2:05:30
2017				2:06:25
2016			1:02:12	2:07:34

▶ Marathon career (last 14 marathons out of career total of 22)

	Time	Race	Place	Date
	DNF	Chicago	DNF	7 Oct 2018
	2:05:30	Tokyo	1st	25 Feb 2018
	2:09:11	Toronto	2nd	22 Oct 2017
	2:06:25	Tokyo	3rd	26 Feb 2017
	2:11:26	Chicago	2nd	9 Oct 2016
	2:07:34	Tokyo	3rd	28 Feb 2016
	2:09:25	Chicago	1st	11 Oct 2015
	2:06:34	Tokyo	3rd	22 Feb 2015
Personal Best	2:04:32	Chicago	3rd	12 Oct 2014
	2:05:42	Tokyo	1st	23 Feb 2014
	2:10:15	Amsterdam	8th	20 Oct 2013
	2:14:08	Boston	7th	15 Apr 2013
	DNF	Xiamen	DNF	5 Jan 2013
	2:05:46	Eindhoven	1st	14 Oct 2012

▶ 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Oct	Chicago Marathon	Marathon	DNF	DNF
29 July	Media Marathon International Bogota	Half Marathon	3rd	1:05:23
25 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	1st	2:05:30

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
22 Oct	Toronto Waterfront Marathon	Marathon	2nd	2:09:11
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:06:25

▶ 2016 Result

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Chicago Marathon	Marathon	2nd	2:11:26
24 Apr	Yangzho Jianzhen International Half Marathon	Half Marathon	10th	1:02:12
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	3rd	2:07:34

Last year, Dickson Chumba won the Tokyo Marathon 2018 with the second fastest time in Tokyo. He became the first runner to win the Tokyo Marathon twice. In his last ten marathons, except for one DNF, he always finished in the top three. As for the Tokyo Marathon, Chumba finished top three for five consecutive years since 2014 and he won in 2014 with 2:05:42. In the 2014 Chicago Marathon, he recorded 2:04:32, which is still his personal best. It was also 17th fastest time in history at the time.

Chumba made his marathon debut in 2010 at the Madrid Marathon and finished second in 2:11:54. He cracked 2:10 in his next marathon in the fall of 2010 at Carpi when he recorded a personal best of 2:09:20. However, he was again second. He finally won the marathon in March of 2011 in Roma when he recorded a personal best of 2:08:45. Although Chumba dropped out of his following marathon in Chicago after 35Km, he ran in Frankfurt Marathon three weeks later and improved his personal best by more than a minute to 2:07:23. In 2012, Chumba ran three marathons. Although he dropped out of the Boston Marathon after 25Km in April, in October he won the Eindhoven Marathon with a huge personal best of 2:05:46. Of the six marathons he ran in 2011 and 2012, except for two DNF, Chumba always cracked 2:09. However, 2013 was a dismal season for Chumba. After failing to finish the Xiamen Marathon in January, Chumba was seventh with 2:14:08 in Boston and eighth with 2:10:15 in the Amsterdam Marathon. In contrast, Chumba's 2014 season was superb, for he improved his personal best twice in 2014. Later, Chumba won the 2015 Chicago Marathon and the Tokyo Marathon 2018. In the 12-year history of the Tokyo Marathon, no men or women has won back to back. If Chumba wins this year, he will be the first defending champion to defend his crown in Tokyo.

昨年東京マラソン歴代2位のタイムで優勝し、初めて同マラソンを2回制したディクソン・チュンバは、過去10回のマラソンでは1回の途中棄権を除き全て3位以内でフィニッシュしている。東京マラソンでは、2014年から5大会連続で3位以内を確保。2014年には東京マラソンを大会記録2時間05分42秒で制し、シカゴマラソンでは現在でも自己ベストである2時間04分32秒を記録している。これは当時世界歴代17位のタイムだった。

2010年マドリードマラソンで初マラソンに挑んだチュンバは、2時間11分54秒で2位とまずまずの成績を残した。その半年後の秋、チュンバはイタリア・カルピでマラソンを走り、初めての2時間10分切りとなる2時間09分20秒と自己ベストを更新したが、再び2位に終わった。2011年3月にはローマで自己ベストを2時間08分45秒まで伸ばし、マラソンで初勝利。次戦のシカゴでは35km過ぎに棄権したが、その3週間後にはフランクフルトマラソンを走り、2時間07分23秒と自己ベストを1分以上も更新している。チュンバは2012年に3回マラソンを走った。4月のボストンでは25km過ぎに棄権したが、10月にはオランダ・アインホーフェンマラソンで自己ベストを大幅に更新する2時間05分46秒で制している。しかし翌年は低迷し、1月のアモイマラソンは棄権、4月のボストンマラソンでは2時間14分08秒で7位、そして10月のアムステルダムマラソンでは2時間10分15秒で8位に終わった。一転、2014年には自己ベストを2度更新するキャリアにとって最高の年となった。その後2015年シカゴマラソンと東京マラソン2018で優勝している。過去12回の東京マラソンでは、男女とも連覇した選手はいない。昨年初めて東京マラソンの複数回優勝をなしとげたチュンバが今年も勝てば東京マラソンで初めての連覇となる。

海外招待選手 男子

ATHLETES

No. 05 エルハサン・エルアバシ (バーレーン) EI ABBASSI, EI Hassan (BRN)



DOB : 13 Apr 1984
AGE : 34
Height : 170cm
Weight : 52kg

Personal Bests

10000m	27:25.2	-2015
Half Marathon	59:27	-2018
Marathon	2:04:43	-2018

International Championships Highlights

World Cross Country Championships	15th in 2015
10000m	
12th in 2015 World Championships;	
26th in Olympic Games	
Marathon	
2nd in the 2018 Asian Games	

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018		27:49.46	59:27	2:04:43
2017		27:49.46	1:01:31	2:10:57
2016	13:19.36	27:49.29/28:30	1:02:16	

Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:04:43	Valencia	2nd	2 Dec 2018
	2:18:22	Asian Games – Jakarta	2nd	25 Aug 2018
	2:10:57	Lisboa	2nd	15 Oct 2017
	2:22:59	Lake Biwa – Otsu	56th	5 Mar 2017

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Dec	Maraton Valencia	Marathon	2nd	2:04:43
28 Oct	Medio Maraton Valencia	Half Marathon	7th	59:27
25 Aug	Asian Games – Jakarta	Marathon	2nd	2:18:22
24 June	Semi – Marathon de Casablanca	Half Marathon	1st	59:58
1 Apr	Semi Marathon international de Berkane	Half Marathon	1st	1:01:57
24 Mar	World Half Marathon Championships – Valencia	Half Marathon	21st	1:01:41
25 Feb	Riyadh Half Marathon	Half Marathon	10th	1:03:01
7 Jan	Safi Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:03:03

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Oct	Grand International Half Marathon – Casablanca	Half Marathon	4th	1:01:40
15 Oct	Rock n Roll Lisbon Marathon	Marathon	2nd	2:10:57
30 July	Media Maraton International Bogota	Half Marathon	6th	1:06:21
2 Apr	Semi – Marathon de Berkane	Half Marathon	1st	1:01:31
5 Mar	Lake Biwa Marathon	Marathon	56th	2:22:59

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
13 Aug	Olympic Games – Rio de Janeiro	10000m	26th	28:20.17
31 Jan	Marraech half Marthon	Half Marathon	3rd	1:02:16

El Hassan El Abbassi, who has changed his nationality from Morocco to Bahrain in 2013, won the 10000m in the 2014 Asian Games defeating Suguru Osako. Four years later, in the 2018 Asian Games Marathon, after a titanic battle with Hiroto Inoue all the way to the home-straight, El Abbassi finished second.

El Abbassi started as a middle distance runner in Morocco but he extended his distance, and achieved his status as a long distance runner. In 2013, he recorded 27:37 in the 10km road race, and in 2014 he recorded 27:32.96 at 10000m. In 2015 he improved his 10000m personal best to 27:25.02. In the same year, he won the 10000m in the Asian Championships. He was 12th at 10000m in the 2015 World Championships in Beijing. Another year later in the 2016 Olympic Games, El Abbassi was only 26th, only 40 seconds behind Osaka who finished 17th. His marathon debut was at the 2017 Lake Biwa Marathon. He passed the halfway point in 1:03:30, not far behind the leaders. However, he hit the wall and slowed down, finishing dismal 56th with 2:22:59. In his second marathon in Lisbon, in October of 2017, El Abbassi finished second with 2:10:57, six second behind the winner Ishmael Bushendich.

He joined the rank of world class marathon runner in 2018. In October's Valencia Half Marathon, he recorded 59:27, which improved his half marathon personal best by more than one and half minute. It was his first sub-60 minutes half marathon of his career. Then in December, at the Valencia Marathon, he was second with the Asian record of 2:04:43, only 12 seconds behind 2:04 runner Leul Gebrselassie. This year's Tokyo Marathon will feature the clash between the current Asian marathon record holder, El Abbassi, and the former Asian marathon record holder Suguru Osako. Will the new Asian Marathon record take place in Japan?

2013年にモロッコからバーレーンに国籍変更したエルハサン・エルアバシは翌年アジア大会の10000mで大迫傑を破って金メダルを獲得。その4年後の2018年アジア大会のマラソンでは井上大仁とホームストレートまで大接戦を繰り広げたが2位に終わった。

モロッコで中距離ランナーとしてスタートしたエルアバシは、距離を延ばすことで一流ランナーの仲間入りを果たした。2013年には10kmのロードレースで27分37秒を記録、トラックの10000mでも2014年に27分32秒96、2015年には27分25秒02を記録している。同年アジア選手権の10000mで優勝、北京で行われた世界選手権の10000mでも12位に入った。翌2016年にはリオ五輪で10000mを走り26位に沈み、17位だった大迫より40秒も遅れてフィニッシュした。エルアバシの初マラソンは招待選手として出場した2017年びわ湖毎日マラソンだった。ハーフ地点を1時間03分30秒で通過するまでは先頭が見える位置で走っていたが、その後大失速し、2時間22分59秒で56位だった。2017年10月、2回目のマラソンとなったリスボンマラソンでは、優勝したケニアの選手から6秒遅れの2時間10分57秒で2位だった。

彼が超一流ランナーの仲間入りを果たしたのは2018年のことである。10月のバレンシアハーフマラソンで初めての60分切りとなる59分27秒とそれまでの自己ベストを1分半以上更新した。そして12月のバレンシアマラソンでは2時間4分ランナーのレウル・ゲブレシラシェから12秒遅れの2時間04分43秒のアジア記録を出し、2位に入っている。今回の東京マラソンでは現アジアマラソン記録保持者のエルアバシと元記録保持者の大迫の対決となるが、新たなアジア記録が日本で誕生するだろうか？

No.
06

セイフ・トゥラ (エチオピア)

TURA, Seifu (ETH)



DOB : 19 Jun 1997
 AGE : 21
 Height : 175cm
 Weight : 60kg

▶ Personal Bests

Half Marathon	60:41	-2018
Marathon	2:04:44	-2018

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018			1:00:41	2:04:44
2017		/29:52	1:02:58	2:09:26
2016	13:48.57	/29:05		

▶ Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:09:18	Shanghai	1st	18 Nov 2018
	2:09:04	Milano	1st	8 Apr 2018
Personal Best	2:04:44	Dubai	7th	26 Jan 2018
	2:09:26	Seoul	2nd	5 Nov 2017

▶ 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Nov	Shanghai Marathon	Marathon	1st	2:09:18
14 Oct	Santander Totta Half Marathon - Lisboa	Half Marathon	2nd	1:00:41
8 Apr	Milano City Marathon	Marathon	1st	2:09:04
26 Jan	Dubai Marathon	Marathon	7th	2:04:44

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
5 Nov	Joong Ang Seoul Marathon	Marathon	2nd	2:09:26
24 Sept	Incheon Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:02:58

Seyfu Tura recorded 2:04:44 at the 2018 Dubai Marathon in January and became the 27th fastest marathon runner at the time. Later he ran the Milano Marathon in April and Shanghai Marathon in November. He won both races with 2:09 clocking. In Shanghai, he sprinted away from Tsegaye Mekonnen, who recorded 2:04 marathon twice. Incidentally, Mekonnen was 20th in the last year's Tokyo Marathon. That is not all. In October, in Lisboa, Tura recorded the half marathon best of 1:00:41.

Tura mostly ran track, cross country and shorter road races initially. At these events, he was a mediocre runner with the best of 7:52.04 in 3000m and 13:27.70 in 5000m. Tura made a half marathon debut in September of 2017 at Incheon, Korea. He was second with 1:02:58. Eight weeks later in November, he ventured into the marathon in Seoul and finished second with 2:09:26. The time corresponds to sixth fastest debut marathon for Japanese runner, however, it was not an impressive debut in the world standard.

Tura moved up to another level in the Dubai Marathon where load of world class times is recorded many times. He improved his marathon best by nearly five minutes and became bona fide world class runner. After Dubai, he won both Milano and Shanghai. Tura is still 21 years old and he could move up to another level yet. Ethiopian runner won the Tokyo Marathon three times in the last twelve years. Furthermore, fastest time by Ethiopian in the Tokyo Marathon is 2:05:57. This will be the chance for Tura to become the fourth Ethiopian to win Tokyo and to surpass the Ethiopian time record.

2018年1月のドバイマラソンで2時間04分44秒のタイムをたたきだして当時歴代27番目に速いランナーとなったエチオピアのセイフ・トゥラは、その後4月にミラノマラソン、そして11月には上海マラソンを走った。両レースともタイムは2時間9分台だったが、見事優勝している。特に上海では2時間4分台を2度出したツェガエ・メコネン(昨年の東京マラソンで20位)をラスト・スパートでくだしている。それだけではない。10月にはリスボンで行われたハーフマラソンで1時間00分41秒の自己ベストを出している。

最初はトラック、クロスカントリーそして短い距離のロードレースを走っていたトゥラは、2015年に3000mで7分52秒04、5000mで13分27秒70を記録するような中堅レベルのランナーであった。そのトゥラは2017年9月に韓国の任川で初めてのハーフマラソンに挑戦、1時間02分58秒で2位に入っている。特筆するようなタイムではなかったが、その6週間後の11月にはソウルで初マラソンに挑戦している。結果は2時間09分26秒で2位だった。このタイムは日本選手なら初マラソン歴代6位と将来を期待されるタイムだったが、世界的には注目されるようなデビュー戦ではなかった。

そのトゥラが大化けしたのが、冒頭に記した、毎年速いタイムが続出するドバイマラソン。自己ベストを5分近く縮めて、一流のマラソンランナーの仲間入りを果たした。その後のマラソンでも2連勝している。まだ21歳のトゥラ、これからもう一段階上のレベルの選手になることが期待される。これまで12回開催された東京マラソンではエチオピアの選手が3回優勝している。しかしエチオピア選手による東京マラソンでの最速のタイムは2時間05分57秒に過ぎない。トゥラにはエチオピア選手による4回目の優勝と、エチオピア選手最速のタイムが期待される。

海外招待選手 男子

ATHLETES

No. 07 ノバート・キゲン (ケニア) KIGEN, Nobert (KEN)



DOB : 24 Jan 1993
AGE : 26
Height : 170cm
Weight : 55kg

Personal Bests

Half Marathon	59:42	-2016
Marathon	2:05:13	-2017

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018			1:01:43	2:05:22
2017			1:01:02	2:05:13
2016			59:42	2:09:19

Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:05:22	Valencia	5th	2 Dec 2018
	DNF	Boston	DNF	16 Apr 2018
Personal Best	2:05:13	Amsterdam	2nd	15 Oct 2017
	2:06:07	Seoul	4th	19 Mar 2017
	2:09:19	Eindhoven	3rd	9 Oct 2016
	2:10:29	Praha	6th	8 May 2016
	2:09:25	La Rochelle	1st	29 Nov 2015

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Dec	Maraton Valencia	Marathon	5th	2:05:22
10 Aug	Kisii Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:02:56
14 July	Kabarak University Half Marathon	Half Marathon	9th	1:04:20
16 Apr	Boston Marathon	Marathon	DNF	DNF
4 Feb	Napoli City Half Marathon	Half Marathon	3rd	1:01:43

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
15 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	2nd	2:05:13
23 Apr	Yangzhou Jianzhen Half Marathon	Half Marathon	4th	1:01:02
19 Mar	Seoul Marathon	Marathon	4th	2:06:07

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Marathon Eindhoven	Marathon	3rd	2:09:19
21 Aug	Karnten Lauf Halbmarathon - Klagenfurt	Half Marathon	2nd	1:00:56
8 May	Prague Marathon - Praha	Marathon	6th	2:10:29
2 Apr	Sportissimo Prague Half Marathon	Half Marathon	4th	59:42

In September of 2015, Nobert Kigen recorded the respectable time of 60:32 at his fourth half marathon in Lille. Two month later in November, Kigen made his marathon debut in La Rochelle and won with 2:09:25. The time corresponds to sixth fastest marathon debut time for a Japanese runner. In April of 2016 in Praha, Kigen ran his sixth half marathon and cracked 60 minutes for the first time with 59:42; fourth in the race. In May, he ran his second marathon in Praha, and placed sixth with 2:10:29, but later in October at Eindhoven Marathon, Kigen finished third with 2:09:19, improving the best from his debut marathon. In 2017 Kigen made a big breakthrough at Seoul Marathon in March, by improving his marathon best by more than three minutes to 2:06:07. He was fourth but only 13 seconds behind the winner Amos Kipruto. In October's Amsterdam Marathon, he further improved his personal best to 2:05:13. In this race Kigen placed second, only four seconds behind the winner Lawrence Cherono. Kigen, now one of the world class marathon runners, entered the Boston Marathon in April of 2018. The race won by Yuki Kawauchi was contested in a miserable weather and many runners failed to finish and Kigen was no exception. However, in December, at the Valencia Marathon, one of the new up and coming world class marathons, Kigen finished fifth with 2:05:22, second best time of his career. In Valencia El Abbassi, who will be running the Tokyo Marathon this year, finished 39 seconds ahead of Kigen. As follows, Tokyo it will be a re-match between Kigen and El Abbassi.

ノバート・キゲンは2015年9月、4回目のハーフマラソン(フランス・リール)で60分32秒の好タイムを記録した。同年11月に同じフランスのラ・ロシェルで初マラソンに挑戦し、2時間09分25秒の好記録で優勝した。このタイムは日本人なら初マラソン歴代6位に相当する。翌2016年4月にはプラハで6回目のハーフマラソンを走り、初めての60分切りとなる59分42秒で4位に入っている。同年5月にはプラハで2度目のマラソンを走り、2時間10分29秒で6位に終わったが、10月のアイントハーフェンマラソンでは2時間09分19秒で3位と、初マラソンのタイムを何とか上回った。翌2017年は飛躍の年だった。3月のソウルマラソンでは2時間06分07秒と、自己ベストを3分以上も更新。優勝者アモス・キプルトからわずか13秒遅れの4位だった。続いて10月のアムステルダムマラソンで2時間05分13秒まで自己記録を更新したのである。優勝したローレンス・チェロノからわずか4秒遅れの2位だった。一流選手の仲間入りを果たしたキゲンは翌2018年の4月、ボストンマラソンに出場した。川内優輝が勝ったそのレースはとんでもない悪天候の中で行われ、多くのランナーが途中棄権に追い込まれた。キゲンも例外ではなかった。しかし、12月には最近多くの強豪が参加するようになったバレンシアマラソンに参加し、2時間05分22秒の自己2番目の記録で5位に入った。バレンシアマラソンでは今回東京マラソンを走るエル・アバシが39秒早くフィニッシュしている。キゲンにとって今回の東京マラソンはバレンシアで敗れたエル・アバシとの再戦ともなる。

No.
08

ギデオン・キプケテル (ケニア)

KIPKETER, Gideon (KEN)



DOB : 10 Nov 1992
AGE : 26
Height : 178cm
Weight : 57kg

► Personal Bests

Half Marathon	59:53	-2012
Marathon	2:05:51	-2017

► International Championships Highlights

World Cross Country Championships	8th in junior division in 2010
Marathon	5th in 2017 World Championships

► Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018			1:03:51	2:06:15
2017				2:05:51
2016		/29:09		2:08:35
2015		28:25:31		2:09:01

► Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:06:15	Amsterdam	4th	21 Oct 2018
	2:06:47	Tokyo	4th	25 Feb 2018
	DNF(pace)	Berlin	DNF(pace)	24 Sept 2017
	2:10:56	World Championships – London	5th	6 Aug 2017
	DNF(pace)	Monza – Breaking 2	DNF(pace)	6 May 2017
Personal Best	2:05:51	Tokyo	2nd	26 Feb 2017
	2:12:20	Chicago	3rd	9 Oct 2016
	DNF(pace)	London	DNF(pace)	24 Apr 2016
	2:08:35	Mumbai	1st	17 Jan 2016
	2:09:01	Seoul (Joon Ang)	2nd	1 Nov 2015

► 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	4th	2:06:15
14 July	Kabarak University Half Marathon	Half Marathon	3rd	63:51
25 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	4th	2:06:47

► 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Sept	Berlin Marathon	Marathon	DNF(pace)	DNF(pace)
6 Aug	World Championships – London	Marathon	5th	2:10:56
6 May	Nike Breaking 2 – Monza	Marathon	DNF(pace)	DNF(pace)
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:05:51

► 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:12:20
24 Apr	London Marathon	Marathon	DNF(pace)	DNF(pace)
17 Jan	Mumbai Marathon	Marathon	1st	2:08:35

The year 2017 was the turning point of his marathon career for Gideon Kipketer, who finished second in the Tokyo Marathon and followed it up with the fifth place finish in the World Championships in August. The following year, he was fourth with 2:06 clocking in both Tokyo and Amsterdam.

Kipketer has a good credential at shorter distances, having finished eighth in the junior division of the 2010 World Cross Country Championships, and ran 5000m best of 13:15.77 also in 2010. In September of 2012, in Lille, Kipketer improved half marathon best to very respectable 59:53. Even though he started 2012 Amsterdam Marathon as a pacemaker, Kipketer finished the race in 2:08:14. It was Kipketer's first attempt at the marathon as well as his first marathon to run full distance. In this race, Kipketer paced the leaders through 25Km in 1:14:39 and 30Km in 1:29:50, leading Wilson Chebet with the winning time of 2:05. As for Kipketer, he slowed in the final km but held on for 2:08 marathon. In the next few years, Kipketer ran eight marathons including one as a pacemaker, but he failed to improve his personal best.

In 2015 Kipketer cracked 2:10 for the marathon twice, 2:09:34 at the Hamburg Marathon and 2:09:01 at the Seoul Joon Ang Marathon. Kipketer came close to his marathon personal best once, in the 2016 Mumbai Marathon, when he won the race with 2:08:35. His 2:12:20 time from the 2016 Chicago Marathon may seem slow, but the main reason was because Chicago Marathon did not employ pacemakers then. It was a good performance since Kipketer was less than a minute behind the winner. In the Tokyo Marathon 2017, Kipketer improved his marathon best by a huge margin to 2:05:51. However, considering his half marathon best is 59:53, 2:04 marathon is a distinct possibility.

2017年はギデオン・キプケテルにとって飛躍の年だった。東京マラソン 2017では自己ベストで2位に入り、8月の世界選手権のマラソンでは5位入賞を果たした。翌2018年には東京とアムステルダムの両マラソンを走り、両レースとも2時間6分台の記録で4位に入っている。

2010年世界クロスカントリー選手権のジュニアの部で8位に入り、同年に5000mで13分15秒77を記録したキプケテルは、2012年9月にはリールのハーフマラソンで59分53秒の自己ベストを出した。それから1ヵ月半後のアムステルダムマラソンでは、ペースメーカーとしてスタートしたものの、2時間8分台で完走した。彼にとって最初のマラソンであり、もちろん初めての完走でもあった。そのレースでは、25kmを1時間14分39秒、30kmを1時間29分50秒で集団を引っ張った。優勝したウィルソン・チェベトは2時間5分台でフィニッシュ。キプケテルは最後に失速しながらも2時間08分14秒の好タイムで走り終えた。しかし、その後7回、ペースメーカー役を含めれば8回マラソンを走ったが、自己ベストを更新できなかった。

2015年ソウルマラソンでは2時間09分01秒、そして同年のハンブルグマラソンでは2時間09分34秒と、2大会連続で2時間10分の壁を破った。2016年のムンバイマラソンでは2時間08分35秒で優勝し、自己ベストに近いタイムをたたき出した。同年シカゴマラソンのタイム2時間12分20秒は一見平凡に見えるかも知れないが、それは当時シカゴにペースメーカーがいなかったからである。優勝タイムからは1分も離れていないのでまずまずの好成績といえる。東京マラソン 2017で2時間05分51秒と、ようやく自己ベストを大幅に更新した。しかし、ハーフマラソンの自己ベストが59分53秒であることを考えれば2時間4分台も可能なはずだ。

海外招待選手 男子

ATHLETES

No.
09

デメタドゥ・アバテ (エチオピア)

ABATE, Deme Tadu (ETH)



DOB : 11 Sep 1997
AGE : 21
Height : 177cm
Weight : 54kg

Personal Bests

Half Marathon	60:46	-2017
Marathon	2:06:47	-2018

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018			1:01:21	2:06:47
2017			1:00:46	

Marathon career

	Time	Race	Place	Date
Personal Best	2:06:47	Amsterdam	7th	21 Oct 2018
	2:06:54	Hamburg	2nd	29 Apr 2018
	DNF(pace)	Monza	DNF(pace)	6 May 2017

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Oct	Amsterdam Marathon	Marathon	7th	2:06:47
23 Sept	Hipporun Mezza Maratona di Vinovo	Half Marathon	1st	1:02:12
29 Apr	Marathon Hamburg	Marathon	2nd	2:06:54
11 Mar	Meia - Maratona Internacional de Lisboa	Half Marathon	16th	1:01:21
25 Feb	Riyadh Half Marathon	Half Marathon	17th	1:04:05

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Oct	Santander Totta Half Marathon - Lisboa	Half Marathon	3rd	1:02:20
2 Sept	Semi - Marathon International de Lille	Half Marathon	7th	1:00:58
20 May	Göteborgsvarvet	Half Marathon	6th	1:01:56
6 May	Nike Breaking 2 - Monza	Marathon	DNF(pace)	DNF(pace)
19 Mar	Meia - Maratona Internacional de Lisboa	Half Marathon	4th	1:00:46

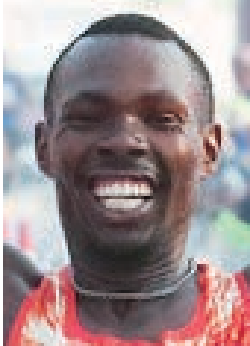
In May of 2017, in Monza Italy, Abate Deme Tadu was one of the pacemakers for NIKE BREAKING2 Project. Abate was yet to make his marathon debut, but his half marathon best was 60:46 recorded in Lisbon two months prior in March. He also recorded 60:58 half marathon in Lille in September. After running 1:01:21 in Lisbon, where he set his personal best the previous year, he made his marathon debut in the April's Hamburg Marathon. In the race Solomon Diksisa (marathon personal best was 2:06:22 at the time; he later improved to 2:04:40), who was 12th in the Tokyo Marathon 2017, surged at 36km to pull away from Abate. Two km later, however, Abate closed the gap, but at 40km, Diksisa surged again and pulled away from Abate for good. Abate finished second with 2:06:54, 20 seconds behind the winner. His second marathon was at the Amsterdam Marathon in October. It was the fast race where lead pack of eleven runners including Abate passed the halfway point in 1:02:11. The lead pack started to break up around 25km, and at the end Lawrence Cherono, Mule Wasihun and Solomon Deksisa recorded 2:04 marathon. Abate in seventh place improved his personal best slightly to 2:06:47. He is still 21 years old and thus could make a big breakthrough anytime. Tokyo Marathon 2019 is Abate's third marathon. This will be his challenge to run faster than 2:05:57, the fastest marathon record by Ethiopian.

2017年5月にイタリアのモンツァでおこなわれた NIKE BREAKING2 プロジェクトで風除け兼ペースメーカーを務めたランナーの一人がデメタドゥ・アバテである。当時アバテはまだマラソンを経験していなかったが、ハーフマラソンの自己ベストは2カ月前の3月にリスボンで記録した60分46秒だった。9月にリール・ハーフマラソンでも60分58秒を記録している。2018年の3月には前年自己ベストを記録したリスボンでのハーフマラソンで1時間01分21秒を記録。同年4月のハンブルグマラソンで実質的な初マラソンに挑んだ。東京マラソン2017で12位だったソロモン・デクシサ(当時の自己ベストは2時間06分22秒、その後2時間04分40秒まで更新)が36kmで最初のスパートを仕掛け、アバテを引き離した。しかしアバテは2km後に追いついて併走。その後デクシサが40kmで再びスパートした時、アバテにはもうなすすべがなかった。アバテは結局デクシサから20秒遅れの2時間06分54秒で2位に入った。アバテの2回目のマラソンは同年10月のアムステルダムマラソンだった。アバテを含む11人の先頭集団が1時間02分11秒でハーフ地点を通過する高速レースだったが、25km過ぎから集団が解体。チェロノ、ワシフン、デクシサの3人が2時間4分台を記録し、アバテも自己ベストをわずかに更新する2時間06分47秒で7位に入った。まだ21歳のアバテがこの先どんな成長を見せるか楽しみだ。アバテにとって3度目のマラソンとなる東京マラソンでは、エチオピア選手による大会の最速のタイムである2時間05分57秒の更新が期待される。

No.
10

ビダン・カロキ (ケニア)

KAROKI, Bedan (KEN)



DOB : 21 Aug 1990
AGE : 28
Height : 167cm
Weight : 50kg

►Personal Bests

5000m	13:15.25	-2014
10000m	26:52.12	-2017
Half Marathon	58:42	-2018
Marathon	2:07:41	-2017

►International Championships Highlights

10000m	5th in 2012 & 7th in 2016 Olympics; 6th in 2013 & 4th in 2015 & 2017 World Championships;
Half Marathon	2nd in 2016 World Half Marathon Championships
World Cross Country Championships	2nd in 2015

Bedan Karoki who runs for Yokohama DeNA was second in the 2015 World Cross Country Championships as well as the 2016 World Half Marathon Championships. He has entered World Championship multiple times placing within eighth place and even though he has not medaled at 10000m, he came close, having finished fourth in both the 2015 and 2017 World Championships. He cracked 27 minutes for the 10000m twice, a hallmark of world class track runner, and that is not all, Karoki has cracked 60 minutes for the half marathon every year since 2014, total of 8 times.

He made his marathon debut at the 2017 London Marathon. Considering his 10000m and half marathon best, 2:04 marathon was expected. However, he was only third with 2:07:41. His second marathon was at the Fukuoka International Marathon, where Samuel Wanjiru, Martin Mathathi, Joseph Gitau and Josphat Ndambiri residing in Japan at the time are all Fukuoka Marathon champions. Therefore, Karoki was expected to follow these champions footsteps but he placed fourth with 2:08:44, record slower than his debut. Karoki ran two marathons in 2018, but he failed to improve his debut marathon time. After good pace making in Fukuoka last December, Karoki will be starting his fifth marathon in Tokyo. Haile Gebrselassie and Paul Tergat, gold and silver medalists respectively at both Atlanta and Sydney Olympic 10000m, struggled with the marathon after their debut. They ran several marathons before they set a world marathon record. Great track runners do not necessarily make easy transition to the marathon. As well for Karoki, he may require more time before a successful transition to a great marathon runner

►Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018			58:42	2:07:59
2017		26:52.12	59:10	2:07:41
2016	13:25.64	27:07.30	59:32	

►Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	DNF(pace)	Fukuoka	DNF(pace)	2 Dec 2018
	2:07:59	Chicago	9th	7 Oct 2018
	2:08:34	London	5th	22 Apr 2018
	2:08:44	Fukuoka	4th	3 Dec 2017
Personal Best	2:07:41	London	3rd	23 Apr 2017

►2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	DNF(Pace)	DNF(Pace)
7 Oct	Chicago Marathon	Marathon	9th	2:07:59
26 Aug	Half Marathon Buenos Aires	Half Marathon	2nd	59:50
22 Apr	London Marathon	Marathon	5th	2:08:34
9 Feb	RAK Half Marathon	Half Marathon	1st	58:42
1 Jan	New Year Ekiden	Stage2 - 8.3km	1st	22:25

►2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	4th	2:08:44
4 Aug	World Championships Marathon - London	10000m	4th	26:52.12
23 Apr	London Marathon	Marathon	3rd	2:07:41
10 Feb	RAK Half Marathon	Half Marathon	1st	59:10
1 Jan	New Year Ekiden	Stage2 - 8.3km	1st	22:01

►2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Sept	Kobenhavn Half Marathon	Half Marathon	5th	59:32
13 Aug	Olympic Games - Rio de Janeiro	10000m	7th	27:22.93
26 Mar	World Half Marathon Championships - Cardiff	Half Marathon	2nd	59:36
28 Feb	World's Best 10K - San Juan	10km	1st	27:42
1 Jan	New Year Ekiden	Stage2 - 8.3km	7th	22:41

2015年世界クロスカントリー選手権で2位、2016年世界ハーフマラソン選手権でも2位に入っている横浜 DeNA ビダン・カロキ (ケニア) は、世界選手権と五輪の 10000m で何度も 8 位入賞を果たしている。2015年と 2017年の世界選手権ではメダルにもう一步となる 4 位に入っている。超一流ランナーの証ともいえる 10000m26 分台も 2 度記録している。それだけではない。ハーフマラソンでも 60 分切りを計 8 回も (2014 年からは毎年) 果たしているのだ。

そんなカロキは満を持して 2017 年ロンドンマラソンで初マラソンに挑んだ。彼の 10000m とハーフマラソンの自己ベストからは、2 時間 4 分台のタイムも可能では、と期待されていた。しかし結果は 2 時間 07 分 41 秒で 3 位に終わった。その年の暮れには福岡マラソンで 2 度目のマラソンに挑戦。ワンジル、マサシ、ギタウ、そしてダビリなど日本在住のケニア選手が優勝してきた大会である。カロキに期待が集まったが、結果は初マラソンより遅い 2 時間 08 分 44 秒で 4 位だった。2018 年には 2 回マラソンを走ったが、いずれのレースでも初マラソンのタイムも順位も超えることができなかった。昨年暮れの福岡国際マラソンでは素晴らしいペースメーカーキングをしたカロキは、東京で 5 回目のマラソンに挑む。アトランタ、シドニー五輪 10000m の金、銀メダリストであるハイレ・ゲブレシラシエとポール・テルガトでさえもマラソンですぐに成功したわけではない。2 人とも世界記録を出すまでに数回マラソンを走っている。短い距離で素晴らしい成績を残したとしてもすぐにマラソンで成功できるとは限らないのだ。故にカロキのマラソンでの成功はもう少し時間がかかるかもしれない。

国内招待選手 男子

ATHLETES

No.
21

大迫 傑 (東京・ナイク)

OSAKO, Suguru (JPN)



DOB : 23 May 1991
AGE : 27
Height : 170cm
Weight : 53kg

Personal Bests

5000m	13:08.40NR	-2015
10000m	27:38.31	-2013
Half Marathon	1:01:13	-2017
Marathon	2:05:50NR	-2018

International Championships Highlights

World Cross Country Champ
32nd in junior race in 2010
Half marathon
24th in 2018 World Half Marathon Championships
10000m
8th in 2010 World Junior; 1st in 2011 World University Games; 2nd in 2014 Asian Games 21st in 2013 World Champ; 17th in 2016 Olympic Games

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018	13:29.11	28:26.41	1:01:56	2:05:50
2017	13:25.56	27:46.64	1:01:13	2:10:28
2016	13:31.45	27:50.27		

Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:05:50	Chicago	3rd	7 Oct 2018
	2:07:19	Fukuoka	3rd	3 Dec 2017
	2:10:28	Boston	3rd	17 Apr 2017

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:05:50
24 Mar	World Half Marathon Champ - Valencia	Half Marathon	24th	1:01:56

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	3rd	2:07:19
5 Nov	Phoenix Marathon	Half Marathon	1st	1:02:15
8 Oct	BAA Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:04:42
17 Apr	Boston Marathon	Marathon	3rd	2:10:28
19 Mar	Shamrock Run Half Marathon - Portland	Half Marathon	1st	1:04:12
5 Feb	Marugame Half Marathon	Half Marathon	6th	1:01:13

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
17 Aug	Olimpic Games - Rio de Janeiro	5000m	16th	13:31.45
13 Aug	Olimpic Games - Rio de Janeiro	10000m	17th	27:51.94
26 June	JPN National Championships - Nagoya	5000m	1st	13:37.13
24 June	JPN National Championships - Nagoya	10000m	1st	28:07.44

Suguru Osaoka set 3000m national record of 7:40.09 in 2014 in Rieti, 5000m national record of 13:08.40 in 2015 in Belgium and marathon national record of 2:05:50 in the 2018 in Chicago. With Osaoka as a main protagonist, the new era of distance racing has arrived within Japan.

He was the center of attention since his youth. When he was in ninth grade, Osaoka was third at 3000m in the national junior high school championships. In the National High School Ekiden Championships, Osaoka recorded the stage best twice - anchor stage when he was a junior and opening stage when he was a senior. In his college days, Osaoka finished eighth at 10000m in the World Junior Championships, 32nd in the junior division of World Cross Country Championships, and gold medal at 10000m in the World University Games. He competed in the 2013 and 2015 World Championships and the 2016 Olympics in track events. In the 2014 Asian Games 10000m Osaoka was second to El Hassan El Abbassi, who will run the Tokyo Marathon. Osaoka was second at 10000m for four straight years at the national championships, before winning both 5000m and 10000m in the 2016 national championships. However, his half marathon personal best is relatively modest 1:01:13.

Osaoka ran three marathons so far. In his debut marathon in Boston, he was third with 2:10:28, and in his second marathon at the 2017 Fukuoka International Marathon, he was third with 2:07:19. He represented Japan in track events at the global championships three times, but after Fukuoka, Osaoka said "I think my future is within marathon."

Osaoka had steadily improved his marathon best in each of his three marathons. Can he do it again in Tokyo? "I want to be the runner who can be competitive in all the races," said Osaoka. He was third in all his three marathons. Can he improve it in Tokyo? Since the pacemakers will lead the race below 3 min/km, if Osaoka stay competitive all the way to the end of the race, it will result in fast time.

2014年にイタリアのリエティで3000mの日本記録7分40秒09を、2015年にはベルギーで5000mの日本記録13分08秒40を樹立した大迫傑は、2018年10月にはシカゴでマラソン日本記録を2時間05分50秒まで伸ばした。大迫時代の到来である。

大迫は若い頃から注目を浴びた選手だった。中学3年の時には全日中3000mで3位、全国高校駅伝では2年の時はアンカー区間で、3年の時には第一区で区間賞を獲得している。大学時代は世界ジュニア選手権10000mで8位、世界クロスカントリー選手権のジュニアの部で32位、そしてユニバーシアードの10000mで金メダルに輝いている。トラック種目で2013年と2015年の世界選手権、そして2016年五輪に出場した。2014年のアジア大会では今回東京マラソンを走るエルアバシに次いで2位に入っている。日本選手権では4年連続で2位が続いていたが、五輪の年2016年にはついに5000mと10000mの2冠を達成している。しかし、ハーフマラソンの自己ベストは2017年の丸亀で記録した1時間01分13秒に留まっている。

大迫は今まで3度マラソンを走っているが、初マラソンのボストンマラソンでは2時間10分28秒で3位、2度目のマラソンとなった2017年12月の福岡では2時間07分19秒で3位だった。今まで3回トラックでグローバル選手権に出場しているが、福岡の後のインタビューでは「マラソンの方が自分の可能性を感じる」と話している。

今まで3回のマラソンで確実に自己ベストを更新してきた。東京でも自己ベストを更新できるだろうか? 「出場する大会でしっかり優勝争いができる強い選手になりたい」と大迫は語る。今まで3回のマラソンはすべて3位の大迫、東京では順位アップが期待される。ペースメーカーが1キロ3分を切るペースで引っ張る東京マラソン、優勝争いをすれば速いタイムもついてくるはずだ。

No.
22**木滑 良** (長崎・MHPS)

KINAME, Ryo (JPN)



DOB : 22 Jan 1991
AGE : 28
Height : 168cm
Weight : 53kg

►Personal Bests

5000m	13:40.62	-2012
10000m	28:18.52	-2011
Half Marathon	1:02:22	-2012
Marathon	2:08:08	-2018

►International Championships Highlights

Half marathon

Marathon

Ryo Kiname finished seventh (third Japanese) with 2:08:08 in the Tokyo Marathon 2018. After the race, coach Jun Kuroki of his team MHPS said, "You can finally call yourself a marathon runner."

In 2009, Ryo Kiname joined MHPS marathon team, in his home town of Nagasaki, so he can run the marathon in the near future. In 2011 Kiname recorded the 10000m personal best of 28:18.52. A year later in 2012 he recorded the 5000m best of 13:40.62 and also recorded the half marathon best of 1:02:22 in the Kagawa Marugame Half Marathon. Then in 2014, when he was 23 years old, Kiname made his marathon debut in the Beppu-Oita Marathon. Unfortunately, Kiname hit the marathon wall around 28km and slowed down. Kiname finished eighth in 2:12:48, which was a mediocre performance at best. Disappointed Kiname effectively said, "I did not expect for it to be this tough" after the race. In the Hokkaido Marathon in Sapporo, his second marathon, Kiname stayed with Cyrus Njui and Takafumi Kikuchi until 35km, but then made his move at that point and won by nearly one and half minutes with 2:13:16. As a team captain for MHPS since April of 2016, Kiname led his team to fourth place finish in the 2017 New Year Ekiden, recording the best finish time for MHPS in the New Year Ekiden. In 2017, with making the World Championships team berth in his mind, Kiname ran the Beppu-Oita Marathon for the second time. When Dereje Debele made his move at 26km after the pacemakers left the race, Kiname fell behind. Although Kiname came rolling back after 40km, it was little too late. Kiname finished third overall with 2:10:30, second Japanese, but nearly one minute behind the winner Kentaro Nakamoto. It was two minute improvement of his personal best recorded in the Beppu-Oita Marathon three years ago. In the Tokyo Marathon 2018, he came back from behind and did not only crack 2:10, but also cracked 2:09 with 2:08:08 record. However, at the Chicago Marathon in October, he failed to finish the race for the first time after passing 30km in 1:36:31. We hope for him to achieve his seasonal goal of 2:07 in Tokyo.

►Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018	13:58.37	28:54.18		2:08:08
2017	13:51.52	28:44.45		2:10:30
2016	13:48.76	28:50.60		2:13:16

►Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	DNF	Chicago	DNF	7 Oct 2018
Personal Best	2:08:08	Tokyo	7th	25 Feb 2018
	2:10:30	Beppu - Oita	3rd	5 Feb 2017
	2:13:16	Hokkaido - Sapporo	1st	28 Aug 2016
	2:12:48	Beppu - Oita	8th	2 Feb 2014

►2019 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage6 - 12.1km	9th	36:50

►2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Oct	Chicago Marathon	Marathon	DNF	DNF
25 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	7th	2:08:08
1 Jan	New Year Ekiden	Stage3 - 13.6km	13th	39:30

►2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage5 - 13.4km	5th	41:09
5 Feb	Beppu - Oita Marathon	Marathon	3rd	2:10:30
1 Jan	New Year Ekiden	Stage3 - 13.6km	7th	38:50

►2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Kosa 10 Miler	10 Miles	3rd	46:47
3 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage1 - 12.9km	2nd	38:17
28 Aug	Hokkaido Marathon - Sapporo	Marathon	1st	2:13:16
1 Jan	New Year Ekiden	Stage3 - 13.6km	9th	38:53

昨年の東京マラソン 2018 では 2 時間 08 分 08 秒で日本人 3 番目の 7 位に入った木滑良、所属する MHPS の黒木純監督に「ようやくマラソン選手と言える結果を出した」と褒められた。

2009 年、「マラソンをやるつもりで」地元の三菱重工長崎のマラソン部に入った。2011 年に 10000m で 28 分 18 秒 52 の自己ベストを記録。翌 2012 年には 5000m で 13 分 40 秒 62、そして香川丸亀ハーフマラソンでは 1 時間 02 分 22 秒の自己ベストを出している。2014 年 23 歳の時、別府大分毎日マラソンで初マラソンに挑んだ。しかし木滑は 28km 付近で「マラソンの壁」にぶち当たって失速し、2 時間 12 分 48 秒で 8 位という平凡なタイムでデビュー戦を終えた。木滑はレース後「あそこまで急にくるとは思いませんでした」と肩を落とした。2 度目のマラソンとなった北海道マラソンでは、35km までサイラス・ジュイ、菊池貴文らと先頭集団を形成、そこから飛び出し 2 位のジュイに 1 分半近い差をつけて 2 時間 13 分 16 秒でマラソン初優勝を飾った。2016 年 4 月からはマラソン部主将として駅伝でチームを引っ張っている。MHPS は 2017 年ニューイヤー駅伝ではチーム最高順位となる 4 位で初入賞を成し遂げた。同年、世界選手権代表権を狙って 2 度目の別大マラソンに出場。26km 近くでペースメーカーがレースを離れ、デレジェ・デベレがペースアップした時に先頭集団から遅れた木滑だったが、40km 過ぎから盛り返した。優勝した中本健太郎からは 1 分近く遅れたが、2 時間 10 分 30 秒の 3 位でフィニッシュ。3 年前の別大で記録した自己ベストを 2 分以上更新するタイムだった。次のマラソンとなった昨年の東京マラソンでは後から追いついて初めて 2 時間 10 分を切ったうえに、2 時間 9 分も切る 2 時間 8 分 08 秒の好タイムを記録した。しかし 10 月のシカゴでは 30km を 1 時間 36 分 31 秒で通過した後、初めての棄権に追い込まれた。今シーズンの目標である 2 時間 7 分台を東京で実現したい。

国内招待選手 男子

ATHLETES

No.
23

中村 匠吾 (東京・富士通)

NAKAMURA, Shogo (JPN)



DOB : 16 Sep 1992
AGE : 26
Height : 172cm
Weight : 55kg

Personal Bests

5000m	13:38.93	-2016
10000m	28:05.79	-2013
Half Marathon	1:01:53	-2016
Marathon	2:08:16	-2018

International Championships Highlights

Half marathon	
28th in 2014 & 36th in 2016 World Half Marathon Championships	

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018	13:53.43	28:50.84		2:08:16
2017		28:16.01	1:04:50	
2016	13:38.93	28:27.50	1:01:53	

Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:08:16	Berlin	4th	16 Sept 2018
	2:10:51	Lake Biwa - Otsu	7th	4 Mar 2018

2019 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 - 22.4km	9th	1:05:49

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage4 - 9.5km	2nd	27:59
16 Sept	Berlin Marathon	Marathon	4th	2:08:16
4 Mar	Lake Biwa Marathon	Marathon	7th	2:10:51
1 Jan	New Year Ekiden	Stage5 - 15.8km	4th	48:21

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden - Saitama	Stage2 - 15.3km	5th	45:27
8 Oct	BAA Half Marathon	Half Marathon	4th	1:04:50
25 June	JPN National Championships - Osaka	5000m	3rd	13:50.91

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage2 - 15.3km	5th	45:19
26 Mar	World Half Marathon Championships - Cardiff	Half Marathon	36th	1:04:49
14 Feb	JPN Corporate team Half Marathon	Half Marathon	6th	1:01:53
1 Jan	New Year Ekiden	Stage1 - 12.3km	6th	35:29

In the 2018 Berlin Marathon, his second marathon, Shogo Nakamura was fourth with personal best of 2:08:16. It was a dramatic improvement from the result of his debut marathon, 2:10:51 in seventh place.

In 2010, when he was a high school senior, Nakamura recorded 13:50.38 for 5000m. It was second best 5000m time behind Kenta Murayama among the Japanese high school runners (also the eighth fastest of all time among Japanese high school runner). In the Inter-High School Championship, he was third at 5000m. He failed to improve 5000m best in his collegiate days but still recorded the 10000m personal best of 28:05.79 when he was a college junior. He was fifth at 10000m in the national championships and won a bronze medal at the World University Games. Furthermore, he recorded the stage best in fourth stage of All Japan Collegiate Ekiden Championships and first stage of Hakone Ekiden.

He started to run when he was in fifth grade. "When I was in junior high school, I was already wishing to run the marathon," said Nakamura, who was planning on running the first marathon in senior in college but recorded 1:30:11 at Kunamichi 30km road race. There, he recognized, "I don't have a running base to start the marathon training," and postponed his marathon debut, to 2018 Lake Biwa Marathon. In Otsu, he fell behind once at 27km, but came back strongly to finish with 2:10:51, the first Japanese in the race, qualifying for the MGC (Marathon Grand Championship, Japanese Olympic Trials).

For his second marathon, Nakamura decided to run the Berlin Marathon in September, same time frame as the MGC in 2019. However, the pacemakers did not function and thus Nakamura was running alone after 5km. He passed 25km in 1:15:05, a pace for a 2:06 marathon. He slowed near the end but unlike his Lake Biwa Marathon, his 5km lap time never exceeded 16 minutes and finished with 2:08. "My goal in Berlin was to run 2:07 marathon" said Nakamura after the race, and he was actually on the pace for 2:06 marathon until the half-way mark of the race. Can he run 2:07 marathon in Tokyo? He quotes, "As the preparation for the Tokyo Olympic Marathon, before the MGC, I would like to give an impression to my rivals that I am a very strong runner."

2度目のマラソンとなった2018年ベルリンマラソンでは2時間08分16秒の4位だった。初マラソンのびわ湖毎日マラソンでの2時間10分51秒、7位を大きく上回った。

2010年、高校3年生の時、5000mで13分50秒38と、村山謙太に次ぐ日本人高校シーズン2位(当時日本人高校歴代8位)のタイムをたたき出した。インターハイの5000mでは3位に入っている。大学時代に5000mの記録は更新できなかったが、3年時には10000mの自己ベスト28分05秒79を記録。日本選手権10000mで5位、ユニバーシアードのハーフマラソンで銅メダルを獲得した。4年時には全日本大学駅伝の4区と箱根駅伝の1区で区間賞を獲得している。

小学校5年生で陸上を始め、「中学時代から将来はマラソンを走りたいと思っていた」と話す中村は、大学4年での初マラソンを思い描いていたが、3年の時に熊日30kmを出場して1時間30分11秒で3位に。「まだマラソン練習が出来る体力はない」とデビューを先送りし、2018年3月のびわ湖毎日マラソンを初マラソンに選んだ。27kmでいったん遅れたが、その後盛り返して日本人1位の2時間10分51秒でフィニッシュ。MGCの出場権を確保している。

2度目のマラソンは翌年のMGCと同じ時期のベルリンを選んだ。ペースメーカーが機能せず、5km過ぎから単独走になったが、25kmを1時間15分05秒で通過し、2時間6分台も可能なペースでレースを進めた。その後少し失速したが、びわ湖の時と異なり5キロペースが16分台に落ちることはなくフィニッシュした。「ベルリンでの目標は2時間7分台だった」と話し、中盤まで2時間6分台も狙えるペースでレースを進めていた。東京ではその目標タイムを達成出来るか?中村は「東京五輪に向けて勝負強さを身につけ、MGCの前哨戦としてライバル達に強いと言う印象を持たせたい」と考えている。

No.
24

佐藤 悠基 (東京・日清食品グループ)

SATO, Yuki (JPN)



DOB : 26 Nov 1986
AGE : 32
Height : 179cm
Weight : 60kg

▶ Personal Bests

5000m	13:13.60	-2013
10000m	27:38.25	-2009
Half Marathon	1:02:33	-2018
Marathon	2:08:58	-2018

▶ International Championships Highlights

3000m	
10h1 in 2003 World Youth Championships	
5000m	
13th in 2004 World Junior Championships; 12h1in 2012 Olympics; 7th in 2005 WUG	
10000m	
15th in 2011 Championships; 22nd in 2012 Olympics; 4th in 2005 WUG	
World Cross Country Championships	
Junior: 46th in 2004, 47th in 2005; 93rd in 2008	

Yuki Sato, who was the leading runner at every age group throughout his career, is running Tokyo Marathon for the fourth time after 2013, 2015 and 2018 (was a pace maker in 2017). He was 31st with 2:16:31 in his debut in 2013, 20th with 2:14:15 in 2015. These are very disappointing time considering his great talent. Last year Sato finally cracked 2:10 with 2:08:58. He finally can consider himself a marathon runner.

His 10000m personal best is 27:38.25. In 2013 Sato also recorded 13:13.60. Since Sato's best 10000m time is similar to those of Toshinari Takaoka, and Suguru Osako, eventually Sato may be able to run the marathon in 2:06 range. Sato, who set the national junior high school record at 3000m, and ran the third fastest high school 5000m as well as national high school record at 10000m, and competed in 3000m at the 2003 World Youth Championships. A year later Sato ran the 5000m in the 2004 World Junior Championships and finished 13th place. He also competed in the junior division of the World Cross Country Championships twice and finished 46th in 2004 and 47th in 2005. While in University, Sato competed in the 2005 World University Games, finishing seventh at 5000m and fourth at 10000m.

The event that made Yuki Sato a recognizable name is Hakone Ekiden, collegiate ekiden for Kanto district college systems. In Hakone Ekiden, Sato recorded the new stage record for three consecutive years – in stage three when he was a freshman, stage one when he was a sophomore, and stage seven when he was a junior. After graduating from College, Sato joined Nissin Foods track team and promptly showed that he is also the best professional runners in Japan by excelling at ekidens, and winning four consecutive 10000m national championships from 2011 to 2014. Sato competed in the 2011 World Championships, the 2012 Olympic Games, and the 2013 World Championships. However, his performances in these global championships left a lot to be desired.

After Tokyo last year, Sato ran the Berlin Marathon in September and recorded 2:09:18. Sato cracked 2:10 for two consecutive marathons. As Sato himself says, he can still aim higher.

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018	13:42.92		1:02:33	2:08:58
2017	13:43.44	28:09.01	1:02:53	
2016				2:12:14

▶ Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:09:18	Berlin	6th	16 Sept 2018
Personal Best	2:08:58	Tokyo	10th	25 Feb 2018
	DNF	Fukuoka	DNF	3 Dec 2017
	DNF(pace)	Tokyo	DNF(pace)	26 Feb 2017
	2:12:14	London	11th	26 Apr 2016
	2:12:32	Berlin	14th	27 Sept 2015
	2:14:15	Tokyo	20th	22 Feb 2015
	2:16:31	Tokyo	31st	24 Feb 2013

▶ 2019 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22.4km	13th	1:06:03

▶ 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Sept	Berlin Marathon	Marathon	6th	2:09:18
25 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	10th	2:08:58
4 Feb	Marugame Half Marathon	Half Marathon	16th	1:02:33
1 Jan	New Year Ekiden	Stage7 – 15.5km	3rd	47:38

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	DNF	DNF
22 Oct	Medio Maraton Ciudad de Valencia	Half Marathon	15th	1:02:53
17 Sept	Rock n Roll Philadelphia Half Marathon	Half Marathon	4th	1:04:34
26 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	DNF(pace)	DNF(pace)

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Apr	London Marathon	Marathon	11th	2:12:14
24 Jan	Inter – Prefectural Men's Ekiden – Hiroshima	Stage7 – 13km	2nd	38:00
1 Jan	New Year Ekiden	Stage3 – 13.6km	4th	38:39

中学、高校、大学、そして実業団と常にトップを走ってきた佐藤悠基が2013年、2015年、2018年に続き4度目(2017年はペースメーカー)の東京マラソンに挑む。2013年には2時間16分31秒で31位、2015年には2時間14分15秒で20位と、物足りないタイムだったが、昨年ついに2時間10分の壁を破る2時間08分58秒を記録した。ようやくマラソンランナーと言える記録を手にしたのだ。

佐藤の10000mの自己ベストは27分38秒25、そして2013年には5000mで13分13秒60をたたき出している。佐藤の10000mベストタイムは、高岡寿成、大迫傑と同じレベルなので、いつ2時間6分前後のタイムで走っても不思議ではない。中学では3000mの日本中学記録、高校では5000mで高校歴代3位と10000mで高校記録を樹立した佐藤は、2003年世界ユース選手権3000mに出場、そして2004年には世界ジュニア選手権5000mに出場し13位に入った。世界クロスカントリー選手権のジュニアの部には2回出場したが、2004年に46位、そして2005年には47位に終わっている。大学時代には2005年にユニバーシアードに出場、5000mで7位、10000mで4位に入っている。

彼の名を世に知らしめたのは箱根駅伝だ。1年は3区、2年は1区、そして3年は7区で、3年連続の区間新を樹立した。大学卒業後に日清食品グループ陸上部に入り、実業団駅伝でも活躍。10000mでは2011年から2014年まで日本選手権で4連覇している。2011年世界選手権、2012年五輪そして2013年世界選手権に出場しているが、世界大会での成績は今ひとつである。

2018年は東京に続きベルリンでも2時間09分18秒と、2大会連続で2時間10分を切った。佐藤本人も言うように、今の彼なら更に上を目指せるはずだ。

国内招待選手 男子

ATHLETES

No.
25

村山 謙太 (宮崎・旭化成)

MURAYAMA, Kenta (JPN)



DOB : 23 Feb 1993
AGE : 26
Height : 176cm
Weight : 56kg

Personal Bests

5000m	13:34.53	-2014
10000m	27:39.95	-2015
Half Marathon	1:00:50	-2014
Marathon	2:09:50	-2018

International Championships Highlights

10000m	
22nd in 2015 World Championships; 6th in 2012 World Junior Championships	
Half marathon	
56th in 2014, 46th in 2018 World Half Marathon Championships	

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018	13:46.06	28:12.53	1:01:42	2:09:50
2017	13:54.95	28:16.87	1:00:57	
2016	13:47.87	28:37.13		2:16:58

Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:15:37	Berlin	17th	16 Sept 2018
Personal Best	2:09:50	Gold Coast	2nd	1 July 2018
	2:17:43	Otsu - Lake Biwa	21st	4 Mar 2018
	2:16:58	Tokyo	30th	28 Feb 2016

2019 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage5 - 15.8km	2nd	46:13

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Sept	Berlin Marathon	Marathon	17th	2:15:37
1 July	Gold Coast Marathon	Marathon	2nd	2:09:50
24 Mar	World Half Marathon Championships - Valencia	Half Marathon	46th	1:03:07
4 Mar	Lake Biwa Marathon - Otsu	Marathon	21st	2:17:43
4 Feb	Marugame Half Marathon	Half Marathon	3rd	1:01:42
1 Jan	New Year Ekiden	Stage5 - 15.8km	1st	47:09

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Kosa 10 Miler	10 Miles	11th	46:59
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden - Kitakyushu	Stage5 - 13.4km	8th	41:41
20 Mar	NYC Half - New York	Half Marathon	5th	1:00:57
1 Jan	New Year Ekiden	Stage5 - 15.8km	1st	46:39

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden - Kitakyushu	Stage3 - 13km	3rd	37:46
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	30th	2:16:58
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 - 22km	10th	1:04:11

Kenta Murayama, who recorded half marathon time of 1:00:50, Japanese Collegiate record and third fastest time by Japanese at the time, in the 2014 Marugame Half Marathon made a marathon debut in the Tokyo Marathon 2016. He ran aggressively until 22km but because he wore new shoes, he was troubled with blister and finished dismal 30th with 2:16:58.

In 2015, Kenta recorded 27:39.95 for the 10000m. However, considering his twin brother Kota is the national 10000m record holder, Kenta may be able to run faster 10000m. Comparing his 5000m best of 13:34.53 with his 10000m best, natural conclusion is that Kenta is endowed with endurance.

In his senior year in high school, Kenta recorded the third fastest 10000m time, 28:23.18, by high school runner. While in high school, Kenta also recorded the stage best in the Inter-Prefectural Ekiden; he was well known runner in his high school days. He was sixth at the 10000m in the 2012 World Junior Championships. In 2014 Kenta ran the World Half Marathon Championships and finished 56th in 1:03:52. In the 2015 World Championships, he was 22nd with 29:50.22 at 10000m.

After graduating from college in 2015, Kenta joined Asahi Kasei track team. Coach Takeshi Soh (fourth at the marathon in 1984 Olympics) of Asahi Kasei persuaded Kenta to try the marathon in the earliest opportunity. In his second marathon at the 2018 Lake Biwa Marathon, he was 21st with 2:17:43. Then in his next marathon, at the Gold Coast Marathon he battled with 44 years old Kenneth Mungara and finished second with 2:09:50. "In my third marathon, I finally ran a good race," said Murayama. However, in the 2018 Berlin Marathon, Murayama was only 16th with 2:15:37. Hiroaki Oyagi, who coached many exceptional young talents, says Kenta is the most talented of them all. Oyagi has higher goal for Kenta. "My hope is that Kenta will break Atsushi Fujita's Komazawa University Alumni marathon record of 2:06:51 and then improve his marathon best to around 2:05, for he has such a talent."

2014年香川丸亀ハーフマラソンでは当時日本歴代3位で、日本学生記録でもある1時間00分50秒を記録した村山謙太は、東京マラソン2016で初マラソンに挑んだ。22kmまで先頭集団につき果敢に攻めたが、新品のシューズをはいたことがたまたまマメをつぶして2時間16分58秒で30位に終わった。

村山は2015年には10000mで27分39秒95を記録しているが、双子の弟である紘太が日本記録保持者であることを考えれば、彼には更に速いタイムも可能だろう。5000mのベスト13分34秒53を10000mのベストと比較すると、持久力に優れた選手であるといえる。

高校時代には10000mで高校歴代3位となる28分23秒18を記録。都道府県駅伝で区間賞をとるなど、当時から有名な選手だった。2012年世界ジュニア選手権の10000mでは6位入賞を果たした。しかし、2014年世界ハーフマラソン選手権では1時間03分52秒で56位と不振で、2015年世界選手権の10000mでは29分50秒22で22位に沈んでいる。

2015年の4月から旭化成陸上部に所属しているが、入部前に宗猛総監督(1984年オリンピックマラソンで4位)からマラソンを勧められたという。2度目のマラソンとなった2018年のびわ湖毎日マラソンでは2時間17分43秒で21位と沈んだが、同年のゴールドコーストマラソンでは優勝した44歳のケネス・ムンガラとの大接戦を演じ2時間09分50秒で2位に入った。「3回目のマラソンでようやく形になる走りが出来た」と村山。しかし、次のベルリンマラソンでは2時間15分37秒で16位と再び沈んでしまった。長年、駒沢大学で多くの若き才能をみてきた大八木弘明監督によれば、村山謙太の素材がナンバーワンだという。大八木監督は「藤田敦士の駒大卒業生記録、2時間06分51秒を早く破って、2時間5分前後まで自己ベストを伸ばして欲しい。村山はそこを目指せる選手だ。」と期待する。

No.
26

福田 穰 (福岡・西鉄)

FUKUDA, Jo (JPN)



DOB : 31 Dec 1990
AGE : 28
Height : 166cm
Weight : 51kg

▶ Personal Bests

5000m	14:09.18	-2017
10000m	28:44.67	-2017
Half Marathon	1:02:25	-2019
Marathon	2:09:52	-2018

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018	14:09.61	28:50.11		2:09:52
2017	14:09.18	28:44.67		2:15:11
2016	14:24.21	29:18.76		2:16:29

▶ Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:10:54	Fukuoka	7th	2 Dec 2018
	2:21:28	Hokkaido – Sapporo	29th	26 Aug 2018
Personal Best	2:09:52	Gold Coast	3rd	1 July 2018
	2:18:16	Lake Biwa – Otsu	23rd	4 Mar 2018
	2:15:11	Hokkaido – Sapporo	3rd	27 Aug 2017
	2:16:17	Beppu – Oita	20th	5 Feb 2017
	2:16:30	Hokkaido – Sapporo	9th	28 Aug 2016
	2:19:06	Lake Biwa – Otsu	35th	6 Mar 2016

▶ 2019 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22.4km	23rd	1:06:42

▶ 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	7th	2:10:54
3 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage5 – 13.0km	3rd	38:27
26 Aug	Hokkaido Marathon – Sapporo	Marathon	29th	2:21:28
1 July	Gold Coast Marathon	Marathon	3rd	2:09:52
4 Mar	Lake Biwa Marathon – Otsu	Marathon	23rd	2:18:16
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 – 22.4km	18th	1:06:54

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage5 – 13.4km	4th	40:36
27 Aug	Hokkaido Marathon – Sapporo	Marathon	3rd	2:15:11
5 Feb	Beppu – Oita Marathon	Marathon	20th	2:16:16
1 Jan	New Year Ekiden	Stage7 – 15.5km	30th	47:46

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden	Stage5 – 13.4km	7th	48:48
28 Aug	Hokkaido Marathon – Sapporo	Marathon	9th	2:16:30
6 Jan	Lake Biwa Marathon	Marathon	35th	2:19:06

In the 2018 Gold Coast Marathon in July, Jo Fukuda was third in 2:09:52, cracking the 2:10 marathon barrier for the first time. Then in the 2018 Fukuoka Marathon, he was seventh (third among the Japanese who are yet to qualify for the MGC) with 2:10:54 and qualified for the MGC.

He spent his elementary and junior high school years in Tamana, Kumamoto, the hometown of Shiso Kanakuri, the legendary Japanese marathon runner in the early years of 20th century. Fukuda is not endowed with speed. His 5000m best is over 14 minutes, while his 10000m best is 28:44 and half marathon best is only 64 minutes.

During his Yachiyo Industries track team years, Fukuda ventured into the marathon in the 2016 Lake Biwa Marathon and finished dismal 35th with 2:19:06. Later he transferred to Nishitetsu track team. He was ninth in the 2016 Hokkaido Marathon with 2:16:30 and then was 20th in with 2:16:16 in the 2017 Beppu-Oita Marathon. In short, slowly but surely, Fukuda improved his marathon personal best.

His breakthrough race was the 2017 Hokkaido Marathon where after titanic battle with Akinobu Murasawa, Fukuda finished third with 2:15:11. A year later in the 2018 Lake Biwa Marathon, he was only 23rd with 2:18:16, but in the 2018 Gold Coast Marathon, Fukuda battled with Kenta Murayama and 44 years old Kenneth Mungara and finished third with 2:09:52. After recording his first sub-2:10 marathon, Fukuda said, "I am happy with my sub-2:10 clocking but not happy because I could not win." Before the 2018 Hokkaido Marathon, Fukuda declared, "I am going after the win to qualify for the MGC," but finished dismal 29th with 2:21:28. Fukuda appears on the TV commercial for his team Nishitetsu. Since he qualified for the MGC in Fukuoka, he is likely to go after a fast time in Tokyo. Perhaps 2:08 marathon will be his goal.

福田穰は2018年7月のゴールドコーストラソンで、初めて2時間10分切りとなる2時間09分52秒で3位に入った。12月の福岡マラソンでは、自己2番目のタイム(2時間11分以内の)2時間10分54秒で自己2番目の順位となる7位(MGCを獲得していない日本人3位)に入り、MGC出場権を獲得した。

日本マラソンの父、金栗四三の出身地である熊本県玉名市で小中学時代を過ごした福田は、スピードがある選手ではない。5000mのベストは14分台で、10000mのベストも28分44秒、そしてハーフマラソンのベストは1時間04分台に過ぎないのだ。

八千代工業時代の2016年3月にびわ湖で初マラソンに挑み、2時間19分06秒で35位に終わった。その後は西鉄に移籍して、8月の北海道マラソンでは2時間16分30秒で9位、2017年2月の別府大分毎日マラソンで2時間16分16秒で20位、と少しずつ自己ベストを更新していた。

飛躍のきっかけとなったのは2017年8月の北海道マラソン。優勝した村澤明伸と終盤まで争い、2時間15分11秒で3位に入った。2018年3月のびわ湖毎日マラソンでは2時間18分16秒で23位に終わったが、7月のゴールドコーストラソンでは、44歳のケネス・ムンガラ、そして村山謙太との大接戦の末、2時間09分52秒をたたき出したのである。「サブテンを出せたのはよかったが最後勝てなかったのは残念」と福田。そして8月末の北海道マラソン前には「優勝してMGCの参加資格を得たい」と宣言したが、結果は2時間21分28秒で29位、と振るわない結果だった。福岡に拠点を置く所属チーム・西鉄のコマーシャルにも出演している福田。その福岡でMGCを獲得した。東京ではタイムを狙ってくるだろう。2時間8分台が次の目標か？

国内招待選手 男子

ATHLETES

No.
27

大塚 祥平 (福岡・九電工)

OTSUKA, Shohei (JPN)



DOB : 13 Aug 1994
AGE : 24
Height : 178cm
Weight : 59kg

Personal Bests

5000m	13:55.41	-2018
10000m	28:30.10	-2018
Half Marathon	1:02:32	-2014
Marathon	2:10:12	-2018

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018	13:55.41	28:30.10		2:10:12
2017	13:56.40	28:46.36		2:15:10
2016	13:57.29	28:48.94	1:04:44	

Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:12:07	Hokkaido - Sapporo	4th	26 Aug 2018
Personal Best	2:10:12	Beppu - Oita	3rd	4 Feb 2018
	2:15:10	Lake Biwa - Otsu	16th	5 Mar 2017

2019 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 - 22.4km	25th	1:07:05

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Dec	Kosa 10 Miler	10 Miles	5th	46:21
3 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden - Fukuoka	Stage7 - 16.3km	1st	46:26
28 Aug	Hokkaido Marathon - Sapporo	Marathon	4th	2:12:07
4 Feb	Beppu - Oita Marathon	Marathon	3rd	2:10:12
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 - 22.4km	14th	1:06:48

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Nov	Kyushu Corporate team Ekiden - Fukuoka	Stage8 - 19.7km	2nd	40:25
5 Mar	Lake Biwa Marathon - Otsu	Marathon	16th	2:15:10
22 Jan	Inter - Prefectural Men's Ekiden - Hiroshima	Stage7 - 13km	15th	38:36
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage5 - 20.8km	1st	1:12:46

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Nov	National Collegiate Ekiden Championships	Stage8 - 19.7km	3rd	58:03
10 Oct	Izumo Ekiden	Stage6 - 10.2km	4th	30:14
22 May	Kanto District Collegiate Championships - Yokohama	Half Marathon	4th	1:04:44
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage5 - 23.2km	4th	1:20:38

In his second marathon Shohei Otsuka was third with 2:10:12 in the 2018 Beppu Oita Marathon. Then in his next marathon, 2018 Hokkaido Marathon in August, he was third Japanese (fourth overall) with 2:12:07. Since he was faster than 2:13, Otsuka has clinched the spot on the MGC (Marathon Grand Championship, Japanese Olympic Marathon Trials).

When he was a high school senior, Otsuka was the fastest Japanese in the stage three of the Japanese National High School Ekiden Championships and in his junior year of college, at the All Japan Collegiate Ekiden Championships, he was the fastest Japanese in the stage eight. However, each time runner from Kenya was ahead of him. It was at the 2017 Hakone Ekiden, when Otsuka was a senior in college, he finally won the best stage award outright in the mountain climbing fifth stage. Two months after the Hakone Ekiden in March of 2017, he made his marathon debut at the Lake Biwa Marathon. He strained his calf around 23km and by 30km he was just jogging. At the end, Otsuka was 16th with 2:15:10. Otsuka, who said, "Since I am not endowed with a speed, I would like to concentrate on the marathon," joined Kyudenko track team in April of 2017. Since his 5000m best is only 13:55 and 10000m best is 28:30, indeed he lacks speed. However, since these personal bests are recorded in 2018, he is getting faster. That is not all. Since the marathon best for 1991 World Marathon Champion Hiromi Taniguchi is scintillating 2:07:40, despite his 5000m best is only 13:49 and his 10000m best is 28:34, it will not be a surprise if Otsuka ran sub-2:10 marathon soon. Incidentally, it is estimated that Otsuka's 2:12 marathon in the Hokkaido Marathon in August is intrinsically better than 2:10 marathon in the Betsudai Marathon in February. So Otsuka may already have sub-2:10 marathon in him. It might happen in Tokyo.

大塚祥平は2回目のマラソンとなった2018年別府大分毎日マラソンでは、2時間10分12秒で3位に入った。その次の2018年8月の北海道マラソンで(2時間13分以内の)2時間12分07秒を出し、日本人3番目の4位に入りMGC参加資格を勝ち取ったのである。

高校3年時に全国高校駅伝3区で日本人1位のタイムをたたきだし、大学3年の時に全日本大学駅伝での8区で日本人1位になったが、留学生にはばまれ区間賞は逃していた。大塚が初めての区間賞をもぎ取ったのが、2017年大学4年生の時。箱根駅伝の山登りの5区で区間賞に輝いたのである。箱根の2ヵ月後には2017年びわ湖で初マラソンに挑戦。23km過ぎからふくらはぎがつり、30km以降はジョギング状態になり、2時間15分10秒で16位に沈んだ。2017年4月に九電工の陸上部に入った大塚は「スピードがないのでマラソンで勝負したい」と語っている。確かに自己ベストは5000mで13分55秒、10000mで28分30秒で、スピードがあるとは言い難い。しかし、これらの自己ベストは2018年に記録されたタイムで、スピードはついてきているのだ。それだけではない。例えば1991年世界選手権マラソンチャンピオンである谷口浩美の自己ベストは5000mで13分49秒、10000mで28分34秒に過ぎないが、マラソンでは2時間07分40秒で走っている。故に大塚が現在2時間10分台の自己ベストを大きく更新することが期待される。ちなみに夏の北海道マラソンでの2時間12分台は別大マラソンの2時間10分台より上だと推測されている。東京での2時間10分切りは可能はずだ。

No.
28

神野 大地 (東京・セルソース)

KAMINO, Daichi (JPN)



DOB : 13 Sep 1993
AGE : 25
Height : 165cm
Weight : 46kg

►Personal Bests

5000m	13:56.05	-2018
10000m	28:17.54	-2016
Half Marathon	1:01:04	-2017
Marathon	2:10:18	-2018

►Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018	13:56.05	29:09.48	1:02:19	2:10:18
2017		28:56.34	1:01:04	2:12:50
2016	14:02.49	28:17.54		

►Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:19:28	Fukuoka	29th	2 Dec 2018
	DNF	Berlin	DNF	16 Sept 2018
Personal Best	2:10:18	Tokyo	18th	25 Feb 2018
	2:12:50	Fukuoka	13th	3 Dec 2017

►2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	29th	2:19:28
18 Nov	Ageo Half Marathon	Half Marathon	7th	1:02:19
16 Sept	Berlin Marathon	Marathon	DNF	DNF
1 July	Hakodate Half Marathon	Half Marathon	7th	1:02:55
25 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	18th	2:10:18
4 Feb	Marugame Half Marathon	Half Marathon	17th	1:02:35
1 Jan	New Year Ekiden	Stage7 - 15.5km	12th	48:38

►2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
3 Dec	Fukuoka Marathon	Marathon	13th	2:12:50
10 Sept	Great North Run	Half Marathon	12th	1:04:47
19 Feb	Oume Marathon	30km	3rd	1:31:33
5 Feb	Marugame Half Marathon	Half Marathon	5th	1:01:04
22 Jan	Inter - Prefectural Men's Ekiden - Hiroshima	Stage7 - 13km	3rd	38:01
1 Jan	New Year Ekiden	Stage4 - 22km	7th	1:03:49

►2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Kosa 10 Miler	10 Miles	1st	46:38
3 Nov	East JPN Corporate team Ekiden	Stage2 - 15.3km	3rd	45:14
2 Jan	Hakone Ekiden	Stage5 - 23.2km	2nd	1:19:17

Because Daichi Kamino recorded the stage record in the mountain climbing stage of the Hakone Ekiden, he is known as a third generation "mountain god." For a preparation for the marathon debut in the 2017 Fukuoka International Marathon, Kamino also included 70km long run. At one time Kamino was thinking about breaking the national marathon record in Fukuoka, but he later changed his goal to 2:08:59. However, he was only 13th with 2:12:50, far cry from his goal. He felt that marathon is not easy. After the disappointing race, Kamino said, "I was running well until 20km... On the next race, I would like to run strongly until 30 to 35km." In the following race, Tokyo Marathon 2018, he hit the wall at 35km, and finished 18th with 2:10:18.

Kamino ran the 10000m in the 2012 Asian Junior Championships and won a silver medal when he was a college freshman. With his fantastic run in Hakone Ekiden, Kamino became a household name. After graduation, in the spring of 2016, Kamino joined Konica Minolta track team. In July, Kamino recorded 10000m best of 28:17.54. In Kosa 10 Miler in November, Kamino won the Japanese athletes division of the race with 46:38. Kamino was fifth in the 2017 Kagawa Marugame Half Marathon with the new personal best of 1:01:04, which at the time was eighth fastest time in history for Japanese runners. In Marugame, Kamino finished six second ahead of Suguru Osako, national marathon record holder. In mid-February, Kamino ran Oume 30Km road race and finished third overall, first Japanese, with 1:31:33.

After April of 2018, he left Konica Minolta track team and became a professional runner. He ran the 2018 Berlin Marathon but failed to finish the race. In December, he was dismal 29th with 2:19:28 at the Fukuoka International Marathon. Masato Imai, the original "mountain god", had to run seven marathons before he cracked 2:10 marathon. For Kamino, Tokyo will be only his fifth marathon. Let's watch his progress with patience.

神野大地は 2015 年箱根駅伝の 5 区で区間新記録を出し、3 代目「山の神」と呼ばれるようになった。70km 走も組み込んだ厳しい練習を積んで、2017 年福岡国際マラソンで初マラソンに挑戦した。一時期「初マラソンで日本記録を破りたい」と意気込んでいたが、レース前には 2 時間 8 分台でのフィニッシュを目標にしていた。しかし結果は 2 時間 12 分 50 秒で 13 位。「マラソンは甘くない」と感じたという。レース後、神野は「20km まではよかったが...。次は 30km、35km までしっかり走りたい」と次のレースへの目標を口にした。東京マラソン 2018 では 35km 過ぎで失速したが、2 時間 10 分 18 秒で 18 位とまずまずの成績を残した。

2012 年にアジアジュニア選手権の 10000m で銀メダルを獲得。大学 3 年の時には箱根駅伝の一躍有名になり、卒業後の 2016 年春にコニカミノルタの陸上部に入部した。7 月に 10000m 自己ベストとなる 28 分 17 秒 54 を記録し、11 月の甲佐 10 マイルでは 46 分 38 秒で日本選手の部を制している。2017 年香川丸亀ハーフマラソンでは自己ベストとなる当時日本歴代 8 位タイのタイム、1 時間 01 分 04 秒で 5 位入っている。このレースでは日本マラソン記録保持者・大迫傑の 6 秒前にフィニッシュしている。2 月の半ばに青梅で 30km ロードレースを走り 1 時間 31 分 33 秒で 3 位に入り、福岡で初マラソンに挑んだ。

2018 年 4 月末にはコニカミノルタを退社し、プロランナーに転身。その後 9 月のベルリンに出場したが途中棄権。12 月の福岡マラソンでは 2 時間 19 分 28 秒で 29 位と低迷が続いている。初代「山の神」こと今井正人が 2 時間 10 分の壁を破ったのは 8 回目のマラソンだ。東京で 5 回目のマラソンを走る神野をもう少し長い目で見守りたい。

ATHLETES

TOKYO
MARATHON
2019

海外招待選手 女子

ATHLETES

International Invited Athletes WOMEN

No.
51

ルティ・アガ (エチオピア)

AGA, Ruti (ETH)



DOB : 16 Jan 1994
AGE : 25
Height : 152cm
Weight : 44kg

Personal Bests

Half Marathon	1:06:39	-2018
Marathon	2:18:34	-2018

International Championships Highlights

5000m	
2nd in 2012 World Junior Championships;	
Cross Country	
5th in 2013 Worl Cross Country Championships;	

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018			1:06:39	2:18:34
2017		/32:46	1:10:02	2:20:41
2016		/34:49	1:08:07	2:24:41

Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:18:34	Berlin	2nd	16 Sept 2018
	2:21:19	Tokyo	2nd	25 Feb 2018
	2:20:41	Berlin	2nd	24 Sept 2017
	2:33:26	Boston	10th	17 Apr 2017
	2:46:16	Dubai	13th	20 Jan 2017
	2:24:41	Berlin	3rd	25 Sept 2016
	2:25:27	Wine	2nd	10 Apr 2016
	DNF(pace)	Osaka Women	DNF(pace)	31 Jan 2016

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Sept	Berlin Marathon	Marathon	2nd	2:18:34
25 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	2nd	2:21:19
14 Jan	Houston Half Marathon	Half Marathon	1st	1:06:39

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Sept	Berlin Marathon	Marathon	2nd	2:20:41
17 Apr	Boston Marathon	Marathon	10th	2:33:26
19 Mar	Meia Maratona Internacional de Lisboa	Half Marathon	5th	1:10:02
20 Jan	Dubai Marathon	Marathon	13th	2:46:16

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Sept	Berlin Marathon	Marathon	3rd	2:24:41
10 Apr	Vienna City Marathon – Wien	Marathon	2nd	2:25:27
20 Mar	Meia Maratona Internacional de Lisboa	Half Marathon	1st	1:09:16
31 Jan	Osaka Women's Marathon	Marathon	DNF(pace)	DNF(pace)
17 Jan	Houston Half Marathon	Half Marathon	4th	1:08:07

In 2018 Berlin Marathon, Ruti Aga was second with 2:18:34. She became sixth fastest marathon runner with the ninth fastest time. She improved her personal best from the 2017 Berlin Marathon, 2:20:41, by more than two minutes. She is the fastest runner in this year's Tokyo Marathon.

She finished second at 5000m in the 2012 World Junior Championships in Barcelona. Following year in 2013, Aga was fifth in the junior division at the 2013 World Cross Country Championships. In January of 2016, Ruti ran in the Houston Half Marathon. Although she was only fourth in Houston, Ruti recorded a half marathon personal best of 1:08:07. In January of 2016, Ruti ran the 2016 Osaka Women's Marathon as a pacemaker. This experience as a pacemaker gave confidence for her to run the marathon and she later decided to enter the 2016 Vienna City Marathon. "I have decided to make a marathon debut in Vienna, because Haile (Gebreselassie) ran here," said Aga before the race. Although Shuko Genemo (ETH) surged away from Aga with 5km to go in the race, Aga still finished strong second with 2:25:27, despite the strong wind. It was relatively good marathon debut. Five and a half months later in the 2016 Berlin Marathon, Aga improved her personal best with 2:24:41. However, in early 2017, she was only 13th in the Dubai Marathon and tenth in the Boston Marathon. In September, Aga ran the Berlin Marathon, where Gladys Cherono (KEN) ran away from her in the final 7km of the race, but for the first time in three marathon starts, Aga improved her personal best to 2:20:41, a record that ranked her among the world's best. In January of 2018, in Houston, Aga improved her half marathon best to 1:06:39; it was more than a minute and half improvement of her personal best. In this year's Tokyo Marathon, she could be the fifth runner, after Paula Radcliffe, Mary Keitany, Tirunesh Dibaba and Ruth Chepngetich, to crack 2:19 for multiple times.

ルティ・アガは2018年ベルリンマラソンでは2位ながら2時間18分34秒の歴代9位のタイムを出し、史上6番目に速いランナーになった。前年のベルリンマラソンで記録した2時間20分41秒を2分以上も更新。今回東京マラソンを走るランナーの中で最も速い自己ベストを持つ選手だ。

2012年世界ジュニア選手権の5000mで2位、翌2013年には世界クロスカントリー選手権ジュニアの部で5位に入り、2016年の1月のヒューストンハーフマラソンでは、4位ではあったものの1時間08分07秒の自己ベストを記録している。その年の大阪国際女子マラソンでペースメーカーを務めたことで「本格的にマラソンに参戦する自信がついた」と話す。同年4月ウイーンで初マラソンに挑戦。彼女は「ハイレ（ゲブレシラシエ）が走っているこのレースで初マラソンに挑戦することを決断した」と語った。残り5kmで優勝したシュコ・ジェネモに振り切られたが、強風の中のレースにもかかわらず2時間25分27秒とまずまずの初マラソンのタイムで2位に入ったのである。その5カ月半後にはベルリンマラソンを走り、2時間24分41秒で自己ベストを更新している。しかし、その後2017年のドバイマラソンでは13位、そしてボストンマラソンでは10位と壁にぶち当たった。満を持して9月に挑んだベルリンマラソン。残り7kmでグラディス・チェロノに逃げられ、優勝をさらわれたが、自己ベストを更新。しかも一流選手の証となる2時間20分台のタイムをたたきだした。昨年1月のヒューストンハーフマラソンで1時間06分39秒を出し自己ベストを1分半以上更新したアガ。今回の東京で、ポーラ・ラドクリフ、メアリー・ケイタニー、ティルネシュ・ディババそしてルース・チェプンゲティチしか成し遂げていない複数回の2時間19分切りが期待される。

海外招待選手 女子

ATHLETES

No. 52 ボルフェイセ・タデセ (エチオピア)

TADESE, Boru Feyse (ETH)



DOB : 19 Nov 1988
AGE : 30
Height : 167cm
Weight : 52kg

Personal Bests

Half Marathon	1:08:35	-2013
Marathon	2:19:30	-2018

International Championships Highlights

Half marathon	
4th in 2010, 2nd in 2012 World Half Marathon Championships	
World Cross Country Championships	
7th in 2010	
Marathon	
DNF in 2013 World Championships	

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018				2:19:30
2017				2:26:46
2016				2:25:03

Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:19:30	Dubai	2nd	26 Jan 2018
	2:26:46	Praha	5th	7 May 2017
	2:25:03	London	7th	26 Apr 2016
	2:20:27	Berlin	2nd	28 Sept 2014
	2:21:42	London	4th	13 Apr 2014
	DNF	World Championships - Moskva	DNF	10 Aug 2013
	2:21:06	Paris	1st	7 Apr 2013
	2:23:07	Shanghai	1st	2 Dec 2012
	2:23:26	Seoul	1st	18 Mar 2012

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Jan	Dubai Marathon	Marathon	2nd	2:19:30

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 May	Prague Marathon - Praha	Marathon	5th	2:26:46

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Apr	London Marathon	Marathon	7th	2:25:03

In the 2018 Dubai Marathon in January, Feyse Boru Tadesse recorded the personal best of 2:19:30. She is the second fastest runner in Tokyo following Ruti Aga.

Tadesse made her marathon debut in the 2009 Venetia Marathon and finished with 2:36:57. Following year in March she made first Ethiopian national team for the World Cross Country Championships and finished seventh in Poland. In October of the same year, she ran in the World Half Marathon Championships in Nanning China and finished fourth with 1:09:28, personal best. In November, she improved half marathon best to 1:08:50 in the 2011 Delhi Half Marathon. For four consecutive years since 2011, Tadesse improved her marathon personal best. In 2011, she ran Dubai Marathon and Eindhoven Marathon and improved her marathon time to 2:25:20. In 2012 she ran Seoul Marathon and Shanghai Marathon and improved her best to 2:23:07. In 2012, she ran the World Half Marathon Championships for the second time and finished second, only one second behind the winner. In 2011 she improved her half marathon best to 1:08:44 and then in the 2013 RAK Half Marathon, world premier half marathon, she improved it to 1:08:35. At the marathon, she improved her best to 2:21:06 in the 2013 Paris Marathon. She dropped out of the 2013 World Championships Marathon, but in the 2014 Berlin Marathon, Tadesse improved her best to 2:20:27. She failed to improve her marathon best in 2015, 2016 and 2017, but in the 2018 Dubai Marathon, she cracked 2:20 for the first time with 2:19:30. She became the eleventh fastest marathon runner in history at the time. In Tokyo, Tadesse could become the sixth runner, after Paula Radcliffe, Catherine Ndereba, Tirunesh Dibaba, Ruth Chepngetich and Debele Degefa to crack 2:20 for the marathon in two consecutive marathons.

2018年1月のドバイマラソンで2時間19分30秒の自己ベストを記録し、今回東京マラソンを走る選手の中でルティ・アガに次いで2番目に速いマラソンの自己ベストを持つ選手である。

2009年ベネチアマラソンで初マラソンに挑み、2時間36分57秒を記録。翌年3月にはポーランドで行われた世界クロスカントリー選手権で初めてエチオピア代表に選ばれ、7位入賞を果たした。同年10月、中国南寧での世界ハーフマラソン選手権では自己ベストとなる1時間09分28秒で4位に入った。2010年11月にはデリーハーフマラソンで1時間08分50秒を記録して自己ベストを更新。マラソンでは、2011年から2014年まで4年連続で自己ベストを更新している。2011年にはドバイとアイントハーフェンでマラソンを走り2時間25分20秒まで更新。翌2012年もソウルと上海でマラソンを走り、2時間23分07秒まで記録を伸ばした。2012年の10月には2度目の世界ハーフマラソン選手権に出場、優勝者からわずか1秒遅れのタイムで銀メダルを獲得した。2011年にはハーフマラソンの自己ベストを1時間08分44秒まで伸ばし、2013年には強豪ひめく RAK ハーフマラソンで自己ベストを1時間08分35秒まで伸ばした。マラソン自己ベストもパリで2時間21分06秒まで更新した。世界選手権では途中棄権に追い込まれたが、翌2014年にはベルリンマラソンのベストを2時間20分27秒まで伸ばした。その後2015、2016、2017年と記録は低迷したが、2018年にはドバイで初めて2時間20分を切る2時間19分30秒のタイムをたたきだし、当時歴代で11番目に速いランナーになった。東京では、タデセにはポーラ・ラドクリフ、キャサリン・デレバ、ティルネシュ・ディババ、ルース・チェブングエティチ、そしてデベレ・デゲファ以来の2大会連続の2時間20分切りの期待が膨らむ。

No.
53

イエブルガル・メレセ (エチオピア)

MELESE, Yebrgual (ETH)



DOB : 18 Apr 1990
AGE : 28
Height : 160cm
Weight : 40kg

► Personal Bests

Half Marathon	1:07:18	-2018
Marathon	2:19:36	-2018

► International Championships Highlights

World Cross Country Championships	29th in 2013
-----------------------------------	--------------

► Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018			1:07:18	2:19:36
2017				2:22:51
2016				2:24:49

► Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:20:36	Shanghai	1st	18 Nov 2018
	2:27:47	Dongying	2nd	5 May 2018
Personal Best	2:19:36	Dubai	3rd	26 Jan 2018
	2:24:30	Frankfurt	2nd	29 Oct 2017
	2:22:51	Paris	5th	9 Apr 2017
	2:23:13	Dubai	3rd	20 Jan 2017
	2:24:49	Chicago	5th	9 Oct 2016
	2:32:06	Paris	5th	3 Apr 2016
	2:23:43	Chicago	2nd	11 Oct 2015
	2:23:49	Praha	1st	3 May 2015
	2:23:23	Houston	1st	18 Jan 2015

► 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
18 Nov	Shanghai Marathon	Marathon	1st	2:20:36
14 Oct	Santander Totta Half Marathon	Half Marathon	1st	1:07:18
5 May	Yellow River Estuary Marathon - Dongying	Marathon	2nd	2:27:47
26 Jan	Dubai Marathon	Marathon	3rd	2:19:36

► 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
29 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	2nd	2:24:30
9 Apr	Marathon de Paris	Marathon	5th	2:22:51
20 Jan	Dubai Marathon	Marathon	3rd	2:23:13

► 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Chicago Marathon	Marathon	5th	2:24:49
3 Apr	Marathon de Paris	Marathon	5th	2:32:06

Last year was the turning point of Yebrgual Melese's career. In Dubai Marathon in January, she improved her marathon best by more than three minutes and cracked 2:20 for the first time. In October, Melese ran half marathon for the first time in three years and improved her best to 1:07:18. It was more than one-minute improvement of her half marathon best, 1:08:21, recorded in the 2015 Praha Half Marathon. She now has 2:19 marathon as well as 1:07 half marathon, a hallmark of world class runner.

Her debut marathon was at the 2014 Dubai Marathon where she finished with 2:29:46. It was far from an impressive performance but she steadily improved her best in subsequent marathons. In her second marathon in Paris, she improved her best by nearly three and a half minutes to 2:26:21. She did not improve her best in the Gold Coast Marathon and Hangzhou Marathon, but in the 2015 Houston Marathon, Melese improved her best to 2:23:23. In her next marathon in Praha, she did not improve her best but it was her third marathon victory in a row. However, in her next three marathons, 2015 Chicago Marathon, 2016 Paris Marathon and 2016 Chicago Marathon, Melese failed to improve her best and win these three marathons. However, she improved her personal best by ten seconds in the 2017 Dubai Marathon, and followed it up with another improvement to 2:22:51 in the 2017 Paris Marathon, which led to the breakthrough year of 2018. In her last marathon in Shanghai, Melese won with 2:20:36, second best time of her career. In Tokyo, Melese could be the ninth runner to crack 2:20 for multiple times.

イエブルガル・メレセにとって2018年は大飛躍の年だった。1月のドバイマラソンで、マラソン自己ベストを3分以上更新して超一流選手の証である2時間19分台に突入した。10月には3年ぶりにハーフマラソンに出場し1時間07分18秒の自己ベストを記録。2015年3月ブラハハーフマラソンでの1時間08分21秒を1分以上更新し、一流ランナーの指標となる1時間07分台に突入したのである。

初マラソンとなった2014年ドバイマラソンは2時間29分46秒と特筆に値するものではなかったが、その後着実に自己ベストを伸ばしていった。2度目となったパリマラソンでは自己ベストを3分半近く更新する2時間26分21秒を記録。その後のゴールドコーストと中国杭州でのマラソンでは停滞したが、2015年1月のヒューストンマラソンで自己ベストを更新する2時間23分23秒で優勝。次のブラハマラソンでは自己ベストにはわずかに及ばなかったが勝利し、マラソン3連勝を達成した。その後シカゴ、パリ、そして翌年のシカゴの3大会では自己記録を伸ばさず、優勝もできなかった。しかし2017年ドバイマラソンでようやく自己ベストを10秒更新した。同年4月のパリマラソンでは2時間22分51秒まで記録を更新し、翌2018年の飛躍につながった。直近の上海マラソンでは2時間20分36秒の自己2番目の記録で優勝。今回の東京で、メレセは複数回2時間20分切った9人目のランナーになる可能性がある。

海外招待選手 女子

ATHLETES

No.
54

フローレンス・キブラガト (ケニア)

KIPLAGAT, Florence (KEN)



DOB : 27 Feb 1987
AGE : 32
Height : 155cm
Weight : 42kg

Personal Bests

5000m	14:40.14	- 2009
10000m	30:11.53	- 2009
Half Marathon	1:05:09WR	- 2015
Marathon	2:19:44	- 2011

International Championships Highlights

5000m	2nd in 2006 World Junior Championships
10000m	12th in 2009 World Championships
World Cross Country Championships	5th in 2007 and 1st in 2009
Half marathon	1st in 2010 World Half Marathon Championships

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018				2:26:08
2017			1:08:15	2:26:25
2016			1:09:19	2:21:32
2015			1:05:09	2:23:33

Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:26:08	Chicago	4th	7 Oct 2018
	DNF	Chicago	DNF	8 Oct 2017
	2:26:25	London	9th	23 Apr 2017
	2:21:32	Chicago	1st	9 Oct 2016
	2:23:39	London	3rd	24 Apr 2016
	2:23:33	Chicago	1st	11 Oct 2015
	2:24:15	London	5th	26 Apr 2015
	2:25:57	Chicago	2nd	12 Oct 2014
	2:20:24	London	2nd	13 Apr 2014
	2:21:13	Berlin	1st	29 Sept 2013
	2:27:05	London	6th	21 Apr 2013
	2:20:57	London	4th	22 Apr 2012
Personal Best	2:19:44	Berlin	1st	25 Sept 2011
	DNF(1:42:59 at 30K)	Boston	DNF	18 Apr 2011

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Dec	Kolkata 25K	25km	5th	1:27:57
7 Oct	Chicago Marathon	Marathon	4th	2:26:08

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
8 Oct	Chicago Marathon	Marathon	DNF	DNF
23 Apr	London Marathon	Marathon	9th	2:26:25
12 Feb	Mitja Marato de Barcelona	Half Marathon	1st	1:08:15

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
9 Oct	Chicago Marathon	Marathon	1st	2:21:32
11 June	Zwolle Half Marathon - Zwolle	Half Marathon	3rd	1:11:20
24 Apr	London Marathon	Marathon	3rd	2:23:39
14 Feb	Mitja Marato de Barcelona	Half Marathon	1st	1:09:19

Florence Kiplagat won the 2011 Berlin Marathon, her second marathon, with 2:19:44. It was the ninth fastest marathon time in history at the time. She ran twelve marathons since, but failed to improve the best.

In 2009, Kiplagat set her personal best of 14:40.14 at 5000m and 30:11.53 at 10000m. In the same year, Kiplagat won the World Cross Country Championships. She cracked 15 minutes for 5000m three times and cracked 31 minutes for the 10000m twice, a hall mark of the world class runner. Before she ventured into the marathon, Kiplagat was the world class runner in track and cross country events. In September of 2010, at Lille, she made her half marathon debut and won the race with very respectable 1:07:40. Later in October, she won the World Half Marathon Championships, and that is not all, she set a world record of 1:05:12 at the half marathon in Barcelona in February of 2014. A year later, she improved it to 1:05:09.

Her marathon debut was at the 2011 Boston Marathon. Although she passed the halfway point in 1:11:42 and 30km point in 1:42:59, eventually she was forced to drop out of the race. She won her second marathon in Berlin with sub-2:20 clocking. After Berlin, she ran 12 marathons and won three times. Although she has one DNF, she has finished in top nine positions in all other races. She won the 2016 Chicago Marathon in 2:21:32 and won the 2017 Barcelona Half Marathon with 1:08:15. Kiplagat's marathon best is relatively slow for a runner with 1:05 half marathon best, and so for Tokyo, we look forward to her potential to run a 2:19.

2度目のマラソンとなった2011年ベルリンマラソンで2時間19分44秒と、当時歴代9位の素晴らしいタイムをたたき出した。その後12回マラソンを走ったが、自己ベストは更新できていない。

2009年には5000mで14分40秒14、10000mで30分11秒53の自己ベストを記録し、同年3月に行われた世界クロスカントリー選手権でも優勝している。超一流のトラックランナーの証しである5000m14分台を3度、10000m30分台を2度記録。マラソンに進出する前のキブラガトは、トラックとクロスカントリーで活躍してきた。2010年9月にはリールで初ハーフマラソンに挑み、いきなり1時間07分40秒で優勝。10月には世界ハーフマラソン選手権を制している。2014年2月にはバルセロナのハーフマラソンで1時間5分12秒の世界記録を樹立、その一年後には世界記録を更に1時間05分09秒まで更新した。

彼女の初マラソンは2011年のボストンマラソン。ハーフマラソン地点を1時間11分42秒で、30kmを1時間42分59秒で通過したが、途中棄権に終わった。2回目のマラソンとなったベルリンでは2時間20分切りを達成して優勝。その後12回マラソンを走って3回優勝。途中棄権が1回あるが、それ以外は全て9位以内でフィニッシュしている。2016年シカゴマラソンを2時間21分32秒で制し、2017年のバルセロナハーフマラソンでは1時間08分15秒で優勝している。キブラガトはまだハーフマラソン1時間05分台に見合うようなマラソンの記録を出していない。東京では最低でも2時間19分台の記録を期待されている。

No.
55

アバベル・イエシャネ (エチオピア)

YESHANEH, Ababel (ETH)



DOB : 22 Jul 1991
AGE : 27
Height : 157cm
Weight : 42kg

▶ Personal Bests

5000m	14:41.58	-2016
10000m	30:35.91	-2013
Half Marathon	1:05:46	-2018
Marathon	2:33:10	-2013

▶ International Championships Highlights

5000m	
14th in 2016 Olympic Games	
10000m	
9th in 2013 World Championships	

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018			1:05:46	
2017			1:07:21	
2016	14:41.58	30:54.12	1:07:52	

▶ Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:20:16	Abu Dhabi	1st	7 Dec 2018
	DNF	Dubai	DNF	26 Jan 2018
Personal Best	2:33:10	Milano City	3rd	7 Apr 2013
	2:34:36	Torino	6th	13 Nov 2011

**hot verified

▶ 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Dec	Abu Dhabi Marathon	Marathon(short)	1st	2:20:16
21 Oct	Delhi Half Marathon	Half Marathon	5th	1:07:49
16 Sept	Copenhagen Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:05:46
22 Apr	Yangzhou Jianzhen Half Marathon	Half Marathon	1st	1:09:06
8 Apr	Istanbul Half Marathon	Half Marathon	1st	1:06:20
26 Jan	Dubai Marathon	Marathon	DNF	DNF

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
19 Nov	Delhi Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:07:21
23 Apr	Yangzhou Jianzhen Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:10:38
19 Mar	Meia Maratona Internacional de Lisboa	Half Marathon	6th	1:10:13

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Nov	Delhi Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:07:52
19 Aug	Olympic Games – Rio de Janeiro	5000m	14th	15:18.26
22 May	Meeting Mohammed VI (Diamond League) – Rabat	5000m	5th	14:41.58
3 Jan	Adana Half Marathon	Half Marathon	1st	1:09:36

The first edition of the Abu Dhabi Marathon was held over the flat and fast course and several world class runners started the race. The pack of four runners including Ababel passed 10km in 33:14, halfway point in 1:10:13 and 30km point in 1:40:12. In the final stage of the race, the race came down to Ababel versus Eunice Chumba and Ababel pulled away from Chumba in the final km and won with the personal best of 2:20:16.

She started running the races outside of Ethiopia in 2011. In her first half marathon, she recorded 1:09:00. Then in November she ran 2011 Torino Marathon and recorded 2:34:36. In April of 2013 she ran her second marathon in Milano and improved her personal best slightly to 2:33:10 while finishing third. In June she recorded 10000m best of 30:35.91 and selected to represent Ethiopia for the World Championships, where she finished ninth.

She did not run any marathon in the next five years, but in 2016 she ran sub-15 minutes 5000m twice, improving her best to 14:41.58. She ran the Ethiopian Olympic Trials 10000m in 2016 but was only eighth with 30:54.12, so she ran 5000m in Rio and finished 14th. Later in the year in the Delhi Half Marathon, Ababel improved her half marathon best to 1:07:52. Following year, in the 2018 Istanbul Half Marathon, she improved her best to 1:06:22 and then in September at the Copenhagen Half Marathon, she improved further to 1:05:46. This 1:05 half marathon implies that Ababel has an ability to run 2:20 marathon. Will that happen in Tokyo?

2018年12月に第1回アブダビマラソンが開催された。平坦な高速コースで強豪をそろえたレースだった。アバベルを含む4人の集団は10km地点を33分14秒、ハーフ地点を1時間10分13秒、30km地点を1時間40分12秒で通過した後、アバベルとユニス・チュンバとの一騎打ちに。最後の数kmでチュンバを振り切ったアバベルは2時間20分16秒の大幅な自己ベスト更新で優勝した。

2011年からエチオピア国外でレースを走り始めた。初めてのハーフマラソンで1時間09分00秒を記録、同年11月にはトリノで初マラソンを走り2時間34分36秒を記録した。2013年の4月にはミラノで2度目のマラソンを走り、3位ながら2時間33分10秒、とわずかながら自己ベストを更新。6月には10000mで30分35秒91の自己ベストを記録して4位に入り、世界選手権の代表に選ばれた。モスクワでは9位に入った。

その後5年間マラソンを走ることはなかったが、2016年には5000mで14分台を2度記録、14分41秒58まで自己記録を伸ばした。エチオピアのリオ五輪選考会の10000mにも出場したが、30分54秒12で8位。同五輪には5000mで出場し14位に入った。同年にはデリーのハーフマラソンで自己ベストを1時間07分52秒まで伸ばしている。2018年4月にはイスタンブールのハーフマラソンで1時間06分22秒まで自己ベストを更新。9月にはコペンハーゲンで1時間05分46秒まで伸ばした。ハーフの自己ベストが1時間05分台である彼女には2時間20分台を出す実力があるはずだ。東京では速いタイムが期待される。

海外招待選手 女子

ATHLETES

No. 56 シュレ・デミセ (エチオピア)

DEMISE, Shure (ETH)



DOB : 21 Jan 1996
AGE : 23
Height : 159cm
Weight : 45kg

Personal Bests

Half Marathon	1:08:53	-2014
Marathon	2:20:59	-2015

International Championships Highlights

Marathon	5th in the 2017 World Championships
----------	-------------------------------------

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018		33:46.7	1:13:01	2:22:07
2017			1:11:28	2:22:57
2016		32:14.25		2:25:04
2015		32:54.09	1:13:47	2:20:59

Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:22:15	Chicago	3rd	7 Oct 2018
	2:22:07	Tokyo	4th	25 Feb 2018
	2:27:58	World Championships - London	5th	6 Aug 2017
	2:22:57	Dubai	2nd	30 Jan 2017
	2:25:18	Toronto	1st	16 Oct 2016
	2:25:04	Tokyo	6th	28 Feb 2016
	2:23:37	Toronto	1st	18 Oct 2015
	2:27:15	Boston	8th	20 Apr 2015
Personal Best	2:20:59	Dubai	4th	23 Jan 2015

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Oct	Chicago Marathon	Marathon	3rd	2:22:15
19 May	Goteborgsvarvet - Goteborg	Half Marathon	9th	1:13:01
25 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	4th	2:22:07

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
6 Aug	World Championships - London	Marathon	5th	2:27:58
23 Apr	Yangzhou Jianzhen International Half Marathon	Half Marathon	4th	1:11:28
30 Jan	Dubai Marathon	Marathon	2nd	2:22:57

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Oct	Toronto Waterfront Marathon	Marathon	1st	2:25:18
28 Feb	Tokyo Marathon	Marathon	6th	2:25:04

Shure Demise of Ethiopia made a scintillating marathon debut. Two days after turning 19, Demise made her marathon debut in the 2015 Dubai Marathon and finished fourth with 2:20:59. Not only it was the fifth fastest marathon debut time in history, but it was also two and half minute improvement of the world junior marathon record.

Shure was inspired to start running after watching 1992 and 2000 Olympic champion of 10000m Derartu Tulu on television. As she started her career in running she explains that Tirunesh Dibaba, two-time Olympic 10000m champion, also became her inspiration. In March of 2014, Shure recorded a personal best of 1:08:53 in the Roma to Ostia Half Marathon. Thus with confidence on her ability for road racing, Shure decided to move up to the marathon.

At her debut in Dubai, Shure did not understand marathon well and did not even know that she can drink water during the race. However, she made a spectacular marathon debut and much expectations fell on her. Although she was only eighth in the Boston Marathon in April, Shure won the Toronto Waterfront Marathon comfortably with 2:23:37. It was her first marathon victory of her career. Although she was only sixth with 2:25:04 in Tokyo Marathon 2016, following in October, Demise won the Toronto Marathon again. Then in the 2017 Dubai Marathon, she was second with her second best marathon time, 2:22:57 leading her to be selected to represent Ethiopia in the World Championships. In London, she was fifth with the time 47 seconds behind the winner. So far Demise has not been able to improve her marathon best recorded in her debut marathon. However, she was fourth in the Tokyo Marathon 2018 with 2:22:07, second fastest time of her career, and third in the Chicago Marathon in October with 2:22:15, third fastest time of her career. Expectation for her to improve her record runs high in Tokyo.

シュレ・デミセの初マラソンは衝撃的だった。19歳になって2日後に挑んだ2015年ドバイマラソンで4位だったが、当時歴代で5番目に速い初マラソンのタイム2時間20分59秒を記録した。それだけではない。従来の世界ジュニア記録を2分半も更新する驚異のタイムだった。

デミセが走り始めたきっかけは1992年、2000年五輪10000mの金メダリストであるデラルツ・ツルへの憧れだったと話す。そして「走るようになってからは五輪10000mで2連勝したティルネシュ・ディババにも憧れるようになった」と言う。2014年の3月にローマ・オスティア・ハーフマラソンで1時間08分53秒を記録してロードに自信を深め、マラソンに距離を延ばす決意を固めた。

ドバイでの初マラソンでは「レース中に水を飲むこと」も知らなかったデミセだったが、いきなり速いタイムを出したことで、おおきな期待を背負うことになった。4月のボストンマラソンは8位だったが、10月のトロントでは2時間23分37秒の好記録でマラソン初優勝を成し遂げた。4回目のマラソンとなった2016年東京マラソンでは、2時間25分04秒で6位、10月にはトロントマラソンで2連覇を達成。そして2017年1月のドバイマラソンでは当時自己2番目の記録となる2時間22分57秒で2位に入り、初めて世界選手権の代表を射止めた。世界選手権ロンドン大会では1位から47秒遅れのタイムで5位入賞を果たしている。4年前の初マラソンで記録した自己ベストをいまだに更新できていないが、昨年の東京では自己2番目の記録となる2時間22分07秒、10月のシカゴマラソンでは自己3番目の記録となる2時間22分15秒。自己ベストの更新への期待が高まっている。

No.
57

ベダトゥ・ヒルバ (エチオピア)

HIRPA, Bedatu (ETH)



DOB : 28 Apr 1999
AGE : 19
Height : 155cm
Weight : 42kg

►Personal Bests

1500m	4:12.92	-2015
Marathon	2:21:32	-2018

►International Championships Highlights

1500m	
1st in 2015 World Youth Championships	

Bedatu Hirpa, the gold medalist at 1500m in the 2015 World Youth Championships, was third in the 2018 Frankfurt Marathon with 2:21:32, second fastest junior time in the world. Not to mention, the world junior record holder is Shure Demise who will also run the Tokyo Marathon 2019.

Her marathon debut was at the Madrid Marathon in April of 2017. The result was 2:34:47 for third place, mediocre performance at best. Seven month later she won the Athina Marathon but her time was 2:34:18, mere 29 seconds improvement of her personal best.

Her big breakthrough year was 2018. In February of 2018, at the Sevilla Marathon, she improved her marathon best by nearly eight and a half minutes to 2:25:54. She was third, 19 seconds behind the winner. In the following marathon in Frankfurt in October, she further improved her marathon best by another four minutes to 2:21:32. Incidentally, the winner Meskerem Assefa won with the new course record of 2:20:36, improving the previous course record of 2:21:01. Although Hirpa's personal best at 5000m, 10000m and half marathon is nothing special, she has improved her marathon best in three marathons in a row after her debut. Can she make the streak to four in Tokyo? No teenager has cracked 2:20 for the marathon. Since Hirpa will turn 20 years old in April, she will not be categorized as junior but she can still be the first teenager to crack 2:20 in Tokyo.

►Progressions

Year	1500m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018				2:21:32
2017				2:34:18
2016	4:19.29			

►Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:21:32	Frankfurt	3rd	28 Oct 2018
	2:25:54	Sevilla	3rd	25 Feb 2018
	2:34:18	Athinai	1st	12 Nov 2017
	2:34:47	Madrid	3rd	23 May 2017

►2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	3rd	2:21:32
25 Feb	Zurich Maraton Ciudad de Sevilla	Marathon	3rd	2:25:54

►2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
12 Nov	Athens Marathon	Marathon	1st	2:34:18
23 May	Rock n Roll Madrid Marathon	Marathon	3rd	2:34:47

2015年世界ユース選手権 1500m の金メダリストであるヒルバ・ベダツは、2018年フランクフルトマラソンで2時間21分32秒のジュニアで歴代2位のタイムをたたきだしている。ちなみにジュニアマラソン世界記録保持者は今回の東京マラソンを走るシュレ・デミセである。

ヒルバの初マラソンは2017年4月のマドリッドマラソンである。2時間34分47秒で3位と平凡な記録だった。7ヵ月後のアテネマラソンでは優勝したが、2時間34分18秒でわずか29秒の自己ベスト更新に終わった。

急成長を遂げたのは2018年。2月のセビリアマラソンでは8分半近くの自己ベスト更新となる2時間25分54秒で1位から19秒遅れの3位に入った。10月のフランクフルトマラソンではベストをさらに4分更新する2時間21分32秒で3位だった。ちなみに優勝したアセファは2時間20分36秒を記録し、2時間21分01秒だった大会記録を更新している。特筆されるような5000m、10000mそしてハーフマラソンの記録がないヒルバだが、初マラソン以後の3回のマラソンでは全て自己ベストを更新している。東京では4大会連続の自己ベスト更新が期待される。十代の選手で2時間20分を切ったランナーはまだいない。今年4月に20歳になるヒルバには、ジュニアの資格はないが、東京マラソンでの2時間20分切りに期待が膨らむ。

海外招待選手 女子

ATHLETES

No.
58

ミミ・ベレテ (バーレーン)

BELETE, Mimi (BRN)



DOB : 9 Jun 1988
AGE : 30
Height : 164cm
Weight : 62kg

Personal Bests

5000m	14:45.71	-2015
10000m	32:46.74	-2017
Half Marathon	1:09:15	-2017
Marathon	2:22:29	-2018

International Championships Highlights

5000m
Did not make a final at 2016 Olympic Games
11th in 2015 World Championships 1st in 2010 and 2nd in 2014 Asian Games

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018			1:09:26	2:22:29
2017	15:26.49	32:46.74	1:09:15	
2016	15:29.72			

Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:22:29	Toronto	1st	21 Oct 2018
	2:26:06	Hamburg	3rd	29 Apr 2018

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Oct	Toronto Waterfront Marathon	Marathon	1st	2:22:29
29 Apr	Haspa Marathon Hamburg	Marathon	3rd	2:26:06
11 Mar	Meia Maratona Internacional de Lisboa	Half Marathon	4th	1:11:38
11 Feb	Mitja Marató de Barcelona	Half Marathon	4th	1:09:26

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
19 Nov	Delhi Half - Marathon	Half Marathon	11th	1:12:22
23 Apr	Gifu Seiryu Half Marathon	Half Marathon	4th	1:12:22
12 Feb	Gensan Giulietta & Romeo Half Marathon - Verona	Half Marathon	1st	1:09:15

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
16 Aug	Olympic Games - Rio de Janeiro	5000m	10th	15:29.72

Along with her sister, Mimi Belete left her native country of Ethiopia and moved to Belgium. She started to run for Bahrain in 2009, and placed 28th in the 2009 World Cross Country Championships. A year later, she ran the World Cross Country Championships again and finished 16th. Belete, who was third in 1500m and won the 5000m in the 2010 Asian Games, also finished second in both 1500m and 5000m at the 2014 Asian Games. She was seventh at 1500m in the 2011 World Championships and eleventh at 5000m in the 2015 edition of World Championships. Her personal best at 1500m is 4:00.08 and 3000m is 8:30.00, both from 2014. They are both superior to the Japanese national record. Her 5000m personal best, 14:54.71, is at the same level as the Japanese national record. In short, Belete is quite a respectable middle distance runner.

She moved up to the 10000m in 2017 and recorded 32:46.74. She recorded 1:09:15 at her half marathon debut in February. She also ran Gifu Seiryu Half marathon in 2017 and finished fourth with 1:12:22.

She moved up to the marathon in 2018 and at the April's Hamburg Marathon, she was hampered by hamstrings trouble during the race and finished third in 2:26:06. In her second marathon in Toronto, she was one of four runners in the leading pack, passing the halfway point in 1:10:35. At the end, Belete pulled away from the defending champion Marta Lema and won with the new course record of 2:22:29. Lema who finished second in Toronto was fifth in the Tokyo Marathon 2017 and Ruth Chebitok who finished third in Toronto will run this year's Tokyo Marathon. Belete has improved her marathon best by three and a half minutes in her second marathon. For Tokyo 2019, new personal record can be expected.

生まれ故郷のエチオピアから妹と共に政治的難民としてベルギーに移り住んだベレテは、2009年からバーレーンの代表として走り始めた。同年には世界クロスカントリー選手権に出場し28位、翌年には世界クロスカントリー選手権に連続出場して16位に入っている。2010年アジア大会では1500mで3位、5000mで優勝しているベレテは、2014年アジア大会でも1500mと5000mの両種目で2位に入った一流の中距離ランナーだった。2011年世界選手権の1500mでは7位、2015年世界選手権の5000mでは11位。2014年の自己ベストは、1500mで4分00秒08、3000mで8分30秒00は日本記録よりはるかに速い。そして2015年に樹立した5000m自己ベスト14分54秒71は日本記録と同じレベルだ。

2017年に初めて10000mに出場し、32分46秒74。初のハーフマラソンでは1時間09分15秒を記録した。同年ぎふ清流ハーフマラソンも走り、1時間12分22秒で4位に入っている。

2018年は初マラソンに挑戦した。4月のハンブルグマラソンを走ったが、レース中、ハムストリングスの違和感に悩まされ2時間26分06秒で3位に終わった。2度目となった10月のトロントマラソンでは、4人の先頭集団でハーフマラソン地点を1時間10分35秒の素晴らしいタイムで通過し、最後は前回王者のマルタ・レマを振り切り、2時間22分29秒の大会記録で優勝している。ちなみにこのレースで2位に入ったレマは2017年の東京マラソンで5位入賞、3位に入ったルース・チェビトクは今回の東京マラソンを走る選手だ。2度目のマラソンで自己ベストを約3分半更新したベレテ。今回の東京でも自己ベストの更なる更新が期待できる。

No.
59

ヘレン・トラ (エチオピア)

TOLA, Helen (ETH)



DOB : 21 Nov 1994
AGE : 24
Height : 169cm
Weight : 48kg

▶ Personal Bests

Half Marathon	1:07:47	-2018
Marathon	2:22:48	-2018

▶ Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018		/31:13	1:07:47	2:22:48
2017		/31:16	1:09:48	2:22:51
2016			1:12:12	2:29:21

▶ Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
	2:22:48	Berlin	6th	16 Sept 2018
	2:22:51	Berlin	4th	24 Sept 2017
	2:25:04	Barcelona	1st	12 Mar 2017
	2:31:27	Frankfurt	7th	30 Oct 2016
	2:29:21	Annecy	1st	17 Apr 2016
	2:31:25	Lausanne	1st	25 Oct 2015

▶ 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
28 Oct	Medio Maraton Valencia	Half Marathon	8th	1:08:39
16 Sept	Berlin Marathon	Marathon	6th	2:22:48
11 Mar	Meia Maratona Internacional de Lisboa	Half Marathon	3rd	1:11:33
9 Feb	RAK Half Marathon	Half Marathon	9th	1:07:47

▶ 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
24 Sept	Berlin Marathon	Marathon	4th	2:22:51
3 Sept	Switzerland Marathon Light	Half Marathon	1st	1:09:48
21 May	Stralugano Half Marathon - Lugano	Half Marathon	3rd	1:12:27
12 Mar	Zurich Marato de Barcelona	Marathon	1st	2:25:04

▶ 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
30 Oct	Frankfurt Marathon	Marathon	7th	2:31:27
18 Sept	Kobenhavn Half Marathon	Half Marathon	11th	1:12:12
15 May	Big 25 Berlin	25km	2nd	1:28:32
24 Apr	20km de Lausanne	20km	1st	1:09:36
17 Apr	Marathon du Lac Annecy	Marathon	1st	2:29:21
6 Mar	Lago Maggiore Half Marathon - Stresa to Verbania	Half Marathon	2nd	1:15:37

Helen Tola, who recorded the half marathon personal best of 1:07:47 in the 2018 RAK Half Marathon in February, recorded a marathon personal best of 2:22:48 in the Berlin Marathon in September. It was third straight improvement of her marathon best following the 2017 Barcelona Marathon and the 2017 Berlin Marathon.

Tola made her marathon debut in the 2015 Lausanne Marathon in October and won with 2:31:25. Following April, she won the Annecy Marathon with new personal best of 2:29:21.

In the 2017 Barcelona Marathon in March, Tola improved her marathon best by more than four minutes to 2:25:04 where in the process winning her third marathon. Tola recorded several respectable performances in the fall of 2017. In September, she improved half marathon best by one minute to 1:09:48. Three weeks later in the 2017 Berlin Marathon, she finished fourth with 2:22:51 where Ruth Aga who placed second will also run Tokyo. A month later Tola ran 10km road race in Lausanne and recorded the personal best of 31:16. She recorded respectable times at all distances from 10km to the marathon. Then in 2018, she improved personal bests in all events. In February, at the RAK Half Marathon, Tola improved her half marathon time by more than two minutes to 1:07:47, and in September in Berlin, she improved her marathon best by three seconds to 2:22:48. In this race Aga was second and Honami Maeda was seventh. Both will run the Tokyo Marathon 2019. She finished the year with 10km personal best of 31:13 in December. Tola has improved her marathon best in three consecutive races. Will she be able to reach renew her personal best in Tokyo?

2018年の2月のRAK ハーフマラソンで1時間07分47秒自己ベストを記録したトラは、9月のベルリンマラソンで2時間22分48秒の自己ベストをだしている。2017年バルセロナマラソン、2017年ベルリンマラソンに続き、3大会連続でのベスト更新となった。

2015年10月にローザンヌで初マラソンに挑戦し、2時間31分25秒でいきなり優勝。翌年4月にフランスのアヌシーで行われた2度目のマラソンでも優勝し、自己ベストも2時間29分21秒まで伸ばした。

2017年3月のバルセロナマラソンでは4分以上も自己ベストを更新する2時間25分04秒で3度目の優勝。同年秋にトラは世界一流選手にふさわしいタイムを連発した。9月初旬のハーフマラソンで自己ベストを1分以上更新し1時間09分48秒を記録。その3週間後、2017年のベルリンマラソンで4位ながら2時間22分51秒の好タイムを出した。同マラソンでは、今回の東京マラソンを走るルティ・アガは2位。その1ヵ月後にはローザンヌの10kmロードレースで31分16秒を記録し、10kmからマラソンまで一流のタイムをそろえたのである。そして、翌2018年にはそれらのタイムを全て更新した。2月にはハーフマラソンで2分以上更新する1時間07分47秒、9月のベルリンマラソンでも3秒ベストを更新し2時間22分48秒を出した。このレースではアガは2位、今回東京マラソンを走る前田穂南は7位だった。12月には10kmのベストも3秒更新して2018年を締めくくった。3大会連続で自己ベストを更新中のトラ、東京ではベストの更新に手が届くだろうか？

海外招待選手 女子

ATHLETES

No. 60 ローズ・チェリモ (バーレーン) CHELIMO, Rose (BRN)



DOB : 12 Jul 1989
AGE : 29
Height : 163cm
Weight : 45kg

Personal Bests

10000m	31:37.81	-2017
Half Marathon	1:08:08	-2016
Marathon	2:22:51	-2017

International Championships Highlights

Marathon
8th in 2016 Olympics; in 2017 World Championships; 1st in 2018 Asian Games
Half marathon
14th in 2018 World Half Marathon Championships
World Cross Country Championships
9th in 2017

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018			1:10:07	2:26:03
2017		31:37.81	1:08:37	2:22:51
2016			1:08:08	2:24:14

Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:34:51	Asian Games – Jakarta	1st	26 Aug 2018
	2:26:03	London	6th	22 Apr 2018
	2:27:11	World Championships – London	1st	6 Aug 2017
Personal Best	2:22:51	Boston	2nd	17 Apr 2017
	2:27:36	Olympic Games – Rio de Janeiro	8th	14 Aug 2016
	2:24:14	Seoul	1st	20 Mar 2016

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
14 Oct	Santander Totta Half Marathon	Half Marathon	5th	1:10:37
30 Sept	Great Scottish Run Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:10:07
26 Aug	Asian Games – Jakarta	Marathon	1st	2:34:51
10 June	Scania Zwolse Half Marathon	Half Marathon	3rd	1:10:59
22 Apr	London Marathon	Marathon	6th	2:26:03
24 Mar	World Half Marathon Championships – Valencia	Half Marathon	14th	1:10:20
7 Jan	Safi Half Marathon	Half Marathon	4th	1:13:30

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
2 Oct	Santander Totta Half Marathon – Lisboa	Half Marathon	3rd	1:09:48
6 Aug	World Championships – London	Marathon	1st	2:27:11
24 June	Mattoni Olomouc Half Marathon	Half Marathon	3rd	1:10:33
17 Apr	Boston Marathon	Marathon	2nd	2:22:51
26 Mar	World Cross Country Champ – Kampala	9.858km	9th	33:01
10 Feb	RAK Half Marathon	Half Marathon	7th	1:08:37

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Nov	Delhi Half Marathon	Half Marathon	9th	1:10:17
22 Oct	Medio Maraton Ciudad de Valencia	Half Marathon	3rd	1:09:35
14 Aug	Olympic Games – Rio de Janeiro	Marathon	8th	2:27:36
20 Mar	Seoul Marathon	Marathon	1st	2:24:14
12 Feb	RAK Half Marathon	Half Marathon	9th	1:08:08

The 2017 World Marathon champion Rose Chelimo also won the marathon in the 2018 Asian Games. Although her marathon personal best is only 2:22:51, Chelimo is an ultimate championship runner.

She won the 2016 Seoul Marathon, her debut marathon in March with 2:24:14. Five months later in the Rio de Janeiro Olympics, she finished eighth. She recorded her personal best of 2:22:51 in the 2017 Boston Marathon where she finished second to Edna Kiplagat, the 2011 and 2013 World Marathon champion. In August at the World Championships in London, she turned the table around on Kiplagat. Chelimo pulled away from Kiplagat in the final stage and won by seven seconds.

Although Chelimo knows how to win big championship races, she has yet to record a fast time. Her marathon best is 2:22:51 while her half marathon best is 1:08:08, not a very impressive times for a great champion. Her marathon time is outside of top 200 in the all-time list. If she cracked 2:21 for the marathon, she will rank inside the top 50 in the all-time list. Four sub-2:20 runners will gather in Tokyo this year. Among them, Yebrgual Melese, Ruti Aga and Boru Feyse Tadesse, have cracked 2:20 last year, and has distinct possibility of breaking 2:20 in Tokyo and could drag Chelimo into a fast marathon. The new course record (currently 2:19:47) is also a distinct possibility. Chelimo has run six marathons in her career and she won three of them. She has run two Abbott World Marathon Majors races, Boston and London, but did not win either race. Perhaps Tokyo could be the venue of her first Abbott World Marathon Majors victory.

2017年世界選手権マラソン金メダリストであるケニア生まれのローズ・チェリモは、2018年のアジア大会のマラソンでも優勝している。自己ベストは2時間22分51秒に過ぎないが、金メダルがなかった大会では無類の強さを発揮する究極のチャンピオンシップランナーだ。

2016年3月にソウルで初マラソンに挑み、2時間24分14秒でいきなり優勝した。その5ヵ月後にはリオ五輪に出場して8位入賞。翌年のボストンマラソンは2時間22分51秒の自己ベストで、2011、2013年世界チャンピオンのエドナ・キブラガトに次ぐ2位。8月には世界選手権ロンドン大会に出場し、最終局面ではキブラガトと一騎打ちとなったが、最後はキブラガトを振り切り7秒差で優勝もぎ取った。

勝負に関しては現在最強のチェリモだが、速いタイムは出していない。マラソンの自己ベストは2時間22分51秒、そしてハーフマラソンの自己ベストは1時間08分08秒と金メダリストとしては物足りない。マラソンの自己ベストのタイムは歴代200位にも入っていない。東京ではせめて2時間21分を切って歴代で50番目以内のランナーになりたいところだ。今回の東京マラソンには自己ベストが2時間20分を切っているランナーが4人出場する。その中の3人、イエブルガル・メレセ、ルティ・アガ、そしてボル・フェイセ・タデセは昨年2時間20分を切っているランナーで、東京でも2時間19分台で走る実力がある。チェリモも彼女たちに引張られて2時間20分を切りたいところだ。東京マラソン大会記録、2時間19分47秒の更新の可能性も高い。今まで6回のマラソンを走っているチェリモの優勝は3回。アボット・ワールドマラソンメジャーズの大会はボストンとロンドン走っているが、まだ優勝はない。東京では初のアボット・ワールドマラソンメジャーズ優勝の期待も膨らむ。

No.
61

ルース・チェビトク (ケニア)

CHEBITOK, Ruth (KEN)



DOB : 26 Dec 1990
AGE : 28
Height : 160cm
Weight : 37kg

►Personal Bests

Half Marathon	1:12:57	-2015
Marathon	2:23:29	-2018

►Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018				2:23:29
2016			1:14:11	

►Marathon career

	Time	Race	Place	Date
Personal Best	2:23:29	Toronto	3rd	21 Oct 2018
	2:24:49	Gold Coast	1st	1 July 2018
	2:25:49	Barcelona	1st	11 Mar 2018

►2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
21 Oct	Toronto Waterfront Marathon	Marathon	3rd	2:23:29
1 July	Gold Coast Airport Marathon	Marathon	1st	2:24:49
11 Mar	Zurich Marato de Barcelona	Marathon	1st	2:25:49

►2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
20 Nov	Maratonina Citta di Uta	Half Marathon	1st	1:16:40
30 Oct	Maratonina Citta di Arezzo	Half Marathon	1st	1:14:11
9 Oct	Pisa Half Marathon	Half Marathon	1st	1:16:09
11 Sept	Unisalute Run Tune Up - Bologna	Half Marathon	3rd	1:16:34
10 Apr	30K Run Belluno - Feltre	30km	1st	1:59:11
20 Mar	Ferrara Half Marathon	Half Marathon	1st	1:15:41
6 Mar	Treviso Marathon & Half Marathon	Half Marathon	1st	1:17:10
28 Feb	Mezza Maratona di Napoli	Half Marathon	1st	1:14:45

Ruth Chebitok has ran four half marathons in 2015 and seven half marathons in 2016 totaling to running eleven half marathons, and recorded the personal best of 1:12:57 in 2015 in Italy. In 2018, she ran three marathons and improved her best in three consecutive marathons. She won the 2018 Barcelona Marathon with 2:25:49 in March and followed it up with another victory at the Gold Coast Marathon in July with 2:24:49. It was the first victory by Kenyan runner in the Gold Coast Marathon. The winning time was 45 seconds improvement of the course record. It was also the fourth fastest time on Australian soil. Three faster times on the Australian soil are all recorded in the Sydney Olympics by the medalists, Naoko Takahashi, Lidia Simon and Joyce Chepchumba.

Three months later she started the Toronto Waterfront Marathon, where several top runners have gathered. The race started fast and four runners – Chebitok, Mimi Belete, Amane Beriso and Marta Lema – passed the halfway point in 1:10:35. Chebitok started to lose contact with the leader at 30km and finished third, however, she still finished ahead of 2:20 runner Beriso. Chebitok improved her marathon best by one minute and 20 seconds to finish with 2:23:29. Incidentally, Mimi Belete, who will also run in this year's Tokyo Marathon finished one minute ahead of Chebitok. We can look forward to Chebitok to break her personal record for the fourth race consecutively in Tokyo.

2015年に4回、2016年は7回と計11回ハーフマラソンを走り、2015年のイタリアの大会で自己ベスト1時間12分57秒を記録している。2018年に3回のマラソンを走り3大会連続で自己ベストを更新。3月のバルセロナマラソンでは2時間25分49秒で優勝し、7月のゴールドコーストマラソンでは自己ベストを1分更新する2時間24分49秒でマラソン2連勝を成し遂げた。ケニアの女子選手として初めてゴールドコーストマラソンを制覇し、その優勝タイムは同大会記録を45秒更新し、同時にオーストラリア国内で4番目に速いタイムとなった。ちなみにオーストラリア国内記録で1番から3番目のタイムは、シドニー五輪の3人のメダリスト、高橋尚子、リディア・シモン、ジョイス・チェプチュンバが記録したタイムである。

3ヵ月後の10月に強豪が集結するトロントマラソンに参戦、レースは速いペースで始まり、チェビトク、ミミ・ベレテ、アマネ・ベリソ、そしてマルタ・レマの4人がハーフ地点を1時間10分35秒で通過した。30km地点で遅れ始め3位に終わったチェビトクだが、2時間20分ランナーのベリソには勝っている。自己ベストも1分20秒更新し、2時間23分29秒を記録したのである。ちなみにこのレースでチェビトクより1分速いタイムで優勝したのが、今回東京マラソンを走るベレテである。チェビトクには東京マラソンで4大会連続の自己ベスト更新が期待される。

海外招待選手 女子

ATHLETES

International Invited Athletes WOMEN

No. 62 ジョーンチェリモ・メリー (ケニア) MELLY, Joan Chelimo (KEN)



DOB : 10 Nov 1990
AGE : 28
Height : 170cm
Weight : 51kg

Personal Bests

10000m	31:24	-2017
Half Marathon	1:05:04	-2018

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018		/32:18	1:05:04	
2017		/31:24	1:06:25	
2016		/33:25		

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
7 Oct	BAA Half Marathon	Half Marathon	1st	1:09:34
16 Sept	Kobenhavn Half Marathon	Half Marathon	3rd	1:06:15
10 Aug	Kisii Half Marathon	Half Marathon	1st	1:10:25
22 Apr	Yangzhou Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:09:11
7 Apr	Prague Half Marathon	Half Marathon	1st	1:05:04
9 Feb	RAK Half Marathon	Half Marathon	4th	1:05:37

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
8 Oct	BAA Half Marathon	Half Marathon	1st	1:10:31
17 Sept	Kobenhavn Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:06:25
2 Apr	Berlin Half Marathon	Half Marathon	1st	1:08:45
19 Mar	Eldoret Red Cross Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:10:33

Joan Chelimo Melly, who recorded the world class half marathon time of 1:05:04 (fifth fastest in the all-time list) in the Praha Half Marathon in April of 2018, will make her marathon debut in Tokyo.

After returning from the maternity leave in 2016, Melly has move up to another level. She recorded her personal best of 1:08:45 in the Berlin Half Marathon in April of 2017. In June she recorded 10km road best of 31:24. In September, in Copenhagen, she further improved her half marathon to 1:06:25. In this race Melly finished ahead of 2:18 marathon runner Brigid Kosgei.

She made another leap in 2018. In the RAK Half Marathon in February, Melly was fourth with another personal best of 1:05:37. In this race, first two places recorded 1:04:52 and 1:04:55, which are the second and fourth fastest time in history. But it was just a prelude. Two months later in April, at the Praha Half Marathon, Melly recorded the fifth fastest time of 1:05:04 becoming the fourth fastest half marathon runner of all time. In the September's Copenhagen Half Marathon, Melly set very fast pace, covering the first 15km in the world record pace. However, she slowed in the final stage of the race and finished third with 1:06:15. In this race Ababel Yeshaneh, who will run in Tokyo was second.

Since Melly's half marathon best is similar to the half marathon best of Mary Keitany, who has the marathon best of 2:17:01, Melly may be able to crack 2:20 on her debut. The fastest marathon debut time in history is 2:18:56 by Paula Radcliffe, who recorded the time in the 2002 London Marathon. Only two runners in history, Radcliffe and Lucy Kabuu, have cracked the 2:20 for the marathon in her debut. Can Melly do the same in Tokyo? Her marathon debut is awaited with much anticipation.

2018年4月にブラハでハーフマラソン歴代5位の1時間05分04秒を記録したメリーが東京で初マラソンに挑む。

2016年に産休から戻ったメリーは一段階レベルが上のランナーになっていた。2017年の4月にはベルリンハーフマラソンで大幅に自己ベストを更新して1時間08分45秒で制し、6月には10kmのロードレースでも大きく記録を更新する31分24秒で優勝。9月にはコペンハーゲンハーフマラソンで自己ベストを1時間06分25秒まで伸ばしたのだ。このレースでは2時間18分ランナーのブリジット・コスゲイにも勝っている。

2018年は更に飛躍した。2月のRAKハーフマラソンでは4位だったが、1時間05分37秒の自己ベストを記録。同レースは1、2位が1時間04分台の歴代2位タイと4位を記録した史上最高のハーフマラソンだった。しかしそれは序章にすぎなかった。2ヵ月後の4月にはブラハハーフマラソンを走り、歴代5位の1時間05分04秒で史上4番目に速いランナーになったのである。しかし9月のコペンハーゲンハーフマラソンでは最初の15kmを世界記録ペースで突っ走ったが、最後に失速して1時間06分15秒で3位に終わった。同レースで2位だったのは今回東京を走るアバベル・イエシャネダ。

メリーと同レベルのハーフマラソン自己ベストを持つメアリー・ケイタニーのマラソンベストは2時間17分01秒なので、メリーには初マラソンで2時間20分を切る可能性がある。ちなみに初マラソンの最高記録はポーラ・ラドクリフが2002年ロンドンマラソンで記録した2時間18分56秒だ。そして今まで初マラソンで2時間20分の壁を破ったのはラドクリフとルーシー・カプーの二人だけ。初マラソンで2時間20分を切れるか？メリーの初マラソンには大きな期待が膨らむ。

国内招待選手 女子

ATHLETES

Japanese Invited Athletes WOMEN

No.
71

前田 穂南 (岡山・天満屋)

MAEDA, Honami (JPN)



DOB : 17 Jul 1996
AGE : 22
Height : 166cm
Weight : 43kg

► Personal Bests

5000m	15:38.16	-2018
10000m	32:13.87	-2018
Half Marathon	1:09:12	-2018
Marathon	2:23:48	-2018

► International Championships Highlights

Half marathon	
35th in the 2018 World Half Marathon Championships	

► Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018	15:38.16	32:13.87	1:09:12	2:23:48
2017	16:16.81	33:18.99	1:10:22	2:28:48
2016	15:51.83	32:43.42	1:12:50	

► Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:25:23	Berlin	7th	16 Sept 2018
Personal Best	2:23:48	Osaka Women	2nd	28 Jan 2018
	2:28:48	Hokkaido Marathon - Sapporo	1st	27 Aug 2017
	2:32:19	Osaka Women	12th	29 Jan 2017

► 2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Dec	Sanyo Women's Road Race - Okayama	Half Marathon	1st	1:09:12
25 Nov	Queen's Ekiden - Sendai	Stage3 - 10.9km	5th	35:15
16 Sept	Berlin Marathon	Marathon	7th	2:25:23
24 Mar	World Half Marathon Championships - Valencia	Half Marathon	35th	1:12:09
28 Jan	Osaka Women's Marathon	Marathon	2nd	2:23:48

► 2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Dec	Sanyo Women's Road Race	Half Marathon	7th	1:10:22
26 Nov	All JPN Corporate team Women's Ekiden - Sendai	Stage5 - 10km	7th	33:41
27 Aug	Hokkaido Marathon - Sapporo	Marathon	1st	2:28:48
14 May	Sendai Half Marathon	Half Marathon	19th	1:16:29
29 Jan	Osaka Women's Marathon	Marathon	12th	2:32:19

► 2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Dec	Sanyo Women's Road Race	Half Marathon	34th	1:17:39
26 Nov	All JPN Corporate team Women's Ekiden - Sendai	Stage5 - 10km	7th	33:50
8 May	Sendai Half Marathon	Half Marathon	2nd	1:13:02
14 Feb	All JPN Corporate team Half Marathon - Yamaguchi	Half Marathon	14th	1:12:50

Honami Maeda won the 2017 Hokkaido Marathon with 2:28:48 and is the first qualifier for the MGC (Marathon Grand Championship, Japanese Olympic Marathon Trials). The following year, in the 2018 Osaka International Women's Marathon, she finished second in the personal best of 2:23:48.

Maeda, who never competed in the Japanese High School Ekiden Championships, joined Tenmaya track team with the hope of running the marathon internationally. Her first marathon was at the 2017 Osaka International Women's Marathon where she was 12th with relatively mediocre time of 2:32:19. Her second marathon was the 2017 Hokkaido Marathon. Keiko Nogami surged ahead at 27km, but Maeda reeled her back in by 33km and won the race with 2:28:48, ninth fastest marathon in Hokkaido. In December, at the Sanyo Women's Road Race in Okayama, Maeda improved her half marathon best by two and a half minutes to 1:10:22. Before the 2018 Osaka Women's Marathon, Yutaka Taketomi, her coach advised her, "If you feel OK at 20km, try to run away from the pack." So Maeda pulled away after 25km, but Mizuki Matsuda, eventual winner, caught her at 30km and then left her 1km later. Maeda slowed after 35km, requiring around 17 and half minutes for 5km between 35 and 40km. Maeda finished second with 2:23:48, one minute behind the winner Matsuda. Since Taketomi had a plan for Maeda to "experience fast marathon abroad so she can handle any pace," Maeda ran the 2018 Berlin Marathon. However, in Berlin, she stayed away from the fast pacemakers and passed the halfway point in 1:11:24. Her pace dropped in the last half and Maeda finished seventh with 2:25:23, well short of the personal best. Last year, she recorded personal bests in all distances, not just the marathon. She improved 5000m best to 15:38.16, 10000m best to 32:13.87 and half marathon best to 1:09:12. She is in great form. The fastest marathon by Japanese women in the Tokyo Marathon is 2:25:38 by Mizuho Nasukawa. Such time is well within the reach of Maeda.

2017年北海道マラソンは2時間28分48秒で優勝し、MGCファイナリスト第一号として注目を集め、翌年の大阪国際女子マラソンでは自己ベストの2時間23分48秒で2位。

全国高校駅伝の出場経験がない前田は、マラソンで世界の舞台に立ちたいとの強い思いから五輪代表を多数輩出している天満屋に入った。彼女の初マラソンはネクストヒロインとして出場した2017年の大阪国際女子マラソンである。結果は2時間32分19秒の平凡なタイムで12位に終わった。しかし、次の北海道マラソンでは27km地点で飛び出した野上恵子に33km地点で追いついて逆転し、北海道マラソン歴代9位のタイム2時間28分48秒で優勝している。12月には山陽女子ロードレースでハーフマラソンの自己ベストを約2分半更新する1時間10分22秒を記録。そして迎えた2018年大阪国際女子マラソンでは武富豊監督に「20kmを過ぎて余裕があったら行ってみよう」と助言されてスタートした。25km過ぎに飛び出して逃げ切りを図ったが、30kmで優勝した松田瑞生に追いつかれ1km後には置いていかれた。35km地点からの5kmは17分台半ばまで落ちたが、優勝した松田から約1分遅れの2時間23分48秒で2位に入った。「海外の速いレースに出場させて、どんなペースにも左右されない強さを引き出したい」との武富監督の方針で、前田は2018年ベルリンマラソンを走った。しかし、ハイペースの集団にはつかずハーフ地点を1時間11分24秒で通過。その後ペースは落ちて自己ベストには届かない2時間25分23秒の7位に終わった。昨年はマラソンだけでなく、5000mで15分38秒16、10000mで32分13秒87、そしてハーフマラソンで1時間09分12秒と全ての距離で自己ベストを更新している。絶好調だ。東京マラソンの日本人女子の最速のタイムは那須川瑞穂の2時間25分38秒だ。前田が届かないタイムではない。

国内招待選手 女子

ATHLETES

No.
72

高島 由香 (東京・資生堂)

TAKASHIMA, Yuka (JPN)



DOB : 12 May 1988
AGE : 30
Height : 153cm
Weight : 40kg

Personal Bests

5000m	15:31.66	-2014
10000m	31:33.33	-2017
Half Marathon	1:11:18	-2018
Marathon	2:26:13	-2018

International Championships Highlights

10000m	18th in 2016 Olympic Games; 20th in 2015 World Championships
--------	--

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018		32:18.59	1:11:18	2:26:13
2017		31:33.33		
2016		31:35.76		

Marathon career

Personal Best	Time	Race	Place	Date
2:26:13		Paris	8th	8 Apr 2018

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Nov	Queen's Ekiden - Sendai	Stage3 - 10.9km	3rd	35:03
15 Sept	Mattoni Usti nad Labem Half Marathon	Half Marathon	8th	1:11:43
8 Apr	Marathon de Paris	Marathon	8th	2:26:13
9 Feb	RAK Half Marathon	Half Marathon	14th	1:11:18

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Nov	Queen's Ekiden - Sendai	Stage3 - 10.9km	3rd	35:42
5 May	Payton Jordan - Palo Alto	10000m	5th	31:33.33

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
27 Nov	Queen's Ekiden - Sendai	Stage3 - 10.9km	1st	34:33
23 Oct	Princess Ekiden - Munakata	Stage3 - 10.3km	3rd	33:08
12 Aug	Olympic Games - Rio de Janeiro	10000m	18th	31:36.44

Yuka Takashima made her marathon debut in the 2018 Paris Marathon and finished eighth with 2:26:13, a good debut performance. She competed at 10000m in both the 2015 World Championships and the 2016 Olympics. Although her half marathon best is relatively pedestrian 1:11:18 and she ran under 1:12 only twice, her track times indicate that Takashima is endowed with superior speed. Her 5000m best of 15:31.66 (2014) and her 10000m best of 31:33.33 (2017) implies that Takashima is a good track runner. She cracked 32 minutes for 10000m six times between 2014 and 2017.

Takashima started running track in her junior high school days, and she dreamed of the Olympics even then. She recorded the stage best in the anchor leg of 2005 Japanese High School Ekiden Championships. After graduation she joined Denso track team. She set the new stage record in the stage three (10.9km) of Queen's Ekiden in both 2014 and 2015. She finished second in the 2015 national championships 10000m and qualified for the World Championships in Beijing. "It was a dream comes true for me," said Takashima, but she was only 20th.

In 2016 Takashima left Denso and a few months later she joined Shiseido track team. In the 2016 national championships, Takashima placed third at 10000m with the personal best of 31:35.76, which qualified her for her first Olympic team. However, in the Rio Olympics, she was unable to stay with the leaders, and although she recorded second best 10000m time of her career, Takashima was only 18th. In 2016, she again recorded the fastest stage three in the Queen's Ekiden. In 2017, Takashima improved her 10000m best at the Payton Jordan Invitational. In 2018, at the RAK Half Marathon, Takashima improved her half marathon best to 1:11:18, and then made her quite respectable marathon debut in Paris. Takashima will be running her second marathon in Tokyo. As a runner who has ran 10000m in 31min multiple times, it will be a race to test her ability.

2018年パリマラソンで初マラソンに挑み、8位ながら2時間26分13秒の好タイムを出した。10000mで2015年の世界選手権北京大会と2016年リオ五輪に出場している。ハーフマラソンこそ自己ベストが1時間11分18秒に過ぎず、1時間11分台は2回しか記録していないが、トラックの記録を見れば高島はスピードランナーと言える。高島の自己ベストは5000mで15分31秒66(2014年)、10000mは31分33秒33(2017年)という一流トラックランナーだ。一流の証でもある31分台の10000mも2014年から2017年まで計6回も記録している。

中学校から陸上競技を始めた高島は、既にその頃から五輪を夢見ていたという。2005年の全国高校駅伝ではアンカー区間で区間賞を獲得。高校卒業後、デンソー陸上部に入部し、2014年、2015年とクイーンズ駅伝では最長区間(10.9km)の3区を走り、区間新を記録している。2015年には日本選手権の10000mで2位に入り世界陸上選手権北京大会の代表に選ばれた。「夢だった世界陸上に出場できたこと」が最もうれしかったと言う。しかし北京では20位だった。

2016年にはデンソーを退社し、数ヵ月後に資生堂陸上部に入部した。2016年の日本選手権で自己ベストの31分35秒76で3位に入り五輪出場権を得ている。リオ五輪は31分36秒44と自己2番目の記録を出したが、優勝者が世界記録を樹立した超高速ペースについていけず18位に終わった。2016年のクイーンズ駅伝では3区を走り区間賞を獲得。2017年ペイトン・ジョーダン(カーギナル招待)は10000mの自己記録を更新、そして2018年にはRAKハーフマラソンでも自己ベストである1時間11分18秒を記録した。2ヵ月後、パリの初マラソンで上々のデビュー。東京で2度目のマラソンに挑む。10000mで31分台を何度も記録しているランナーにふさわしいタイムで走れるだろうか?

No.
73**野上 恵子** (長崎・十八銀行)

NOGAMI, Keiko (JPN)



DOB : 6 Dec 1985
AGE : 33
Height : 160cm
Weight : 45kg

►Personal Bests

5000m	15:24.70	-2018
10000m	32:07.70	-2018
Half Marathon	1:11:16	-2017
Marathon	2:26:33	-2018

►International Championships Highlights

Marathon	
2nd in 2018 Asian Games	

►Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018	15:24.70	32:07.70		2:26:33
2017	15:37.82	32:41.64	1:11:16	2:29:05
2016			1:11:52	

►Marathon career

	Time	Race	Place	Date
	2:36:27	Asian Games – Jakarta	2nd	26 Aug 2018
Personal Best	2:26:33	Nagoya Women	5th	11 Mar 2018
	2:29:05	Asian Champ – Dongguan	2nd	26 Nov 2017
	2:30:11	Hokkaido Marathon – Sapporo	2nd	27 Aug 2017
	2:32:01	Nagoya Women	12th	12 Mar 2017
	2:29:34	Gold Coast	2nd	5 July 2015
	2:28:19	Nagoya Women	6th	8 Mar 2015

►2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
26 Aug	Asian Games – Jakarta	Marathon	2nd	2:36:27
11 Mar	Nagoya Women's Marathon	Marathon	5th	2:26:33
14 Jan	Inter – Prefectural Women's Ekiden – Kyoto	Stage9 – 10km	6th	31:55

►2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Dec	Sanyo Women's Road Race – Okayama	Half Marathon	12th	1:11:16
26 Nov	Asian Marathon Championships – Dongguan	Marathon	2nd	2:29:05
22 Oct	Princess Ekiden – Munakata	Stage3 – 10.7km	2nd	34:00
27 Aug	Hokkaido Marathon – Sapporo	Marathon	2nd	2:30:11
12 Mar	Nagoya Women's Marathon	Marathon	12th	2:32:01

►2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
31 Jan	Osaka Half Marathon	Half Marathon	3rd	1:11:52
17 Jan	Inter – Prefectural Women's Ekiden – Kyoto	Stage9 – 10km	8th	32:25

Keiko Nogami finished fifth in the 2018 Nagoya Women's Marathon with the personal best time of 2:26:33 and selected to represent Japan in the Asian Games in Jakarta. In Jakarta, Rose Chelimo surged away from the lead pack at 25km but 32 years old Nogami won a silver medal.

Nogami, who never ran the Japanese High School Ekiden Championships, joined Sanix track team after high school graduation. When Sanix track team went defunct, she transferred to 18 Bank track team. In 2015, 29 years old Nogami ran the Nagoya Women's Marathon and finished sixth with 2:28:19. She could not improve her marathon best in 2015 Gold Coast Marathon, where she was second in 2:29:34 and 2017 Nagoya Women's Marathon, where she was disappointing 12th with 2:32:01. In the 2017 Hokkaido Marathon, Nogami took the lead at 27km. However, she was reeled in by Honami Maeda at 33km and finished second.

In the 2018 Nagoya Women's Marathon, Nogami was forced to run at her own pace after 10km. She passed halfway point in 1:12:11 and then held on to cover each subsequent 5km segment in mid-17 minutes, and finished with 2:26:33. She improved the personal best from the 2015 Nagoya Women's Marathon, her debut marathon, by one minute and 46 seconds. Nogami qualified for the MGC, in which the qualifying criteria of "top three Japanese under 2:28.". As Nogami hoped, she was also selected for the Asian Game Marathon team. In May of 2018, before the Asian Games in August, Nogami improved her 5000m best to 15:24.70 and 10000m best to 32:07.70.

In the Asian Games, Rose Chelimo surged at 25km, leaving Nogami to battle with Korean and North Korean runners for a silver medal. Nogami left her competitors after 38km, and covered the final 2.195km in 7:21, faster than what Chelimo ran for the same segment, and won a silver medal. In Tokyo, Nogami will challenge Chelimo again.

2018年名古屋ウィメンズマラソンでは自己ベストを2分近く更新する2時間26分33秒で5位に入り、ジャカルタ・アジア大会の代表に選ばれた。ジャカルタでは、優勝したローズ・チェリモに25km過ぎにスパートされ離れたが、32歳のベテラン野上は銀メダルを獲得している。

全国高校駅伝の出場がかなわなかった野上は卒業後、サニックス陸上部に入部した。2007年サニックスの廃部に伴い、十八銀行に移籍している。2015年、29歳で名古屋ウィメンズマラソンに一般選手として出場し、2時間28分19秒で6位に入っている。その後はしばらく低迷し、2015年ゴールドコーストマラソンは2時間29分34秒で2位、2017年名古屋ウィメンズマラソンは2時間32分01秒で12位に沈んだ。同年北海道マラソンでは27km地点で一時的にトップに立ったが、33km地点で前田穂南に逆転されて2位に終わった。

2018年の名古屋ウィメンズマラソンでは10km過ぎから自分のペースで走ることになった。ハーフ地点を1時間12分11秒、その後5kmごとを17分半くらいのペースでしるぎ、落ち込みを最小限に抑えて2時間26分33秒でフィニッシュ。初マラソンの2015年名古屋で記録した自己ベストを1分46秒更新した。この結果で「日本人3位以内で2時間28分以内」の条件をクリアしてMGCの出場権を獲得した。野上は出場を願っていたアジア大会マラソン代表にも選出されている。5月には5000mの自己ベストを15分24秒70、そして10000mの自己ベストを32分07秒70まで伸ばして8月のアジア大会に挑んだ。

アジア大会では25km地点でローズ・チェリモがスパート。野上は北朝鮮、韓国の選手たちと2位争いを展開し、38km地点で2人を振り切り、最後の2.195kmはチェリモより速い7分21秒でカバーして銀メダルを獲得した。今回の東京マラソンは、野上とチェリモの再戦となる。

国内招待選手 女子

ATHLETES

Japanese Invited Athletes WOMEN

No.
74

一山 麻緒 (京都・ワコール)

ICHIYAMA, Mao (JPN)



DOB : 29 May 1997
AGE : 21
Height : 158cm
Weight : 43kg

Personal Bests

5000m	15:24.17	-2017
10000m	31:49.01	-2017
Half Marathon	1:09.14	-2017

International Championships Highlights

Half marathon	
19th in 2018 World Half Marathon Championships	
World Cross Country Championships	
39th in 2017	

Progressions

Year	5000m	10000m/10km	Half Marathon	Marathon
2018	15:36.11	31:57.91	1:11:02	
2017	15:24.17	31:49.01	1:09:14	
2016	15:44.33	32:15.73		

2018 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
25 Nov	Queen's Ekiden - Sendai	Stage1 - 7km	3rd	22:20
20 Oct	Princess Ekiden - Munakata	Stage3 - 10.7km	1st	34:23
3 May	Payton Jordan - Palo Alto	10000m	5th	31:57.91
24 Mar	World Half Marathon Championships - Valencia	Half Marathon	19th	1:11:02
14 Jan	Inter - Prefectural Women's Ekiden - Kyoto	Stage9 - 10km	2nd	31:49

2017 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
23 Dec	Sanyo Women's Road Race - Okayama	Half Marathon	3rd	1:09:14
26 May	Queen's Ekiden - Sendai	Stage1 - 7km	7th	22:13
3 Sept	Virginia Beach Half Marathon	Half Marathon	1st	1:13:49
23 July	Shibetsu Half Marathon	Half Marathon	1st	1:14:01
5 May	Payton Jordan - Palo Alto	10000m	10th	31:49.01
26 Mar	World Cross Country Championships - Kampala	9.858km	39th	35:53
13 Jan	Inter - Prefectural Women's Ekiden - Kyoto	Stage1 - 6km	2nd	19:27

2016 Results

Date	Race	Distance	Place	Time
10 Dec	JPN Corporate team Time Trials - Yamaguchi	10000m	2nd	32:15.73
27 Nov	Queen's Ekiden - Sendai	Stage1 - 7km	1st	21:50
23 Oct	Princess Ekiden - Munakata	Stage1 - 7km	3rd	22:40
17 Jan	Inter - Prefectural Women's Ekiden - Kyoto	Stage4 - 4km	4th	13:10

Mao Ichiyama is endowed with good speed. Her half marathon best may be only 1:09:14, but her 10000m best is 31:49.01, and her 5000m best is 15:24.17. Her 3000m best is even more impressive 8:53.54. Tokyo will be her marathon debut. Her half marathon personal best is relatively modest compared to her track personal best, so if her endurance improves, her potential in marathon is grand.

After recording the stage record at the first stage of the 2016 Queen's Ekiden in November, 2017 turned out to be a breakthrough year for Ichiyama. First, by winning the national cross country championships, Ichiyama was selected for the World Cross Country Championships team. She finished 39th in the World Cross Country Championships in Kampala Uganda. In May at the Payton Jordan Invitational, she improved her 10000m best to 31:49.01. Following in July at the Hokuren Distance Challenge in Kitami, she improved 5000m best to 15:24.17. Finally, in December, at the Sanyo Women's Road Race in Okayama, Ichiyama improved her half marathon best to 1:09:14 and got selected for the World Half Marathon Championships team. In March of 2018 at the World Half Marathon Championships in Valencia, she was 19th with 1:11:02, second fastest half marathon time of her career.

The fastest marathon debut time by Japanese women is 2:21:36 by Yuka Ando, recorded in the 2017 Nagoya Women's Marathon. The second fastest Japanese debut time is 2:21:51 by Naoko Sakamoto from the 2003 Osaka Women's Marathon. Furthermore, Kayoko Fukushi, a teammate Ichiyama admire, has marathon personal best of 2:22:17. Can Ichiyama approach these times in her debut in Tokyo?

一山麻緒はスピードランナーである。自己ベストはハーフマラソンで1時間09分14秒、10000mで31分49秒01、5000mで15分24秒17、そして3000mの自己ベストはなんと8分53秒54である。その一山麻緒が東京で初マラソンに挑む。ハーフマラソンの記録はトラック種目の記録から見れば物足りないが、持久力がつけば可能性を秘めている選手である。

2016年11月にクイーンズ駅伝1区で区間新記録を出して、翌2017年は自己記録を連発する飛躍の年となった。同年クロスカントリーの日本選手権で優勝して世界クロスカントリー選手権の代表に選ばれている。その世界クロカン選手権ウガンダ大会で39位に入った。5月にはペイトン・ジョーダン(カージナル招待)で10000mの自己ベストを31分49秒01に、7月にはホクレン・ディスタンス・チャレンジ北見大会で3000mの自己ベストを8分53秒54まで伸ばした。9月には全日本実業団対抗陸上選手権で5000mの自己ベストを15分24秒17まで更新。12月には岡山県の山陽女子ロードレース大会でハーフマラソンの自己ベストを1時間09分41秒まで伸ばし、世界ハーフマラソン選手権の代表を射止めた。そして2018年3月の同選手権バレンシア大会では、自己2番目のタイムとなる1時間11分02秒で19位に入っている。

日本女子選手による最も速い初マラソンのタイムは、安藤友香が2017年の名古屋ウィメンズマラソンで記録した2時間21分36秒だ。そして日本人で2番目に速い初マラソンのタイムは坂本直子が2003年大阪国際女子マラソンで記録した2時間21分51秒。憧れの選手でもあるチームの先輩福士加代子のマラソン自己ベストは2時間22分17秒。果たして一山はこのレベルのタイムで初マラソンを走れるだろうか?

ペースメーカー

ATHLETES

Pacemakers

※年齢は大会当日(2019年3月3日)のものとなります。/ ※Age as of March 3, 2019

ペースメーカー(男子レース)

Pacemakers for MEN

Pace 1 フェリックス・キプコエチ (ケニア)

KIPKOECH, Felix (KEN)

Personal Best

アイウンハーフ Laayoune Half, 1:03:04 (2018) 2nd

生年月日 / Date of Birth : 1 Feb. 1998
年齢・性別 / Age・Sex : 21・男子 Men
身長 / Height : 168cm
体重 / Weight : 56kg

Pace 4 ノア・キプケンボイ (ケニア)

KIPKEMBOI, Noah (KEN)

Personal Best

リスボンハーフ Lisbon Half, 1:00:56 (2018) 9th

生年月日 / Date of Birth : 2 Jul. 1993
年齢・性別 / Age・Sex : 25・男子 Men
身長 / Height : 176cm
体重 / Weight : 56kg

Pace 2 リチャード・メンギチ (ケニア)

MENGICH, Richard (KEN)

Personal Best

パリ Paris 2:08:46 (2017) 8th

生年月日 / Date of Birth : 3 Apr. 1989
年齢・性別 / Age・Sex : 29・男子 Men
身長 / Height : 185cm
体重 / Weight : 63kg

Pace 5 村山 紘太 (宮崎・旭化成)

MURAYAMA, Kota (JPN)

Personal Best

全日本実業団ハーフ Yamaguchi Half 1:02:00 (2018) 2nd

生年月日 / Date of Birth : 23 Feb. 1993
年齢・性別 / Age・Sex : 26・男子 Men
身長 / Height : 174cm
体重 / Weight : 54kg

Pace 3 エドウィン・コエチ (ケニア)

KOECH, Edwin (KEN)

Personal Best

ミラノ Milano 2:07:13 (2017) 1st

生年月日 / Date of Birth : 25 Mar. 1992
年齢・性別 / Age・Sex : 26・男子 Men
身長 / Height : 173cm
体重 / Weight : 55kg

Pace 6 鎧坂 哲哉 (宮崎・旭化成)

YOROIZAKA, Tetsuya (JPN)

Personal Best

唐津10マイルロード Saga 10Miles 46:48 (2017) 6th

生年月日 / Date of Birth : 20 Mar. 1990
年齢・性別 / Age・Sex : 28・男子 Men
身長 / Height : 167cm
体重 / Weight : 52kg

ペースメーカー(女子レース)

Pacemakers for WOMEN

Pace 21 牧 良輔 (群馬・SUBARU)

MAKI, Ryosuke (JPN)

Personal Best

延岡西日本 Nobeoka 2:17:42 (2016) 4th

生年月日 / Date of Birth : 25 Apr. 1986
年齢・性別 / Age・Sex : 32・男子 Men
身長 / Height : 177cm
体重 / Weight : 59kg

Pace 24 漬滝 大記 (千葉・富士通)

TSUETAKI, Hironori (JPN)

Personal Best

ホクレンティスタンスチャレンジ Abashiri 3000m 8:29.05 (2017) 1st

生年月日 / Date of Birth : 8 May. 1993
年齢・性別 / Age・Sex : 25・男子 Men
身長 / Height : 175cm
体重 / Weight : 59kg

Pace 22 猪浦 舜 (埼玉・八千代工業)

INOURA, Shun (JPN)

Personal Best

全日本実業団ハーフ Yamaguchi Half 1:02:01 (2017) 6th

生年月日 / Date of Birth : 26 Jul. 1992
年齢・性別 / Age・Sex : 26・男子 Men
身長 / Height : 167cm
体重 / Weight : 52kg

Pace 25 國行 麗生 (徳島・大塚製薬)

KUNIYUKI, Reo (JPN)

Personal Best

丸亀ハーフ Marugame Half 1:02:39 (2017) 25th

生年月日 / Date of Birth : 9 Jan. 1996
年齢・性別 / Age・Sex : 23・男子 Men
身長 / Height : 172cm
体重 / Weight : 54kg

Pace 23 石井 秀昂 (千葉・富士通)

ISHII, Hideaki (JPN)

Personal Best

ホクレンティスタンスチャレンジ Abashiri 5000m 13:58.22 (2018) 1st

生年月日 / Date of Birth : 30 Nov. 1994
年齢・性別 / Age・Sex : 24・男子 Men
身長 / Height : 182cm
体重 / Weight : 65kg

Pace 26 秦 将吾 (徳島・大塚製薬)

HATA, Shogo (JPN)

Personal Best

全日本実業団対抗陸上 Osaka 1500m 3:42.01 (2018) 2nd

生年月日 / Date of Birth : 15 Mar. 1995
年齢・性別 / Age・Sex : 23・男子 Men
身長 / Height : 169cm
体重 / Weight : 50kg

RUN as ONE - Tokyo Marathon

》ATHLETES》

RUN as ONE - Tokyo Marathon



全国の大会と一緒に、マラソンを盛り上げていきます

Promoting a Nationwide Marathon Movement Together with Marathon Races Throughout Japan

全国のマラソン大会と連携し、マラソンムーブメントの全国的な盛り上げに資する取組みとして「Run as ONE - Tokyo Marathon」プログラムを東京マラソン2015よりスタートしました。このプログラムを通じ、東京マラソンに参加するランナーの皆さんに世界トップレベルのレースを体感してもらい、国内の競技力向上やさらなるマラソンファンの増加を目指します。また、東京マラソン2016から新たに海外のランナーを対象とした準エリート（国外）を設け、海外からもより高いレベルのランナーが東京マラソンに集まることを期待しています。そして、学生マラソンの競技力向上、未来の日本陸上界を担うランナー発掘を目的とし学生ランナーにも準エリート（学生）を設け、世界レベルの体験の場を提供しています。

The Run as One - Tokyo Marathon program was introduced at Tokyo Marathon 2015 as a way to contribute to the nationwide surge in marathon interest and link up with other marathon races held throughout the country. This program aims to offer runners the chance to participate in the Tokyo Marathon and to experience racing at the world's top level, improve Japan's athletic capabilities and further increase the number of marathon fans. Starting from Tokyo Marathon 2016, the Semi-Elite (Overseas) category, has been newly established for runners from other countries; this category is expected to attract superior athletes from around the world to join in the Tokyo Marathon. In addition, university student runners now have the opportunity of experiencing world-class competition with the establishment of the Semi-Elite (Students) category, which aims to not only foster the athletic capabilities of student marathon runners, but also help discover Japan's future runners and athletes.

Wild Card Awardの表彰について

準エリートの上位選手には、「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2019 Wild Card Award」が授与されます。この表彰を通じて、走力の高いランナーや競技志向の市民ランナーからの注目を集め、マラソンへの関心向上や、次世代ランナーのチャレンジを応援していきます。



RUN as ONE - Tokyo Marathonネーミングについて
マラソンムーブメントが一層盛り上がっていくように、全国のランナー、大会を支える人々や観衆がひとつになるようにとの願いが込められています。

About the Wild Card Award

Top-placing athletes in the Semi-Elite categories will be awarded with the RUN as ONE - Tokyo Marathon 2019 Wild Card Award. This award will attract attention from both casual and competition-oriented runners alike, and will support increased interest in marathons and endeavors by runners of next generation.



About the Program Name

This name arises from a deeply held desire to see all marathon races, runners, volunteers and spectators throughout Japan come together and be united as ONE.

RUN as ONE - Tokyo Marathon

ATHLETES

RUN as ONE - Tokyo Marathon

「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2019」実施概要

RUN as ONE - Tokyo Marathon 2019 Program Information

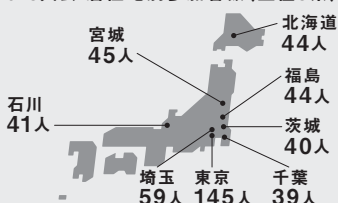
「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2019」出場対象 RUN as ONE - Tokyo Marathon 2019 Eligibility

準エリート Semi-Elite Athletes

国内

国内在住者(国籍は問わない)で、提携する各都道府県陸上競技協会・提携大会が推薦する日本陸上競技連盟(該当陸協)に登録しているランナー(各都道府県から50人以内)。

2018大会 居住地別参加者数(上位8県)



Japan

Residents of Japan (any nationality) recommended by affiliated track and field associations or associated meets, and registered with the Japan Association of Athletics Federations (up to 50 participants from each prefecture).

推薦基準タイム Time Standards for Recommendation

マラソン Marathon	男子 Men	2:55:00 以内	女子 Women	3:40:00 以内
30km	男子 Men	2:00:00 以内	女子 Women	2:30:00 以内
ハーフ Half	男子 Men	1:21:00 以内	女子 Women	1:45:00 以内
10km	男子 Men	35:00 以内	女子 Women	40:00 以内

学生

2018年度 日本学生陸上競技連合に登録をしている学生。

- ①第21回日本学生ハーフマラソン選手権大会及び第21回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会出場の内、4年生を中心に20~30名程度。
- ②地区学連を通じ日本学連に推薦:10名程度。
- ③日本学連強化委員会の推薦:10名程度。

Students

Student registered with Inter-University Athletics Union of Japan in 2018.

1. 20-30 students centering on college seniors who participated in the 21st All-Japan Inter-University Half Marathon Championship or the 21st All-Japan Inter University Ladies' Half Marathon Championship.
2. 10 students recommended to the Inter-University Athletic Union by district athletics unions.
3. 10 students recommended by the High Performance Committee of the Inter-University Athletics Union.

推薦基準タイム Time Standards for Recommendation

ハーフ Half	男子 Men	1:05:00 以内
	女子 Women	1:15:00 以内

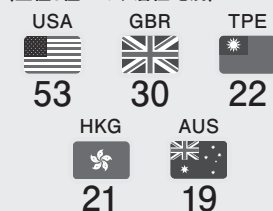
海外

国外在住者(国籍は問わない)で、2017年、2018年に実施された下記対象レースで基準タイムをクリアし、記録を証明するための公式記録(リザルト)を提出できるランナー。(300人程度)

【対象レース】

- ①IAAFのゴールド・シルバー・ブロンズレベルの大会。
 - ②AIMS 公認大会。
- ※提出後東京マラソン財団にて厳正なる選考を行い、当落を通知。

2018大会 国・地域別出走者数(上位5位のみ、居住地別)



Overseas

Overseas residents (any nationality) who exceed the qualifying time set in the following Qualifying Races held in 2017 and 2018 and are able to submit an official result to certify their record (up to 300 participants).

[Qualifying Races]

- (1) IAAF Gold, Silver and Bronze Label races;
- (2) AIMS-certified races

* The Tokyo Marathon Foundation performs a strict and fair selection of runners, and provides notification of selection results.

エントリー基準タイム Qualifying Times

マラソン Marathon	男子 Men	2:21:01-2:45:00
	女子 Women	2:52:01-3:30:00

一般 General Runners

国内の各提携大会で2017年11月-2018年10月に出走実績があり、各提携大会から抽選などで選出されたランナー。
※提携大会は一定の条件を満たす大会を公募。

Runners who participated in any of the local races affiliated in this program between Nov. 1, 2017 and Oct. 31, 2018, and selected by the races in drawing, etc. *Affiliated races are selected from among those that fulfill all specified requirements.

RUN as ONE - Tokyo Marathon

ATHLETES

RUN as ONE - Tokyo Marathon

RUN as ONE - Tokyo Marathon 2019 提携一覧

準エリート提携大会・提携陸上競技協会(54大会・9提携陸協)

都道府県	大会名 / 陸協名
北海道	函館マラソン
青森	青森陸上競技協会
岩手	一関国際ハーフマラソン大会 いわて北上マラソン大会・ 全国マスターズマラソン選手権
宮城	仙台国際ハーフマラソン大会
秋田	田沢湖マラソン
山形	高島ロードレース 酒田つや姫ハーフマラソン大会
福島	会津若松市鶴ヶ城 ハーフマラソン大会 円谷幸吉メモリアルマラソン大会
茨城	勝田全国マラソン かすみぐらマラソン兼国際盲人マラソン
栃木	大田原マラソン 高根沢町元気あっふハーフマラソン 大会兼長距離走大会
群馬	ぐんまマラソン
埼玉	上尾シティマラソン・ 上尾シティハーフマラソン ふかやシティハーフマラソン
千葉	佐倉朝日健康マラソン 千葉県民マラソン

都道府県	大会名 / 陸協名
東京都	青梅マラソン 府中多摩川マラソン 板橋 City マラソン 江東シーサイドマラソン大会 いたばしリバーサイドハーフマラソン大会 世田谷 246 ハーフマラソン 立川シティハーフマラソン 足立フレンドリーマラソン 新宿シティハーフマラソン・ 区民健康マラソン 東京トライアルハーフマラソン
山梨	山梨陸上競技協会
新潟	新潟県マラソン選手権大会・ しばた女子マラソン競走大会 新潟シティマラソン
富山	カーター記念黒部名水マラソン 富山マラソン
石川	金沢ロードレース 金沢百万石ロードレース
福井	福井陸上競技協会
岐阜	岐阜陸上競技協会
三重	中日三重お伊勢さんマラソン
滋賀	あいの土山マラソン

都道府県	大会名 / 陸協名
京都	京都陸上競技協会
大阪	大阪マラソン
兵庫	神戸マラソン
奈良	奈良陸上競技協会
和歌山	和歌浦ベイマラソン with ジャズ 紀州口熊野マラソン
鳥取	鳥取マラソン
島根	島根陸上競技協会
岡山	おかやまマラソン
広島	ヒロシマ MIKAN マラソン大会
山口	防府読売マラソン 下関海響マラソン
徳島	とくしまマラソン
香川	香川丸亀国際ハーフマラソン
愛媛	愛媛マラソン
高知	高知龍馬マラソン
佐賀	さが桜マラソン 伊万里ハーフマラソン
長崎	雲仙小浜SPAリゾートマラソン大会
熊本	熊本陸上競技協会
大分	大分陸上競技協会
宮崎	青島太平洋マラソン
鹿児島	鹿児島マラソン

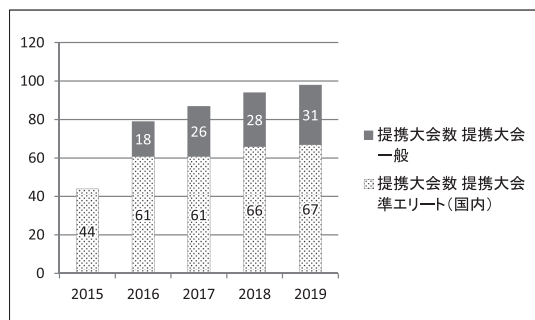
一般提携大会(31大会)

都道府県	大会名
北海道	旭川ハーフマラソン 札幌マラソン
岩手	日刊スポーツ豊平川マラソン イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会 宮古サーモン・ハーフマラソン大会
秋田	山田記念ロードレース大会
山形	白鷹若鮎マラソン大会
茨城	坂東市いわい将門ハーフマラソン大会 かすみぐらマラソン兼国際盲人マラソン
群馬	前橋・渋川シティマラソン 伊勢崎シティマラソン

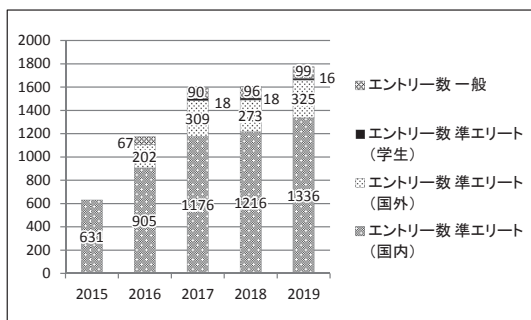
都道府県	大会名
群馬	榛名湖マラソン
埼玉	小江戸川越ハーフマラソン
東京都	ハイテクハーフマラソン 江東シーサイドマラソン大会 かつしかふれあい RUN フェスタ 東京トライアルハーフマラソン
静岡	しまだ大井川マラソン in リバティ
長野	上田古戦場ハーフマラソン
新潟	柏崎マラソン 白根ハーフマラソン
富山	魚津しんぎろうマラソン

都道府県	大会名
京都	舞鶴赤れんがハーフマラソン 福知山マラソン
岡山	おかやまマラソン
島根	萩・石見空港マラソン全国大会
福岡	ゆくはしシーサイドハーフマラソン
大分	仏の里にさき・とくみくマラソン大会
宮崎	延岡西日本マラソン
鹿児島	出水ツルマラソン
沖縄	おきなわマラソン

【提携大会数推移】



【エントリー数推移】



2019年1月31日現在



TOKYO
MARATHON
2019

■車いすマラソン Wheelchair Marathon

車いす招待選手
Invited Wheelchair Athletes



ヘルメット用
For Helmet



車いすエリート競技者
Elite Wheelchair Athletes



車いす一般
General Wheelchair Participants



■車いす10km 10km Wheelchair Race

車いす
Wheelchair



ヘルメット用
For Helmet



ナンバーカードはレーサー後部、ヘルメット前方、レーサーフレーム左右に着用。
Bib are to be displayed on the front of the helmet, both sides of the racer frame, as well as the back of the racer.

車いすマラソン選手紹介

車いすエリートレース展望 Preview of Wheelchair Elite Race	082
車いすエリート選手リスト Wheelchair Elite Athletes List	084
車いすエリートレース募集要項 Wheelchair Elite Race Information	085
車いすレース競技規則 Wheelchair Competition Rules	086
海外車いす招待選手 男子 International Invited Wheelchair Athletes MEN	088
国内車いす招待選手 男子 Japanese Invited Wheelchair Athletes MEN	091
海外車いす招待選手 女子 International Invited Wheelchair Athletes WOMEN	093
国内車いす招待選手 女子 Japanese Invited Wheelchair Athletes WOMEN	096

車いすエリートレース展望

WHEELCHAIR ATHLETES

東京マラソン車いすレースディレクター 副島正純

Tokyo Marathon Wheelchair Race Director Masazumi SOEJIMA



車いすレースでは、新コースになった2017大会から日本人選手が連勝中です。また、2017大会は6選手が、2018大会は2選手がフィニッシュ直前までデッドヒートを繰り返して、最後まで勝利の行方が分からない接戦が続いています。今年はいったいどんなレースになるでしょうか。

車いすレースでは、一般に長い上り坂や下り坂などで仕掛ける選手が多いですが、東京マラソンのコースにはきっかりとなるようなポイントがありません。唯一といってもよいのがレース序盤の5km地点手前にある下り坂です。おそらくスタートからこの坂までは集団でのレースになると思いますが、下り坂では自然に時速50km以上でスピードアップするので、ここで仕掛けてトップに立ち、一気に逃げる選手が現れるかもしれません。

あるいは、互いに牽制しあい、集団が崩れないままのレース展開となることも考えられます。ただ、選手としては集団の人数はなるべく少ない方がいいので、スピードを上げ下げしてライバルを振り落とそうとする選手も出てくるはず。この駆け引きも車いすレースの見どころです。誰がリードし、誰が遅れるのか。集団の大きさの変化にも注目です。

スピードの速い車いすレースは強い風の抵抗が強いので縦一直線に連なる走りも特徴ですが、先頭に長くいると疲労し、ペースダウンしやすいので、元気な選手が先頭を替わり、ペースを維持しようします。「ローテーション」と呼ばれる動きで、この動きが頻繁に見られるときは速いペースでレースが進みます。

先頭の選手が首を左右に振って他選手に交代を促したりしますが、なかには体力温存のためなど先頭に出たがらない選手もいて、集団が横に広がることもあります。レース中の各選手の様子を注目すると、それぞれのレース戦略が読めるかもしれません。

最後までもつれた場合は、フィニッシュ前の直線に入る手前の左カーブでの位置取りが重要です。一漕ぎで大きく差がついてしまうので、どの選手もできれば先頭で直線に入ろうと狙ってくるはず。そのためには、41km地点を過ぎた丸の内仲通りがポイントでしょう。石畳が続き、「長くて、きつい」という選手も多く、昨年は私も選手として走って実感しましたが、石畳では車いすの振動が激しいので、うまく走ることが大切です。

今年はもう一つ、注目してほしい見どころがあります。今年度のアボット・ワールドマラソンメジャーズシリーズXIIから車いすレースに新たに加えられた、「スプリントボーナスポイント」です。設定条件をクリアした選手1名にボーナス点が与えられます。設定条件には、(1)コース上のある地点をトップで通過する、(2)設定区間で最速タイムをマークする、という2つがあり、今年の東京マラソンでは設定条件(2)を選びました。

具体的にいうと高輪の第2折り返し点直後の35.8km地点から37.1kmまでの直線1.3km区間をボーナスポイント区間とし、タイムを競います。駅伝でいう、「区間賞」をイメージしてもらえば分かりやすいかと思いますが、順位に関わらず、どの選手にも可能性があります。終盤の苦しいところでもあり、ここでペースアップすることで、レース全体が動くことも期待されます。ぜひ注目してください。

■群雄割拠の頂上決戦！

東京で、車いすマラソンのトップレベルのレースをお見せしたい。そんな思いで、今年のエリート選手には、2018年中に行われたアボット・マラソンメジャーズ6大会の優勝者全員を含む、男子9人、女子8人の計17選手を招聘しました。「世界トップ」がずらりと顔をそろえる予定です。初出場選手も多く、展開

The Japanese athletes won the wheelchair division of Tokyo Marathon for two consecutive years since 2017, the year the new course was inaugurated in the Tokyo Marathon. In 2017 six athletes fought it out till the finish line, while in 2018 two athletes exchanged surges to the end. How will the race unfold this year?

In the wheelchair race, many athletes tend to make their moves on the long inclined slope, either uphill or downhill, but there is no particular slope that stands out in Tokyo, except the downhill incline just before the 5km point. The athletes are likely to stay in pack from the start, but considering that wheelchair can attain the speed over 50km/h on downhill, someone might make a move on this section in their attempt to pull away from the other competitors to take the lead.

On the other hand, it is possible that athletes may use wait and see approach which keeps the pack intact. But athletes prefer smaller pack, so we may see an athlete trying to break up the pack by changing their speed constantly. Variety of tactics and approaches involved in wheelchair racing is what makes it exciting. Who will lead the race? And who will fall off from the pack? Watch how the size of the pack changes as the race progresses.

Because a high speed is involved in the wheelchair racing, a wind is an important factor and the athletes are likely to race in a single file to avoid breaking the wind. Since the athletes have to spend an extra energy when leading the pack, it is beneficial for the race if athletes take turn to lead the pack to maintain a steady pace. Such tactic is often called rotation, and when rotation takes place frequently, the race tends to be fast paced.

A leading athlete will shake their head left to right to signal other athletes to take the lead, but some will avoid taking the lead in order to conserve the energy, which sometimes will result in the pack to spread sideways. If you pay close attention to athletes individually, you may recognize each athlete's tactics.

If the race stayed close to the end, the positioning before turning left into the last home-stretch becomes important. Since a single stroke can make a great difference, any athletes will try to take the lead before entering the final stretch. Therefore, the Marunouchi-Naka-Dori Ave, just passed 41km point, will become an important section. Many athletes describe this cobblestone road as long and tough, and from my experience from the last year, the vibration from the cobblestone road is violent and great maneuvering will become important.

There is one more point to be focused this year. Abbott World Marathon Majors series XII introduced Sprint bonus points system in the wheelchair division. The athlete who cleared the pre-set condition wins bonus points. The pre-set conditions are: (1) Go through the set point in first place; (2) record the fastest time for the pre-set section. The pre-condition (2) was selected as the bonus point criterion for the Tokyo Marathon this year.

More specifically, the bonus points will be given to the athlete with the fastest time in the 1.3km segment from 35.8km point right after the second turn-around point in Takanawa to 37.1km point. Like Kukan-sho, the fastest stage in Ekiden, anybody can shoot for the bonus point regardless of their current position. Since the pre-set section is near the end of the course where racing starts to get tough, the whole race may speed up at this point. Watch for the action in this section.

■Battle for the Supremacy at Gathering of Eagles

Wishing to present the truly elite wheelchair race to the world, nine male and eight female athletes including the winners from all six Abbott World Marathon Majors events in 2018 are invited. It is truly a gathering of eagles. However, many of them will race in Tokyo for the first time and thus it may be hard to predict the outcome.

First, on the men's side, Marcel Hug (SUI) who won the April's Boston Marathon will lead the field. Currently the best in the world, Hug excels in

が予測しにくい分、楽しみです。

まず、男子ですが、ボストンマラソン(4月)を制したマルセル・フグ(SUI)はトラックからマラソンまでオールマイティな絶対王者。先行逃げ切りもできれば、フィニッシュ前のスプリントも強く、昨年の大分国際(11月)では2018年度世界最速タイムとなる1時間23分56秒をマークしています。2017大会は2位、昨年は渡航アクシデントにより欠場だったので、東京初優勝を狙った積極的なレース展開に期待です。

ロンドン(4月)の覇者、デイビッド・ウィアー(GBR)は先頭で引っ張るよりは周囲を見ながら、誰かが動けばしっかり反応できる地力があります。初出場ですし、集団の中でどんなポジションを取ってくるか楽しみです。

ベルリン(9月)を制したブレント・ラカトス(CAN)は、実は100mを得意とするスプリンター。また、障がいの最も軽いT54クラスの選手が多いなか、T53と障がいが少し重いクラスの彼がマラソンを制したことは驚きですが、車いすマラソンの面白さも示してくれました。

シカゴ(10月)とニューヨークシティ(11月)で2連勝を飾ったのはダニエル・ロマンチュク(USA)です。招待選手の中では20歳と最も若く、勢いがあります。序盤からレースをかき回し、他の選手を刺激するような走りに期待です。

海外からはもう一人、韓国のユ・ビョンファンを招待しました。昨年の大分国際(11月)で3位に入った選手で、トラックで磨いたスピードを武器に、マラソンでも急成長しています。彼もラカトスと同じT53ですが、二人とも小柄で軽量なので負担は少ないはずです。初出場の二人が最後まで絡み、スプリント勝負で持ち味を発揮してくれるかもしれません。

日本選手はまず、前回覇者の山本浩之(福岡)。招待選手の中では最年長のベテランで、東京のコースは得意としているので、しっかり合わせて臨んでくれるでしょう。大分国際で2位に入った鈴木朋樹(トヨタ自動車)は今、日本で最も勢いがあります。先頭で引くというよりは、集団の中で戦況を見ながら最後まで競ることができる選手です。逆に、大分国際5位の西田宗城(バカラバシフィック)は序盤から仕掛け、攻めた走りでのレースを動かしてくれるはずです。一昨年の覇者、渡辺勝(トッパン)もポテンシャルは十分です。海外の強豪たちと渡り合える強い選手たちが集結しています。

女子は、昨年優勝のマニュエラ・シャー(SUI)が世界記録(1時間36分53秒)を更新する快走を見せたベルリンのほか、シカゴ、ニューヨークシティでも勝ち、絶好調です。ロンドンを制したマディソン・デ・ロザリオ(AUS)はT53の選手ですが、勢いがあり、フィニッシュ前の競り合いを制したスプリント力もあります。ボストンの覇者、タチアナ・マクファーデン(USA)は常に上位に入る実力者です。3人がいい流れを作ってくれます。

日本の喜納翼(タイヤランド)は大分国際で自己新(1時間39分36秒)をマークするなど着実に力を伸ばしています。世界トップ選手たちに最後まで食らいつき、メダル争いをしてほしいです。

このように、今年も男女とも実力者ぞろいの「贅沢なレース」になる見込みです。沿道で、テレビで、ぜひご観戦ください。2020年の東京パラリンピックを楽しむ予習にもなるはずです。

現在のコースは一般に、「フラットな高速コース」と評され、マラソンの部では好記録が誕生している一方、車いすマラソン出場選手からは「タフなコース」という声が聞かれます。実際、男子の優勝記録は2017年が1時間28分01秒、2018年が1時間26分23秒と世界記録(1時間20分14秒)からは少し離れています。

車いすマラソンでは、ペースメーカーがいないので選手それぞれがペースを維持し、自身の描くレース展開をつくらねばならない難しさもありますが、それが「醍醐味」でもあります。

実力的には世界新も狙える選手がそろっているので、ローテーションしながら縦長の集団で展開されるレースになれば、記録更新も十分可能でしょう。スピード感にあふれ、迫力ある車いすレースをぜひ応援し、楽しんでいただきたいと思います。

all aspects of racing. He can race away from the field from the early stage of the race, or out-sprint the competitors just before the finish line. In the Oita International Wheelchair Marathon, he recorded the 2018 season best of 1:23:56. Since Hug was second in the 2017 edition of the Tokyo Marathon, and missed the 2018 edition of the race with flight issues, we expect him to shoot for the victory by racing aggressively in Tokyo this year.

David Weir (GBR) who won the London Marathon in April, is not a front runner. Instead he waits and sees if anybody makes a move and react when the time comes. It is interesting to see his positioning within the pack, for this is his first Tokyo Marathon.

Brent Lakatos (CAN) who won the Berlin Marathon in September is actually a sprinter who excels at 100m. It is bit surprising that he competes in the T53 category, but won the race against T54 category racers, those with slightly lighter handicap. Such is a fascinating aspect of wheelchair racing.

Daniel Romanchuk (USA) won the Chicago Marathon in October and the New York City Marathon in November. He is the youngest in the field at twenty and perhaps the rising star of the future. Hope to see his aggressive racing style to inspire his competitors.

Yoo Byungoon of Korea, who finished third in the Oita International Wheelchair Marathon in November, is also invited. With the superior speed he honed in the track race, Yoo is rising fast in the marathon distance. He, like Lakatos, competes in T53 category. They are both light weight, and thus their reduced resistances might help them in the competitions. Two rookies in the Tokyo Marathon might fight it out till the end with their superior sprint ability.

Among the Japanese, last year's champion, Hiroyuki Yamamoto (Fukuoka) is the oldest among the invited athletes. He excels over the Tokyo Marathon course, so he will be ready. Tomoki Suzuki (Toyota), who finished second in Oita International Wheelchair Marathon, may be at the height of his power. He is not a front runner but likely to sit and wait in the pack before unleashing his power near the end of the race. On the other hand, Hiroki Nishida (Baccarat Pacific), who finished fifth in the Oita International Wheelchair Marathon, can compete aggressively from the start and make the race exciting. Sho Watanabe (Toppan Printing), who won the Tokyo Marathon two years ago, also has great potential. The invited Japanese athletes are expected to compete well against the invited athletes from abroad.

On the women's side, last year's champion Manuela Schar (SUI), who set the world record of 1:36:53 on the Berlin course, also won the Chicago and New York City Marathons. It shows that she is in awesome shape. Madison de Rozario (AUS) who won the London marathon competes in T53 category. She is on the rise and also endowed with superior speed to win the final sprint to the finish line. The Boston champion Tatyana McFadden (USA) always finishes within the top rank. I expect these three athletes to set a good pace.

Among the Japanese, Tsubasa Kina (Tireland Okinawa) set a personal best of 1:39:36 at Oita International Wheelchair Marathon, and she is steadily improving. Hope to see her stay with the world class athletes until the very end, fighting for a medal.

Both men's and women's field are expected to be great. Watch the race along the course or on air. It will be a nice preview of the 2020 Tokyo Paralympics.

The current course is generally known as flat and fast course which explains fast marathon times. However, wheelchair athletes assess the course as quite tough. In fact the winning time for the men's wheelchair race was 1:28:01 in 2017 and 1:26:23 in 2018, quite a distance away from the world record of 1:20:14.

The pacemakers are not employed for the wheelchair racing and thus each racer need to maintain his/her own pace. It is a difficult part of the wheelchair racing but at the same time, it is the best part of the wheelchair racing.

The field includes those who can aim for the world record. If athletes took turn in leading the pack, the record is possible. Hope everyone can enjoy and cheer the wheelchair racers, for the race is full of speed and power.

車いすエリート選手リスト—男子・女子

》WHEELCHAIR ATHLETES《

車いすエリート選手リスト (男子) Elite Wheelchair Athletes List (Men)

No.	氏名	Name	国/登録陸協名 Nation / Region	国/クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	出場資格記録 QT	自己記録 PB	
1001	マルセル・フグ	HUG, Marcel	SUI	スイス	33	1:23:59	2018 大分国際	1:18:04
1002	ユ・ビョンフン	YOO, Byunghoon	KOR	韓国	46	1:24:00	2018 大分国際	1:24:00
1003	ブレント・ラカトス	LAKATOS, Brent	CAN	カナダ	38	1:29:41	2018 ベルリン	1:29:41
1004	ダニエル・ロマンチュク	ROMANCHUK, Daniel	USA	アメリカ	20	1:29:45	2018 ベルリン	1:26:26
1005	デイビッド・ウィアー	WEIR, David	GBR	イギリス	39	1:29:55	2018 ベルリン	1:29:55
1006	鈴木 朋樹	SUZUKI, Tomoki	千葉	トヨタ自動車	24	1:24:00	2018 大分国際	1:24:00
1007	山本 浩之	YAMAMOTO, Hiroyuki	福岡		52	1:24:01	2018 大分国際	1:19:32
1008	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	大阪	バカラバシフィック	34	1:24:01	2018 大分国際	1:20:28
1009	渡辺 勝	WATANABE, Sho	福岡	凸版印刷	27	1:26:22	2017 ソウル国際	1:26:22
1010	久保 恒造	KUBO, Kozo	北海道	日立ソリューションズ	37	1:24:01	2018 大分国際	1:23:24
1011	エルンスト・バンドイク	VAN DYK, Ernst Francois	RSA	南アフリカ	45	1:24:03	2018 大分国際	1:18:04
1012	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	福岡	Yahoo!	44	1:24:04	2018 大分国際	1:20:52
1013	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	東京	SUS	37	1:24:07	2018 大分国際	1:23:18
1014	ホルディ・マデラ	MADERA, Jordi	ESP	スペイン	39	1:29:45	2018 ベルリン	1:22:10
1015	河室 隆一	KAWAMURO, Ryuichi	大分	ホンダアスリート	45	1:29:58	2018 ベルリン	1:29:58
1016	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	長崎	ソシオSOEJIMA	48	1:30:13	2018 大分国際	1:18:50
1017	吉田 高志	YOSHIDA, Takashi	大阪	奥アンツーカー	40	1:30:24	2018 ソウル国際	1:30:24
1018	ジョシュ・キャシディ	CASSIDY, Josh	CAN	カナダ	34	1:31:19	2018 ソウル国際	1:18:25
1019	アレクサンドレ・デュボン	DUPONT, Alexandre	CAN	カナダ	34	1:31:27	2017 シカゴ	1:31:27
1020	樋口 政幸	HIGUCHI, Masayuki	千葉	ブーマージャパン	40	1:31:36	2018 東京	1:22:02
1021	廣道 純	HIROMICHI, Jun	大分	ブーマージャパン	45	1:31:54	2018 東京	1:23:20
1022	レオナルド・デメロ	DE MELO, Leonard	BRA	ブラジル	23	1:32:32	2018 大分国際	1:32:32
1023	安岡 チョーク	YASUOKA, Choke	東京	リーフラス	46	1:38:05	2018 大分国際	1:22:17
1024	佐藤 健	SATO, Ken	埼玉	コロンビアスポーツウェア	35	1:41:57	2018 大分国際	1:41:57
1025	武村 浩生	TAKEMURA, Koki	福岡	Yahoo!	31	1:42:58	2018 東京	1:42:58
1026	西原 宏明	NISHIHARA, Hiroaki	京都	ファイテン	38	1:46:40	2018 大分国際	1:46:40

車いすエリート選手 (女子) Elite Wheelchair Athletes (Women)

No.	氏名	Name	国/登録陸協名 Nation / Region	国/クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	出場資格記録 QT	自己記録 PB	
1101	マヌエラ・シャー	SCHAR, Manuela	SUI	スイス	34	1:36:53	2018 ベルリン	1:28:17
1102	タチアナ・マクファーデン	MCFADDEN, Tatyana	USA	アメリカ	29	1:39:15	2017 シカゴ	1:35:05
1103	アマンダ・マグロリー	MCGRORY, Amanda	USA	アメリカ	32	1:39:15	2017 シカゴ	1:33:13
1104	マディソン・デロザリオ	DE ROZARIO, Madison	AUS	オーストラリア	25	1:39:22	2017 シカゴ	1:39:22
1105	スザンナ・スカロニ	SCARONI, Susannah	USA	アメリカ	27	1:41:44	2018 ベルリン	1:33:17
1106	マルフリート・ファンデンブルーク	VAN DEN BROEK, Margriet	NED	オランダ	44	1:44:06	2018 大分国際	1:38:33
1107	喜納 翼	KINA, Tsubasa	沖縄	タイヤランド沖縄	28	1:39:36	2018 大分国際	1:39:36
1108	中山 和美	NAKAYAMA, Kazumi	神奈川	アクセンチュア	35	1:46:14	2017 東京	1:46:14

車いすエリートレース募集要項

WHEELCHAIR ATHLETES

Wheelchair Elite Race Information

※大会名称などその他の情報➡P6-7

特 別 協 賛	東京地下鉄株式会社
日 程	2019年3月3日(日) 9:05 スタート
コ ー ス	東京マラソンコース(日本陸上競技連盟・IAAF / AIMS 公認コース) 東京都庁～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪～日比谷～東京駅前・行幸通り
参 加 資 格	(1)次の①・②・③の条件を満たす競技者 ① 大会当日(2019年3月3日)現在満19歳以上の者 ② 2018年度日本パラ陸上競技連盟登録競技者かつ2019年World Para Athletics登録予定者で大会当日までに登録を完了し、World Para Athletics国際クラス(T53・T54)でクラスステータスRまたはCを保持している者 ③ World Para Athletics公認大会で、2016年2月1日以降申込期日までに男子1時間50分以内、女子2時間00分以内の公認記録を有する者 (2)日本パラ陸上競技連盟が推薦し、大会が招待する国内・国外の競技者
対 象 ク ラ ス	T53/T54 (World Para Athletics 国際クラスに準ずる。なお、今大会ではクラス分けは行わない。)
競 技 規 則	World Para Athletics 競技規則(大会開催日に適用される最新のWorld Para Athletics 競技規則)及び本大会規定による。なお、World Para Athleticsの規則により、ドーピング検査を実施する。また、参加する全ての選手にWorld Para Athletics 競技規則の広告に関する規程が適用される。
定 員	男女計30人(招待選手含む)
参 加 料	10,800円
参 加 申 込	(1) 期間 2018年12月10日(月)から2019年1月8日(火)17:00 必着 (2) 方法 氏名、フリガナ、生年月日、所属名を記載し、elite2019@tokyo42195.orgへ「車いすエリート参加希望」というタイトルで電子メールにより連絡すること。追ってエントリーフォームを返信する。
出 場 者 決 定	1月21日(日)以降、参加案内、ナンバーカード引換証とともに出場決定通知を送付する。
表 彰	「東京マラソン2018車いすマラソン」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。
賞 金	1位 1,000,000円、2位 500,000円、3位 300,000円、4位 100,000円、5位 80,000円、6位 60,000円、7位 40,000円、8位 20,000円 世界記録 1,000,000円(男女1位のみ) 日本記録 500,000円(男女国内1位のみ) 大会記録 200,000円(男女1位のみ) ※金額はいずれも税込み。
選 手 受 付	3月2日(土) 13:00～16:00 京王プラザホテル 3月3日(日) 6:30～7:00 // ※エリート選手は、大会前のドーピング検査の対象となる場合があることから、受付は選手本人が行うこと。
テクニカルミーティング	3月2日(土) 17:00～ 京王プラザホテル
個人情報の取り扱いについて	主催者及び日本パラ陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者および日本パラ陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。
そ の 他	(1) 主催者の責によらない事由で大会を中止した場合、参加料の返金は一切行わない。 (2) 主催者による健康検査は行わない。各自の責任において最良の健康状態で参加すること。 (3) 競技者が大会参加中に被った傷害または疾病に対しては、応急処置まで行う。 (4) ドーピングコントロール 国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。 (5) TUE 申請 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は治療使用特例(TUE)の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(http://www.playtruejapan.org/)を確認すること。 (6) 大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。 (7) 賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。 (8) 本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。

車いすレース競技規則

WHEELCHAIR ATHLETES

1	本大会は、World Para Athletics 競技規則（大会開催日に適用となる最新の World Para Athletics 競技規則）及び大会規定により実施する。
2	全ての選手は、衣類及び車いすについて、World Para Athletics 競技規則の広告に関する規程を遵守しなければならない。
3	競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
4	本大会では、性別の異なる選手の背後を5m以内の距離で追走する行為（ドラフティング）を禁止する。
5	競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
6	競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。
7	競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。競技役員以外の者から助力を受けた場合は、失格とすることがある。
8	競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可する。
9	競技者は、走行中、医師及び競技役員から競技中止を命ぜられたときは、直ちに競技を中止しなければならない。
10	競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
11	競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面またはトラックに接触しないようにしなければならない。
12	クラスについては、下記の国際クラス分け表による。
13	本大会では、ドーピング検査を実施する。
14	関門の制限時間を次のとおり設ける。 5. 6km地点 20分00秒 9. 9km地点 35分00秒※ 14. 6km地点 45分00秒 30. 1km地点 1時間35分00秒 39. 8km地点 2時間00分00秒 フィニッシュ地点 2時間10分00秒 ※ 9. 9kmは、車いす10kmレース制限時間。車いすマラソンもこの時間を超えてレース続行できない。
15	給水所を次の通り設ける。 5km、7km、10km、12km、15km、17km、22km、25km、27km、30km、32km、35km、38km、40km地点付近
16	車いすについては、次のとおりとする。 (1) 車いすは最低でも2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。 (2) 車いす本体のいかなる部分は前輪のハブより前、そして後輪の後端より後方に突き出てはならない。付け加えて、フレームの横幅はプッシュリムの斜面を超えてはならないと共に外部に装備品を装着してはならない。車いす本体の地面からの高さは最高50cmとする。 (3) 車いすのいかなる部分も後輪の最後部を結んだ垂直面から後方に突き出ているのはならない。 (4) 後輪、前輪の直径は十分に空気を入れたタイヤを含んで、後輪 70cm・前輪 50cmを超えてはならない。 (5) 各大輪には平らで円形のプッシュリムをただ1つ付けることができる。 (6) 電動車いすおよび車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーを取り付けた車いすを使用してはならない。 (7) ミラーの使用を禁止する。 (8) 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認められる。 (9) 競技者は前輪を手動で左右に動かすことができないしなければならない。 (10) フェアリングの使用または空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。 (11) 車いすは招集場で測定され、競技開始前にその場を離れることはできない。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。 (12) 前述の全ての規則に従うのは競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。 (13) 外部との連絡を可能とする装置は使用禁止。ただし、連絡を可能とする機能が含まれていなければ GPS が含まれた速度計などは使用可。

国際クラス分け表

T53	このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋または下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がないため体幹は膝から離れて起きる；駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベル T1-7 と同等の活動制限がある。
T54	このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。車いす上で身体を起き上がり、回旋する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベル T8-S4 レベルと同等の活動制限がある。

(※) 上記は、「日本版クラス分けマニュアル」から抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照ください。
<https://jaafd.org/sports/basic-knowledge>

1	This marathon will be held in compliance with the most up to date World Para Athletics Rules and Regulations.												
2	All participating athletes must follow World Para Athletics Rules and Regulations regarding advertising and displays on clothes and wheelchairs during World Para Athletics Recognized Competitions.												
3	Athletes must follow the designated lanes in the course from start to finish.												
4	Drafting behind an athlete from another gender within a distance of 5m or less is prohibited.												
5	Any athletes who intentionally interfere with, or touch other athletes during the race will be disqualified.												
6	Wearing a helmet is required.												
7	Only the race officials are permitted to assist an athlete in case of crash or tumble during the race. Athletes will be disqualified if he/she is assisted in any manner influential to the better race result.												
8	Only the race officials are allowed to assist the repair of wheels and wheelchairs during the race.												
9	Athletes must retire immediately from the race when so ordered by the medical officials or the race officials.												
10	Athletes must obey the directions of the race officials and police officers.												
11	Athletes must ensure that no part of their lower limbs touch the ground or track during the event.												
12	Classification: Please refer to the CLASSIFICATION SYSTEM GOVERNING RULES below.												
13	Doping Control will be conducted at Tokyo Marathon.												
14	<p>Athletes must reach the following checkpoints within the given times:</p> <table> <tr> <td>5.6km checkpoint</td><td>20 min 00 sec</td></tr> <tr> <td>9.9km checkpoint</td><td>35 min 00 sec*</td></tr> <tr> <td>14.6km checkpoint</td><td>45 min 00 sec</td></tr> <tr> <td>30.1km checkpoint</td><td>1 hour 35 min 00 sec</td></tr> <tr> <td>39.8km checkpoint</td><td>2 hour 00 min 00 sec</td></tr> <tr> <td>Finish</td><td>2 hour 10 min 00 sec</td></tr> </table> <p>*9.9km checkpoint is Finish of wheelchair 10km race If any athletes fail to reach these checkpoint in time, they will be removed from the race.</p>	5.6km checkpoint	20 min 00 sec	9.9km checkpoint	35 min 00 sec*	14.6km checkpoint	45 min 00 sec	30.1km checkpoint	1 hour 35 min 00 sec	39.8km checkpoint	2 hour 00 min 00 sec	Finish	2 hour 10 min 00 sec
5.6km checkpoint	20 min 00 sec												
9.9km checkpoint	35 min 00 sec*												
14.6km checkpoint	45 min 00 sec												
30.1km checkpoint	1 hour 35 min 00 sec												
39.8km checkpoint	2 hour 00 min 00 sec												
Finish	2 hour 10 min 00 sec												
15	<p>Drinks will be provided at the following points.</p> <p>5km, 7km, 10km, 12km, 15km, 17km, 22km, 25km, 27km, 30km, 32km, 35km, 38km, 40km</p>												
16	<p>Regulations for wheelchairs are as follows:</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) At World Para Athletics Competitions the wheelchair shall have two(2) large rear wheels and one(1) small front wheel. (2) No part of the frame of the wheelchair, or any attachments to it, shall extend forward beyond the hub of the front wheel nor backwards beyond the rearmost vertical plane of the rear wheels (including tyres). Additionally, the width of the frame and any of its attachments shall not be wider than the inclined plane of the pushing rims. The maximum height from the ground to the bottom of the wheelchair frame shall be 50cm. (3) No part of the wheelchair may protrude behind the vertical plane of the back edge of the rear tyres. (4) Wheel Dimensions: The maximum diameter of the large wheel including the inflated tire shall not exceed 70 cm. The maximum diameter of the small wheel including the inflated tire shall not exceed 50 cm. (5) Only one plain, round, push-rims allowed for each large wheel. (6) No mechanical gears or levers are allowed to propel the wheelchair. (7) The use of mirrors is not permitted in wheelchair track or road races. (8) Only hand operated, mechanical steering devices are allowed. (9) The athlete must be able to turn the front wheel(s) manually both to the left and to the right. (10) The use of fairings or similar devices specifically designed to improve the aerodynamic performance of the athlete in the wheelchair are not permitted. (11) Wheelchairs will be measured and inspected in the Call Room and once inspected must not be taken from the competition area before the start of the event. Wheelchairs can be re-examined by the officials before or after the event. (12) It is the responsibility of the athlete to ensure that their wheelchair conforms to the requirements stipulated above. No event shall be delayed for the reasons for athletes to makes adjustments to their wheelchair. (13) Any physical or technological action or activity that provides an athlete with an unfair advantage is not permitted on the field of play. Any device that has the capacity to be used for communicating is prohibited from the field of play. Speedometers attached to wheelchairs that have GPS component may be allowed as long as communication function is not included. 												

CLASSIFICATION SYSTEM GOVERNING RULES

T53	<p>• These athletes will have normal arm muscle power with no abdominal or lower spinal muscle activity. Use different techniques to compensate for lack of abdominal musculature including lying horizontal. In general when acceleration occurs, the trunk rises off the legs due to a lack of abdominal muscles to hold the trunk down; there is no active downward movement of the trunk to assist with propulsion.</p> <p>Usually have to interrupt the pushing cycle to adjust the compensator. Equivalent activity limitation to athlete with complete spinal cord injury at neurological level T1-7</p>
T54	<p>• These athletes will have normal arm muscle power with a range of trunk muscle power extending from partial trunk control to normal trunk control.</p> <p>Athletes who compete in this group may have significant leg muscle power. These athletes have reasonable to normal trunk control which allows them to hold their trunk down when the propulsion force is applied to the push rim. Usually do not interrupt the pushing cycle to adjust the compensator. Can shift direction of the wheelchair by sitting up and applying a trunk rotational force to the wheelchair. Equivalent activity limitation to athlete with complete spinal cord injury at neurological level T8-S4. Athletes competing in this class must meet one or more of the MDC presented in Section 2.1.4 (limb deficiency), 2.1.5 (impaired PROM) and 2.1.6 (impaired muscle power) or 2.1.7 (leg length difference).</p>

* For further information, please refer to the following World Para Athletics website.
<https://www.paralympic.org/athletics/classification/rules-and-regulations>

海外車いす招待選手 男子

WHEELCHAIR ATHLETES

No.
1001

マルセル・フグ (スイス)

HUG, Marcel (SUI)



プロフィール / PROFILE

DOB : 16 Jan 1986

AGE : 33

▶ Career Highlights

1st	2018 Oita International Wheelchair Marathon
1st	2018 Seoul International Wheelchair Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:18:04	ボストン (Boston)	1	2017

マルセル・フグは、2016年には東京以外のアボット・ワールドマラソンメジャーズの5大会で優勝。2017年には2位だった東京とロンドンマラソン以外の4大会を制覇している。

10歳ころから車いすレースに出場しており、「初めてのレースの年齢別クラスで優勝したことが、その後のスポーツ人生の基礎を作った」と振り返る。最初の大きな国際レースとなった2004年パラリンピックで800mと1500mで銅メダルを得た。4年後の大会ではメダルを逃したが、2012年大会ではマラソンと800mで銀メダルを獲得。「究極の目標はパラリンピックで金メダルを取ること」と語っていたフグの夢は2016年に実現した。マラソンと800mでついに金メダルに輝いたのだ。今回の東京で優勝すれば全てのアボット・ワールドマラソンメジャーズ大会での勝利経験者になる。2018年のシカゴとニューヨークではダニエル・ロマンチュクに1秒差で敗れている。東京では勝ちたい。

In 2016 Marcel Hug won all Abbott World Marathon Majors races except for Tokyo. A year later he won four out of six Abbott World Marathon Majors races excluding Tokyo and London where he placed second. Hug started wheelchair racing at the age of 10. "Winning the age group in my first wheelchair race inspired me and builds my base for the future of my sports," Hug recalls. His first big international race was at the 2004 Paralympics. Hug won bronze medals at both 800m and 1500m. Although Hug failed to achieve medal at the 2008 Beijing Paralympics, four years later in the 2012 London Paralympics, he won silver medals at both 800m and the marathon. Hug who said, "My ultimate goal is to win the gold medal in the Paralympics," finally realized his dream in the 2016 Rio de Janeiro Paralympic Games. Hug won gold medals in both 800m and the marathon. He has yet to win the Tokyo Marathon and if he wins Tokyo this year, he will have a title of winning all the Abbott World Marathon Majors races. Hug lost against Daniel Romanchuk by a single second in both 2018 Chicago and New York City Marathon. Tokyo will be the race of redemption for Hug.

No.
1002

ユ・ビョンフン (韓国)

YOO, Byunghoon (KOR)



プロフィール / PROFILE

DOB : 30 Jun 1972

AGE : 46

▶ Career Highlights

3rd	2018 Oita International Wheelchair Marathon
4th	2018 Seoul International Wheelchair Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:24:00	大分国際 (Oita)	3	2018

2008年パラリンピックでT53・400m、T53・800m、そしてT54・1500mに出場したユ・ビョンフンだが、メダルは取れなかった。しかし、4x100mと4x400mにも出場、4x100mリレーでは見事銅メダルを獲得している。大分国際車いすマラソン大会には何度も出場している。2012年にはハーフマラソンの部で3位、2013年と2016年には4位に入賞している。

2018年大分国際車いすマラソンでは、マラソンの部に出場。最後はマルセル・フグ、鈴木朋樹、山本浩之、西田宗城、久保恒造らと大接戦を演じ、1時間24分00秒の自己ベストで1位からわずか1秒遅れの3位だった。今回の東京マラソンには、そのレースで5位以内に入った選手全員が参加する。ユは、大分で優勝したフグに一矢を報いたい。

Yoo Byunghoon participated in T53 400m, T53 800m and T54 1500m at the 2008 Paralympics, but failed to gain a medal in all three events. However, he was a member of both 4x100m and 4x400m and won a bronze medal in 4x100m relay. He competed in the Oita International Wheelchair Marathon several times. Yoo was third at half marathon division in 2012, while he finished fourth in both 2013 and 2016.

In 2018, he competed in the marathon division at the Oita International Wheelchair Marathon. The race came down to a titanic struggle among Marcel Hug, Tomoki Suzuki, Hiroyuki Yamamoto, Hiroki Nishida and Kozo Kubo. At the end he was close third, one second behind the winner, with the personal best of 1:24:00. All top five finishers from Oita will gather in Tokyo. It will be the race to triumph for Yoo.

No.
1003**ブレント・ラカトス (カナダ)**

LAKATOS, Brent (CAN)

**プロフィール / PROFILE**

DOB : 1 Jul 1980
AGE : 38

▶ Career Highlights

1st	2018 Berlin Marathon
Gold	2016 Rio Paralympic Games (100m)

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:29:41	ベルリン (Berlin)	1	2018

スポーツ一家に生まれたブレント・ラカトスは、IPC世界選手権で計11個の金メダルを獲得している凄腕の選手なのだ。最初は車いすバスケットボールに熱中していたが、2004年パラリンピック前に車いすレースに転向した。当初はT54クラスのレースに出場していたが、T53クラスに変更してから快進撃が始まった。2004年パラリンピックは全種目予選敗退に終わったが、2008年には100mから400mの3種目で決勝進出。2013年IPC世界選手権では短距離の4種目で優勝、2015年には3種目を制し、2017年には100mから800mまでの4種目で金メダルを獲得した。リオパラリンピックの100mでも優勝、2015年のパンアメリカン大会でも3種目を制した。2013年には100mで14秒34の世界記録を樹立。短中距離種目で多数の金メダルを獲得しているラカトスだが、最近はマラソンでも躍進。2018年にはベルリンマラソンで優勝している。

Brent Lakatos, who was born in the athletic family, won total of eleven medals in the IPC World Championships. He was a wheelchair basketball player but turned to wheelchair racing just before the 2004 Paralympics. He was competing in T54 category at first, but when he started to compete in T53 category, he started to excel. In the 2004 Paralympics, he did not make the final in any events, but in 2008 he made the final in three events from 100m to 400m. That sparked his beginning for victories. In the 2013 IPC World Championships, he won four sprint events, while in 2015 he won three events. In 2017 he won all four events from 100m to 800m. He won the 100m in the Rio Paralympics and also won three events in the 2015 Pan American Games. In 2013, he set the world record of 14.34 at 100m. After winning multiple medals at sprint and middle distance events, Lakatos is moving up to the marathon. He won the 2018 Berlin Marathon.

No.
1004**ダニエル・ロマンチュク (アメリカ)**

ROMANCHUK, Daniel (USA)

**プロフィール / PROFILE**

DOB : 3 Aug 1998
AGE : 20

▶ Career Highlights

1st	2018 New York City Marathon
1st	2018 Chicago Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:26:26	ボストン (Boston)	16	2017

ダニエル・ロマンチュクは、現在アボット・ワールドマラソンメジャーズ大会2連勝中と脂が乗り切った選手だ。車いすレース以外にも、パラ水泳とパラトライアスロンでは国内一流選手で、車いすバスケットボールの経験もある。

2016年リオパラリンピックでは100mから5000mまで5種目に出場。翌年のパラ世界選手権では800mで7位に入った。同年ボストンマラソンでは自己ベストを9分更新する1時間26分26秒を記録している。

2018年にはボストンで3位、ベルリンで5位。シカゴマラソンでは、今回の東京マラソンに出場するマルセル・フグ、デイビッド・ウィアーとの激戦の末、フグを1秒差で破って優勝した。翌月のニューヨークシティマラソンも同じ3人の争いになり、再びフグに1秒差で勝利した。東京マラソンではロマンチュク、フグ、ウィアーの3度目の激戦が注目を集める。ロマンチュクにはメジャー大会3連勝への期待が膨らむ。

Daniel Romanchuk has won last two Abbott World Marathon Majors races. He also competed at Para Swimming and Para Triathlon, where he was national class athletes. He also competed in wheelchair basketball.

In the 2016 Rio de Janeiro Paralympics, he competed in five events from 100m to 5000m. In the 2017 Para World Championships, he was seventh in 800m. In the same year, at the Boston Marathon, he improved his marathon best by nine minutes to 1:26:26. In 2018, he was third in Boston, fifth in Berlin. Then in October he battled with Marcel Hug and David Weir and defeated Hug by one second and won the Chicago Marathon. Following a month later at New York City Marathon, the battle among Romanchuk, Hug and Weir resumed. Romanchuk won again from Hug by one second. These three will meet again in Tokyo. Will Romanchuk make it three in a row?

海外車いす招待選手 男子

WHEELCHAIR ATHLETES

International Invited Wheelchair Athletes MEN

No.
1005

デイビッド・ウィアー (イギリス)

WEIR, David (GBR)



プロフィール / PROFILE

DOB : 5 Jun 1979

AGE : 39

▶ Career Highlights

1st 2018 London Marathon

1st 2017 London Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:29:55	ベルリン (Berlin)	12	2018

デイビッド・ウィアーは地元のロンドンマラソンで計8回も優勝している。2000年から毎年出場し、2002年に初優勝。2006年から3連覇した後、2011年、2012年、2017年そして2018年にも栄冠に輝いた。

8歳の時から車いすスポーツを始めており競技歴は長い。2008年と2012年のパラリンピックでは800m、1500m、5000m、マラソンの4種目で計6個の金メダルを獲得した。2006年と2011年のIPC世界選手権では100m、400m、800m、1500m、5000mの5種目で計6回優勝。IPC欧州選手権と英連邦大会の車いすレースでも計5回の勝利をおさめている。

2018年には、ロンドンマラソンで優勝した後、シカゴとニューヨークシティマラソンで3位に入った。その2レースで、ウィアーより上位になったのはダニエル・ロマンチュクとマルセル・フグ。東京マラソンは両者との雪辱戦になる。

David Weir won London Marathon eight times. He has been competing at the London Marathon since 2000 and won the event for the first time in 2002. After winning three times in a row beginning with 2006, he also won in 2011, 2012, 2017 and 2018.

He has been competing at the wheelchair event since he was eight years old. In the 2008 and 2012 Paralympics, Weir won total of six gold medals at 800m, 1500m, 5000m and the marathon. In the 2006 and 2011 IPC World Championships, he won total of six gold medals in 100m, 400m, 800m, 1500m, and 5000m. He also won total of five gold medals at the IPC European Championships and Commonwealth Games.

In 2018, after winning the London Marathon, he finished third in both Chicago and New York City Marathon. Since two who finished ahead of Weir in Chicago and New York – Hug and Romanchuk, - will be competing in Tokyo, for Weir, Tokyo will be the race to regain his victory.

国内車いす招待選手 男子

WHEELCHAIR ATHLETES

Japanese Invited Wheelchair Athletes MEN

No.
1006

鈴木 朋樹 (千葉・トヨタ自動車)

SUZUKI, Tomoki (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 14 Jun 1994

AGE : 24

▶ Career Highlights

2nd 2018 Oita International Wheelchair Marathon

2nd 2018 Tokyo Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:24:00	大分国際 (Oita)	2	2018

鈴木朋樹は2018年11月の大分国際車いすマラソンで1時間24分00秒の自己ベストを記録した。

本格的に車いすレースに出場ようになったのは小学5年生の時。2012年パラリンピック車いすマラソン5位の花岡伸和との出会いがきっかけだった。初マラソンとなった2015年東京マラソンで2位に入った。10月のIPC世界選手権では5000mで22位、800mと1500mは決勝に進めなかった。しかし彼の果敢な闘志は高く評価されている。2度目のマラソンとなった2015年大分国際車いすマラソンでは最初から積極的に飛ばし9位に入った。日産カップハーフマラソンは2015年、2016年と2連勝したが、リオパラリンピック代表選考レースだった2016年の東京マラソンは5位で代表から漏れた。2017年の東京マラソンは3位、翌年は2位。今回は、自己ベストの勢いを維持して、初優勝に挑む。

In November of 2018, Tomoki Suzuki improved his personal best to 1:24:00 in the Oita International Wheelchair Marathon.

When he was in fifth grade, Suzuki met with Nobukazu Hanaoka, who was fifth at the wheelchair marathon in the 2012 Paralympics, and he started to compete seriously in the wheelchair races. Suzuki made his marathon debut in the Tokyo Marathon 2015 and finished second. In October, Suzuki competed at the IPC World Championships and finished 22nd at 5000m, but failed to advance to the final in both 800m and 1500m. However, his aggressive racing style was highly praised. In his second marathon, 2015 Oita International Wheelchair Marathon, Suzuki started the race in quite an aggressive pace, but faded in the later stage to finish ninth. Suzuki twice won the December's Nissan Cup, half marathon race, in 2015 and 2016. He was fifth in the Tokyo Marathon 2016, the qualifying race for the Rio de Janeiro Paralympics Marathon, and thus missed making the team. Suzuki was third in the Tokyo Marathon 2017 and second in 2015 and 2018, and thus only a victory at the Tokyo Marathon is missing from his fame. While keeping up his personal best speed, Suzuki is going after the victory in Tokyo.

No.
1007

山本 浩之 (福岡)

YAMAMOTO, Hiroyuki (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 31 May 1966

AGE : 52

▶ Career Highlights

1st 2018 Tokyo Marathon

4th 2018 Oita International Wheelchair Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:19:32	ボストン (Boston)	3	2017

東京マラソンで4回も優勝している山本浩之は、車いすバスケットボールを経てマラソンに転向した選手だ。

めきめき頭角を現してきたのは2007年。大分国際車いすマラソンで2位に入り、翌年の北京パラリンピックでは1位からわずか5秒遅れで6位と結果を出した。その後も大分で好成績を続け、2009年、2012年、2013年に2位、2016年には日本人として10年ぶりの優勝を成し遂げている。1時間19分32秒の自己ベストは、2017年ボストンマラソンで3位に入賞した時に記録した。東京マラソンでは2010年に初優勝。2012年、2014年に続いて昨年4回目の優勝を果たしたが、連覇はまだない。副島正純車いすレースディレクターは東京で5回優勝している。山本が今回優勝すれば副島と並ぶ。そして初めての連覇も達成することになる。

Hiroyuki Yamamoto, who has won the Tokyo Marathon four times, started as a wheelchair basketball player before turning to the wheelchair racing.

In his first major international competition, the 2007 Oita International Wheelchair Marathon, Yamamoto placed second. Following year, he was sixth in the 2008 Beijing Paralympics marathon, only five seconds behind the winner. He competed well at the Oita International Wheelchair Marathon, finishing second in 2009, 2012 and 2013. In 2016, Yamamoto finally won the Oita International Wheelchair Marathon and it was the first victory by Japanese in 10 years. His personal best of 1:19:32 was recorded when he was third in the 2017 Boston Marathon. Yamamoto won the Tokyo Marathon four times, in 2010, 2012, 2014 and 2018, but never in consecutive years. Masazumi Soejima, a wheelchair race director for the Tokyo Marathon won five times in Tokyo. If Yamamoto wins this year, he will tie Soejima on the number of victories. It will also be the first back to back win for Yamamoto in Tokyo.

国内車いす招待選手 男子

WHEELCHAIR ATHLETES

Japanese Invited Wheelchair Athletes MEN

No.
1008

西田 宗城 (大阪・バカラバシフィック)

NISHIDA, Hiroki (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 11 Mar 1984

AGE : 34

▶ Career Highlights

5th 2018 Oita International Wheelchair Marathon

6th 2018 Berlin Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:20:28	ボストン (Boston)	5	2017

小学生の頃から野球一筋だった西田宗城は、2018年パリマソンで日本人初優勝を成し遂げた選手である。「テレビで、ごっつい腕の人が車いすに乗って猛スピードで駆け抜ける映像を見て一目惚れした」。西田は2006年から車いす陸上競技に出場するようになったきっかけをこう話す。2013年IPC陸上競技世界選手権のマソンで10位、2015年大会では17位に入った。しかしリオパラリンピックの選考会となった2016年の東京マソンでは6位で代表を逃した。その後2016年のロンドンマソン兼世界選手権でも6位、しかし同年ベルリンマソンではマルセル・フグそしてエルンスト・バンダイクと大接戦を演じ、優勝したフグからわずか2秒遅れの3位入賞を果たした。2017年ボストンマソンでは5位だったが、自己ベストを1時間20分28秒まで伸ばしている。西田の東京マソンでの最高順位は2014年の4位である。今年はその順位を上回れるだろうか？

Hiroki Nishida, who played baseball in his youth, won the 2018 Paris Marathon, and became the first Japanese to win the Paris Marathon. Nishida came to fall in love with wheelchair racing when he watched the wheelchair race on TV, with "the image of the men with huge biceps flying thru the streets with incredible speed." Later then, he started to compete in the wheelchair races starting in 2006. In the 2013 IPC World Athletics Championships, Nishida was 10th at the Marathon. In 2015, he was 17th. In the Tokyo Marathon 2016, qualifying race for the Rio de Janeiro Paralympics, Nishida was only sixth and thus missed making the team. Later in the 2016 London Marathon, Nishida was sixth again. However, in the 2016 Berlin Marathon, Nishida battled all the way to the end with Marcel Hug and Ernst Van Dyck and finished third with only two seconds behind the winner, Hug. Although he was fifth in the 2017 Boston Marathon, Nishida improved his personal best to 1:20:28. Nishida's best finish at the Tokyo Marathon was fourth in 2014. Can he do better this year?

No.
1009

渡辺 勝 (福岡・凸版印刷)

WATANABE, Sho (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 23 Nov 1991

AGE : 27

▶ Career Highlights

1st 2017 Tokyo Marathon

2nd 2017 Seoul International Wheelchair Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:26:22	ソウル国際 (Seoul)	2	2017

2017年東京マソンで優勝した渡辺勝は「初めて車いすレースで坂道を下った時、そのスピード感にはまってしまった」と競技の魅力を語る。2013年IPC世界選手権に出場し、10000mで銀メダル、マソンで8位入賞を果たした。翌年のアジアパラ大会では、車いすの改良が裏目に出てメダルなし。そして2015年IPC世界選手権では5000mで15位に終わった。2016年リオパラリンピックの代表には漏れたが、2017年の東京マソンで世界を驚かせた。2016年にボストン、ロンドン、ベルリン、シカゴそしてニューヨークシティマソンを制したマルセル・フグと死闘を演じ、最後のスプリントで競り勝ったのだ。その後、同年シカゴで4位、ニューヨークで3位に入るなど好記録を連発。昨年の東京マソンでは5位に沈んだ渡辺だが、今回は「世界一になる」と意気込んでいる。

Sho Watanabe, who won the Tokyo Marathon 2017 explains he was intrigued to Wheelchair racing as follows: "when I went down the slope with a wheelchair for the first time, I was hooked with its speed". In 2013, Watanabe competed in the IPC World Championships and won a silver medal at 10000m and finished eighth in the marathon. Next year in the Asian Paralympics, adjustment to his wheelchair backfired and thus he failed to win a medal. In the 2015 IPC World Championships, he was 15th at 5000m. He failed to qualify for the Rio Paralympics in 2016, but shocked everyone in the Tokyo Marathon 2017. Watanabe battled all the way to the finish line with Marcel Hug, who won the Boston, London, Berlin, Chicago and New York City Marathons in 2016, and defeated Hug in the final sprint. Later in the same year, Watanabe was 4th in the Chicago Marathon, and 3rd in the New York City Marathon. Although he was only fifth in the Tokyo Marathon 2018, he is determined this time to be the "best in the world".

海外車いす招待選手 女子

WHEELCHAIR ATHLETES

International Invited Wheelchair Athletes WOMEN

No.
1101

マヌエラ・シャー (スイス)

SCHAR, Manuela (SUI)



プロフィール / PROFILE

DOB : 5 Dec 1984

AGE : 34

▶ Career Highlights

1st 2018 Tokyo Marathon

1st 2018 Berlin Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:28:17	ボストン (Boston)	1	2017

スイスで生まれ育ったマヌエラ・シャーは、2018年に東京、ベルリン、シカゴ、ニューヨークシティマラソンで優勝している。現在実力世界一の選手だ。

最初は主にスプリント種目で国際大会に出場していた。2004年パラリンピックでは100mで銅メダル、200mで銀メダルを獲得し、2008年パラリンピックでは200mで銅メダルを得ている。転機は2013年のIPC陸上競技世界選手権大会。5000mとマラソンにも出場し、マラソンでは金メダルに輝いた。それだけではない。400m、800m、5000mの3種目で銀メダルを手にしたのである。2016年リオパラリンピックでも400m、800m、1500mに出場し、同年のベルリンマラソンで優勝。2017年、長い距離での才能が大きく開花した。ボストン、ロンドン、ベルリン、そしてニューヨークシティマラソンで優勝したのである。2018年も4大マラソンを制したシャーは東京で連覇を狙う。

Manuela Schar, who was born and raised in Switzerland, is currently the best wheelchair athlete in the world, having won Tokyo, Berlin, Chicago, and New York City Marathon in 2018.

She started her international career as a sprinter. In the 2004 Paralympic Games, Schar won a bronze medal in 100m and silver medal in 200m and four years later in 2008 she won a bronze medal in 200m. The turning point of her career was at the 2013 IPC World Championships where she competed in 5000m and the marathon, and winning the gold medal in the marathon. Not only that but she also won silver medals in 400m, 800m and 5000m. In the 2016 Rio de Janeiro Paralympics, Schar competed in 400m, 800m and 1500m and in the same year, she won the Berlin Marathon. In 2017, her talent for marathon was fully recognized by winning Boston, London, Berlin and New York City Marathon. Schar who won four big marathons in 2018 is shooting for the second consecutive win in Tokyo.

No.
1102

タチアナ・マクファーデン (アメリカ)

MCFADDEN, Tatyana (USA)



プロフィール / PROFILE

DOB : 21 Apr 1989

AGE : 29

▶ Career Highlights

2nd 2018 Tokyo Marathon

1st 2017 Chicago Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:35:05	ボストン (Boston)	4	2017

タチアナ・マクファーデンは、2013年にボストン、シカゴ、ニューヨーク、ロンドンの4大大会全てを制した初めての選手である。彼女はソビエトで生まれたが、米国に移住し、8歳から車いすレースに出場するようになった。

2004年、2008年のパラリンピックで5個のメダルを獲得。2012年パラリンピックでは400mから1500mの全種目で優勝し、翌年のIPC世界選手権で100mから5000mまでの6種目を制した。2016年リオでも400mから5000mまでの全種目で金メダルを得た。2017年世界パラ陸上選手権では200mから1500mの4種目で優勝している。そしてソチ冬季パラリンピックにも出場している。車いすマラソンに出場するようになったのは2009年から。ボストン、シカゴ、ニューヨーク、ロンドンなどメジャー大会で何度も優勝している。2016年と2018年に2位に終わった東京は、彼女が優勝していない唯一のメジャー大会である。初優勝へ向けて疾走する。

In 2013, Tatyana McFadden became the first wheelchair athlete to win the big four marathons – Boston, Chicago, New York and London. Born in the former USSR, McFadden moved to the US and started to compete in the wheelchair races when she was eight years old.

In the 2004 and 2008 Paralympic Games, she won five medals. In 2012, McFadden won all events from 400m to 1500m. A year later in the 2013 IPC World Championships, she won all six events from 100m to 5000m. She won all events from 400m to 5000m in the 2016 Paralympics, and in 2017 she won four events from 200m to 1500m. She also competed in the Sochi Winter Paralympics. She started to compete in the wheelchair marathon in 2009, and won major marathons including Boston, Chicago, New York and London many times. Tokyo where she was second in 2016 and 2018 is the only major marathon she has yet to win. She will go after her first win in Tokyo.

海外車いす招待選手 女子

WHEELCHAIR ATHLETES

No.
1103

アマンダ・マグロリー (アメリカ)

MCGRORY, Amanda (USA)



プロフィール / PROFILE

DOB : 9 Jun 1986
AGE : 32

▶ Career Highlights

1st	2017 Tokyo Marathon
2nd	2017 Chicago Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:33:13	ボストン (Boston)	2	2017

2017年に東京マラソンで優勝したアマンダ・マグロリーは、2009年にロンドン、2010年にシカゴ、そして2011年にロンドンとニューヨークを制しているベテランの強豪選手だ。

10歳の時、両親が彼女を車いすスポーツのプログラムに登録し、彼女の車いすレースのキャリアがスタートした。マグロリーは自分のことをスプリンターだと思っていたが、彼女のパフォーマンスを見た元マラソンチャンピオンのスコット・ホーロンベックは、長い距離への適正を感じた。彼は正しかった。2006年にIPC世界選手権の800mとニューヨークシティマラソンで優勝。2008年パラリンピックの5000mでも優勝し、2017年世界パラ選手権の1500mと5000mで2位、そして800mで3位に入った。東京マラソンを制した2017年には、ボストン、ロンドン、シカゴマラソンで2位に入っている。2018年東京マラソンでは4位に沈んだが、今回2度目の優勝を目指す。

Amanda McGrory, who won the Tokyo Marathon in 2017, also won London in 2009, Chicago in 2010 and London and New York in 2011.

Her Wheelchair racing career started when she was ten years old. Her parents registered her for the wheelchair sports program. McGrory thought she was a sprinter, but former marathon champion Scott Hollonbeck disagreed. Scott believed that she would be a good marathon runner, and he was right. In the 2006, Amanda won the IPC World Championships 800m as well as the New York City Marathon. Amanda won the 5000m in the 2008 Paralympics and in the 2017 World Para Athletics Championships she was second in 1500m and 5000m and third in 800m. In 2017, in addition to Tokyo Marathon victory, she was second in Boston, London and Chicago Marathons. She placed fourth last year in Tokyo but will be shooting for her second win in Tokyo this year.

No.
1104

マディソン・デ ロザリオ (オーストラリア)

DE ROZARIO, Madison (AUS)



プロフィール / PROFILE

DOB : 24 Nov 1993
AGE : 25

▶ Career Highlights

1st	2018 London Marathon
2nd	2018 Chicago Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:39:22	シカゴ (Chicago)	4	2017

マディソン・デロザリオは2017年、オーストラリア選手として初めてロンドンマラソンを制した選手となった。2018年5月には1500mの世界記録3分13秒27、そして2019年1月には800mの世界記録1分45秒53も樹立している。

14歳で2008年パラリンピックに出場し、4x100mリレーの一員として銀メダルを獲得した。2015年にはIPC世界選手権の800mで優勝。彼女にとって大きな大会で初めての金メダルだった。2016年リオパラリンピックでは800mで銀メダル、翌年のIPC世界選手権では5000mの金メダルを含む3個のメダルを獲得。2018年には英連邦大会の1500mとマラソンの両種目を制している。そしてロンドンマラソンではタチアナ・マクファーデン、スザンナ・スカロニ、マニエラ・シャヤそしてアマンダ・マグロリーと大接戦となり、2位との同タイムでスプリント勝負を制した。東京マラソンでは、その大接戦を演じた5人が再び顔をそろえる。

In 2017, Madison de Rozario became the first Australian to win the London Marathon. She is also a world record holder, achieving 1500m world record of 3:13.27 in May of 2018 and 800m world record of 1:45.53 in January of 2019.

At the age of 14 years old, Rozario competed in the 2008 Paralympic Games and won a silver medal as a member of 4x100m relay team. In 2015 she won the 800m in the IPC World Championships. It was her first gold medal in the major championships. In the 2016 Paralympic Games, she won a silver medal in the 800m. A year later in the IPC World Athletics Championships, she won three medals including a gold medal in the 5000m. In 2018 Commonwealth Games, she won the 1500m and the marathon. Then in the London Marathon, she was in close race against Tatyana McFadden, Susannah Scaroni, Manuela Schar and Amanda McGrory, winning the race by a whisker. She will face these five athletes again in Tokyo.

No.
1105**スザンナ・スカロニ (アメリカ)**

SCARONI, Susannah (USA)

**プロフィール / PROFILE**

DOB : 16 May 1991

AGE : 27

▶ Career Highlights

2nd	2018 Berlin Marathon
2nd	2018 Boston Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:33:17	ボストン (Boston)	3	2017

2012年ロンドンパラリンピックのマラソンで8位入賞したスザンナ・スカロニは、高校時代、車いすレースと車いすバスケットの選手だった。当時、彼女はパフォーマンスの向上には身体を絞ることが不可欠と考えていたが、ノーベル賞を2回受賞したジョン・バーディーンが長年教授を勤めていた名門イリノイ大学で栄養学を専攻したことで考えが変わった。エリート選手にとって一番重要なのは、有名ブランドのサプリを摂取することでも、カロリーを詳しく計算することでもなく、滋養あふれる本物の食べ物を摂取することだという結論に達した。2012年にシカゴで2位、2014年にはロンドンで4位、2014、2015年そして2017年にボストンで3位、2016年にニューヨークで4位に入った。同年リオパラリンピックマラソンでは7位だったが1位との差はわずか2秒だった。2017年は東京で3位、そして2018年にはボストンとベルリンで2位に入ったが、大きなレースでの優勝はまだない。

Susannah Scaroni, who finished eighth in the marathon at 2012 Paralympic Games, was a wheelchair basketball player as well as wheelchair racer in high school. In her high school days, Scaroni had the belief that it is important to be extremely thin to be fast. However, after majoring in dietetics at the University of Illinois, where two-time Nobel Prize winner John Bardeen taught for many years, Scaroni realized that she was wrong. She came to an understanding that it is more important to eat wholesome foods rather than focusing on calorie and consumption of brand-name supplements. This led to her career success where she placed second in the 2012 Chicago Marathon, fourth in the 2014 London Marathon, third in the 2014, 2015 and 2017 Boston Marathon, and fourth in 2016 New York City Marathon. Scaroni placed seventh in the marathon at 2016 Paralympic Games, but she was only two seconds behind the winner. She was third in the Tokyo Marathon 2017 and second in the 2018 Boston and Berlin Marathon, Scaroni has yet to win a major marathon race.

No.
1106**マルフリート・ファンデン ブルーク (オランダ)**

VAN DEN BROEK, Margriet (NED)

**プロフィール / PROFILE**

DOB : 30 Mar 1974

AGE : 44

▶ Career Highlights

2nd	2018 Oita International Wheelchair Marathon
5th	2018 New York City Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:38:33	ボストン (Boston)	8	2017

マルフリート・ファンデンブルーは、2018年欧州選手権の800mで金メダルを獲得した選手である。同大会では400mと5000mで銀メダル、1500mで銅メダルを得ている。

車いすバスケットボールを経て、38歳の時に陸上競技を始めた。2015年IPC世界選手権では400mと800mで銅メダルを獲得。2016年のベルリンマラソンで初マラソンに挑み、今回東京に出場するマニュエラ・シャー、サンドラ・グラフに次いで3位に入った。2017年のボストンマラソンでは8位だったが、1時間38分33秒の自己ベストを記録している。2018年にはロンドンで8位、ベルリンで5位、そしてニューヨークで5位だった。ファンデンブルーの究極の夢は、パラリンピックのマラソンで金メダルを取ることだと言う。パラリンピックの前に、東京マラソンでライバルたちに自分の強さを証明したい。

Margriet Van Den Broek won the 800m in the 2018 European Championships. She also won a silver medal in 400m and 5000m as well as a bronze medal in 1500m.

After competing in wheelchair basketball, Van Den Broek started to compete at wheelchair race at 38 years of age. In the 2015 IPC World Championships, she won a bronze medal in 400m and 800m. Later in 2016, she made her marathon debut at the Berlin Marathon. She was third behind Manuela Schar, who will compete in Tokyo this year, and Sandra Graf. Although she placed eighth in the 2017 Boston Marathon, she recorded a personal best of 1:38:33. In 2018, she was eighth in London, fifth in Berlin and New York City Marathons. Her ultimate dream is to win a gold medal in marathon at the Paralympic Games. As Paralympic Games are just around the corner, this is her opportunity to prove to her rivals that she is strong.

国内車いす招待選手 女子

WHEELCHAIR ATHLETES

Japanese Invited Wheelchair Athletes WOMEN

No.
1107

喜納 翼 (沖縄・タイヤランド沖縄)

KINA, Tsubasa (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 18 May 1990

AGE : 28

▶ Career Highlights

1st 2018 Oita International Wheelchair Marathon

3rd 2018 Tokyo Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:39:36	大分国際 (Oita)	1	2018

喜納翼は2016年と2018年の大分国際車いすマラソンで優勝した強豪だ。元バスケットボール選手だったが、トラック種目から車いす競技を始めた。2016年大分で初マラソンに挑戦し、1時間44分56秒で優勝している。「最高の結果に終わってよかった。声援が大きくて、周りに支えられたレースでした」と喜んだ。2017年には東京マラソンで5位に入っている。ロンドンマラソンにもエントリーしたがスタートできなかった。しかし8月のはまなす車いすマラソンのハーフマラソンの部では52分23秒で優勝、全体でも11位に入った。9月の鳥取さわやか車いすマラソン大会でも51分52秒で優勝した。2018年東京マラソンでは日本人1位、総合で3位に入っている。今年は更なる上の順位を目指したい。

Tsubasa Kina is a great competitor, having won the Oita International Wheelchair Marathon in both 2016 and 2018. Former basketball player, she transitioned to compete in track events and later in 2016 she ventured into marathon at the Oita International Wheelchair Marathon, and won the event with the record of 1:44:56. "I'm happy that it turned out to be the best result. Very loud cheers really helped me," said Kina after the race. In 2017, she was fifth in the Tokyo Marathon and later entered the London Marathon but failed to start the race. However, that same year in August, she won the half marathon division in the Hamanasu wheelchair marathon with the record of 52:23, eleventh place in the overall. Then in September, she won the half marathon in Tottori Sawayaka Wheelchair Marathon with record of 51:52. Kina was the first Japanese, third overall, in the Tokyo Marathon 2018 and maybe this year she will shoot for higher places.

No.
1108

中山 和美 (神奈川・アクセンチュア)

NAKAYAMA, Kazumi (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 22 Jun 1983

AGE : 35

▶ Career Highlights

1st 2018 Oita International Wheelchair Marathon (half marathon)

6th 2017 Tokyo Marathon

▶ 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:46:14	東京 (Tokyo)	6	2017

中山和美は、200mから800mまで3種目の車いすレースの日本記録保持者である。学生時代はバスケット部のキャプテンで、卒業後はホテル勤務を経て全日空のCAとして活躍していた異色の経歴を持つ。

2013年IPC陸上競技世界選手権で100m、200m、400mの3種目に出場、100mで4位入賞した。2014年のアジアパラリンピックでは200mと400mで銀メダルを獲得。リオパラリンピックでは400m、800m、1500mの3種目に出場したが、全て予選で敗退した。2017年世界パラリンピック選手権では200m、400m、800m、1500mに出場、400mで6位入賞を果たしている。マラソンでは、2014年名古屋ウィメンズで2位と躍進。東京では、2012年、2013年、2014年に2位、2016年には3位、そして2017年と2018年は6位に入っている。過去2年の東京マラソンで喜納翼に遅れをとった中山、今度こそ勝ちたい。

Kazumi Nakayama holds three national records from 200m to 800m in the wheelchair racing. Nakayama has a very unique background as a former basketball team captain in high school; she worked at a hotel after graduation and later became a flight attendant for All Nippon Airways.

In the 2013 IPC World Championships, she competed in three events – 100m, 200m and 400m – and finished fourth in 400m. In the 2014 Asian Para Games, she won a silver medal in 200m and 400m. In the 2016 Paralympic Games, Nakayama competed in three events, 400m, 800m and 1500m, but failed to advance to the final in all events. She competed in 200m, 400m, 800m and 1500m in the 2017 World Para Athletics Championships, and finished sixth in 400m. At the marathon she was second in the 2014 Nagoya Women's Marathon. In Tokyo, Nakayama was second in 2012, 2013 and 2014, and was third in 2016, and sixth in 2017 and 2018. She lost to Tsubasa Kina for the last two years, and hopefully this year she will win.



TOKYO MARATHON 2019



大会記録 Course Records

マラソン Marathon



男子	ウィルソン・キプサング(ケニア)	2:03:58 (2017大会)
Men	KIPSANG, Wilson (KEN)	



女子	サラ・チェプチルチル(ケニア)	2:19:47 (2017大会)
Women	CHEPCHIRCHIR, Sarah (KEN)	

車いすマラソン Wheelchair Marathon



男子	クート・フェンリー(オーストラリア)	1:26:00 (2016大会)
Men	FEARNLEY, Kurt (AUS)	



女子	土田 和歌子(日本)	1:41:04 (2016大会)
Women	TSUCHIDA, Wakako (JPN)	

表彰メダル Awards Medals

Tokyo Marathon 2019



RUN as ONE - Tokyo Marathon 2019 Wild Card Award



Next Generation Athlete Award 2019



リザルツ

世界歴代パフォーマンスストップ50 All-Time Top 50 World Marathon Performances	100
日本歴代パフォーマンスストップ50 All-Time Top 50 Japanese Marathon Performances	102
アボット・ワールドマラソンメジャース歴代トップ50 Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50	104
世界主要マラソン大会結果 Results of World's Primary Marathons	106
日本国内パフォーマンスストップ25 Japan All Comers Top 25 Marathon Performances	108
東京マラソンパフォーマンスストップ25 All-Time Top 25 Tokyo Marathon Performances	109
東京マラソン大会結果 Tokyo Marathon Results	110

世界歴代パフォーマンスストップ50 男子

》STATISTICS & RESULTS《

All-Time Top 50 World Marathon Performances MEN

★ 2019 大会出場選手：Competing in Tokyo Marathon 2019

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date	日付	Venue	開催地
1	2:01:39	1 KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キプチョゲ	KEN	2018.09.16		Berlin	
2	2:02:57	2 KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	2014.09.28		Berlin	
3	2:03:02	3 MUTAI, Geoffrey	ジョフリー・ムタイ	KEN	2011.04.18		Boston	
★ 4	2:03:03	4 BEKELE, Kenenisa	ケネニサ・ベケレ	ETH	2016.09.25		Berlin	
5	2:03:05	KIPCHOGE, Eliud			2016.04.24		London	
6	2:03:06	5 MOSOP, Moses	モーゼス・モソップ	KEN	2011.04.18		Boston	
7	2:03:13	6 MUTAI, Emmanuel	エマニュエル・ムタイ	KEN	2014.09.28		Berlin	
7	2:03:13	6 KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサング	KEN	2016.09.25		Berlin	
9	2:03:23	KIPSANG, Wilson			2013.09.29		Berlin	
10	2:03:32	KIPCHOGE, Eliud			2017.09.24		Berlin	
11	2:03:34	8 MOLLA, Getaneh Tamire	ゲテネ・モラ	ETH	2019.01.25		Dubai	
12	2:03:38	9 MAKAU, Patrick	パトリック・マカウ	KEN	2011.09.25		Berlin	
13	2:03:40	10 NEGASA, Herpasa Kitesa	ヘルパサ・ネガサ	ETH	2019.01.25		Dubai	
14	2:03:42	KIPSANG, Wilson			2011.10.30		Frankfurt	
15	2:03:45	KIMETTO, Dennis			2013.10.13		Chicago	
16	2:03:46	11 ADOLA, Guye	グイ・アドラ	ETH	2017.09.24		Berlin	
17	2:03:51	12 BIWOTT, Stanley	スタンレー・ビウォット	KEN	2016.04.24		London	
18	2:03:52	MUTAI, Emmanuel			2013.10.13		Chicago	
19	2:03:58	KIPSANG, Wilson			2017.02.26		Tokyo	
20	2:03:59	13 GEBRESELASSIE, Haile	ハイレ・ゲブレシラシエ	ETH	2008.09.28		Berlin	
21	2:04:00	KIPCHOGE, Eliud			2015.09.27		Berlin	
21	2:04:00	14 GEREMEW, Mosinet	モジネット・グレミュー	ETH	2018.01.26		Dubai	
22	2:04:02	15 GEBRESILASE, Leul	レウル・ゲブレシラセ	ETH	2018.01.26		Dubai	
24	2:04:05	KIPCHOGE, Eliud			2013.09.29		Berlin	
25	2:04:06	16 TOLA, Tamirat	タミラト・トラ	ETH	2018.01.26		Dubai	
25	2:04:06	16 MENGSTU, Asefa	アセファ・メングストゥ	ETH	2018.01.26		Dubai	
25	2:04:06	16 CHERONO, Lawrence	ローレンス・チェロノ	KEN	2018.10.21		Amsterdam	
28	2:04:08	19 LEMMA, Sisay	シサイ・レマ	ETH	2018.01.26		Dubai	
29	2:04:11	KIPCHOGE, Eliud			2014.10.12		Chicago	
29	2:04:11	TOLA, Tamirat			2017.01.20		Dubai	
31	2:04:15	MUTAI, Geoffrey			2012.09.30		Berlin	
★ 31	2:04:15	20 LEGESE, Birhanu	ビルハヌ・レゲセ	ETH	2018.01.26		Dubai	
33	2:04:16	KIMETTO, Dennis			2012.09.30		Berlin	
34	2:04:17	KIPCHOGE, Eliud			2018.04.22		London	
35	2:04:23	21 ABSHERO, Ayele	アエレ・アブシェロ	ETH	2012.01.27		Dubai	
35	2:04:24	22 ABERA, Tesfaye	テスファエ・アベラ	ETH	2016.01.22		Dubai	
36	2:04:24	MENGSTU, Asefa Negewo			2019.01.25		Dubai	
38	2:04:26	GEBRESELASSIE, Haile			2007.09.30		Berlin	
39	2:04:27	23 KIBET, Duncan	ダンカン・キベト	KEN	2009.04.05		Rotterdam	
39	2:04:27	23 KWAMBAI, James	ジェームズ・クワンバイ	KEN	2009.04.05		Rotterdam	
41	2:04:28	25 KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	2014.10.12		Chicago	
42	2:04:29	KIPSANG, Wilson			2014.04.13		London	
43	2:04:31	GEBRESILASE, Leul						
44	2:04:32	26 MEKONNEN, Tsegaye	ツェガエ・メコネン	ETH	2014.01.24		Dubai	
★ 44	2:04:32	26 CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	2014.10.12		Chicago	
45	2:04:33	28 BERHANU, Lemi	レミ・ベルハヌ	ETH	2016.01.22		Dubai	
47	2:04:37	29 WASIHUN, Mule	ムレ・ワシフン	ETH	2018.10.21		Amsterdam	
48	2:04:38	30 KEBEDE, Tsegaye	ツェガエ・ケベデ	ETH	2012.10.07		Chicago	
49	2:04:40	MUTAI, Emmanuel			2011.04.17		London	
49	2:04:40	31 DEKSISA, Solomon	ソロモン・デクシサ	ETH	2018.10.21		Amsterdam	

ボストンマラソンの記録は2004年以降は非公認
Boston Marathon course is NOT a record eligible standard course (since 2004)

※ 2019 年 1 月 31 日現在 / As of January 31, 2019

世界歴代パフォーマンスストップ50 女子

》STATISTICS & RESULTS《

All-Time Top 50 World Marathon Performances WOMEN

★ 2019 大会出場選手：Competing in Tokyo Marathon 2019

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地
1	2:15:25	1 RADCLIFFE, Paula	ポーラ・ラドクリフ	GBR	2003.04.13	London
2	2:17:01	2 KEITANY, Mary	メアリー・ケイタニー	KEN	2017.04.23	London
3	2:17:08	3 CHEPNGETICH, Ruth	ルース・チェプンゲティッチ	KEN	2019.01.25	Dubai
4	2:17:18	RADCLIFFE, Paula			2002.10.13	Chicago
5	2:17:41	4 DEGEFA DEBELE, Worknesh	デベレ・デゲファ	ETH	2019.01.25	Dubai
6	2:17:42	RADCLIFFE, Paula			2005.04.17	London
7	2:17:56	5 DIBABA, Tirunesh	ティルネシュ・ディババ	ETH	2017.04.23	London
8	2:18:11	6 CHERONO, Gladys	グラディス・チェロノ	KEN	2018.09.16	Berlin
9	2:18:31	DIBABA, Tirunesh			2017.10.08	Chicago
10	2:18:31	7 CHERUIYOT, Vivian	ビビアン・チェルイヨット	KEN	2018.04.22	London
★ 11	2:18:34	8 AGA, Ruti	ルティ・アガ	KEN	2018.09.16	Berlin
12	2:18:35	9 KOSGEI, Brigid	ブリジット・コスゲイ	KEN	2018.10.07	Chicago
13	2:18:35	CHEPNGETICH, Ruth			2018.11.11	Istanbul
14	2:18:37	KEITANY, Mary			2012.04.22	London
15	2:18:47	10 NDEREBA, Catherine	キャサリン・ヌデレバ	KEN	2001.10.07	Chicago
16	2:18:55	DIBABA, Tirunesh			2018.09.16	Berlin
17	2:18:56	RADCLIFFE, Paula			2002.04.14	London
18	2:18:58	11 GELANA, Tiki	ティキ・グラナ	ETH	2012.04.15	Rotterdam
19	2:19:12	12 NOGUCHI, Mizuki	野口 みずき	JPN	2005.09.25	Berlin
20	2:19:17	13 DEREJE BEKELE, Roza	ロザ・デレジェ・ベケレ	ETH	2018.01.26	Dubai
21	2:19:19	14 MIKITENKO, Irina	イリーナ・ミキテンコ	GER	2008.09.28	Berlin
22	2:19:19	KEITANY, Mary			2011.04.17	London
23	2:19:25	CHERONO, Gladys			2015.09.27	Berlin
24	2:19:26	NDEREBA, Catherine			2002.10.13	Chicago
★ 25	2:19:30	15 TADESE, Boru Feyse	ボル フェイセ・タデセ	ETH	2018.01.26	Dubai
26	2:19:31	16 MERGIA, Aselefech	アセレフェチ・メルギア	ETH	2012.01.27	Dubai
27	2:19:34	17 KABUU, Lucy	ルーシー・カブー	KEN	2012.01.27	Dubai
28	2:19:36	18 KASTOR, Deena	ディーナ・カスター	USA	2006.04.23	London
★ 29	2:19:36	18 MELESE, Yebgual	イエブルガル・メレセ	ETH	2018.01.26	Dubai
30	2:19:39	20 SUN, Yingjie	孫 英傑	CHN	2003.10.19	Beijing
31	2:19:41	21 SHIBUI, Yoko	渋谷 陽子	JPN	2004.09.26	Berlin
32	2:19:41	21 TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	2016.01.22	Dubai
★ 33	2:19:44	23 KIPLAGAT, Florence	フローレンス・キブラガト	KEN	2011.09.25	Berlin
34	2:19:46	24 TAKAHASHI, Naoko	高橋 尚子	JPN	2001.09.30	Berlin
35	2:19:47	25 CHEPCHIRCHIR, Sarah	サラ・チェプチルチル	KEN	2017.02.26	Tokyo
36	2:19:50	26 KIPLAGAT, Edna	エドナ・キブラガト	KEN	2012.04.22	London
37	2:19:51	27 ZHOU, Chunxiu	周 春秀	CHN	2006.03.12	Seoul
38	2:19:51	27 DIBABA, Birhane	ベルハネ・ディババ	ETH	2018.02.25	Tokyo
39	2:19:52	29 DIBABA, Mare	マレ・ディババ	ETH	2012.01.27	Dubai
40	2:19:52	DIBABA, Mare			2015.01.03	Xiamen
41	2:19:53	DEGEFA DEBELE, Worknesh		ETH	2018.01.26	Dubai
42	2:19:55	NDEREBA, Catherine			2003.04.13	London
43	2:19:57	30 JEPTOO, Rita	リタ・ジェプトゥー	KEN	2013.10.13	Chicago
44	2:19:59	31 DEBA, Buzunesh	ブズネシュ・ディバ	ETH	2014.04.21	Boston
45	2:20:02	MERGIA, Aselefech			2015.01.23	Dubai
46	2:20:03	CHERONO, Gladys			2015.01.23	Dubai
47	2:20:13	32 TESFAY, Haftamnesh	ハフトムネッシュ・テスファイエ	ETH	2018.01.26	Dubai
48	2:20:13	KOSGEI, Brigid			2018.04.22	London
49	2:20:14	33 JEPTOO, Priscah	プリスカ・ジェプトゥー	KEN	2012.04.22	London
50	2:20:15	JEPTOO, Priscah			2013.04.21	London

ボストンマラソンの記録は2004年以降は非公認

Boston Marathon course is NOT a record eligible standard course (since 2004)

※ 2019 年 1 月 31 日現在 / As of January 31, 2019

日本歴代パフォーマンスストップ50 男子

》STATISTICS & RESULTS《

All-Time Top 50 Japanese Marathon Performances MEN

★ 2019 大会出場選手：Competing in Tokyo Marathon 2019

Performance Time	記録	Name	名前	Team	所属	Date	日付	Venue	大会名
★ 1	2:05:50	1 大迫 傑	OSAKO, Suguru	Nike		2018.10.07		シカゴ	
2	2:06:11	2 設楽 悠太	SHITARA, Yuta	Honda		2018.02.25		東京	
3	2:06:16	3 高岡 寿成	TAKAOKA, Toshinari	カネボウ		2002.10.13		シカゴ	
4	2:06:51	4 藤田 敦史	FUJITA, Atsushi	富士通		2000.12.03		福岡国際	
5	2:06:54	5 井上 大仁	INOUE, Hiroto	MHPS		2018.02.25		東京	
6	2:06:57	6 犬伏 孝行	INUBUSHI, Takayuki	大塚製薬		1999.09.26		ベルリン	
7	2:07:13	7 佐藤 敦之	SATO Atsushi	中国電力		2007.12.02		福岡国際	
8	2:07:19	大迫 傑		Nike ORPJT		2017.12.03		福岡国際	
9	2:07:27	8 服部 勇馬	HATTORI, Yuma	トヨタ自動車		2018.12.02		福岡国際	
10	2:07:35	9 児玉 泰介	KODAMA, Taisuke	旭化成		1986.10.19		北京	
★ 11	2:07:39	10 今井 正人	IMAI, Masato	トヨタ自動車九州		2015.02.22		東京	
12	2:07:40	11 谷口 浩美	TANIGUCHI, Hiromi	旭化成		1988.10.16		北京	
13	2:07:41	高岡 寿成		カネボウ		2005.02.13		東京国際	
14	2:07:48	12 藤原 新	FUJIWARA, Arata	東京陸協		2012.02.26		東京	
15	2:07:50	高岡 寿成		カネボウ		2004.10.10		シカゴ	
16	2:07:52	13 油谷 繁	ABURAYA, Shigeru	中国電力		2001.03.04		びわ湖毎日	
17	2:07:52	13 国近 友昭	KUNICHIKA, Tomoaki	エスビー食品		2003.12.07		福岡国際	
18	2:07:55	15 諏訪 利成	SUWA, Toshinari	日清食品		2003.12.07		福岡国際	
19	2:07:57	16 伊藤 国光	ITO, Kunimitsu	カネボウ		1986.10.19		北京	
20	2:07:57	16 藤本 拓	FUJIMOTO, Taku	トヨタ自動車		2018.10.07		シカゴ	
21	2:07:59	18 森下 由輝	MORISHITA, Yoshiteru	旭化成		2001.03.04		びわ湖毎日	
22	2:07:59	高岡 寿成		カネボウ		2003.12.07		福岡国際	
23	2:08:00	19 前田 和浩	MAEDA, Kazuhiro	九電工		2013.02.24		東京	
24	2:08:05	20 三木 弘	MIKI, Hiroshi	旭化成		1999.02.14		東京国際	
25	2:08:07	21 早田 俊幸	HAYATA, Toshiyuki	カネボウ		1997.12.07		福岡	
★ 26	2:08:08	22 木滑 良	KINAME, Ryo	MHPS		2018.02.25		東京	
27	2:08:09	23 松村 康平	MATSUMURA, Kohei	三菱重工長崎		2014.02.23		東京	
28	2:08:12	24 藤原 正和	FUJIWARA, Masakazu	中大		2003.03.02		びわ湖毎日	
29	2:08:14	25 川内 優輝	KAWAUCHI, Yuki	埼玉県庁		2013.03.17		ソウル国際	
30	2:08:15	26 中山 竹通	NAKAYAMA, Takeyuki	ダイエー		1985.04.14		ワールドカップ	
31	2:08:15	川内 優輝		埼玉陸協		2013.02.03		別府大分毎日	
32	2:08:16	犬伏 孝行		大塚製薬		2000.02.13		東京国際	
★ 33	2:08:16	27 中村 匠吾	NAKAMURA, Shogo	富士通		2018.09.16		ベルリン	
34	2:08:16	27 小島 忠幸	OJIMA, Tadayuki	旭化成		2004.03.07		びわ湖毎日	
35	2:08:18	中山 竹通		ダイエー		1987.12.06		福岡国際	
36	2:08:21	中山 竹通		ダイエー		1986.10.05		アジア大会	
37	2:08:22	井上 大仁		MHPS		2017.02.26		東京	
38	2:08:24	29 堀端 宏行	HORIBATA, Hiroyuki	旭化成		2012.12.02		福岡国際	
39	2:08:27	30 瀬古 利彦	SEKO, Toshihiko	エスビー食品		1986.10.26		シカゴ	
40	2:08:28	31 清水 康次	SHIMIZU, Koji	NTT西日本		2003.03.02		びわ湖毎日	
41	2:08:35	32 武井 隆次	TAKEI, Ryuji	エスビー食品		2002.03.03		びわ湖毎日	
42	2:08:35	32 中本 健太郎	NAKAMOTO, Kentaro	安川電機		2013.02.03		別府大分毎日	
43	2:08:36	34 大崎 悟史	OSAKI, Satoshi	NTT西日本		2008.03.02		びわ湖毎日	
44	2:08:36	佐藤 敦之		中国電力		2004.03.07		びわ湖毎日	
45	2:08:37	35 尾方 剛	OGATA, Tsuyoshi	中国電力		2003.12.07		福岡国際	
46	2:08:37	川内 優輝		埼玉陸協		2011.02.27		東京	
47	2:08:38	前田 和浩		九電工		2012.02.26		東京	
48	2:08:38	瀬古 利彦		エスビー食品		1983.02.13		東京国際	
49	2:08:40	藤原 新		JR 東日本		2008.02.17		東京	
50	2:08:43	36 小島 宗幸	OJIMA, Muneyuki	旭化成		1998.03.01		びわ湖毎日	

※ 2019 年 1 月 31 日現在 / As of January 31, 2019

日本歴代パフォーマンストップ50 女子

》STATISTICS & RESULTS《 All-Time Top 50 Japanese Marathon Performances WOMEN

★ 2019 大会出場選手：Competing in Tokyo Marathon 2019

Performance Time	記録	Name	名前	Company/Team	所属	Date	日付	Venue	大会名
1	2:19:12	1 野口 みずき	NOGUCHI, Mizuki	グローバリー		2005.09.25		ベルリン	
2	2:19:41	2 渋谷 陽子	SHIBUI, Yoko	三井住友		2004.09.26		ベルリン	
3	2:19:46	3 高橋 尚子	TAKAHASHI, Naoko	積水化学		2001.09.30		ベルリン	
4	2:21:18	野口 みずき		グローバリー		2003.01.26		大阪国際女子	
5	2:21:22	渋谷 陽子		三井住友海上		2002.10.13		シカゴ	
6	2:21:36	4 安藤 友香	ANDO, Yuka	スズキ浜松AC		2017.03.12		名古屋ウィメンズ	
7	2:21:37	野口 みずき		シスメックス		2007.11.18		東京国際女子	
8	2:21:45	5 千葉 真子	CHIBA, Masako	豊田自動織機		2003.01.26		大阪国際女子	
9	2:21:49	高橋 尚子		積水化学		2002.09.29		ベルリン	
10	2:21:51	6 坂本 直子	SAKAMOTO, Naoko	天満屋		2003.01.26		大阪国際女子	
11	2:22:12	7 山口 衛理	YAMAGUCHI, Eri	天満屋		1999.11.21		東京国際女子	
12	2:22:17	8 福士 加代子	FUKUSHI, Kayoko	ワコール		2016.01.31		大阪国際女子	
13	2:22:19	高橋 尚子		積水化学		2000.03.12		名古屋国際女子	
14	2:22:23	9 松田 瑞生	MATSUDA, Mizuki	ダイハツ		2018.09.16		ベルリン	
15	2:22:44	松田 瑞生		ダイハツ		2018.01.28		大阪国際女子	
16	2:22:46	10 土佐 礼子	TOSA, Reiko	三井住友		2002.04.14		ロンドン	
17	2:22:48	11 前田 彩里	MAEDA, Sairi	ダイハツ		2015.03.08		名古屋ウィメンズ	
18	2:22:56	12 弘山 晴美	HIROYAMA, Harumi	資生堂		2000.01.30		大阪国際女子	
19	2:23:07	13 関根 花観	SEKINE, Hanami	日本郵政		2018.03.11		名古屋ウィメンズ	
20	2:23:11	渋谷 陽子		三井海上		2001.01.28		大阪国際女子	
21	2:23:14	高橋 尚子		積水化学		2000.09.24		シドニー五輪	
22	2:23:19	14 田中 智美	TANAKA, Tomomi	第一生命		2016.03.13		名古屋ウィメンズ	
23	2:23:20	15 小原 怜	OHARA, Rei	天満屋		2016.03.13		名古屋ウィメンズ	
24	2:23:23	16 重友 梨佐	SHIGETOMO, Risa	天満屋		2012.01.29		大阪国際女子	
25	2:23:26	弘山 晴美		資生堂		2006.03.12		名古屋国際女子	
26	2:23:26	17 大南 博美	OMINAMI, Hiromi	UFJ銀行		2004.09.26		ベルリン	
27	2:23:30	18 小崎 まり	OZAKI, Mari	ノーリツ		2003.01.26		大阪国際女子	
28	2:23:30	18 尾崎 好美	OZAKI, Yoshimi	第一生命		2008.11.16		東京国際女子	
29	2:23:34	20 木崎 良子	KIZAKI, Ryoko	ダイハツ		2013.03.10		名古屋ウィメンズ	
30	2:23:42	渋谷 陽子		三井住友海上		2009.01.25		大阪国際女子	
31	2:23:43	21 大南 敬美	OMINAMI, Takami	UFJ銀行		2002.04.21		ロッテルダム	
32	2:23:47	22 清田 真央	KIYOTA, Mao	スズキ浜松AC		2017.03.12		名古屋ウィメンズ	
33	2:23:48	23 原 裕美子	HARA, Yumiko	京セラ		2007.01.28		大阪国際女子	
★	2:23:48	23 前田 穂南	MAEDA, Honami	天満屋		2018.01.28		大阪国際女子	
35	2:23:56	尾崎 好美		第一生命		2011.02.20		横浜国際女子	
36	2:23:57	土佐 礼子		三井住友海上		2004.03.14		名古屋国際女子	
37	2:23:58	渋谷 陽子		三井住友海上		2006.03.12		名古屋国際女子	
38	2:23:59	小崎 まり		ノーリツ		2005.01.30		大阪国際女子	
39	2:24:05	野口 みずき		シスメックス		2013.03.10		名古屋ウィメンズ	
40	2:24:09	25 赤羽 有紀子	AKABA, Yukiko	ホクレン		2011.04.17		ロンドン	
41	2:24:14	尾崎 好美		第一生命		2012.03.11		名古屋ウィメンズ	
41	2:24:14	野口 みずき		グローバリー		2003.08.31		世界選手権パリ	
43	2:24:19	原 裕美子		京セラ		2005.03.13		名古屋国際女子	
44	2:24:20	原 裕美子		京セラ		2005.08.14		世界選手権	
45	2:24:21	福士 加代子		ワコール		2013.01.27		大阪国際女子	
46	2:24:22	重友 梨佐		天満屋		2017.01.29		大阪国際女子	
47	2:24:25	26 大島 めぐみ	OSHIMA, Megumi	しまむら		2005.03.13		名古屋国際女子	
47	2:24:25	福士 加代子		ワコール		2015.10.11		シカゴ	
49	2:24:27	27 加納 由里	KANO, Yuri	SWAC		2008.11.16		東京国際女子	
50	2:24:28	28 中里 麗美	NAKAZATO, Remi	ダイハツ		2012.03.11		名古屋ウィメンズ	

※ 2019年1月31日現在／As of January 31, 2019

アボット・ワールドマラソンメジャーズ歴代トップ50 男子

》STATISTICS & RESULTS《

Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50 MEN

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地
1	2:01:39	1 KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キプチョゲ	KEN	2018.09.16	Berlin
2	2:02:57	2 KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	2014.09.28	Berlin
3	2:03:02	3 MUTAI, Geoffrey	ジョフリー・ムタイ	KEN	2011.04.18	Boston
4	2:03:03	4 BEKELE, Kenenisa	ケネニサ・ベケレ	ETH	2016.09.25	Berlin
5	2:03:05	KIPCHOGE, Eliud			2016.04.24	London
6	2:03:06	5 MOSOP, Moses	モーゼス・モソップ	KEN	2011.04.18	Boston
7	2:03:13	6 MUTAI, Emmanuel	エマニュエル・ムタイ	KEN	2014.09.28	Berlin
7	2:03:13	6 KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサング	KEN	2016.09.25	Berlin
9	2:03:23	KIPSANG, Wilson			2013.09.29	Berlin
10	2:03:32	KIPCHOGE, Eliud			2017.09.24	Berlin
11	2:03:38	8 MAKAU, Patrick	パトリック・マカウ	KEN	2011.09.25	Berlin
12	2:03:45	KIMETTO, Dennis			2013.10.13	Chicago
13	2:03:46	9 ADOLA, Guye	グイ・アドラ	ETH	2017.09.24	Berlin
14	2:03:51	10 BIWOTT, Stanley	スタンレー・ビウォット	KEN	2016.04.24	London
15	2:03:52	MUTAI, Emmanuel			2013.10.13	Chicago
16	2:03:58	KIPSANG, Wilson			2017.02.26	Tokyo
17	2:03:59	11 GEBRESELASSIE, Haile	ハイレ・ゲブレシラシエ	ETH	2008.09.28	Berlin
18	2:04:00	KIPCHOGE, Eliud			2015.09.27	Berlin
19	2:04:05	KIPCHOGE, Eliud			2013.09.29	Berlin
20	2:04:11	KIPCHOGE, Eliud			2014.10.12	Chicago
21	2:04:15	MUTAI, Geoffrey			2012.09.30	Berlin
22	2:04:16	KIMETTO, Dennis			2012.09.30	Berlin
23	2:04:17	KIPCHOGE, Eliud			2018.04.22	London
24	2:04:26	GEBRESELASSIE, Haile			2007.09.30	Berlin
25	2:04:28	12 KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	2014.10.12	Chicago
26	2:04:29	KIPSANG, Wilson			2014.04.13	London
27	2:04:32	13 CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	2014.10.12	Chicago
28	2:04:38	14 KEBEDE, Tsegaye	ツェガエ・ケベデ	ETH	2012.10.07	Chicago
29	2:04:40	MUTAI, Emmanuel			2011.04.17	London
30	2:04:42	KIPCHOGE, Eliud			2015.04.26	London
31	2:04:44	KIPSANG, Wilson			2012.04.22	London
32	2:04:47	KIPSANG, Wilson			2015.04.26	London
33	2:04:49	15 TOLA, Shura Kitata	シュラキタタ・トラ	ETH	2018.04.22	London
34	2:04:52	16 LILESA, Feyisa	フェイサ・リレサ	ETH	2012.10.07	Chicago
35	2:04:53	GEBREMARIAM, Gebregziabher	ゲブレグジャベル・ゲブレマリアム	ETH	2011.04.18	Boston
36	2:04:55	BIWOTT, Stanley			2014.04.13	London
37	2:04:58	18 HALL, Ryan	ライアン・ホール	USA	2011.04.18	Boston
38	2:05:06	MUTAI, Geoffrey i			2011.11.06	New York
39	2:05:08	MAKAU, Patrick			2010.09.26	Berlin
40	2:05:10	19 WANJIRU, Samuel	サムエル・ワンジル	KEN	2009.04.26	London
40	2:05:10	MUTAI, Geoffrey			2010.09.26	Berlin
42	2:05:11	20 FARAH, Mo	モハメド・ファラ	GBR	2018.10.07	Chicago
43	2:05:15	21 LEL, Martin	マーティン・レル	KEN	2008.04.13	London
44	2:05:16	KITWARA, Sammy			2013.10.13	Chicago
45	2:05:19	KEBEDE, Tsegaye			2010.04.25	London
46	2:05:20	KEBEDE, Tsegaye			2009.04.26	London
47	2:05:21	22 KIPTANUI, Eliud	エリウド・キプタヌイ	KEN	2015.09.27	Berlin
48	2:05:24	WANJIRU, Samuel			2008.04.13	London
49	2:05:24	23 GEREMEW, Mosinet	モジネット・グレミュー	ETH	2018.10.07	Chicago
50	2:05:25	24 WORKU, Bazu	バズ・ウォルク	ETH	2010.09.26	Berlin

※ 2019年1月31日現在 / As of January 31, 2019

アボット・ワールドマラソンメジャーズ歴代トップ50 女子

》 STATISTICS & RESULTS 《

Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50 WOMEN

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地
1	2:17:01	1 KEITANY, Mary	メアリー・ケイタニー	KEN	2017.04.23	London
2	2:17:56	2 DIBABA, Tirunesh	ティルネシュ・ディババ	ETH	2017.04.23	London
3	2:18:11	3 CHERONO, Gladys	グラディス・チェロノ	KEN	2018.09.16	Berlin
4	2:18:31	DIBABA, Tirunesh			2017.10.08	Chicago
4	2:18:31	4 CHERUIYOT, Vivian	ビビアン・チェルイヨット	KEN	2018.04.22	London
5	2:18:34	5 AGA, Ruti	ルティ・アガ	KEN	2018.09.16	Berlin
7	2:18:35	6 KOSGEI, Brigid	ブリジット・コスゲイ	KEN	2018.10.07	Chicago
8	2:18:37	KEITANY, Mary			2012.04.22	London
9	2:18:55	DIBABA, Tirunesh			2018.09.16	Berlin
10	2:19:19	7 MIKITENKO, Irina	イリーナ・ミキテンコ	GER	2008.09.28	Berlin
10	2:19:19	KEITANY, Mary			2011.04.17	London
12	2:19:25	CHERONO, Gladys			2015.09.27	Berlin
13	2:19:36	8 KASTOR, Denna	ディーナ・カスター	USA	2006.04.23	London
14	2:19:44	9 KIPLAGAT, Florence	フロレンス・キブラガト	KEN	2011.09.25	Berlin
15	2:19:47	10 CHEPCHIRCHIR, Sarah	サラ・チェプチルチル	KEN	2017.02.26	Tokyo
15	2:19:50	11 KIPLAGAT, Edna	エドナ・キブラガト	KEN	2012.04.22	London
17	2:19:51	12 DIBABA, Birhane	ベルハネ・ディババ	ETH	2018.02.25	Tokyo
18	2:19:57	13 JEPTOO, Rita	リタ・ジェプトゥー	KEN	2013.10.13	Chicago
19	2:19:59	14 DEBA, Buzunesh	ブズネシュ・ディバ	ETH	2014.04.21	Boston
20	2:20:13	KOSGEI, Brigid			2018.04.22	London
21	2:20:14	15 JEPTOO, Priscah	プリスカ・ジェプトゥー	KEN	2012.04.22	London
22	2:20:15	JEPTOO, Priscah			2013.04.21	London
23	2:20:18	16 TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	2014.09.28	Berlin
24	2:20:21	KIPLAGAT, Edna			2014.04.13	London
25	2:20:22	KOSGEI, Brigid			2017.10.08	Chicago
26	2:20:23	CHERONO, Gladys			2017.09.24	Berlin
27	2:20:24	KIPLAGAT, Florence			2014.04.13	London
28	2:20:27	17 TADESE, Feyse	フェイセ・タデセ	ETH	2014.09.28	Berlin
29	2:20:30	18 KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	2012.09.30	Berlin
30	2:20:35	DIBABA, Tirunesh			2014.04.13	London
30	2:20:35	19 DIBABA, Mare	マレ・ディババ	ETH	2014.04.21	Boston
32	2:20:38	20 ZHOU, Chunxiu	周 春秀	CHN	2007.04.22	London
33	2:20:41	21 SUMGONG, Jemima Jelagat	ジェミマ・スムゴン	KEN	2014.04.21	Boston
33	2:20:41	Aga, Ruti			2017.09.24	Berlin
35	2:20:42	22 ADERE, Berhane	ベルハネ・アデレ	ETH	2006.10.22	Chicago
36	2:20:45	KEBEDE, Aberu			2016.09.25	Berlin
37	2:20:46	KIPLAGAT, Edna			2011.04.17	London
38	2:20:47	23 BOGOMOLOVA, Galina	ガリーナ・ボゴモロワ	RUS	2006.10.22	Chicago
39	2:20:48	SUMGONG, Jemima Jelagat			2013.10.13	Chicago
39	2:20:48	KEBEDE, Aberu			2015.09.27	Berlin
41	2:20:53	24 AIYABEI, Valary	バレリー・アイヤベイ	KEN	2017.09.24	Berlin
42	2:20:57	KIPLAGAT, Florence			2012.04.22	London
42	2:20:57	25 HASAY, Jordan	ジョーダン・ハセイ	USA	2017.10.08	Chicago
44	2:21:13	KIPLAGAT, Florence			2013.09.29	Berlin
45	2:21:14	26 FLANAGAN, Shalane	シャレーン・フラナガン	USA	2014.09.28	Berlin
46	2:21:18	KIPLAGAT, Edna			2018.09.16	Berlin
46	2:21:18	27 DEREJE, Roza	ロザ・テレジェ	ETH	2018.10.07	Chicago
48	2:21:19	TSEGAYE, Tirfi Beyene			2012.09.30	Berlin
48	2:21:19	DIBABA, Birhane			2017.02.26	Tokyo
48	2:21:19	AGA, Ruti			2018.02.25	Tokyo

※ 2019年1月31日現在 / As of January 31, 2019

世界主要マラソン大会 結果

》STATISTICS & RESULTS《

2018年3月～2019年1月 / March, 2018 - January, 2019

パリ / Paris 2018. 04.08

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ポール・ロニャンガタ	LONYANGATA, Paul	KEN ケニア	2:06:25
	2	マシュー・キソリオ	KISORIO, Mathew	KEN ケニア	2:06:36
	3	アーネスト・ヌゲノ	NGENO, Ernest	KEN ケニア	2:06:41
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ベツツィ・サイナ	SAINA, Betsy	KEN ケニア	2:22:56
	2	ルース・チェブングティチ	CHEPNGETICH, Ruth	KEN ケニア	2:22:59
	3	グルメ・チャラ	CHALA, Gulume	ETH エチオピア	2:23:06

ボストン / Boston (AbbottWMM) 2018. 04.16

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	川内 優輝	KAWAUCHI, Yuki	JPN 日本	2:15:58
	2	ジョフリー・キルイ	KIRUI, Geoffrey	KEN ケニア	2:18:23
	3	シャドラック・ビウOTT	BIWOTT, Shadrack	USA アメリカ	2:18:35
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	デジレー・リンデン	LINDEN, Desiree	USA アメリカ	2:39:54
	2	サラ・セラーズ	SELLERS, Sarah	USA アメリカ	2:44:04
	3	クリスタ・ドウシェーン	DUCHENE, Krista	CAN カナダ	2:44:20

ロンドン / London (AbbottWMM) 2018. 04.22

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	エリウド・キプチョゲ	KIPCHOGE, Eliud	KEN ケニア	2:04:17
	2	シュラ・キタタラ	KITATA, Shura Tola	ETH エチオピア	2:04:49
	3	モハメド・ファラ	FARAH, Mo	GBR イギリス	2:06:21
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ビビアン・チェルイヨット	CHERUIYOT, Vivian	KEN ケニア	2:18:31
	2	ブリジット・コスゲイ	KOSGEI, Brigid	KEN ケニア	2:20:13
	3	タデレック・ベケレ	BEKELE, Tadelech	ETH エチオピア	2:21:40

ベルリン / Berlin (AbbottWMM) 2018. 09.16

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	エリウド・キプチョゲ	KIPCHOGE, Eliud	KEN ケニア	2:01:39
	2	アモス・キプルト	KIPRUTO, Amos	KEN ケニア	2:06:23
	3	ウィルソン・キプサング	KIPSANG, Wilson	KEN ケニア	2:06:48
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	グラディス・チェロノ	CHERONO, Gladys	KEN ケニア	2:18:11
	2	ルティ・アガ	AGA, Ruti	KEN ケニア	2:18:34
	3	ディルネツシュ・ディババ	DIBABA, Tirunesh	ETH エチオピア	2:18:55

シカゴ / Chicago (AbbottWMM) 2018. 10.07

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	モハメド・ファラ	FARAH, Mo	GBR イギリス	2:05:11
	2	モシネット・ゲレメウ	GEREMEW, Mosinet	ETH エチオピア	2:05:24
	3	大迫 傑	OSAKO, Suguru	JPN 日本	2:05:50
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ブリジット・コスゲイ	KOSGEI, Brigid	KEN ケニア	2:18:35
	2	ロザ・デレジェ	DEREJE, Roza	ETH エチオピア	2:21:18
	3	シュレ・デミセ	DEMISE, Shure	ETH エチオピア	2:22:15

ニューヨークシティ / New York City (AbbottWMM) 2018. 11.04

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	レリサ・デシサ	DESISA, Lelisa	ETH エチオピア	2:05:59
	2	シュラ・キタタ	KITATA, Shura	ETH エチオピア	2:06:01
	3	ジョフリー・カムウォロル	KAMWOROR, Geoffrey	KEN ケニア	2:06:26
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	メアリー・ケイタニー	KEITANY, Mary	KEN ケニア	2:22:48
	2	ビビアン・チェルイヨット	CHERUIYOT, Vivian	KEN ケニア	2:26:02
	3	シャレーン・フラナガン	FLANAGAN, Shalane	USA アメリカ	2:26:22

ドバイ / Dubai 2019. 01.25

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ゲタネ・モラ	MOLLA, Getaneh Tamire	ETH エチオピア	2:03:34
	2	ヘルパサ・ネガサ	NEGASA, Herpasa Kitesa	ETH エチオピア	2:03:40
	3	アセファ・メングストウ	MENGSTU, Asefa Negewo	ETH エチオピア	2:04:24
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ルース・チェプンゲティチ	CHEPNGETICH, Ruth	KEN ケニア	2:17:08
	2	ウォルクネッシュ・デゲファ	DEGEFA, Worknesh Debele	ETH エチオピア	2:17:41
	3	ウォルクネッシュ・エデサ	EDESA, Worknesh Gurmesa	ETH エチオピア	2:21:05

【Japan】びわ湖毎日 / Lake Biwa Mainichi 2018. 03.04

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	マチャリア・ディラング	NDIRANGU, Macharia	KEN ケニア	2:07:53
	2	アルバート・コリル	KORIR, Albert	KEN ケニア	2:08:17
	3	ジェイク・ロバートソン	ROBERTSON, Jake	NZL ニュージーランド	2:08:26

【Japan】名古屋ウィメンズ / Nagoya Women's 2018. 03.11

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	メスケレム・アセファ	MESKEREM, Assefa	ETH エチオピア	2:21:45
	2	バラリー・ジェメリ	JEMELI, Valary	KEN ケニア	2:22:48
	3	関根 花観	SEKINE, Hanami	JPN 日本	2:23:07

【Japan】北海道 / Hokkaido 2018. 08.26

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	岡本 直己	OKAMOTO, Naoki	JPN/ 中国電力	2:11:29
	2	ポール・クイラ	KUIRA, Paul	KEN ケニア	2:11:58
	3	谷川 智浩	TANIGAWA, Tomohiro	JPN/ コニカミノルタ	2:12:02
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	鈴木 亜由子	SUZUKI, Ayuko	JPN/ 日本郵政	2:28:32
	2	前田 彩里	MAEDA, Saori	JPN/ ダイハツ	2:30:56
	3	谷本 観月	TANIMOTO, Mizuki	JPN/ 天満屋	2:31:34

【Japan】福岡国際 / Fukuoka International 2018. 12.02

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	服部 勇馬	HATTORI, Yuma	JPN/ トヨタ	2:07:27
	2	イエマネ・ツェガエ	TSEGAYE, Yemane	ETH エチオピア	2:08:54
	3	アマヌエル・メセル	MESEL, Amanuel	ERI エリトリア	2:09:45

【Japan】さいたま国際 / Saitama International 2018. 12.09

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ダリラ・ゴサ	GOSA, Dalila	BRN バーレーン	2:25:35
	2	シタヤ・ハブテゲブレ	HABTEGEBREL, Shitaye	BRN バーレーン	2:25:39
	3	シルビア・キベト	KIBET, Sylvia	KEN ケニア	2:28:38

【Japan】大阪国際女子 / Osaka Women's 2019. 01.27

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ファツマ・サド	SADO, Fatuma	ETH エチオピア	2:25:39
	2	小原 怜	OHARA, Rei	JPN/ 天満屋	2:25:46
	3	ボルネス・ジェブキルイ	JEPKIRUI, Bornes	KEN ケニア	2:26:01

日本国内 パフォーマンスストップ25

》STATISTICS & RESULTS《

Japan All Comers Top 25 Marathon Performances

男子 Men

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地
1	2:03:58	1 KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キブサング	KEN	2017.02.26	Tokyo
2	2:05:18	2 KEBEDE, Tsegaye	ツェガエ・ケベデ	ETH	2009.12.06	Fukuoka
3	2:05:30	3 CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	2018.02.25	Tokyo
4	2:05:42	CHUMBA, Dickson			2014.02.23	Tokyo
5	2:05:48	4 MOEN, Sondre Nordstad	ソンドレノールスタッド・モーエン	NOR	2017.12.03	Fukuoka
6	2:05:51	5 KIPKETER, Gideon	ギデオオン・キブケテル	KEN	2017.02.26	Tokyo
7	2:05:57	6 TOLA, Tadesse	タデセ・トラ	ETH	2014.02.23	Tokyo
8	2:06:00	7 NEGESSE, Endeshaw	エンデショー・ネゲセ	ETH	2015.02.22	Tokyo
9	2:06:10	KEBEDE, Tsegaye			2008.12.07	Fukuoka
10	2:06:11	8 SHITARA, Yuta	設楽 悠太	JPN	2018.02.25	Tokyo
11	2:06:13	KIPSANG, Wilson			2011.03.06	Otsu (Lake Biwa)
12	2:06:25	CHUMBA, Dickson			2017.02.26	Tokyo
13	2:06:30	9 KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	2014.02.23	Tokyo
14	2:06:33	10 THYS, Gert	ゲルト・タイス	RSA	1999.02.14	Tokyo
14	2:06:33	11 KIPROTICH, Stephen	スティーブン・キプロティチ	UGA	2015.02.22	Tokyo
14	2:06:33	12 KIPRUTO, Amos	アモス・キブルト	KEN	2018.02.25	Tokyo
17	2:06:34	CHUMBA, Dickson			2015.02.22	Tokyo
18	2:06:39	13 WANJIRU, Samuel	サムエル・ワンジル	KEN	2007.12.02	Fukuoka
19	2:06:42	14 CHEBET, Evans	エバンス・チェベト	KEN	2017.02.26	Tokyo
20	2:06:47	KIPKETER, Gideon			2018.02.25	Tokyo
21	2:06:50	15 EJIGU, Deriba	デリバ・エジグ	ETH	2007.12.02	Fukuoka
21	2:06:50	16 KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	2013.02.24	Tokyo
23	2:06:51	17 FUJITA, Atsushi	藤田 敦史	JPN	2000.12.03	Fukuoka
24	2:06:52	18 GEBRSELASSIE, Haile	ハイレ・ゲブレシラシエ	ETH	2006.12.03	Fukuoka
25	2:06:54	19 INOUE, Hiroto	井上 大仁	JPN	2018.02.25	Tokyo
25	2:06:56	20 LILESA, Feyisa	フェイサ・リレサ	ETH	2016.02.28	Tokyo

女子 Women

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地
1	2:19:47	1 CHEPCHIRCHIR, Sarah	サラ・チェプチルチル	KEN	2017.02.26	Tokyo
2	2:19:51	2 DIBABA, Birhane	ベルハネ・ディババ	ETH	2018.02.25	Tokyo
3	2:21:17	3 KIRWA, Eunice	ユニス・キルワ	BRN	2017.03.12	Nagoya
4	2:21:18	4 NOGUCHI, Mizuki	野口 みずき	JPN	2003.01.26	Osaka
5	2:21:19	DIBABA, Birhane			2017.02.26	Tokyo
5	2:21:19	5 AGA, Ruti	ルティ・アガ	ETH	2018.02.25	Tokyo
7	2:21:27	6 KIPROP, Helah	ヘラー・キプロブ	KEN	2016.02.28	Tokyo
8	2:21:36	7 ANDO, Yuka	安藤 友香	JPN	2017.03.12	Nagoya
9	2:21:37	NOGUCHI, Mizuki			2007.11.18	Tokyo
10	2:21:42	8 CRAGG, Amy	エイミー・クラッグ	USA	2018.02.25	Tokyo
11	2:21:45	9 CHIBA, Masako	千葉 真子	JPN	2003.01.26	Osaka
11	2:21:45	10 ASSEFA, Meskerem	メスケレム・アセファ	ETH	2018.03.11	Nagoya
13	2:21:51	11 SAKAMOTO, Naoko	坂本 直子	JPN	2003.01.26	Osaka
13	2:21:51	12 GOBENA, Amane	アマネ・ゴベナ	ETH	2016.02.28	Tokyo
15	2:22:07	13 DEMISE, Shure	シュレ・デミセ	ETH	2018.02.25	Tokyo
16	2:22:08	KIRWA, Eunice			2015.03.08	Nagoya
17	2:22:12	14 YAMAGUCHI, Eri	山口 衛里	JPN	1999.11.21	Tokyo
18	2:22:17	15 FUKUSHI, Kayoko	福士 加代子	JPN	2016.01.31	Osaka
19	2:22:19	16 TAKAHASHI, Naoko	高橋 尚子	JPN	2000.03.12	Nagoya
20	2:22:22	17 KIPLAGAT, Lornah	ローナ・キブラガト	KEN	2003.01.26	Osaka
21	2:22:23	18 TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	2014.02.23	Tokyo
22	2:22:30	DIBABA, Birhane			2014.02.23	Tokyo
23	2:22:36	19 KIPLAGAT, Edna	エドナ・キブラガト	KEN	2016.02.28	Tokyo
24	2:22:40	KIRWA, Eunice			2016.03.13	Nagoya
25	2:22:44	20 MATSUDA, Mizuki	松田 瑞生	JPN	2018.01.26	Osaka

※ 2019年1月31日現在 / As of January 31, 2019

東京マラソン パフォーマンスストップ25

》STATISTICS & RESULTS《

All-Time Top 25 Tokyo Marathon Performances

男子 Men

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Place 順位	Date 日付
1	2:03:58	KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサング	KEN	1	2017.02.26
2	2:05:30	CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	1	2018.02.25
3	2:05:42	CHUMBA, Dickson			1	2014.02.23
4	2:05:51	KIPKETER, Gideon	ギデオンの・キプケテル	KEN	2	2017.02.26
5	2:05:57	TOLA, Tadesse	タデセ・トラ	ETH	2	2014.02.23
6	2:06:00	NEGESSE, Endeshaw	エンデショー・ネゲセ	ETH	1	2015.02.22
7	2:06:11	SHITARA, Yuta	設楽 悠太	JPN	2	2018.02.25
8	2:06:25	CHUMBA, Dickson			3	2017.02.26
9	2:06:30	KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	3	2014.02.23
10	2:06:33	KIPROTICH, Stephen	スティーブン・キプロティチ	UGA	2	2015.02.22
10	2:06:33	KIPRUTO, Amos	アモス・キプルト	KEN	3	2018.02.25
12	2:06:34	CHUMBA, Dickson			3	2015.02.22
13	2:06:42	CHEBET, Evans	エバンス・チェベト	KEN	4	2017.02.26
14	2:06:47	KIPKETER, Gideon			4	2018.02.25
15	2:06:50	KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	1	2013.02.24
16	2:06:54	INOUE, Hiroto	井上 大仁	JPN	5	2018.02.25
17	2:06:56	LILESA, Feyisa	フェイサ・リレサ	ETH	1	2016.02.28
18	2:06:58	KIPYEGO, Michael	マイケル・キピエゴ	KEN	2	2013.02.24
18	2:06:58	KIPYEGO, Michael			4	2014.02.23
20	2:07:05	SOME, Peter	ピーター・ソメ	KEN	5	2014.02.23
21	2:07:20	DECHASA, Shumi	シュミ・デチャサ	BRN	4	2015.02.22
22	2:07:22	SOME, Peter			5	2015.02.22
23	2:07:23	ROTHLIN, Viktor	ビクトル・ロスリン	SUI	1	2008.02.17
24	2:07:25	GENETI, Markos	マルコス・ゲネティ	ETH	6	2015.02.22
25	2:07:30	LILESA, Feyisa			6	2018.02.28

女子 Women

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Place 順位	Date 日付
1	2:19:47	CHEPCHIRCHIR, Sarah	サラ・チェプチルチル	KEN	1	2017.02.26
2	2:19:51	DIBABA, Birhane	ベルハネ・ディババ	ETH	1	2018.02.25
3	2:21:19	DIBABA, Birhane			2	2017.02.26
3	2:21:19	AGA, Ruti	ルティ・アガ	ETH	2	2018.02.25
5	2:21:27	KIPROP, Helah	ヘラー・キプロブ	KEN	1	2016.02.28
6	2:21:42	CRAGG, Amy	エイミー・クラッグ	USA	3	2018.02.25
7	2:21:51	GOBENA, Amame	アマネ・ゴベナ	ETH	2	2016.02.28
8	2:22:07	DEMISE, Shure	シュレ・デミセ	ETH	4	2018.02.25
9	2:22:23	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH	1	2014.02.23
10	2:22:30	DIBABA, Birhane			2	2014.02.23
11	2:22:36	KIPLAGAT, Edna	エドナ・キブラガト	KEN	3	2016.02.28
12	2:23:01	KEBEDE, Aberu	アベル・ケベデ	ETH	4	2016.02.28
13	2:23:09	GOBENA, Amame			3	2017.02.26
14	2:23:15	DIBABA, Birhane			1	2015.02.22
15	2:23:16	DIBABA, Birhane			5	2016.02.28
16	2:24:03	KIPROP, Helah			2	2015.02.22
17	2:24:16	KABUU, Lucy	ルーシー・カブー	KEN	3	2014.02.23
18	2:24:26	GELANA, Tiki	ティキ・ゲラナ	ETH	3	2015.02.22
19	2:24:35	ROTICH, Caroline	キャロライン・ロティチ	KEN	4	2014.02.23
20	2:25:04	DEMISE, Shure			6	2016.02.28
21	2:25:28	HABTAMU, Atsedo	アツェデ・ハプタム	ETH	1	2012.02.26
22	2:25:34	KEBEDE, Aberu			1	2013.02.24
23	2:25:38	NASUKAWA, Mizuho	那須川 瑞穂	JPN	1	2009.03.22
24	2:25:50	DIDO, Ashete	アシェテ・ディド	ETH	7	2016.02.28
25	2:26:00	ESAYIAS, Yeshi	イエシ・イセイアス	ETH	2	2012.02.26

※ 2018 年大会終了時 / As of Tokyo Marathon 2018

東京マラソン2018 大会結果

STATISTICS & RESULTS

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ディクソン・チュンバ CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:05:30	
		2	設楽 悠太 SHITARA, Yuta	JPN 埼玉・Honda	2:06:11	NR
		3	アモス・キプルト KIPRUTO, Amos	KEN ケニア	2:06:33	
		4	ギデオンのキプケテル KIPKETER, Gideon	KEN ケニア	2:06:47	
		5	井上 大仁 INOUE, Hiroto	JPN 長崎・MHPS	2:06:54	
		6	フェイサ・リレサ LILESA, Feyisa	ETH エチオピア	2:07:30	
		7	木滑 良 KINAME, Ryo	JPN 長崎・MHPS	2:08:08	
		8	宮脇 千博 MIYAWAKI, Chihiro	JPN 愛知・トヨタ自動車	2:08:45	
	女子 (Women)	1	ベルハネ・ディババ DIBABA, Birhane	ETH エチオピア	2:19:51	
		2	ルティ・アガ AGA, Ruti	ETH エチオピア	2:21:19	
		3	エイミー・クラッグ CRAGG, Amy	USA アメリカ	2:21:42	
		4	シュレ・デミセ DEMISE, Shure	ETH エチオピア	2:22:07	
		5	ヘラー・キプロプ KIPROP, Helah	KEN ケニア	2:28:58	
		6	吉富 博子 YOSHITOMI, Hiroko	JPN 佐賀・メモリード	2:30:16	
		7	中野 円花 NAKANO, Madoka	JPN 兵庫・ノーリツ	2:31:41	
		8	上杉 真穂 UESUGI, Mao	JPN 千葉・スタート陸上競技部	2:31:49	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:26:23	
		2	鈴木 朋樹 SUZUKI, Tomoki	JPN 千葉・トヨタ自動車	1:26:24	
		3	エルンスト・バンダイク VAN DYK, Ernst	RSA 南アフリカ	1:31:30	
		4	クート・フェンリー FEARNLEY, Kurt	AUS オーストラリア	1:31:30	
		5	渡辺 勝 WATANABE, Sho	JPN 福岡・凸版印刷	1:31:31	
		6	西田 宗城 NISHIDA, Hiroki	JPN 大阪・バカラバシフィック	1:31:31	
		7	久保 恒造 KUBO, Kozo	JPN 北海道・日立ソリューションズ	1:31:32	
		8	吉田 竜太 YOSHIDA, Ryota	JPN 東京・SUS	1:31:33	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	マニエラ・シャー SCHAR, Manuela	SUI スイス	1:43:25	
		2	タチアナ・マクファーデン MCFADDEN, Tatyana	USA アメリカ	1:44:51	
		3	喜納 翼 KINA, Tsubasa	JPN 沖縄・タイヤランド沖縄	1:46:17	
		4	アマンダ・マグロリー MCGRORY, Amanda	USA アメリカ	1:48:01	
		5	スザンナ・スカロニ SCARONI, Susannah	USA アメリカ	1:54:02	
		6	中山 和美 NAKAYAMA, Kazumi	JPN 神奈川・アクセンチュア	2:01:41	
	準エリート男子 Semi-Elite (Men)	1	大森 滯 OMORI, Rei	JPN 大阪・中央学院大学	2:18:11	
		2	橋本 雅史 HASHIMOTO, Masashi	JPN 山口・武田薬品	2:18:31	
		3	ChiaChe Chang Chang Chiache	TPE 台湾	2:19:59	
	準エリート女子 Semi-Elite (Women)	1	山本 明日香 YAMAMOTO, Asuka	JPN 和歌山・大阪芸術大学	2:34:26	
		2	中島 みなみ NAKASHIMA, Minami	JPN 大阪・関西外国語大学	2:43:16	
		3	Rebecca Brown BROWN Rebecca	AUS オーストラリア	2:46:39	
	Next Generation Athlete 男子 (Men)	1	サイモン・カリウキ SIMON, Kariuki	KEN ケニア	2:10:00	
	Next Generation Athlete 女子 (Women)	1	山本 明日香 YAMAMOTO, Asuka	JPN 和歌山・大阪芸術大学	2:34:26	

NR: National Record

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
10km 10km	ジュニア & ユース男子 Junior & Youth (Men)	1	井上 大輝	INOUE, Taiki	JPN 日本	32:36
		2	岡部 耕平	OKABE, Kouhei	JPN 日本	33:03
		3	鈴木 勇汰郎	SUZUKI, Yutaro	JPN 日本	33:52
	ジュニア & ユース女子 Junior & Youth (Women)	1	千葉 彩有花	CHIBA, Sayuka	JPN 日本	38:04
		2	古川 洋恵	HURUKAWA, Hiroe	JPN 日本	38:40
		3	瀧澤 水希乃	TAKIZAWA, Mikino	JPN 日本	39:02
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	嶋崎 康介	SHIMAZAKI, Kosuke	JPN 日本	30:05
	車いす女子 Wheelchair (Women)	完走者なし DNF				
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	鈴木 卓	SUZUKI, Taku	JPN 日本	39:12
		2	吉田 英世	YOSHIDA, Hideyo	JPN 日本	48:03
		3	鈴木 宏泰	SUZUKI, Hiroyasu	JPN 日本	49:12
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	金野 由美子	KONNO, Yumiko	JPN 日本	47:30
		2	村岡 芳水	MURAOKA, Yoshimi	JPN 日本	53:24
		3	ミヤギ ヨシコ	MIYAGI, Yoshiko	JPN 日本	53:44
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	小島 弘暉	KOJIMA, Hiroki	JPN 日本	37:32
		2	伊東 宏明	ITO, Hiroaki	JPN 日本	39:08
		3	宮川 星太郎	MIYAGAWA, Seitaro	JPN 日本	39:52
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	吉田 早織	YOSHIDA, Saori	JPN 日本	44:14
		2	高橋 由香里	TAKAHASHI, Yukari	JPN 日本	45:22
		3	平山 夏子	HIRAYAMA, Natuko	JPN 日本	57:13
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	長谷川 秀一	HASEGAWA, Shuichi	JPN 日本	43:29
		2	宅島 徹	TAKUSHIMA, Toru	JPN 日本	46:11
		3	平山 経政	HIRAYAMA, Tsunemasa	JPN 日本	46:42
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	高橋 祐子	TAKAHASHI, Yuuko	JPN 日本	54:06
		2	田中 敦子	TANAKA, Atsuko	JPN 日本	1:10:08

東京マラソン2017 大会結果

》STATISTICS & RESULTS《

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ウィルソン・キプサング KIPSANG, Wilson	KEN ケニア	2:03:58	CR
		2	ギデオ・キプケテル KIPKETER, Gideon	KEN ケニア	2:05:51	
		3	ディクソン・チュンバ CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:06:25	
		4	エバンス・チェベト CHEBET, Evans	KEN ケニア	2:06:42	
		5	アルフェルス・ラガト LAGAT, Alfers	KEN ケニア	2:07:39	
		6	バーナード・キピエゴ KIPYEGO, Bernard	KEN ケニア	2:08:10	
		7	ヨハネス・ゲブレゲルギシュ GHEBREGERGISH, Yohanes	ERI エリトリア	2:08:14	
		8	井上 大仁 INOUE, Hiroto	JPN 長崎・MHPS	2:08:22	
	女子 (Women)	1	サラ・チェブチルチル CHEPCHIRCHIR, Sarah	KEN ケニア	2:19:47	CR
		2	ベルハネ・ディババ DIBABA, Birhane	ETH エチオピア	2:21:19	CR
		3	アマネ・ゴベナ GOBENA, Amane	ETH エチオピア	2:23:09	
		4	藤本 彩夏 FUJIMOTO, Ayaka	JPN 鹿児島・京セラ	2:27:08	
		5	マルタ・レマ LEMA, Marta	ETH エチオピア	2:27:37	
		6	サラ・ホール HALL, Sara	USA アメリカ	2:28:26	
		7	中野 円花 NAKANO, Madoka	JPN 兵庫・ノーリツ	2:33:00	
		8	高山 琴海 TAKAYAMA, Kotomi	JPN 兵庫・シスメックス	2:34:44	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	渡辺 勝 WATANABE, Sho	JPN 福岡・TOPPAN	1:28:01	
		2	マルセル・フグ HUG, Marcel	SUI スイス	1:28:01	
		3	鈴木 朋樹 SUZUKI, Tomoki	JPN 千葉・関東パラ陸協	1:28:02	
		4	吉田 竜太 YOSHIDA, Ryota	JPN 東京・SUS	1:28:03	
		5	ジョシュア・ジョージ GEORGE, Joshua	USA アメリカ	1:28:03	
		6	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・ヤフー	1:28:03	
		7	西田 宗城 NISHIDA, Hiroki	JPN 大阪・バカラバシフィック	1:28:12	
		8	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:28:23	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	アマンダ・マグロリー MCGRORY, Amanda	USA アメリカ	1:43:27	
		2	マニエラ・シャー SCHAR, Manuela	SUI スイス	1:43:27	
		3	スザンナ・スカロニ SCARONI, Susannah	USA アメリカ	1:43:29	
		4	鄒 麗紅 ZOU, Lihong	CHN 中華人民共和国	1:44:28	
		5	喜納 翼 KINA, Tsubasa	JPN 沖縄・沖縄県身体障害者陸協	1:46:11	
		6	中山 和美 NAKAYAMA, Kazumi	JPN 神奈川・アクセンチュア	1:46:14	
	準エリート男子 Semi-Elite (Men)	1	近藤 秀一 KONDO, Shuichi	JPN 静岡・東京大学	2:14:13	
		2	柴田 拓真 SHIBATA, Takuma	JPN 北海道・平成国際大学	2:15:02	
		3	甲斐 大貴 KAI, Hiroki	JPN 千葉・順天堂大学	2:18:17	
	準エリート女子 Semi-Elite (Women)	1	白石 莉理 SHIRAIISHI, Riri	JPN 大阪・大阪芸術大学	2:43:19	
		2	小柳 由香 KOYANAGI, Yuka	JPN 長崎・長崎ランニングアカデミー	2:44:28	
		3	Rochelle Maree Rodgers RODGERS, Rochelle Maree	AUS オーストラリア	2:44:35	

CR : Course Record

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
10km 10km	ジュニア & ユース男子 Junior & Youth (Men)	1	吉田 健太 YOSHIDA, Kenta	JPN 茨城	33:22	
		2	中嶋 貴哉 NAKASHIMA, Takaya	JPN 岩手	33:23	
		3	吉岡 拓哉 YOSHIOKA, Takuya	JPN 千葉	33:24	
	ジュニア & ユース女子 Junior & Youth (Women)	1	小林 茉海 KOBAYASHI, Mami	JPN 千葉	37:03	
		2	小幡 美貴 OBATA, Miki	JPN 千葉	38:07	
		3	平賀 奏美 HIRAGA, Kanami	JPN 東京	38:20	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	佐野 純一郎 SANO, Junichiro	JPN 京都	23:55	
		2	田口 勉 TAGUCHI, Tsutomu	JPN 埼玉	28:48	
		3	初海 達也 HATSUUMI, Tatsuya	JPN 神奈川	30:29	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	出場者なし No entry				
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	武川 泰幸 MUKAWA, Yasuyuki	JPN 北海道	39:23	
		2	菊池 儀 KIKUCHI, Takashi	JPN 埼玉	44:49	
		3	三國 文敬 MIKINI, Fuminori	JPN 東京	44:52	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	金野 由美子 KONNO, Yumiko	JPN 東京	46:05	
		2	多田 佳美 TADA, Yoshimi	JPN 埼玉	51:52	
		3	八田 冴子 HATTA, Saeko	JPN 東京	57:39	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	大橋 哲 OHASHI, Tetsu	JPN 神奈川	38:00	
		2	小島 弘暉 KOJIMA, Hiroki	JPN 埼玉	38:18	
		3	萩原 和輝 HAGIWARA, Kazuki	JPN 東京	39:47	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	高橋 由香里 TAKAHASHI, Yukari	JPN 愛知	47:45	
		2	黒澤 沙織 KUROSAWA, Saori	JPN 東京	48:56	
		3	篠塚 葉月 SHINOTSUKA, Hazuki	JPN 茨城	59:27	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	遠田 祐貴 TODA, Yuuki	JPN 新潟	38:02	
		2	長谷川 秀一 HASEGAWA, Shuichi	JPN 兵庫	42:38	
		3	平山 経政 HIRAYAMA, Tsunemasa	JPN 神奈川	45:27	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	ベッカーマン 直美 BECKERMAN, Naomi	JPN 神奈川	53:09	
		2	大久保 八恵 OHKUBO, Yae	JPN 東京	1:01:41	
		1	シュ セイ ZHU, Jing	JPN 東京	1:06:41	

東京マラソン2016 大会結果

》STATISTICS & RESULTS《

Tokyo Marathon 2016 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	フェイス・リレサ LILESA, Feyisa	ETH エチオピア	2:06:56	
		2	バーナード・キビエゴ KIPYEGO, Bernard	KEN ケニア	2:07:33	
		3	ディクソン・チュンバ CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:07:34	
	女子 (Women)	1	ヘラー・キプロブ KIPROP, Helah	KEN ケニア	2:21:27	CR
		2	アマネ・ゴベナ GOBENA, Amane	ETH エチオピア	2:21:51	CR
		3	エドナ・キブラガト KIPLAGAT, Edna	KEN ケニア	2:22:36	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	クート・フェンリー FEARNLEY, Kurt	AUS オーストラリア	1:26:00	CR
		2	エルンスト・バンダイク VAN DYK, Ernst	RSA 南アフリカ	1:26:01	
		3	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・ヤフー	1:26:01	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・八千代工業	1:41:04	CR⑨
		2	タチアナ・マクファーデン MCFADDEN, Tatyana	USA アメリカ	1:41:14	
		3	中山 和美 NAKAYAMA, Kazumi	JPN 神奈川・アクセンチュア	1:56:58	
	準エリート男子 Semi-Elite (Men)	1	橋本 峻 HASHIMOTO, Ryo	JPN 大分・青山学院大学	2:14:38	
	準エリート女子 Semi-Elite (Women)	1	ルース・シャーロット・クロフト CROFT, Ruth Charlotte	NZL ニュージーランド	2:40:59	
10km 10km	ジュニア & ユース男子 Junior & Youth (Men)	1	藤井 優吾 FUJII, Yugo	JPN 東京	34:07	
	ジュニア & ユース女子 Junior & Youth (Women)	1	門間 由来 MOMMA, Yura	JPN 宮城	38:39	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	佐藤 友希 SATO, Tomoki	JPN 静岡	24:33	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	安川 祐里香 YASUKAWA, Yurika	JPN 神奈川	27:04	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	鈴木 卓 SUZUKI, Taku	JPN 新潟	40:01	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	金野 由美子 KONNO, Yumiko	JPN 東京	49:01	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	小島 弘暉 KOJIMA, Hiroki	JPN 埼玉	39:24	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	澤 麻衣子 SAWA, Maiko	JPN 滋賀	43:15	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	長谷川 秀一 HASEGAWA, Shuichi	JPN 兵庫	41:11	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	小林 信江 KOBAYASHI, Nobue	JPN 東京	48:20	

CR : Course Record ⑨ = 9年連続優勝 / 9-time winner

東京マラソン2015 大会結果

》STATISTICS & RESULTS《

Tokyo Marathon 2015 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	エンデショー・ネゲセ NEGESSE, Endeshaw	ETH エチオピア	2:06:00	
		2	スティープン・キプロティチ KIPROTICH, Stephen	UGA ウガンダ	2:06:33	
		3	ディクソン・チュンバ CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:06:34	
	女子 (Women)	1	ベルハネ・ディババ DIBABA, Birhane	ETH エチオピア	2:23:15	
		2	ヘラー・キプロブ KIPROP, Helah	KEN ケニア	2:24:03	
		3	ティキ・ゲラナ GELANA, Tiki	ETH エチオピア	2:24:26	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:30:23	
		2	鈴木 朋樹 SUZUKI, Tomoki	JPN 千葉	1:30:36	
		3	吉田 竜太 YOSHIDA, Ryota	JPN 東京	1:30:36	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・八千代工業	1:46:30	⑧
	準エリート男子 Semi-Elite (Men)	1	猪浦 舜 INOURA, Shun	JPN 埼玉・駒澤大学	2:17:54	
	準エリート女子 Semi-Elite (Women)	1	大和田 啓実 OOWADA, Hiromi	JPN 東京	2:46:39	
10km 10km	ジュニア & ユース男子 Junior & Youth (Men)	1	佐藤 亜星 SATO, Asei	JPN 宮城	32:53	
	ジュニア & ユース女子 Junior & Youth (Women)	1	原田 紗枝 HARADA, Sae	JPN 千葉	37:14	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	嶋崎 康介 SHIMAZAKI, Kosuke	JPN 東京	27:07	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	鈴木 卓 SUZUKI, Taku	JPN 新潟	41:38	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	近藤 寛子 KONDO, Hiroko	JPN 滋賀	47:18	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	萩原 和輝 HAGIWARA, Kazuki	JPN 東京	40:27	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	村上 あゆみ MURAKAMI, Ayumi	JPN 東京	45:06	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	長谷川 秀一 HASEGAWA, Shuichi	JPN 兵庫	42:51	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	乾 麻理子 INUI, Mariko	JPN 東京	53:31	

CR : Course Record ⑧ = 8年連続優勝 / 8-time winner

東京マラソン2014 大会結果

》 STATISTICS & RESULTS 《

Tokyo Marathon 2014 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ディクソン・チュンバ CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:05:42	CR
		2	タデセ・トラ TOLA, Tadesse	ETH エチオピア	2:05:57	CR
		3	サミー・キトワラ KITWARA, Sammy	KEN ケニア	2:06:30	CR
	女子 (Women)	1	ティルフィ・ツェガエ TSEGAYE, Tirfi	ETH エチオピア	2:22:23	CR
		2	ベルハネ・ディババ DIBABA, Birhane	ETH エチオピア	2:22:30	CR
		3	ルーシー・カブー KABUU, Lucy	KEN ケニア	2:24:16	CR
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:30:43	
		2	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 長崎・シーズアスリート	1:30:44	
		3	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:34:45	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ	1:48:08	⑦
10km 10km	U-18 男子 U-18 (Men)	1	黒田 雄紀 KURODA, Yuki	JPN 神奈川	32:41	
	U-18 女子 U-18 (Women)	1	千葉 悠里奈 CHIBA, Yurina	JPN 宮城	37:31	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	弘岡 正樹 HIROOKA, Masaki	JPN 神奈川	26:40	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	鈴木 卓 SUZUKI, Taku	JPN 新潟	40:18	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	青木 洋子 AOKI, Yoko	JPN 東京	51:11	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	小磯 夏樹 KOISO, Natsuki	JPN 東京	35:25	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	幸長 菜央 YUKINAGA, Nao	JPN 埼玉	44:35	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	長谷川 秀一 HASEGAWA, Shuichi	JPN 兵庫	41:05	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	ベッカーマン 直美 BECKERMAN, Naomi	JPN 神奈川	50:09	

CR : Course Record ⑦ = 7 年連続優勝 / 7-time winner

東京マラソン2013 大会結果

》 STATISTICS & RESULTS 《

Tokyo Marathon 2013 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	デニス・キメット KIMETTO, Dennis	KEN ケニア	2:06:50	CR
		2	マイケル・キピエゴ KIPYEGO, Michael	KEN ケニア	2:06:58	CR
		3	バーナード・キピエゴ KIPYEGO, Bernard	KEN ケニア	2:07:53	
	女子 (Women)	1	アベル・ケベデ KEBEDE, Aberu	ETH エチオピア	2:25:34	
		2	イエシ・イセイアス ESAYIAS, Yesi	ETH エチオピア	2:26:01	
		3	イリーナ・ミキテンコ MIKITENKO, Irina	GER ドイツ	2:26:41	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・シーズアスリート	1:27:53	
		2	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:29:07	
		3	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・エイベックス・マーケティング	1:34:42	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ	1:48:29	⑥
10km 10km	U-18 男子 U-18 (Men)	1	藤 飛翔 FUJI, Tsubasa	JPN 福島	34:34	
	U-18 女子 U-18 (Women)	1	胡口 奈穂 KOGUCHI, Nao	JPN 福島	42:21	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	山口 充弘 YAMAGUCHI, Mitsuhiro	JPN 神奈川	26:22	②
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	兼子 未希 KANEKO, Miki	JPN 東京	34:06	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	鈴木 卓 SUZUKI, Taku	JPN 新潟	44:34	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	宮城 好子 MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉	55:19	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	渡辺 峻佑 WATANABE, Ryosuke	JPN 東京	42:40	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	樋口 敦子 HIGUCHI, Atsuko	JPN 新潟	51:06	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	星川 望 HOSHIKAWA, Nozomu	JPN 東京	51:46	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	小林 信江 KOBAYASHI, Nobue	JPN 大阪	55:14	②

CR : Course Record ② = 2 年連続優勝 / 2-time winner ⑥ = 6 年連続優勝 / 6-time winner

東京マラソン2012 大会結果

》STATISTICS & RESULTS《

Tokyo Marathon 2012 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	マイケル・キピエゴ KIPYEGO, Michael	KEN ケニア	2:07:37	
		2	藤原 新 FUJIWARA, Arata	JPN 東京・東京陸協	2:07:48	
		3	スティーブン・キプロティチ KIPROTICH, Stephen	UGA ウガンダ	2:07:50	
	女子 (Women)	1	アツェデ・ハプタム HABTAMU, Atsede	ETH エチオピア	2:25:28	CR
		2	イエシ・イセイアス ESAYIAS, Yeshe	ETH エチオピア	2:26:00	
		3	ヘレナ・キロップ KIROP, Helena	KEN ケニア	2:26:02	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:29:26	
		2	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・チームサンディスク	1:29:31	
		3	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:30:37	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ	1:48:31	⑤
10km 10km	U-18 男子 U-18 (Men)	1	齋藤 将輝 SAITO, Masaki	JPN 福島	33:43	
	U-18 女子 U-18 (Women)	1	嶋原 優子 SHIGIHARA, Yuko	JPN 福島	41:34	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	山口 充弘 YAMAGUCHI, Mitsuhiko	JPN 神奈川	26:59	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	重田 雅敏 SHIGETA, Masatoshi	JPN 東京	53:02	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	山田 敦子 YAMADA, Atsuko	JPN 兵庫	58:23	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	佐藤 嵩仁 SATO, Takahito	JPN 神奈川	41:43	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	田口 恵 TAGUCHI, Megumi	JPN 東京	1:02:34	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	関 哲也 SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川	46:12	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	小林 信江 KOBAYASHI, Nobue	JPN 大阪	54:52	

CR : Course Record ⑤ = 5 年連続優勝 / 5-time winner

東京マラソン2011 大会結果

》STATISTICS & RESULTS《

Tokyo Marathon 2011 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ハイル・メコネン MEKONNEN, Hailu	ETH エチオピア	2:07:35	
		2	ポール・ビウォット BIWOTT, Paul	KEN ケニア	2:08:17	
		3	川内 優輝 KAWAUCHI, Yuki	JPN 埼玉・埼玉陸協	2:08:37	
	女子 (Women)	1	樋口 紀子 HIGUCHI, Noriko	JPN 京都・ワコール	2:28:49	
		2	タチアナ・ペトロワ PETROVA, Tatiana	RUS ロシア	2:28:56	
		3	渋谷 陽子 SHIBUI, Yoko	JPN 東京・三井住友海上	2:29:03	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:25:38	CR
		2	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:26:13	CR
		3	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:30:17	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィアベンティス	1:40:08	CR④
10km 10km	一般男子 (Men)	1	三野 貴史 MINO, Takashi	JPN 千葉	32:18	
	一般女子 (Women)	1	伊豫田 歩 IYOTA, Ayumi	JPN 茨城	43:38	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	庄司 和浩 SHOJI, Kazuhiro	JPN 茨城	24:29	CR
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	八木 陽平 YAGI, Yohei	JPN 東京	46:35	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	宮城 好子 MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉	52:26	CR
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	高田 泰志 TAKADA, Taishi	JPN 埼玉	37:20	CR
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	幸長 菜央 YUKINAGA, Nao	JPN 埼玉	45:37	CR
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	守屋 英海 MORIYA, Hidemi	JPN 東京	44:04	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	乾 麻理子 INUI, Mariko	JPN 東京	1:01:49	

CR : Course Record ④ = 4 年連続優勝 / 4-time winner

東京マラソン2010 大会結果

》 STATISTICS & RESULTS 》

Tokyo Marathon 2010 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	藤原 正和 FUJIWARA, Masakazu	JPN 埼玉・Honda	2:12:19	
		2	藤原 新 FUJIWARA, Arata	JPN 東京・JR 東日本	2:12:34	
		3	佐藤 敦之 SATO, Atsushi	JPN 広島・中国電力	2:12:35	
	女子 (Women)	1	アレフティナ・ビクティミロワ BIKTIMIROVA, Alevtina	RUS ロシア	2:34:39	
		2	ロベ・グタ GUTA, Robe	ETH エチオピア	2:36:29	
		3	ヌタ・オラル OLARU, Nuta	ROU ルーマニア	2:36:42	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:35:19	
		2	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:40:07	
		3	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:40:20	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ・アベンティス	1:53:01	③
10km 10km	一般男子 (Men)	1	本橋 佑哉 MOTOHASHI, Yuya	JPN 千葉・我孫子消防	33:51	
	一般女子 (Women)	1	矢藤 尚美 YATO, Naomi	JPN 静岡・N-R C	44:34	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	川口 幸治 KAWAGUCHI, Yukiharu	JPN 千葉・オーエックス	28:29	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	舟橋 剛二 FUNABASHI, Koji	JPN 静岡	46:41	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	斎藤 玉貴 SAITO, Tamaki	JPN 山形・バンバンクラブ	55:12	CR
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	矢島 一也 YAJIMA, Kazuya	JPN 神奈川・小田原養護同窓	37:27	CR
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	山中 のぞみ YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉	47:30	CR④
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	関 哲也 SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川	45:41	②
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	近藤 千津子 KONDO, Chizuko	JPN 東京	1:12:47	

CR : Course Record ② = 2年連続優勝 / 2-time winner ③ = 3年連続優勝 / 3-time winner ④ = 4年連続優勝 / 4-time winner

東京マラソン2009 大会結果

》 STATISTICS & RESULTS 》

Tokyo Marathon 2009 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	サリム・キプサング KIPSANG, Salim	KEN ケニア	2:10:27	
		2	前田 和浩 MAEDA, Kazuhiro	JPN 福岡・丸電工	2:11:01	
		3	高橋 謙介 TAKAHASHI, Kensuke	JPN 愛知・トヨタ自動車	2:11:25	
	女子 (Women)	1	那須川 瑞穂 NASUKAWA, Mizuho	JPN 千葉・アルゼ	2:25:38	CR
		2	佐伯 由香里 SAHAKU, Yukari	JPN 千葉・アルゼ	2:28:55	CR
		3	土佐 礼子 TOSA, Reiko	JPN 東京・三井住友海上	2:29:19	CR
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:33:11	③
		2	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:37:28	
		3	廣道 純 HIROMICHI, Jun	JPN 大分・TDKラムダ	1:42:33	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ・アベンティス	1:46:31	②
10km 10km	一般男子 (Men)	1	山本 伸幸 YAMAMOTO, Nobuyuki	JPN 石川・鹿島AC	33:38	
	一般女子 (Women)	1	渡辺 美保 WATANABE, Miho	JPN 東京・順天高校	37:36	②
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	庄司 和浩 SHOJI, Kazuhiro	JPN 茨城・チームしまだ	25:36	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	高崎 瑞貴 TAKASAKI, Mizuki	JPN 神奈川	29:07	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	福本 真秀 FUKUMOTO, Masahide	JPN 神奈川・SWAC	44:30	CR②
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	仁茂田 ルリ子 NIMODA, Ruriko	JPN 東京・バンバンクラブ	57:24	CR
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	今野 雄太 KONNO, Yuta	JPN 神奈川・横浜ウインズ	38:41	CR②
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	山中 のぞみ YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉・MJRC	49:18	③
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	関 哲也 SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川・ホールディング	43:41	CR
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	田結庄 彩知 TAINOSHO, Sachi	JPN 東京	1:17:31	

CR : Course Record ② = 2年連続優勝 / 2-time winner ③ = 3年連続優勝 / 3-time winner

東京マラソン2008 大会結果

》STATISTICS & RESULTS《

Tokyo Marathon 2008 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ビクトル・ロスリン ROTHLIN, Victor	SUI スイス	2:07:23	CR
		2	藤原 新 FUJIWARA, Arata	JPN 東京・JR 東日本	2:08:40	CR
		3	ジュリアス・ギタヒ GITAH, Julius	KEN 東京・日清食品	2:08:57	CR
	女子 (Women)	1	クラウディア・ドレハー DREHER, Claudia	GER ドイツ	2:35:35	
		2	水谷 理紗 MIZUTANI, Risa	JPN 茨城・筑波大学	2:48:59	
		3	加瀬沢 好美 KASEZAWA, Yoshimi	JPN 神奈川・秦野運動公園	2:51:18	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:27:15	CR②
		2	花岡 伸和 HANAOKA, Nobukazu	JPN 千葉	1:29:42	
		3	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・SUNDISK	1:32:46	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・ヒューマントラスト	1:45:19	CR
10km 10km	一般男子 (Men)	1	伴 卓磨 BAN, Takuma	JPN 東京・モントブラン	33:28	
	一般女子 (Women)	1	渡辺 美保 WATANABE, Miho	JPN 東京・順天高校	35:36	CR
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	松浦 辰雄 MATSUURA, Tatsuo	JPN 福島 福島身障陸連	24:33	CR②
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	八巻 智美 YAMAKI, Tomomi	JPN 福島・FALD	28:28	CR
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	福本 真秀 FUKUMOTO, Masahide	JPN 神奈川	45:34	CR
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	今泉 晶子 IMAIZUMI, Akiko	JPN 東京	1:00:32	CR
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	今野 雄太 KONNO, Yuta	JPN 神奈川・横浜ウインズ	39:18	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	山中 のぞみ YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉・MJRC松戸	49:28	②
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	小堤 進 OTSUZUMI, Susumu	JPN 茨城・チームリボン	51:26	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	大内 敦子 OUCHI, Atsuko	JPN 埼玉	1:13:30	

CR : Course Record ② = 2年連続優勝 / 2-time winner

東京マラソン2007 大会結果

》STATISTICS & RESULTS《

Tokyo Marathon 2007 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ダニエル・ジェンガ NJENGA, Daniel	KEN ヤクルト	2:09:45	
		2	佐藤 智之 SATO, Tomoyuki	JPN 旭化成	2:11:22	
		3	入船 敏 IRIFUNE, Satoshi	JPN カネボウ	2:12:44	
	女子 (Women)	1	新谷 仁美	JPN 豊田自動織機	2:31:01	
		2	谷川 真理	JPN アミノバイタル AC	2:49:54	
		3	田中 光	JPN 旭化成東京 JC	2:50:02	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	副島 正純	JPN シーズアスリート	1:32:21	
		2	廣道 純	JPN TDK ラムダ	1:37:45	
		3	洞ノ上 浩太	JPN SUNDISK	1:43:12	
10km 10km	一般男子 (Men)	1	西郷 祐一郎	JPN 千葉	33:14	
	一般女子 (Women)	1	グレッタ・トラスコット	AUS オーストラリア	37:46	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	松浦 辰雄	JPN 福島身障陸連	26:23	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	藤田 道子	JPN 宮城車いす MC	29:23	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	石井 勝己	JPN 植村整形外科	49:47	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	坂下 左代子	JPN JD やじろペー	1:04:53	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	大久保 健史	JPN 葛飾養護 OB	39:18	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	山中 のぞみ	JPN MJRC 松戸	49:12	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	守屋 英海	JPN 東京	46:10	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	石川 友子	JPN 神奈川	1:09:48	

CR : Course Record



大会関係者ウェア / Staff Wears

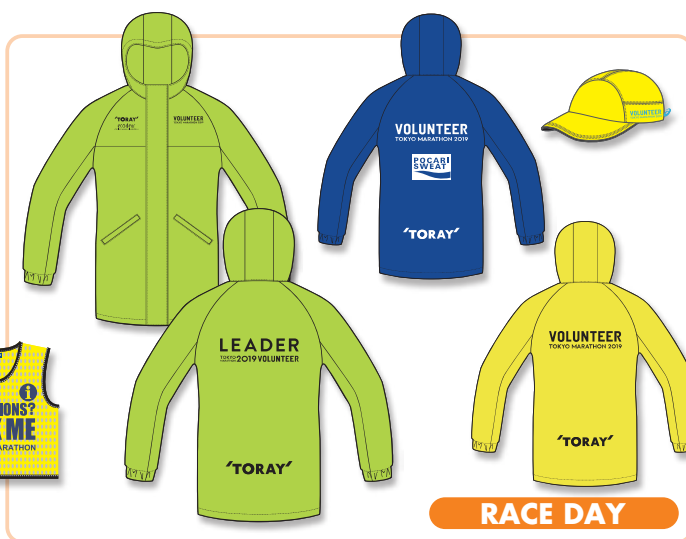
COMPETITION OFFICIALS (審判員)



MEDICAL



VOLUNTEER



RUNNING POLICE



RACE OFFICIALS



COURSE & OPERATIONS

コース・運営

通過予想時刻 Time Estimate at Different Locations	122
コース高低差 Course Elevation	123
ペース早見表 Pace Guide	124
収容関門 Cut-Off Checkpoints	125
医療救護体制 Medical Aid	126
警備体制 Safe & Secure	127

通過予想時刻(1km毎)

スタート/車いす●9:05 マラソン・10km●9:10

COURSE & OPERATIONS

Time Estimate at Different Locations

km	車いす先頭 Lead Wheelchair	車いす最後尾 Rearmost Wheelchair	ランナー先頭 Lead Runner	ランナー最後尾 Rearmost Runner	地点	住所
0.0	9:05:00	9:05:00	9:10:00	9:30:00	都庁第一庁舎前	新宿区西新宿2-8-1
1.0	9:07:02	9:08:05	9:12:56	9:40:43	新宿大ガード西交差点手前	新宿区西新宿1-3-1
2.0	9:09:05	9:11:10	9:15:53	9:51:26	新宿やわらぎビル前	新宿区新宿5-6-1
3.0	9:11:07	9:14:15	9:18:49	10:02:09	新潟らーめんこばやし前	新宿区住吉町3-2
4.0	9:13:09	9:17:19	9:21:45	10:12:51	「防衛省前」バス停前	新宿区市谷本村町5-1
5.0	9:15:11	9:20:24	9:24:41	10:23:34	神楽ビル前	新宿区市谷田町3-12
6.0	9:17:14	9:23:29	9:27:38	10:32:47	白洋舎前	千代田区飯田橋4-8-14
7.0	9:19:16	9:26:34	9:30:34	10:39:46	専修大学前	千代田区神田神保町3-12
8.0	9:21:18	9:29:39	9:33:30	10:46:45	セブニーイレブン神田小川町2丁目店前	千代田区神田小川町2-2-8
9.0	9:23:21	9:32:44	9:36:26	10:53:43	SEC 前	千代田区鍛冶町2-3-3
10.0	9:25:23	9:35:49	9:39:23	11:00:51	コレド日本橋前	中央区日本橋1-4-1
11.0	9:27:25	9:38:53	9:42:19	11:09:22	銀杏八幡宮前	中央区日本橋蛸殻町1-7-7
12.0	9:29:27	9:41:58	9:45:15	11:17:52	TOYOTA MOBILITY SHOW ROOM	中央区日本橋浜町2-12-4
13.0	9:31:30	9:45:03	9:48:12	11:26:23	「ささやフルーツ」前	台東区浅草橋1-9-11
14.0	9:33:32	9:48:08	9:51:08	11:34:54	厩橋交差点手前「セブニーイレブン」	台東区蔵前3-13-12
15.0	9:35:34	9:51:13	9:54:04	11:43:55	アルメックスビル前	台東区雷門2-19-17
16.0	9:37:37	9:54:18	9:57:00	11:53:44	岩金ビル前	台東区蔵前2-4-5
17.0	9:39:39	9:57:23	9:59:57	12:03:32	竹山紙工所前	墨田区石原1-14-2
18.0	9:41:41	10:00:27	10:02:53	12:13:20	千歳三丁目交差点	墨田区立川1-3
19.0	9:43:43	10:03:32	10:05:49	12:23:08	豊田プロセス工業社前	江東区白河1-1-4
20.0	9:45:46	10:06:37	10:08:46	12:32:30	セブニーイレブン江東門前仲町前	江東区門前仲町2-6-1
20.504	9:46:47	10:08:10	10:10:14	12:36:42	富岡八幡宮折返し点(イシイの甘栗前)	江東区富岡1-22-27
21.0	9:47:48	10:09:42	10:11:42	12:40:50	門前仲町交番前	江東区門前仲町1-7
21.0975	9:48:00	10:10:00	10:11:59	12:41:39	中間地点(LOCO 前)	江東区門前仲町1-13-9
22.0	9:49:50	10:12:47	10:14:38	12:49:10	清澄庭園前バス停手前	江東区清澄3-3-16
23.0	9:51:53	10:15:52	10:17:34	12:57:30	とんかつ屋 BUTAN 前	墨田区千歳3-5-9
24.0	9:53:55	10:18:57	10:20:31	13:05:50	横網町公園前交差点先	墨田区横網2-3
25.0	9:55:57	10:22:01	10:23:27	13:14:10	アルティス浅草橋前	台東区蔵前1-5-5
26.0	9:58:00	10:25:06	10:26:23	13:22:23	IKEGAMI BLDG 前	中央区東日本橋2-2-2
27.0	10:00:02	10:28:11	10:29:19	13:30:20	永福屋ビル前	中央区日本橋蛸殻町2-14-3
28.0	10:02:04	10:31:16	10:32:16	13:38:18	内藤証券前	中央区日本橋兜町13-2
29.0	10:04:06	10:34:21	10:35:12	13:46:15	Paramount Bed 前	中央区京橋1-6-1
30.0	10:06:09	10:37:26	10:38:08	13:54:12	銀座中央ビル前	中央区銀座4-3
31.0	10:08:11	10:40:31	10:41:05	14:03:47	NTT Communication 前	千代田区内幸町1-1-6
32.0	10:10:13	10:43:35	10:44:01	14:13:32	浜ゴムビル前	港区新橋5-36
33.0	10:12:16	10:46:40	10:46:57	14:23:18	芝公園グランド前交差点手前	港区芝公園2-7
34.0	10:14:18	10:49:45	10:49:53	14:33:03	コージーコーナー田町店前	港区芝5-34-6 新田町ビル
35.0	10:16:20	10:52:50	10:52:50	14:45:00	NPC 泉岳寺第2パーキング前	港区高輪2-17-11
35.781	10:17:56	10:55:14	10:55:07	14:54:46	高輪折返し点	港区高輪3-24-18
36.0	10:18:22	10:55:55	10:55:46	14:57:30	「高輪北町」バス停前	港区高輪2-13-8
37.0	10:20:25	10:59:00	10:58:42	15:10:00	御田八幡ビル前	港区三田3-7
38.0	10:22:27	11:02:05	11:01:39	15:22:30	日本電気前	港区芝5-7-1
39.0	10:24:29	11:05:09	11:04:35	15:35:00	Le Pain Quotidien 前	港区芝公園3-3
40.0	10:26:32	11:08:14	11:07:31	15:47:05	CJ ビルディング前	港区西新橋2-7-4
41.0	10:28:34	11:11:19	11:10:27	15:57:32	日比谷交差点手前交番前	千代田区日比谷公園1
42.0	10:30:36	11:14:24	11:13:24	16:07:58	郵船ビルディング前	千代田区丸の内2-3-2
42.195	10:31:00	11:15:00	11:13:58	16:10:00	和田倉門交差点	千代田区丸の内1-2

〈タイム算出方法の説明〉

- 1) 車いす先頭は2016 大会記録を、ランナー先頭は2017 大会記録をオープンペースにして算出。
- 2) 車いす最後尾は制限時間(2 時間10 分)をオープンペースに。
- 3) ランナー最後尾はスタート20 分後(9:30)にスタートラインを通過し、各関門間を関門閉鎖時刻を元にオープンペースに。

コース高低差

》 COURSE & OPERATIONS 》

Course Elevation

公認の条件 ①スタートとフィニッシュの2点間の直線距離は、そのレースの全距離の50%以下とする。
②スタートとフィニッシュの2点間標高の減少は、1000分の1kmを超えない。

Location	Nearest Address	距離 Distance(km)	標高 Elevation	高低差 (m)
Tokyo Metropolitan Gov. Bldg. No.1	Shinjuku-ku Nishi-shinjuku 2-8-1	0.0	40.2	0.0
The crossing of Shinjuku daigaado WEST	Shinjuku-ku Nishi-shinjuku 1-3-1	1.0	33.5	6.7
Shinjuku Yawaragi Bldg.	Shinjuku-ku Shinjuku 5-6-1	2.0	32.3	7.9
Niigata Ramen Kobayashi	Shinjuku-ku Sumiyoshicho 3-2	3.0	19.5	20.7
Bus stop at 「Bōei-shō mae」 Ministry of Defense	Shinjuku-ku Ichigayahommuracho 5-1	4.0	13.7	26.5
Kagura Bldg.	Shinjuku-ku Ichigayatamachi 3-12	5.0	10.2	30.0
Hakuyosha	Chiyoda-ku Iidabashi 4-8-14	6.0	4.4	35.8
Senshu University	Chiyoda-ku Kandajimbocho 3-12	7.0	3.3	36.9
Seven-Eleven Kandaogawamachi 2-chome	Chiyoda-ku Kandaogawamachi 2-2-8	8.0	5.4	34.8
SEC	Chiyoda-ku Kajicho 2-3-3	9.0	4.5	35.7
COREDO Nihonbashi	Chuo-ku Nihombashi 1-4-1	10.0	3.9	36.3
Icho Hachimangu	Chuo-ku Nihombashikakigaracho 1-7-7	11.0	2.1	38.1
TOYOTA MOBILITY SHOW ROOM	Chuo-ku Nihombashihamacho 2-12-4	12.0	2.2	38.0
「Sasaya fruit」	Taito-ku Asakusabashi 1-9-11	13.0	3.8	36.4
The crossing of Umayabashi 「Seven-Eleven」	Taito-ku Kuramae 3-13-12	14.0	3.7	36.5
ALMEX Bldg.	Taito-ku Kaminarimon 2-19-17	15.0	3.6	36.6
IWAKANE Bldg.	Taito-ku Kuramae 2-4-5	16.0	3.0	37.2
Takeyama Shikousyo	Sumidaku-Ishiwara 1-14-2	17.0	0.7	39.5
The crossing of Chtose 3-chome	Sumidaku-Tatekawa 1-3	18.0	1.0	39.2
Toyota process kougeisya	Koto-ku Shirakawa 1-1-4	19.0	0.6	39.6
Seven-Eleven Koto Monzennakacho	Koto-ku Monzennakacho 2-6-1	20.0	0.6	39.6
Turning point of Tomioka Hachimangu (Ishii no Amaguri)	Koto-ku Tomioka 1-22-27	20.504	0.1	40.1
Monzennakacyo Police box	Koto-ku Monzennakacho 1-7	21.0	0.6	39.6
Halfway Point (LOCO)	Koto-ku Monzennakacho 1-13-9	21.0975	0.6	39.6
Bus stop at Kiyosumi Koenmae	Koto-ku Kiyosumi 3-3-16	22.0	0.7	39.5
Tonkatsuya BUTAN	Sumida-ku Chitose 3-5-9	23.0	1.1	39.1
The crossing of Yokoamicho Koenmae	Sumida-ku Yokoami 2-3	24.0	0.5	39.7
ALTIS Asakusabashi	Taito-ku Kuramae 1-5-5	25.0	2.4	37.8
IKEGAMI BLDG	Chuo-ku Higashinihombashi 2-2-2	26.0	2.9	37.3
Eifukuya Bldg.	Chuo-ku Nihombashikakigaracho 2-14-3	27.0	1.8	38.4
NAITO Securities	Chuo-ku Nihombashikabutocho 13-2	28.0	2.4	37.8
PARAMOUNT BED	Chuo-ku Kyobashi 1-6-1	29.0	4.0	36.2
Ginza Chuou Bldg.	Chuo-ku Ginza 4-3	30.0	3.9	36.3
NTT Communication	Chiyoda-ku Uchisaiwaicho 1-1-6	31.0	2.8	37.4
Hamagomu Bldg.	Minato-ku Shimbashi 5-36	32.0	3.9	36.3
The crossing of Shiba Park Ground	Minato-ku Shibakoen 2-7	33.0	3.4	36.8
Cozy Corner Tamachi	Minato-ku Shiba 5-34-6	34.0	3.9	36.3
NPC Sengakuji Parking 2	Minato-ku Takanawa 2-17-11	35.0	3.9	36.3
Turning point of Takanawa	Minato-ku Takanawa 3-24-18	35.781	4.9	35.3
Bus stop at 「Takanawakitamachi」	Minato-ku Takanawa 2-13-8	36.0	4.1	36.1
Mita Hachiman Bldg.	Minato-ku Mita 3-7	37.0	5.1	35.1
NEC	Minato-ku Shiba 5-7-1	38.0	3.4	36.8
Le Pain Quotidien	Minato-ku Shibakoen 3-3	39.0	3.8	36.4
CJ Building	Minato-ku Nishishimbashi 2-7-4	40.0	3.6	36.6
The crossing of Hibiya (In front of Police Box)	Chiyoda-ku Hibiyaen 1	41.0	2.1	38.1
Yusen Building	Chiyoda-ku Marunouchi 2-3-2	42.0	3.0	37.2
The crossing of Wadakura-mon Gate	Chiyoda-ku Marunouchi 1-2	42.195	3.0	37.2

ペース早見表

》 COURSE & OPERATIONS 《

Pace Guide

マラソン Marathon

1 km	5 km	10km	15km	20km	Half 21.0975km	25km	30km	35km	40km	Marathon 42.195km
2:50	14:10	28:20	42:30	56:40	59:47	1:10:50	1:25:00	1:39:10	1:53:20	1:59:33
2:51	14:15	28:30	42:45	57:00	1:00:08	1:11:15	1:25:30	1:39:45	1:54:00	2:00:15
2:52	14:20	28:40	43:00	57:20	1:00:29	1:11:40	1:26:00	1:40:20	1:54:40	2:00:58
2:53	14:25	28:50	43:15	57:40	1:00:50	1:12:05	1:26:30	1:40:55	1:55:20	2:01:40
2:54	14:30	29:00	43:30	58:00	1:01:11	1:12:30	1:27:00	1:41:30	1:56:00	2:02:22
2:55	14:35	29:10	43:45	58:20	1:01:32	1:12:55	1:27:30	1:42:05	1:56:40	2:03:04
2:56	14:40	29:20	44:00	58:40	1:01:53	1:13:20	1:28:00	1:42:40	1:57:20	2:03:46
2:57	14:45	29:30	44:15	59:00	1:02:14	1:13:45	1:28:30	1:43:15	1:58:00	2:04:29
2:58	14:50	29:40	44:30	59:20	1:02:35	1:14:10	1:29:00	1:43:50	1:58:40	2:05:11
2:59	14:55	29:50	44:45	59:40	1:02:56	1:14:35	1:29:30	1:44:25	1:59:20	2:05:53
3:00	15:00	30:00	45:00	1:00:00	1:03:18	1:15:00	1:30:00	1:45:00	2:00:00	2:06:35
3:01	15:05	30:10	45:15	1:00:20	1:03:39	1:15:25	1:30:30	1:45:35	2:00:40	2:07:17
3:02	15:10	30:20	45:30	1:00:40	1:04:00	1:15:50	1:31:00	1:46:10	2:01:20	2:07:59
3:03	15:15	30:30	45:45	1:01:00	1:04:21	1:16:15	1:31:30	1:46:45	2:02:00	2:08:42
3:04	15:20	30:40	46:00	1:01:20	1:04:42	1:16:40	1:32:00	1:47:20	2:02:40	2:09:24
3:05	15:25	30:50	46:15	1:01:40	1:05:03	1:17:05	1:32:30	1:47:55	2:03:20	2:10:06
3:06	15:30	31:00	46:30	1:02:00	1:05:24	1:17:30	1:33:00	1:48:30	2:04:00	2:10:48
3:07	15:35	31:10	46:45	1:02:20	1:05:45	1:17:55	1:33:30	1:49:05	2:04:40	2:11:30
3:08	15:40	31:20	47:00	1:02:40	1:06:06	1:18:20	1:34:00	1:49:40	2:05:20	2:12:13
3:09	15:45	31:30	47:15	1:03:00	1:06:27	1:18:45	1:34:30	1:50:15	2:06:00	2:12:55
3:10	15:50	31:40	47:30	1:03:20	1:06:49	1:19:10	1:35:00	1:50:50	2:06:40	2:13:37
3:15	16:15	32:30	48:45	1:05:00	1:08:34	1:21:15	1:37:30	1:53:45	2:10:00	2:17:08
3:20	16:40	33:20	50:00	1:06:40	1:10:20	1:23:20	1:40:00	1:56:40	2:13:20	2:20:39
3:25	17:05	34:10	51:15	1:08:20	1:12:05	1:25:25	1:42:30	1:59:35	2:16:40	2:24:10
3:30	17:30	35:00	52:30	1:10:00	1:13:50	1:27:30	1:45:00	2:02:30	2:20:00	2:27:41
3:35	17:55	35:50	53:45	1:11:40	1:15:36	1:29:35	1:47:30	2:05:25	2:23:20	2:31:12
3:40	18:20	36:40	55:00	1:13:20	1:17:21	1:31:40	1:50:00	2:08:20	2:26:40	2:34:43
3:45	18:45	37:30	56:15	1:15:00	1:19:07	1:33:45	1:52:30	2:11:15	2:30:00	2:38:14
3:50	19:10	38:20	57:30	1:16:40	1:20:52	1:35:50	1:55:00	2:14:10	2:33:20	2:41:45

●2:02:57

○2:05:50

▲2:15:25

△2:19:12

車いすマラソン Wheelchair Marathon

1 km	5 km	10km	15km	20km	Half 21.0975km	25km	30km	35km	40km	Marathon 42.195km
1:50	9:10	18:20	27:30	36:40	38:41	45:50	55:00	1:04:10	1:13:20	1:17:21
1:51	9:15	18:30	27:45	37:00	39:02	46:15	55:30	1:04:45	1:14:00	1:18:04
1:52	9:20	18:40	28:00	37:20	39:23	46:40	56:00	1:05:20	1:14:40	1:18:46
1:53	9:25	18:50	28:15	37:40	39:44	47:05	56:30	1:05:55	1:15:20	1:19:28
1:54	9:30	19:00	28:30	38:00	40:05	47:30	57:00	1:06:30	1:16:00	1:20:10
1:55	9:35	19:10	28:45	38:20	40:26	47:55	57:30	1:07:05	1:16:40	1:20:52
2:00	10:00	20:00	30:00	40:00	42:12	50:00	1:00:00	1:10:00	1:20:00	1:24:23
2:05	10:25	20:50	31:15	41:40	43:57	52:05	1:02:30	1:12:55	1:23:20	1:27:54
2:10	10:50	21:40	32:30	43:20	45:43	54:10	1:05:00	1:15:50	1:26:40	1:31:25
2:15	11:15	22:30	33:45	45:00	47:28	56:15	1:07:30	1:18:45	1:30:00	1:34:56
2:20	11:40	23:20	35:00	46:40	49:14	58:20	1:10:00	1:21:40	1:33:20	1:38:27
2:25	12:05	24:10	36:15	48:20	50:59	1:00:25	1:12:30	1:24:35	1:36:40	1:41:58
2:30	12:30	25:00	37:30	50:00	52:45	1:02:30	1:15:00	1:27:30	1:40:00	1:45:29
2:35	12:55	25:50	38:45	51:40	54:30	1:04:35	1:17:30	1:30:25	1:43:20	1:49:00
2:40	13:20	26:40	40:00	53:20	56:16	1:06:40	1:20:00	1:33:20	1:46:40	1:52:31
2:45	13:45	27:30	41:15	55:00	58:01	1:08:45	1:22:30	1:36:15	1:50:00	1:56:02

●男子世界記録ペース Men's World Record
▲女子世界記録ペース Women's World Record

○男子日本記録ペース Men's Japanese National Record
△女子日本記録ペース Women's Japanese National Record

収容関門

》 COURSE & OPERATIONS 》

Cut-Off Checkpoints

- 交通・警備、競技運営上、下記の地点で収容関門閉鎖を行います。収容関門閉鎖後は競技を続けることはできません。閉鎖時刻後、コース上に残っている参加者は審判員の指示に従って、次の収容関門地点で収容バスに乗車するか、最後尾の収容バスに乗車します。
- 閉鎖時刻前でも、審判員が明らかに閉鎖時刻までに到達できないと判断した場合は、競技中止を指示することがあります。
- Due to traffic and security restrictions as well as operational reasons, race course will close at the following points listed below.
Running will not be allowed after the checkpoint has closed. Participants on the course after closing will be required to follow the instructions of race judges and move promptly to sidewalks to board either a sweep bus at the next checkpoint or the final sweep bus behind the very last runner.
- Runners who are still on the race course, but are not likely to finish before the allotted time, may be ordered to stop by the race judges even before the designated time limit.

収容関門 Checkpoint	場所 Location	マラソン閉鎖時刻 Cut-off time for Marathon	車いす閉鎖時刻 Cut-off time for Wheelchair marathon
5.6km	飯田橋セントラルプラザ前 In front of Iidabashi Central Plaza bldg	10:30 (1hr 20min)*	9:25 (20min)
9.9km	日本橋南詰 Nihombashi Minamizume	11:00 (1hr 50min)	9:40 (35min)
14.6km	駒形橋西詰交差点 The crossing of Komagatabashi Nishizume	11:40 (2hrs 30min)	9:50 (45min)
19.7km	深川一丁目交差点 The crossing of Fukagawa 1-chome	12:30 (3hrs 20min)	—
25.7km	浅草橋交差点 The crossing of Asakusabashi	13:20 (4hrs 10min)	—
30.1km	数寄屋橋交差点 The crossing of Sukiyabashi	13:55 (4hrs 45min)	10:40 (1hr 35min)
34.2km	札ノ辻交差点 The crossing of Fudanotsuji	14:35 (5hrs 25min)	—
39.8km	新橋四丁目交差点 The crossing of Shimbashi 4-chome	15:45 (6hrs 35min)	11:05 (2hrs)

※ 閉鎖時刻の（ ）内はスタートからの経過時間 / Time in parentheses is lap time from start.

競技途中で棄権する場合

収容関門以外で途中棄権する場合は、コース上の「審判員（グレーのスタッフウェア）」に途中棄権することを申告します。

- ① 直近の収容関門まで行き、収容バスに乗車します。
- ② 最後尾の収容バスに乗車します。
スタートの際に預けた手荷物は、フィニッシュ会場
で受け取れます。

In case of retiring the race

If retiring at points other than the above checkpoints, please report to the judge (grey jacket staff) and choose either of the following two alternatives to proceed.

- ① Go to the nearest checkpoint and board the sweep bus.
- ② Board the sweep bus behind the last runner.

Upon arrival at the finish line location, pick up your belongings checked at the start line.

医療救護体制

COURSE & OPERATIONS

Medical Aid

東京マラソンでは、世界一安全なマラソン大会を目指し、出場されるランナーはもちろん、沿道で応援される方や大会に関わる医療専門ボランティア、スタッフの安全・安心を第一に考えた体制作りを行っています。

The Tokyo Marathon is committed to organize the safest marathon in the world, not only for the participants but as well as for spectators, staffs, and volunteers.

医療救護体制と AED の配備

東京マラソン医療救護スタッフは、医師・看護師・救急救命士・トレーナー・医療専門ボランティアで構成され、それぞれが救護所・救護車・モバイル隊・BLS隊・ランドクターの役割に分かれて活動します。また、コース上にはAEDを配備しています。

AED Deployment

In Tokyo Marathon, the Tokyo Marathon medical aid staff consist of medical doctors, nurses, paramedics, trainers, and medical volunteers. They fulfill their respective duties within the assigned teams as follows: aid station, medical vehicle, Run Doctors, bike teams, and BLS team. AED are stations as follows:

役割	AEDの台数	概要
救護所・医務室	25台	スタートからフィニッシュまでコース全域に、前半は約5kmごと、後半は約2kmごとに計25カ所の救護所・医務室があります。救護所には医師、看護師、トレーナーが常駐しており、ランナーへの応急処置を行います。また、救急車や救護車も待機しています。
BLS隊	40台	コース沿道には約1kmごとに40隊がAEDやその他の応急手当が可能な資器材を持ち、待機しています。BLS隊は配置された場所の近くで傷病者が発生した場合に、すぐに駆け付け、医師などの医療スタッフや、救急車が到着するまでの間、応急手当を行います。
BLSサポート隊	34台	救護所とBLS隊の間約500m付近を最低2人以上1組の34隊でサポートします。
モバイル隊	24台	救急救命士が2人1組となり、コース上を24隊に分かれて、マウンテンバイク(自転車)に乗り、AEDやバッグバルブマスク、バイタルサイン測定機等、応急処置を行うための資器材を持ち、巡回します。緊急事態の際はいち早く駆け付け、心肺蘇生法や応急処置を行います。
ランドクター	AEDは持たない	医師が一定の間隔とペースで走りながら、ランナーの突発事故に対して、周囲の医療スタッフと協力して救命処置を行います。

医療救護に関する数字の詳細 → P14

AED: 自動体外式除細動器
BLS: 一次救命処置

Functions	Number of AEDs	General Outline
Medical Stations	25	For every 5km in the first half of the race, and for every 2-3km in the second half of the course, there are total of 25 medical and first aid station available to provide first - aid treatment.
BLS Teams	40	Along the course, there are total 40 teams (every 1km) on standby with AEDs and other emergency first aid equipment. In case of illness or injury, the BLS Team will provide aid until the arrival of the medical staff and/or ambulance.
BLS Support Teams	34	34 teams of at least 2 people are on patrol, covering the locations between medical stations and BLS teams (about 500m in distance)
AED Bike Teams	24	24 teams, consisting of two paramedics, are on patrol on bikes with AED and other first aid medical equipment, such as bag valve mask and vital sign indicators. In case of emergency, the staff will come to the scene immediately to provide first aid and CPR (cardio-pulmonary resuscitation).
Running Doctor	No AED	In case of emergency, the Run Doctors will work together with the medical staff to provide first aid. They will run in certain pace with set distance in between along the course.

For details → P15

AED: Automated External Defibrillator
BLS: Basic Life Support

東京マラソンメディカル情報

トレーニング 情報	スポーツ 栄養情報	体調管理・ 医療情報	アンチ・ ドーピング情報	救急救命 情報
--------------	--------------	---------------	-----------------	------------



www.marathon.tokyo/about/medical/



東京マラソンでは、大会に参加するランナー・ボランティア・応援する皆さんなど多くの方々に警備対策のご理解・ご協力を呼びかけ、「SAFE&SECURE」と称し、誰もが安心して参加できる『世界一安全・安心なマラソン大会』を目指した運営に努めています。皆様のご協力をお願いします。

The Tokyo Marathon asks for the cooperation of our runners, volunteers and spectators in understanding and supporting our security measures. We have titled our safety enhancement project "SAFE&SECURE" and is striving to ensure that the marathon is the safest marathon in the world and the one which everyone can feel secure taking part in.

未然防止に向けた広報・意識啓発 PR and awareness-raising aimed at security incident prevention

ランナーとボランティアへ「安全・安心な大会」へ導いていただく活動へのご協力をお願いし、セキュリティリストバンドの配布・着用や大会ウェブサイトなどによる未然防止啓発活動を行います。

The Tokyo Marathon is requesting that the Tokyo Marathon runners and volunteers cooperate in activities aimed at ensuring the marathon is a safe and secure one. Activities will include the wearing of wristbands and awareness-raising via the official website.



【ランナー用セキュリティリストバンド】 Security wristband for Participating runners

警備・安全面での取組み Security enhancement measures

(1) 監視体制の強化

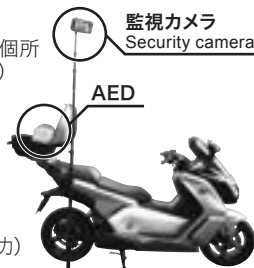
- ・監視カメラを増設 (2018大会:133台→2019大会:140台)
- ・ウェアラブルカメラ携帯警備員の配置数の増加

(2) 車両突入対策の強化

- ・車両突入防止機材の設置個所の拡大(新宿、浅草エリア)

(3) 危機対応バイクの配備(新規)

- ・緊急時に迅速に対応を行う監視カメラ、AED、拡声器を搭載した危機対応バイクを配備 (BMW・セコム・日本光電 協力)



(4) 刺又型案内看板の設置(新規)

- ・平常時は看板、緊急時には刺又として使用 (スタート、フィニッシュエリアに設置)

(5) 東京マラソン EXPO 2019 のランナー受付でランナー全員の顔写真撮影・登録

- ・不正出走防止などの安全対策に活用

(1) Reinforcing the surveillance system

- ・Increased installation of security cameras (2018 – 133 cameras → 2019 – 140 cameras)
- ・Increase in number of securities with wearable camera.

(2) Measures against intruding vehicles

- ・Increase in number of equipment against intruding vehicles (Shinjuku and Asakusa areas).

(3) Motorcycle Response Unit (New)

- ・Motorcycles equipped with security camera, AED and megaphone are readily available to respond in case of emergency (supported by BMW, SECOM and NIHON KOHDEN).

(4) Signage equipped with self-defense tool *Sasumata* (New)

- ・In case of emergency, a signage with U-shaped pole can be used to detain potential threat (equipped in Start and Finish Areas).

(5) Taking and registering face photos of all runners upon Bib pick-up at the Tokyo Marathon EXPO 2019

- ・Utilizing the registered information for security measures like preventing falsifying entries and so forth.

危機管理講習会 Crisis Management Seminar

2019年1月29日(火)危機管理の専門家を講師に招き VOLUNTAINER 会員を対象とした大会ボランティア活動時の留意点などを習得することを目的に危機管理講習会を実施。

We hosted crisis management seminar with crisis management specialist as a guest on Tuesday, January 29, 2019 for VOLUNTAINER members to obtain important knowledge to better prepare for the unexpected within their duty.

MEMO

COURSE & OPERATIONS

TOKYO
MARATHON
2019



関連イベント / Related Events



2月1日(金)～3月6日(水)

コース沿道の商店街、協力施設ではコラボレーションイベントや様々な特典で歓迎します。また、大会前日には東京マラソンに出場する海外のランナー、その応援者を対象としたパレードを行います。

www.marathon.tokyo/events/week/

February 1 - March 6

Roadside arcades and support facilities along the course, will be collaborating to provide a healthy welcome with broad range of events and attractions. On the day before the race day (Saturday, March 2, 2019), the overseas runners who participate in Tokyo Marathon 2019, as well as their supporters, parade through the Marunouchi Naka-dori.

www.marathon.tokyo/en/events/week/



2月28日(木) 3月1日(金) 3月2日(土)

11:00-21:00 (ランナー受付は20:30まで)

最終日は20:00まで (ランナー受付は19:30まで)

お台場特設会場

(お台場青海地区NOP区画: 東京都江東区青海1-1-17)

www.marathon.tokyo/events/expo/

February 28 - March 1 11:00 a.m.-9:00 p.m.

(Runner registration closes at 8:30 p.m.)

March 2 11:00 a.m.-8:00 p.m. (Runner registration closes at 7:30 p.m.)

Odaiba-Aomi Event Area (N,O,P) (1-1-17, Aomi, Koto-ku, Tokyo)

www.marathon.tokyo/en/events/expo/



3月2日(土) 9:50 - 10:45

臨海副都心シンボルプロムナード公園

www.marathon.tokyo/events/familyrun/

March 2 9:50 a.m.-10:45 a.m.

Symbol Promenade Park

www.marathon.tokyo/en/events/familyrun/



3月2日(土) 11:00 - 12:00

臨海副都心シンボルプロムナード公園

www.marathon.tokyo/events/friendshiprun/

March 2 11:00 a.m.-12:00 p.m.

Symbol Promenade Park

www.marathon.tokyo/en/events/friendshiprun/



東京都ランナー応援イベント2019

マラソン祭り

3月3日(日)

マラソン祭りのメイン会場は都立芝公園、

その他のイベント会場はコース沿道。

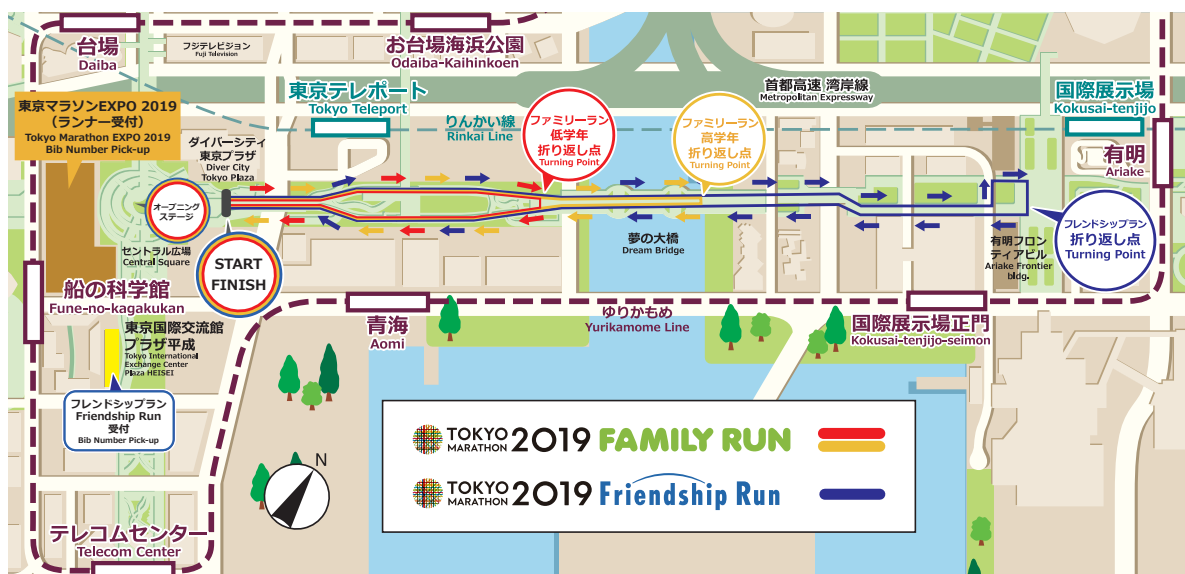
www.tokyo42195festa.tokyo

March 3

The main venue of MARATHON FESTA is Tokyo Metropolitan Shiba Park, and other venues are located along the course.

www.tokyo42195festa.tokyo

ファミリーラン & フレンドシップラン コースマップ Family Run & Friendship Run Course Map



RELATED EVENTS

関連イベント

東京マラソンEXPO 2019 Tokyo Marathon EXPO 2019	132
東京マラソンファミリーラン2019 Tokyo Marathon Family Run 2019	135
東京マラソンフレンドシップラン2019 Tokyo Marathon Friendship Run 2019	135
東京都 ランナー応援イベント2019 マラソン祭り MARATHON FESTA 2019	136

東京マラソンEXPO 2019

》RELATED EVENTS《

TOKYO MARATHON



毎年100社を超す出展社と10万人以上が来場する東京マラソンEXPOは「日本最大級のランニングトレードショー」

ランニングの最新ギアやアイテム、ヘルスケア商品、スポーツウエアなど様々なトレンドアイテムをその場で体験でき、年齢、性別、国籍に関係なく何方でも楽しめるイベントです。

With over 100 exhibitors and the visitor count of more than 100,000 people each year, the Tokyo Marathon EXPO is Japan's largest running trade show.

Men and women of all ages and nationalities can experience the cutting edge running gear, health merchandises sportswear and other popular products.

東京マラソンEXPO 2019の開催会場はお台場の屋外特設会場。

初めて“オープンスペース”での開催となる今回のEXPOは、ランナーやランニングファンだけではなく、ファミリー層や若者、お台場に訪れる国内外の観光客などのこれまで以上に、幅広い層の来場が期待されます。

The Tokyo Marathon EXPO 2019 will take place outdoors at Odaiba's Special event area.

This year will mark the first time the EXPO will be held in an open space, and we look forward to extending a warm welcome to everyone from professional and casual runners to families, children, teens, and travelers of both domestic and international origin who have made their way over to Odaiba.

会場：お台場特設会場(お台場青海地区NOP区画)

入場無料 2019年2月28日(木)～3月2日(土)

主催：一般財団法人 東京マラソン財団

開催時間 11:00から21:00まで(ランナー受付は20:30まで)

最終日は 20:00 まで(ランナー受付は 19:30 まで)

Odaiba-Aomi Event Area (N,O,P)

admission free Thursday, February 28; Friday, March 1; and Saturday, March 2, 2019

Organizer: Tokyo Marathon Foundation

February 28 and March 1: From 11a.m. - 9p.m. (Runner registration closes at 8:30 p.m.)

March 2: From 11a.m. - 8p.m. (Runner registration closes at 7:30p.m.)

出展ブース案内図 Exhibitor Guide

■プレスツアー <<2月28日(木) 9:15～ ※受付は9:00～>>

『プレスツアー』として、開催初日にメディア向けにEXPO会場内をご案内します。

■オープニング <<2月28日(木) 10:45～>>

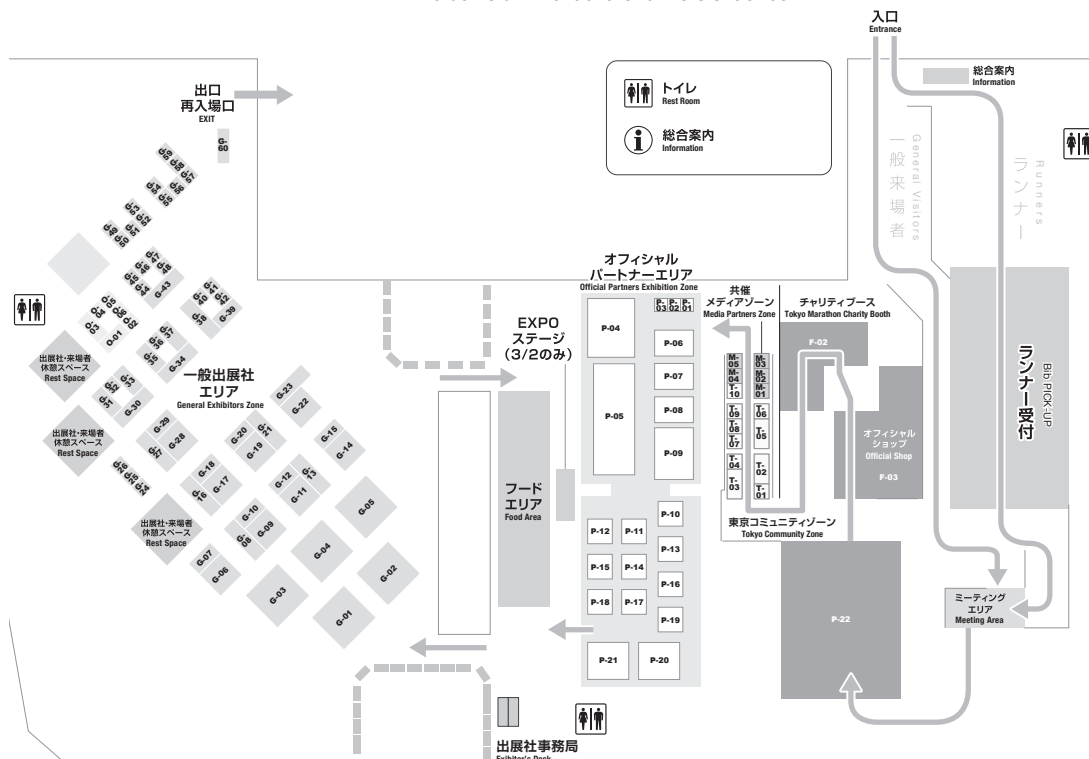
ランナー受付入口前にて EXPO のオープニングを行います。

■Media Tour Feb. 28 (Thu.) Reception 9:00 a.m., Tour 9:15 a.m.

The Media Tour is exclusively for the media prior to the opening of the EXPO.

■EXPO Opening Ceremony Feb. 28 (Thu.) 10:45 a.m.

To be held in front of the runners entrance.



オフィシャルパートナー出展社ゾーン / Official Partners Exhibitors

ブース番号	日本語	英語
P-05	東京メトロ	Tokyo Metro
P-04	スタート	starts
P-21	山崎製パン株式会社	Yamazaki Baking Co., Ltd.
P-22	アシックスジャパン株式会社	ASICS Japan Corporation
P-09	大塚製薬株式会社	Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.
P-20	ビー・エム・ダブリュー株式会社	BMW GROUP Japan
P-08	近畿日本ツーリスト	KINTETSU INTERNATIONAL
P-06	第一生命保険株式会社	The Dai-ichi Life Insurance Company, Limited
P-07	セイコーホールディングス株式会社	SEIKO HOLDINGS CORPORATION
P-11	セコム株式会社	SECOM CO.,LTD
P-10	アサヒビール株式会社	ASAHI BREWERIES,LTD.
P-13	アメリカン・エクスプレス・インターナショナル	American Express International, Inc.
P-16	全日本空輸株式会社	ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD.
P-18	オールスポーツコミュニティ	ALL SPORTS community
P-17	久光製薬株式会社	Hisamitsu Pharmaceutical Co., Inc.
P-14	大和証券グループ	Daiwa Securities Group
P-12	資生堂ジャパン株式会社	SHISEIDO JAPAN CO,LTD
P-19	株式会社バンダイナムコエンターテインメント	BANDAI NAMCO Entertainment Inc.
P-15	Hulu (フールー)	Hulu
P-03	日本光電	NIHON KOHDEN
P-01	国士舘大学	Kokushikan University
P-02	首都高速道路株式会社	Metropolitan Expressway Company Limited

一般出展社ゾーン / General Exhibitors Zone

ブース番号	日本語	英語
G-01	ザムスト・カスタムバランス (日本シグマックス株式会社)	ZAMST & CustomBalance (NIPPON SIGMAX Co.,Ltd.)
G-02	ファイトン株式会社	Phiten Co., Ltd.
G-03	On	On
G-04	RxL	RxL
G-05	ハーマンインターナショナル株式会社	Harman International Japan Co Ltd
G-06	(株) アルペン スポーツデポ	SPORTS DEPO
G-07	味の素(株)「アミノバイタル」	AJINOMOTO CO.,INC. AMINOVITAL
G-08	パウアーファインド (パシフィックサプライ株式会社)	BAUERFEIND AG (Pacific Supply CO.,LTD)
G-09	Saucony Japan	Saucony Japan
G-10	Tokyo Tokyo (東京都)	Tokyo Tokyo (Tokyo Metropolitan Government)
G-11	興和株式会社	KOWA COMPANY,LTD.
G-12	ATHLETE Q10	ATHLETE Q10
G-13	有限会社パワースポーツ	POWERSPORTS INC
G-14	アルコインターナショナル株式会社	ALCO INTERNATIONAL LTD.
G-15	株式会社プロティア・ジャパン	PROTEA JAPAN CO.,LTD.
G-16	ポラール・エレクトロ・ジャパン株式会社	Polar Electro Japan Co., Ltd.
G-17	タビオ株式会社	TABIO Corporation
G-18	AMO CUSTOMS	AMO CUSTOMS
G-19	オムロン ヘルスケア株式会社	OMRON HEALTHCARE Co., Ltd.
G-20	アスタリアル株式会社	AstaReal Co., Ltd.
G-21	ワールドマスターズゲームズ 2021 関西	World Masters Games 2021 KANSAI
G-22	ガーミンジャパン株式会社	Garmin Japan Ltd.
G-23	(株) ジーオーエヌ / (株) エイチ・アイ・エス / 鈴鹿かまぼこ(株)	GON Co., Ltd. /H.I.S. Co.,Ltd. /Suzuhiro Co., Ltd.
G-24	大阪マラソン 2019	OSAKA MARATHON 2019
G-25	公益社団法人東京都不動産鑑定士協会	Tokyo Association of Real Estate Appraisers
G-26	会津磐梯山・猪苗代湖合宿の郷を創る協議会	The council to establish the best place of training camp around Mt. bandai lake inawashiro
G-27	株式会社コラントッテ	colantotte
G-28	ピップ株式会社	PIP CO., LTD.
G-29	L-BALANCE EYES (株式会社デューク)	L-BALANCE EYES DUKE Co.,Ltd.
G-30	KARHU	KARHU
G-31	株式会社ツインズ	TWINS CORPORATION
G-32	UKK インダストリー株式会社	UKK INDUSTRY CO.,LTD
G-33	山本光学株式会社	YAMAMOTO KOGAKU CO.,LTD.
G-34	住友生命 Vitality / goodr-running sunglasses	SUMITOMO LIFE VITALITY / GOODR-RUNNING SUNGLASSES

東京マラソンEXPO 2019

》RELATED EVENTS《

ブース番号	日本語	英語
G-35	スポーツジューエン	SPORTS ZYUEN
G-36	AfterShokz	AfterShokz
G-37	MEDIFOAM	MEDIFOAM
G-38	SUUNTO	SUUNTO
G-39	塩熱サプリ(ミドリ安全株式会社)	ENNETSU-SAPURI (MIDORI ANZEN CO., LTD.)
G-40	大正製薬	Taisho Pharmaceutical Co., Ltd.
G-41	ケンコー社	KENKOSYA
G-42	(株)朝日新聞出版	ASAHI Shimbun Publications Inc.
G-43	TELIC	TELIC
G-44	株式会社ナイガイ	NAIGAI Co.,Ltd.
G-45	アボットジャパン株式会社	Abbott Japan Co., Ltd.
G-46	生活協同組合コープみらい	CONSUMERS CO-OPERATIVE MIRAI
G-47	株式会社東黎トラスト	TOHREI TRUST,Inc
G-48	おかやまマラソン	OKAYAMA MARATHON
G-49	HELIO JAPAN	HELIO JAPAN INC.
G-50	協同乳業株式会社	Kyodo Milk Industry Co.,Ltd.
G-51	全国ご当地マラソン協議会	Japan national council of regional marathon-events
G-52	青梅マラソン大会	THE OHME 30&10km ROAD RACE
G-53	損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社	Sompo Japan Nipponkoa Himawari Life Insurance,Inc.
G-54	第9回神戸マラソン	KOBE MARATHON 2019
G-55	マガジンハウス Tarzan	MAGAZINE HOUSE, Ltd.
G-56	MEDALIST	MEDALIST
G-57	東京司法書士会	TOKYO SHIHO-SHOSHI LAWYER'S ASSOCIATION
G-58	FiNC	FiNC
G-59	井村屋株式会社	IMURAYA CO., LTD.
G-60	小林製薬株式会社	KOBAYASHI Pharmaceutical Co.,Ltd.

海外出展ゾーン / Overseas Exhibitors Zone

ブース番号	日本語	英語
O-01	タイ国政府観光庁	TOURISM AUTHORITY OF THAILAND
O-02	CanBe Inc.	CanBe Inc.
O-03	Valencia ciudad del running	Valencia ciudad del running
O-04	立正テクノロジー	LI-CHENG TECHNOLOGY Co.,Ltd
O-05	INKnBURN	INKnBURN
O-06		MINISTRY OF TOURISM, REPUBLIC OF INDONESIA

東京コミュニティゾーン / Tokyo Community Zone

ブース番号	日本語	英語
T-01	新宿区・新宿観光振興協会	Shinjuku City / Shinjuku Convention & Visitors Bureau
T-02	千代田区	Chiyoda City
T-03	東京観光情報センター	Tokyo Tourist Information Center
T-04	TEAM BEYOND -TOKYO パラスポーツプロジェクト-	TEAM BEYOND
T-05	一般社団法人中央区観光協会	Chuo City Tourism Association
T-06	港区・一般社団法人 港区観光協会	MINATO CITY / MINATO Travel & Tourism Association
T-07	台東区	Taito-City
T-08	墨田区	Sumida City
T-09	江東区	KOTO CITY
T-10	東京都行政書士会	Gyoseishoshi Lawyers of Tokyo

共催メディアゾーン / Media Partners Zone

ブース番号	日本語	英語
M-01	読売新聞社	The Yomiuri Shimbun
M-02	日テレジータス(日本テレビ)	NitteleG+
M-03	東北・みやぎ復興マラソン 2019 (フジテレビジョン/仙台放送)	TOHOKU-MIYAGI REVIVE MARATHON 2019 (Fuji Television Network,Inc./Sendai Television Incorporated)
M-04	産経新聞社	THE SANKEI SHIMBUN
M-05	東京新聞	THE TOKYO SHIMBUN

東京マラソン財団ゾーン / Tokyo Marathon Foundation Zone

ブース番号	日本語	英語
F-02	東京マラソン2019チャリティ	TOKYO MARATHON 2019 CHARITY
F-03	東京マラソン2019オフィシャルショップ	TOKYO MARATHON 2019 OFFICIAL SHOP
F-04	東京マラソンウィーク2019	TOKYO MARATHON WEEK 2019

東京マラソンファミリーラン2019 / 東京マラソンフレンドシップラン2019

▶ RELATED EVENTS ▶ Tokyo Marathon Family Run 2019 / Tokyo Marathon Friendship Run 2019

FAMILY RUN

TOKYO MARATHON 2019

親子で楽しめるファンランも。

小学生と保護者のペアが対象となるファンランイベントです。東京マラソンの前日に開催します。子どもたちに「走る喜び」や「東京がひとつになる日。」を体験してもらい、スポーツの素晴らしさを知ってもらう機会として位置付けています。

名 称: 東京マラソンファミリーラン2019
主 催: 一般財団法人東京マラソン財団
共 催: 一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会
後 援: 東京臨海副都心グループ
協 賛: 第一生命保険株式会社
種 目: ファンラン 低学年(1~3年生)約1.4km
高学年(4~6年生)約2.0km
※ファミリーランは記録計測をする競争(レース)ではありません

開催日時: 2019年3月2日(土)

8:15 更衣室・手荷物置場オープン
9:30 開会式(集合)
9:50 ファンランスタート
10:45 ファンラン終了
12:00 イベント終了

開催場所: 臨海副都心シンボルプロムナード公園

最 寄 駅: 東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート」駅
ゆりかもめ東京臨海新交通臨海線「台場」駅

コ ー ス: 臨海副都心シンボルプロムナード公園
特設ランニングコース

定 員: 1,000組 2,000人

参加対象者: 子供と大人のペア(1組: 保護者1人と小学生1人のペア)
※各学年とも30分以内で完走できるペア

参 加 料: 1組3,000円(税込)

申込方法: 東京マラソン2019公式ウェブサイトより登録

www.marathon.tokyo/events/familyrun/

(定員を超えた場合は抽選)

募集期間: 2018年12月6日(木)10時~

2019年1月11日(金)17時

Family Run for Both Children and Their Parents!

This is a Fun Run for elementary schoolers and their guardians held on the day before the Tokyo Marathon. We believe this is an ideal opportunity to show children how exciting sports can be by sharing the "joy of running" and experiencing "The Day We Unite".

Race Name: Tokyo Marathon Family Run 2019

Organizer: Tokyo Marathon Foundation

Co-Organizer: Tokyo Waterfront City Association

Supporting Organization: Tokyo Rinkai Fukutoshin Group

Presenting Partner: The Dai-ichi Life Insurance Company, Limited

Event: Fun Run (About 1.4km) *1st - 3rd Grader

(About 2.0km) *4th - 6th Grader

*This event will not be timed.

Date & Time: Saturday, March 2, 2019

8:15 am Changing area / baggage compartment open

9:30 am Opening ceremony

9:50 am Fun Run start

11:00 am Fun Run finish

12:00 pm Event close

Event Venue: Symbol Promenade Park

Station: Tokyo Teleport Station on Rinkai Line

Daiba Station on Yurikamome Line

Course: Special running course in Symbol Promenade Park

Maximum Number of Entrants: 1,000 pairs 2,000 persons

Eligibility: Parents and young children to take part together

(1 pair: a parent and an elementary school student)

Entry Fee: JPY 3,000

Entry Period: Thursday, December 6, 2018 10:00 am (JST) -

Friday, January 11, 2019 5:00 pm (JST)

Friendship Run

TOKYO MARATHON 2019

海外のランナーと交流できるファンランも。

海外からお越しのランナーへのおもてなしと交流を目的としたファンランイベントです。東京マラソンの前日、お台場にて開催します。湾岸エリアを走り、日本の伝統文化の観賞や日本人ランナーとボランティアとのふれあいを体感していただきます。

名 称: 東京マラソンフレンドシップラン2019
主 催: 一般財団法人東京マラソン財団
共 催: 一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会
後 援: 観光庁、東京臨海副都心グループ
協 賛: 近畿日本ツーリスト
種 目: ファンラン 約3.5km

※参加者へのおもてなし及びランナー同士の交流を目的としたランニングイベント。記録計測をする競争(レース)ではありません。

開催日時: 2019年3月2日(土)

9:30 受付開始
10:40 オープニングセレモニー
11:00 ファンランスタート
12:00 ファンラン終了
13:00 イベント終了

開催場所: 臨海副都心シンボルプロムナード公園

最 寄 駅: 東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート」駅
ゆりかもめ東京臨海新交通臨海線「船の科学館」駅

コ ー ス: 臨海副都心シンボルプロムナード公園
特設ランニングコース

定 員: 2,000人

参加対象者: 東京マラソン2019に出場予定の海外ランナー及びその同伴者のほか、国内外の一般申込者(ただし、6歳以上)

参 加 料: 3,000円(税込)

申込方法: 東京マラソン2019公式ウェブサイトより登録

www.marathon.tokyo/events/friendshiprun/

(先着順。定員になり次第受付終了)

募集期間: 2018年12月7日(金)10時~

2019年1月18日(金)17時

Meet Runners from All Over the World at the Friendship Run!

The aim of Fun Run is to extend a welcoming hand of hospitality to runners from abroad and provide chances for cultural exchange. This event is held in Odaiba on the day before the Tokyo Marathon. Participants run along the coastal area, taking in traditional Japanese culture and socializing with Japanese runners and volunteers.

Race Name: Tokyo Marathon Friendship Run 2019

Organizer: Tokyo Marathon Foundation

Co-Organizer: Tokyo Waterfront City Association

Supporting Organizations: Japan Tourism Agency, Tokyo Rinkai Fukutoshin Group

Presenting Partner: KINTETSU INTERNATIONAL

Event: Fun Run (About 3.5 km)

*This running event aims to provide the Japanese hospitality to runners

and to provide interactions between overseas and Japanese runners.

*This event will not be timed.

Date & Time: Saturday, March 2, 2019

9:30 am Bib Number Pick-up

10:40 am Opening ceremony

11:00 am Fun Run start

11:30 am Fun Run finish

1:00 pm Event close

Event Venue: Special running course in Symbol Promenade Park

Maximum Number of Entrants: 2,000 persons

Eligibility: Runners from overseas registered for Tokyo Marathon 2019 and their companions (friends and family), and general applicants from overseas and Japan

*6 years old and over

Entry Fee: JPY 3,000

www.marathon.tokyo/en/events/friendshiprun/

Entry Period: Friday, December 7, 2018 10:00 am (JST) - Friday, January 18, 2019 5:00 pm (JST)

東京都 ランナー応援イベント2019 マラソン祭り

RELATED EVENTS

主催：東京都
Organizer: TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT



東京都 ランナー応援イベント2019

MARATHON FESTA 2019

マラソン祭り 3.3 SUN

都会を疾走するランナーたちを沿道から応援！

Event for Cheering on the Runners

東京マラソン2019[2019年3月3日(日)]の開催に合わせ、
コース沿道やメイン会場では、熱気あふれるパフォーマンスや楽しい催しが盛りだくさん。
東京都 ランナー応援イベント2019 マラソン祭りで、頑張るランナーのみなさんを
一緒に応援しませんか？お近くの会場へ、ぜひ遊びにきてください。

The Tokyo Marathon will also feature exciting performances and fun events galore
along the marathon course and at the MARATHON FESTA Main Venue.
Why not join in the festivities of the MARATHON FESTA and cheer on the runners?
Please visit a venue near you!



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと
Tokyo Sports Promotion
Ambassador Yurito

新宿/飯田橋エリア

Shinjuku/Iidabashi Area

- 1 防衛省前
Ministry of Defense
- 2 東京区政会館前
Tokyo Kusei Kaikan Building
- 3 住友不動産九段ビル前
Sumitomo Fudosan Kudan Building
- 4 千代田ファーストビル西館前
Chiyoda First Building West Pavilion

神田/人形町エリア

Kanda/Ningyocho Area

- 5 岩波神保町ビル前
Iwanami Jimbocho Building
- 6 NBF小川町ビルディング前
NBF Ogawamachi Building
- 7 コレド日本橋前
COREDO Nihonbashi
- 8 中央区立茅場橋南児童遊園
Chuo-ku Kayababashi-Minami Children's Playground
- 9 ぺんてるビル前
Pentel Building
- 10 リガーレ日本橋人形町前
Legare Nihonbashi Ningyocho Building

浅草/両国/深川エリア

Asakusa/Ryogoku/Fukagawa Area

- 11 浅草雷門前
Asakusa Kaminarimon
- 12 江東区深川ふれあいセンター前
Koto-ku Fukagawa Fureai Center
- 13 富岡八幡宮前
Tomioka Hachiman Shrine
- 14 江東区立油堀川公園
Koto-ku Aburahorigawa Park
- 15 東京都江戸東京博物館前
Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum
- 16 第一ホテル両国前
Dai-ichi Hotel Ryogoku

日本橋/銀座エリア

Nihombashi/Ginza Area

- 17 トルナーレ日本橋浜町前
Tornare Nihombashi Hamacho Building
- 18 首都高兜町駐車場前
Metropolitan Expressway Kabutocho Parking Lot
- 19 東京日本橋タワー前
Tokyo Nihombashi Tower

芝/高輪/皇居エリア

Shiba/Takanawa/Imperial Palace Area

- 20 日比谷U-1ビル前
Hibiya U-1 Building
- 21 笹川記念会館前
Sasakawa Hall
- 22 住友不動産三田ツインビル西館前
Sumitomo Fudosan Mita Twin Building West Pavilion
- 23 港区立芝公園
Minato-ku Shiba Park
- 24 東京駅前・行幸通り(フィニッシュ)
Tokyo Station/Gyoko-dori Ave. (Finish)

祭りメイン会場 MARATHON FESTA Main Venue



都立芝公園

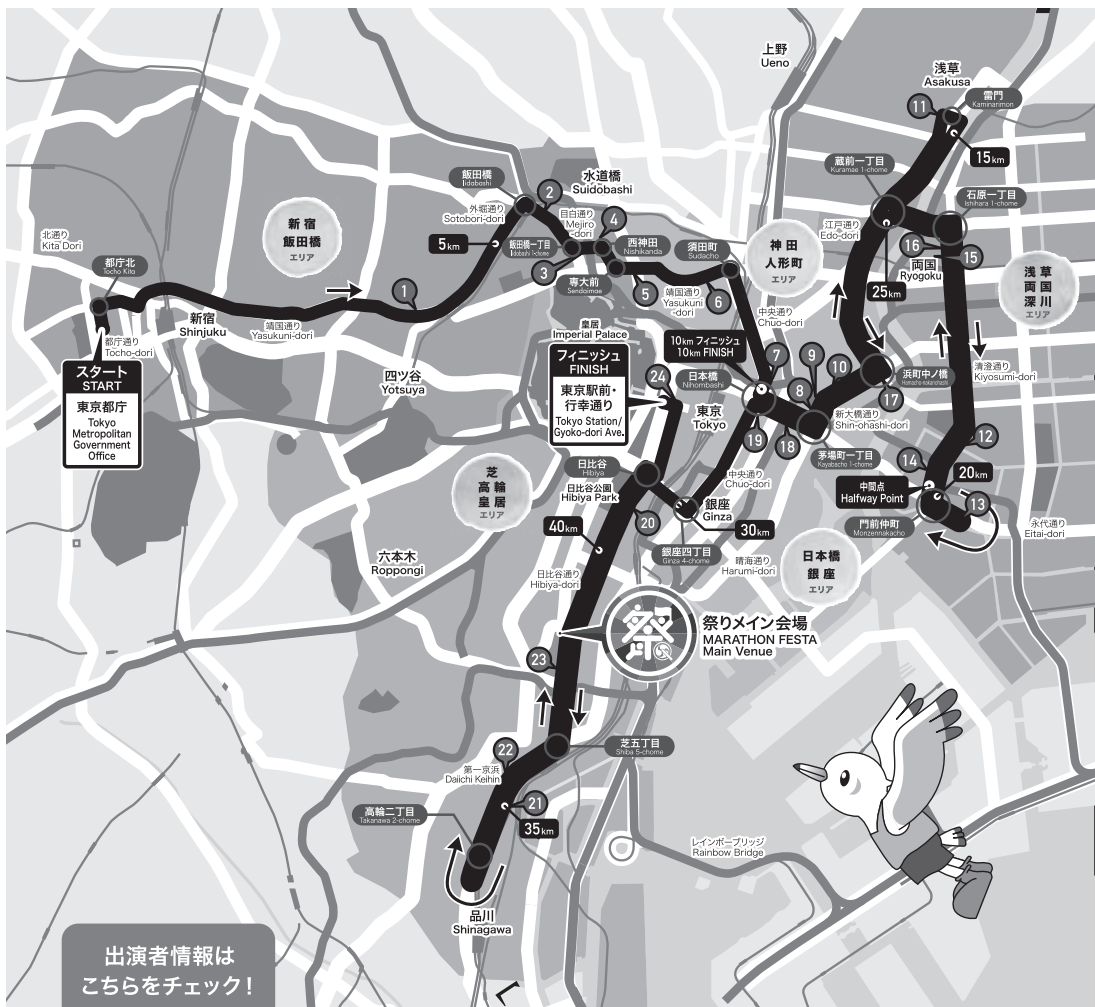
Tokyo Metropolitan Shiba Park

ステージイベントをはじめ、様々なスポーツ体験や郷土の味わいを楽しめるフードコーナーなど、盛りだくさんの内容をお届けします。

Please enjoy the many attractions, from stage performances to hands-on sports activities and food stalls serving delicacies from all around Japan.

※天候等によりイベントが中止または会場・内容・時間等が変更となる場合があります。

*The event program and schedule are subject to change or cancellation due to inclement weather or other factors.



出演者情報は
こちらをチェック!



Performance details



お問い合わせ先 | Inquiries

マラソン祭り事務局 MARATHON FESTA office 03-6865-1959 (in Japanese)

公式ウェブサイト | Official Website

<http://www.tokyo42195festa.tokyo> (in Japanese)

公式Facebook | Official Facebook Page

<https://www.facebook.com/tokyo42195festa>

マラソン祭り 検索

※交通規制が実施されます。詳しくは大会公式WEBサイトをご覧ください。 <https://www.marathon.tokyo/about/traffic/>

*Traffic restrictions will be in place along the course on marathon day. For information, please see the following website <https://www.marathon.tokyo/about/traffic/>

東京都 ランナー応援イベント2019 マラソン祭り

RELATED EVENTS

主催：東京都
Organizer: TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT

祭りメイン会場

MARATHON FESTA Main Venue

参加無料

Free of Charge



**マラソンを盛り上げる、
ステージ、グルメ、アクティビティ!
趣向を凝らしたブースが立ち並び
賑わいイベント!!**

Stage performances, gourmet, and activities to make the marathon even more fun!
An exciting event with many attractive booths!

都立芝公園

Tokyo Metropolitan Shiba Park

10:00

16:00



祭りステージ

Festa Stage

東京マラソンに参加経験のある
アスリートやタレントによるトークステージをはじめ、
アイドルによるミニライブ、祭り沿道会場レポートなど
マラソンを観ながら楽しめるステージコンテンツが
盛りだくさん!

Enjoy various stage performances while watching the marathon: Talks given by athletes and TV personalities who have participated in the Tokyo Marathon before, a mini live event by a girl group, reports from festa event venues along the course, and more!



ステージMC
Shirohiko



アンタチチャブル
Hidetoshi Shibata



追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro

追道会場
レポーター
Tomidokoro



出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa

出演ゲスト
Tomoko Ogawa



出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi

出演ゲスト
Jun Hiramichi



出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa

出演ゲスト
Mayu Yoshikawa



出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

出演ゲスト
UP4GIRLS SECOND

アクティビティ

Activities

子どもから大人まで楽しめる
様々なスポーツ体験プログラム!
参加者にはマラソン祭り
オリジナルグッズをプレゼント!

Hands-on sports program that can be enjoyed by children and adults. Participate and receive an original MARATHON FESTA gift.

スポーツクライミング体験
Sport Climbing



ボッチャ体験
Boccia



ラグビー体験
Rugby



©JRFU

※競技種目は変更になる場合がございます。 ※Sport events may be subject to change.

バラエティブース

Variety Booths

岩手県、宮城県、福島県、熊本県の特産品・名産品の販売をはじめ、マラソン祭りオリジナルグッズがもらえる“日本マラソンの父”金栗四三にまつわるクイズラリーなど、様々な楽しいブースが大集合!

Centering on booths selling local specialties of Iwate, Miyagi, Fukushima and Kumamoto prefectures, enjoy a wide variety of booths and also receive an original MARATHON FESTA gift by participating in a quiz rally about Shiso Kanakuri, Japan's father of marathon.



金栗四三
Shiso Kanakuri



※各会場のプログラムは天候・出演者の都合により、変更・中止・中断になる場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。 ※画像はイメージです。
※Please note that program contents and scheduled guests are subject to change and/or cancellation due to weather conditions or other factors. ※Sample image

お問合せ先 Inquiries マラソン祭り事務局/MARATHON FESTA office TEL:03-6865-1959 (in Japanese)
マラソン祭り公式サイト/Official Website www.tokyo42195festa.tokyo (in Japanese)

ランナー応援イベント会場アクセスマップ Event Venue Access Maps

<p>1 防衛省前 Ministry of Defense 新宿区山谷本町5-1 [最寄駅: 曙橋・市ヶ谷] 5-1 Ichigaya Honmuracho, Shinjuku-ku [Nearest station: Akebonobashi, Ichigaya]</p> <p>09:20 10:10</p>	<p>2 東京区政会館前 Tokyo Kusei Kaikan Building 千代田区飯田橋3-5-1 [最寄駅: 飯田橋] 3-5-1 Iidabashi, Chiyoda-ku [Nearest station: Iidabashi]</p> <p>09:30 10:30</p>	<p>3 住友不動産九段ビル前 Sumitomo Fudosan Kudan Building 千代田区九段北1-8-10 [最寄駅: 九段下] 1-8-10 Kudan-kita, Chiyoda-ku [Nearest station: Kudanshita]</p> <p>09:30 10:35</p>	<p>4 千代田ファーストビル西館前 Chiyoda First Building West Pavilion 千代田区西神田3-5-2 [最寄駅: 神保町・九段下] 3-5-2 Nishi-Kanda, Chiyoda-ku [Nearest station: Jimbocho, Kudanshita]</p> <p>09:30 10:35</p>
<p>5 岩波神保町ビル前 Iwanami Jimbocho Building 千代田区神田神保町2-1 [最寄駅: 神保町] 2-1 Kanda Jimbocho, Chiyoda-ku [Nearest station: Jimbocho]</p> <p>09:35 10:45</p>	<p>6 NBF小川町ビルディング前 NBF Ogawamachi Building 千代田区神田小川町1-3 [最寄駅: 小川町・浅路町] 1-3-1 Kanda Ogawamachi, Chiyoda-ku [Nearest station: Ogawamachi, Awajicho]</p> <p>09:35 10:50</p>	<p>7 コレド日本橋前 COREDO Nihonbashi 中央区日本橋1-4-1 [最寄駅: 日本橋] 1-4-1 Nihonbashi, Chuo-ku [Nearest station: Nihonbashi]</p> <p>09:40 11:00</p>	<p>8 中央区立茅場橋南児童遊園 Chuo-ku Kayabashi-Minami Children's Playground 中央区日本橋茅場町1-1-1 [最寄駅: 茅場町] 1-1-1 Nihonbashi Kayabacho, Chuo-ku [Nearest station: Kayabacho]</p> <p>10:00 11:05</p>
<p>9 ペンてるビル前 Pentel Building 中央区日本橋小町町7-2 [最寄駅: 茅場町・水天宮前] 7-2 Nihonbashi Koimachi, Chuo-ku [Nearest station: Koimachi, Suidogumae]</p> <p>09:40 11:05</p>	<p>10 リガレ日本橋人形町前 Legare Nihonbashi Ningyochi Building 中央区日本橋人形町1-12-11 [最寄駅: 人形町・水天宮前] 1-12-11 Nihonbashi Ningyochi, Chuo-ku [Nearest station: Ningyochi, Suidogumae]</p> <p>09:40 11:05</p>	<p>11 浅草雷門前 Asakusa Kaminarimon 台東区浅草1丁目 雷門交差点 [最寄駅: 浅草] 1-chome Asakusa, Taito-ku [Nearest station: Asakusa]</p> <p>09:30 11:40</p>	<p>12 江東区深川ふれあいセンター前 Koto-ku Fukagawa Fureai Center 江東区平野1-2-3 [最寄駅: 清澄白河] 1-2-3 Hirano, Koto-ku [Nearest station: Kiyosumi-shirakawa]</p> <p>10:10 12:25</p>
<p>13 富岡八幡宮前 Tomikiya Hachiman Shrine 江東区富岡1-20-3 [最寄駅: 門前仲町] 1-20-3 Tomikiya, Koto-ku [Nearest station: Monzen-nakacho]</p> <p>10:10 12:35</p>	<p>14 江東区立油堀川公園 Koto-ku Aburahorigawa Park 江東区門前仲町1-20-1 [最寄駅: 門前仲町] 1-20-1 Monzen-nakacho, Koto-ku [Nearest station: Monzen-nakacho]</p> <p>10:10 12:40</p>	<p>15 東京都江戸東京博物館前 Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum 墨田区横網1-4-1 [最寄駅: 両国] 1-4-1 Yokami, Sumida-ku [Nearest station: Ryogoku]</p> <p>10:20 13:05</p>	<p>16 第一ホテル両国前 Dai-ichi Hotel Ryogoku 墨田区横網1-6-1 [最寄駅: 両国] 1-6-1 Yokami, Sumida-ku [Nearest station: Ryogoku]</p> <p>10:20 13:05</p>
<p>17 トルナーレ日本橋浜町前 Tornare Nihonbashi Hamacho Building 中央区日本橋浜町3-3-1 [最寄駅: 水天宮前] 3-3-1 Nihonbashi Hamacho, Chuo-ku [Nearest station: Suidogumae]</p> <p>10:35 13:30</p>	<p>18 首都高児町駐車場前 Metropolitan Expressway Kabutocho Parking Lot 中央区日本橋兜町1番1号 [最寄駅: 日本橋・茅場町] 11 Nihonbashi Kabutocho, Chuo-ku [Nearest station: Nihonbashi, Kayabacho]</p> <p>10:50 13:35</p>	<p>19 東京日本橋タワー前 Tokyo Nihonbashi Tower 中央区日本橋2-7-1 [最寄駅: 日本橋] 2-7-1 Nihonbashi, Chuo-ku [Nearest station: Nihonbashi]</p> <p>10:35 13:40</p>	<p>20 日比谷U-1ビル前 Hibiya U-1 Building 千代田区内幸町1-1-7 [最寄駅: 日比谷] 1-1-7 Uchiisaiwaicho, Chiyoda-ku [Nearest station: Hibiya]</p> <p>10:40 14:00</p>
<p>21 笹川記念会館前 Sasakawa Hall 港区三田3-12-12 [最寄駅: 三田・田町・泉谷寺] 3-12-12 Mita, Minato-ku [Nearest station: Mita, Tamachi, Sengakuji]</p> <p>10:55 14:35</p>	<p>22 住友不動産三田ツインビル西館前 Sumitomo Fudosan Mita Twin Building West Pavilion 港区三田3-5-27 [最寄駅: 三田・田町・泉谷寺] 3-5-27 Mita, Minato-ku [Nearest station: Mita, Tamachi, Sengakuji]</p> <p>11:00 15:10</p>	<p>23 港区立芝公園 Minato-ku Shiba Park 港区芝公園4-8-4 [最寄駅: 芝公園] 4-8-4 Shiba-koen, Minato-ku [Nearest station: Shibakoen]</p> <p>11:00 15:25</p>	<p>24 東京駅前行幸通り(フィニッシュ) Tokyo Station/Gyoko-dori Ave.(Finish) 千代田区丸の内1-2 [最寄駅: 東京] 千代田区丸の内1-2 [最寄駅: 東京] 1-2 Marunouchi, Chiyoda-ku [Nearest station: Tokyo] *There are off limits areas.</p> <p>12:15 16:00</p>

MEMO

RELATED EVENTS

TOKYO
MARATHON
2019



日本新記録

New National Record

Number Card Colors
号码牌颜色

ナンバーカードカラー

ピンク
Pink

ライトブルー
Light Blue

ブルー
Blue



RATHON 2018

東京メトロ

TOKYO MARATHON 2018


東京メトロ

TOKYO MARATHON 2018



TOKYO
MARATHON
2019

Start Area Map

 スタート集合場所
Media assembly location

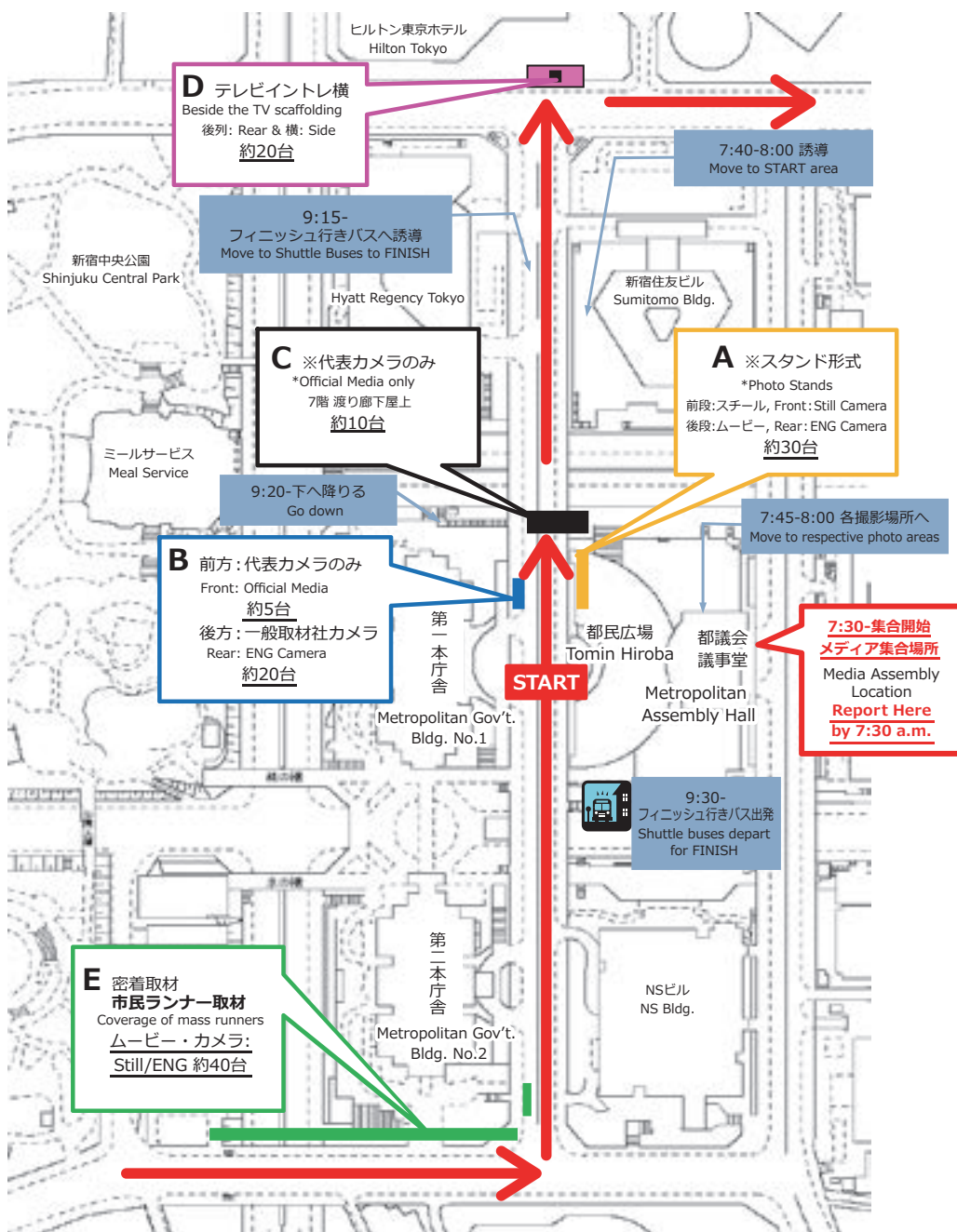
 ランナー走行方向
Runner flow

 Aエリア誘導
Area A

 Bエリア誘導
Area B







 Dエリア誘導
Area D

 Eエリア誘導
Area F



MEDIA INFORMATION

取材案内

メディア分類 Media Category	日本テレビ 中継局クルー NTV Broadcast Crew	日本テレビ ゲストランナー 伴走スタッフ Crew to follow the NTV Guest Runners	代表取材社 Media Pool	ムービー Video (ENG)	スチールカメラ Photographer	記者 Reporter	オフィシャル パートナー Official Partner
Credential Type	OFFICIAL BROADCASTER		MEDIA				OFFICIAL PARTNER
Bib Identification	 Pink	 Pink	 Orange	 Yellow	 Green	ADカードのみ (撮影する場合は ビブを着用) Credential only*	 Blue

*Bibs are required for those who use a camera.

取材案内・その他

スタートエリアマップ Start Area Map	142
報道取材要領 Media Guidelines	144
大会データ年次推移 Statistics by Year	151
経緯 History	152
東京マラソン財団概要 Tokyo Marathon Foundation Corporate Profile	154
10kmフィニッシュエリアマップ / 表彰式エリアマップ 10km Finish Area Map / Award Ceremony Area Map	156
フィニッシュエリアマップ Finish Area Map	157

共通注意事項（必ずお読みください）

1	本大会は、スタートの東京都庁からフィニッシュの東京駅・行幸通りまで、公道上で行われるレースとなるため、取材撮影エリアには制限がございます。大会が定めたメディアエリア以外での撮影は行えません。各エリアでは係員の指示に従ってください。
2	本取材で撮影された写真、映像につきましては、 <u>報道利用のみ（販売不可）</u> となりますので、予めご了承ください。
3	スチールカメラ/テレビカメラは、各エリアで各社各1台となります。申請いただいた撮影場所は定員人数を超えた場合、抽選とさせていただきます。割当については、受付の際（ADカード、カメラマンビブス発行）にお知らせいたします。
4	取材希望場所により集合場所と誘導が異なりますので予めご確認ください。
5	車道、中央分離帯内、歩道橋、陸橋上での取材撮影はできません。
6	歩道での取材は、一般の通行の妨げとならないように厳重にご注意いただき、各エリア担当者、競技審判員、警察官の指示に従ってください。また、撮影エリア以外（観衆の中）で脚立などの機材を使用する場合は各社で事前に各所轄の警察署に道路使用許可申請を行ってください。
7	スタート及びフィニッシュエリアは手荷物検査がございますのでご協力をお願いいたします。
8	各エリアとも、専用の駐車場はありません。また大会当日は、交通規制が行われておりますので、お車でのご来場はご遠慮ください。
9	コース及び会場周辺で無人航空機（ドローン等）の飛行はご遠慮ください。
10	レース後の会見は、マラソン男女1位、マラソン日本人男女1位、車いす男女1位の会見を予定しておりますが、会見とは別にインタビューを希望される選手については、幹事社（読売新聞社）にご連絡してください。
11	大会当日の結果発表及び選手の記録（速報）については、丸ビル7階ホール内のメディアセンターで配布いたします。（大会公式ウェブサイトでもご確認いただけます）
12	大会終了後は速やかにカメラマンビブスの返却をお願いいたします。★返却場所 東京マラソン財団 マーケティング本部 広報部
13	映像の使用はスポーツニュース協会の申し合わせに従って、日本テレビ放送網系全国ネット 9:00 から 11:50 までのエリートマラソン中継終了後となります。
14	AD カードとカメラマンビブスの受け取り場所が、東京マラソン財団会議室に変更になりました。お間違えないよう、ご注意ください。

◆ワイヤレスマイク使用について◆

A型使用の際は通常通り特ラ連機構へ申請のうえ運用してください。
 新周波数帯（470MHz ～ 714MHz及び1.2GHz帯）使用の際はTVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会へ申請のうえ運用してください。
 B型、C型、D型は運用に制限はありませんが、混信等の場合は当事者同士で調整願います。

◆救護所の撮影について◆

各救護所内での取材や撮影は、一切禁止とさせていただきます。
 ご協力のほどよろしくお願いいたします。

◆撮影エリアの許諾について◆

各撮影エリアにつきましては各所轄の警察署に申請中です。
 現在掲載している撮影取材場所は変更になる場合がございますので、ご了承ください。
 その他の撮影場所につきましては、広報部に企画申請し調整した後、別途所轄の警察署で、道路使用許可をお取りください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

大会開催可否については、大会当日朝5:00 までに大会公式ウェブサイトにてお知らせします。

General Cautions

- 1** The marathon will start at the Tokyo Metropolitan Government Building and end on Gyoko-dori Ave. in front of Tokyo Station. The course will consist of city streets, so restrictions apply to where media coverage is possible. Please follow the instructions given by the staff in each area.
- 2** Please be aware that the photographs and videos produced during the course of coverage can only be used for news reporting (commercial use is prohibited).
- 3** Each company can use one still camera and one television camera in each area. If the number of applications for a filming location exceeds its capacity, random lot drawing will be used to determine which companies can perform coverage in that area. Companies will be informed of coverage area assignments at reception (when picking up the media credentials and camera operator bibs).
- 4** Assembly locations and location guidance may vary between coverage areas. Please confirm this information in advance.
- 5** Filming and photography are not permitted on streets, on medians, on pedestrian bridges, or on overpasses.
- 6** Coverage on sidewalks must be performed with care to avoid interrupting general pedestrian traffic. Follow the instructions of area staff, marathon judges, and the police. Submit a road usage permission application to the corresponding police department before performing coverage outside filming areas (within crowds) using equipment such as stepladders.
- 7** Please comply with bag inspections in the start and finish areas.
- 8** There are no media parking spaces in any areas. Traffic restrictions will be in place on the day of the marathon, so please do not come by automobile.
- 9** Do not operate unmanned aerial vehicles (drones, etc.) near the course or event site.
- 10** Following the marathon, press conferences will be held for the first place men and women winners, the first place Japanese men and women winners, and the first place men and women wheelchair marathon winners.
- 11** Marathon results and flash race reports will be distributed at the Media Center in the 7th floor hall of the Marunouchi Building. (They will also be available on the Tokyo Marathon official website)
- 12** Please promptly return camera operator bibs when the marathon ends.
- 13** Live or taped coverage segments of the marathon cannot be used between 9:00 a.m. and 11:50 a.m.
- 14** Please be aware that the pick-up location of the media credentials and camera operator bibs has changed to the Tokyo Marathon Foundation office.

◆ Wireless microphone use ◆

For Type A wireless microphones, submit an application in advance to the Specified Radio Microphone User's Federation.
For new frequency bands (470MHz to 714MHz and 1.2GHz) submit an application in advance to the TV White Space Usage System Operation Coordination Council.

There are no restrictions regarding use of Type B, Type C, or Type D wireless microphones. In the event of signal congestion, etc., coordinate directly with other wireless microphone users.

◆ Photography and filming in medical areas ◆

All photography and filming is prohibited in medical areas.
We appreciate your cooperation.

◆ Photography / filming area permission ◆

Applications have been submitted to police departments regarding corresponding filming and photography areas.

Please be aware that the currently listed filming and photography areas are subject to change.

For photography and/or filming in other areas, first submit a coverage plan to, and coordinate with, the Public Relations Dept., and then receive separate road usage permits from the appropriate police department(s).

We appreciate your cooperation.

The final go / no-go announcement regarding a race start will be issued on the official marathon website at 5:00 a.m. on the race day.

テレビ及びラジオの取材及び放送権における注意事項

車道(コース上)を使用したコース内の取材は、日本テレビ放送網とラジオ日本のみを原則とし、許可の出ている媒体以外はコース内での取材は出来ません。

また、レースの中継映像はタワー分岐で各局に分配します。**映像の使用はスポーツニュース協会の申し合わせに従って、日本テレビ放送網系全国ネット9:00から11:50までのエリートマラソン中継終了後**となりますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

◎テレビ中継 3月3日(日)

■地上波・日本テレビ中継

7:30 ~ 9:00 「東京マラソン 2019 直前枠」(関東ローカル)
9:00 ~ 11:50 「東京マラソン 2019 ~東京 2020 オリンピック代表選手選考レース~」(全国ネット)
12:00 ~ 12:45 「東京マラソン 2019 市民マラソン生中継」(関東ローカル)

■BS放送・BS日テレ

18:30 ~ 21:00 「東京マラソン 2019 車いすレース & エリートランナーダイジェスト」

■CS放送・日テレG+

9:00 ~ 16:30 「東京マラソン 2019 車いすマラソン & フルマラソン全員フィニッシュ生中継」

■インターネット放送・Hulu

「東京マラソン 2019 市民マラソン中継」(配信時間調整中)

◎ラジオ中継 3月3日(日)

■ラジオ日本

8:45 ~ 11:50 「開局 60 周年ラジオ日本スポーツスペシャル 東京マラソン 2019 実況中継」

番組	素材	使用尺	
		3分以内	3分以上
ニュース番組 スポーツニュース番組 ※スポーツニュース協会登録番組	タワー分岐素材	・分岐後 24 時間以内は申請不要 ・それ以降は、中継局への申請、使用承認が必要 ・回数無制限 ・無料	・東京マラソン財団広報部、中継局への申請、使用許諾が必要
	独自取材映像	・東京マラソン財団広報部の事前取材許諾が必要 ・回数無制限 ・無料	
その他番組	タワー分岐素材	・東京マラソン財団広報部と中継局への申請、使用許諾が必要 ・使用料の有無を含め、使用条件は許諾内容に基づく	・東京マラソン財団広報部、中継局への申請、使用許諾が必要 ・原則有料
	独自取材映像	・東京マラソン財団広報部と中継局への事前取材許諾が必要 ・使用料の有無を含め、使用条件は許諾内容に基づく	

その他

※ 各社独自取材の映像を使用する場合でも財団広報部まで申請してください。東京マラソン財団から日本テレビ放送網へ取り次ぎます。

※ 大会中の映像、写真、記事、記録、申込者の氏名、年齢、住所(国名、都道府県名または市町村名)等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権及び肖像権は主催者に属します。

※ 有料使用については、1分以内 60,000 円、その後1秒あたり 1,000 円を課金。

分岐映像以外を使用する場合のテクニカルコスト(蔵出し料、テープ代等)は実費負担。

ただし、有料使用について財団広報部が、大会のPRに貢献すると判断する場合は、料金応相談。

お問合せ先

東京マラソン財団 マーケティング本部 広報部

TEL: 03-5500-6639 FAX: 03-5500-6678

Important Notes Regarding Television Cameras, Radio Coverage, and Broadcast Rights

As a general rule only Nippon Television and Radio Nippon may perform coverage on the road (the course) itself. Only companies which have received official permission can perform filming or photography on/inside the course itself. Race live video will be relayed at Tokyo Tower and distributed to each TV station.

In accordance with a request by the Sports News Association, race video may only be used after Nippon Television network stations have finished their live broadcast of the elite racers from 9:00 a.m. to 11:50 a.m.

◎ Television broadcast on March 3 (Sun)

- Terrestrial broadcast - Nippon Television Network broadcast
 - 7:30 a.m. to 9:00 a.m. "Tokyo Marathon 2019 pre-race program" (Kanto region local network)
 - 9:00 a.m. to 11:50 a.m. "Tokyo Marathon 2019 ~Japanese Olympic Trial Race for Tokyo Olympic 2020~" (nationwide network)
 - 12:00 p.m. to 12:45 p.m. "Tokyo Marathon 2019 live broadcast of mass runners marathon"
- BS broadcast - BS Nippon Television
 - 6:30 p.m. to 9:00 p.m. "Tokyo Marathon 2019 Wheelchair Race & Elite Race Highlight"
- CS broadcast - Nippon Television G+
 - 9:00 a.m. to 4:30 p.m. "Live broadcast of all wheelchair marathon & marathon finishers"
- Internet broadcast Hulu "Tokyo Marathon 2019 live broadcast of mass runners"

◎ Radio broadcast on March 3 (Sun)

- Radio Nippon
 - 8:45 a.m. to 11:50 a.m. "60th Anniversary Program - Radio Nippon Sports Special Tokyo Marathon 2019 live broadcast"

Program	Material	Amount Used	
		3 Minutes	3 Minutes or More
News program Sports news program (Sports News Association registered program)	Relayed live coverage	No application necessary if used within 24 hours of its distribution. An application must be submitted to the host broadcaster and permission must be received when using it more than 24 hours after its distribution. No limit on number of uses. Free of charge.	An application must be submitted to the Foundation's Public Relations Dept. and the host broadcaster, and permission must be received before use.
	Own coverage	Coverage permission required in advance from Foundation's Public Relations Dept. No limit on number of uses. Free of charge.	
Other programs	Relayed live coverage	An application must be submitted to the Foundation's Public Relations Dept. and the host broadcaster, and permission must be received before use. Usage conditions, including whether or not usage fees apply, will be based on approval contents.	An application must be submitted to the Foundation's Public Relations Dept. and the host broadcaster, and permission must be received before use. Usage fees usually apply.
	Own coverage	Coverage permission required in advance from the Foundation's Public Relations dept. and the host broadcaster. Usage conditions, including whether or not usage fees apply, will be based on approval contents.	

Other

- * Applications must be submitted to the Foundation's Public Relations Dept. in order to use video or photographs taken on your own. The Tokyo Marathon Foundation will pass them to Nippon Television.
 - * The rights to show or print video, photographs, articles, records, applicants' names, applicants' ages, applicants' addresses (country names, prefecture names, and city/town/village names), etc., on television, in newspapers, in magazines, on the Internet, etc., and the associated portrait rights, belong to the organizer.
 - * A usage fee of 60,000 yen will apply for segments lasting up to one minute. An additional 1,000 yen usage fee will apply for each additional second.
- Actual technical costs (archive retrieval costs, tape costs, etc.) apply when using video other than the footage of relayed coverage. Costs may be negotiable when the Foundation's Public Relations Dept. finds that the use of paid materials would contribute to the marathon's PR efforts.

Inquiries

Marketing and Public Relations Dept., Tokyo Marathon Foundation
TEL: 03-5500-6639 FAX: 03-5500-6678

報道取材要領 抜粋—報道取材に関するお願い—

》MEDIA INFORMATION《

映像、写真について

1. 報道・大会告知(パブリシティ)での使用

報道または東京マラソンの概要、趣旨、活動などの告知(パブリシティ)を目的とした使用を希望される場合が該当します。申請には「プロパティ使用申請書」(媒体名・番組名・発売日・放送日等)及び企画書を提出してください。

【申請書式】プロパティ使用申請書をダウンロードしてご使用ください。

- (1) 東京マラソンに関する写真・映像は、主催者である財団に無断で撮影及び使用することはできません。
- (2) 事前に取材申請をした上で、大会当日に撮影された写真・映像を大会開催日より8日以内に報道利用する場合には、申請の必要はありません。大会開催日より9日以降に使用される場合は、別途申請が必要となります。
※共催メディアは除きます。
- (3) 財団が撮影した公式記録写真から、大会を象徴する代表的なカット(シーン)をまとめて提供しています。これらの中から使用する場合は、原則として使用料はかかりません(素材の送料等の実費は別途)。公式写真・映像サービス提供社の写真・映像を使用する場合は、同社が別途定める使用料をお支払ください。
- (4) 写真・映像の二次使用、無断転載は禁止です。
- (5) 東京マラソンの映像に関しては、中継担当テレビ局のO.A.映像となります。使用の際は、実況とスーパーを消してご利用ください。
- (6) 参加者(ボランティアおよび応援等の方を含む)による写真・映像の撮影は、私的な利用に限り認めています。撮影された写真・映像は、私的利用の範囲を超えて使用することはできませんのでご注意ください。

使用者	申請方法/規定	使用できるプロパティ	料金
報道機関 (共催メディア含む)	大会開催前に取材申請し、大会開催日より8日以内に使用する場合は申請不要。大会開催日より9日以降は、プロパティ申請書が必要。	写真	① 財団所有の写真・映像を使用する場合は無償。 ② 公式写真・映像サービス提供社の写真・映像を使用する場合は有償。
		映像	

2. 報道・大会告知(パブリシティ)以外での使用

- (1) 報道機関による商業利用を目的としない使用
報道機関(新聞社・放送局・出版社・通信社等)により、出版物やWEBサイト、テレビ等のメディアで部分的に使用し、商業利用を目的としない場合に限りします。

【申請書式】プロパティ使用申請書をダウンロードしてご使用ください。

東京マラソンの写真・映像などを主体的に使用する場合、および東京マラソンの名称をタイトルやサブタイトルに使用する出版物、DVD、WEBサイト、アプリ等については、別途ライセンス契約が必要となり、ロイヤリティが発生します。

(下記に従って手続きを行ってください)

【写真使用料】消費税別(東京マラソン財団の素材)

	カット	1/2ページ	片1ページ	見開・表4	表1・カバー・帯
雑誌・新聞・フリーペーパー・社内報・機関誌	30,000円	35,000円	50,000円	80,000円	100,000円
書籍	30,000円	35,000円	50,000円	80,000円	100,000円
WEBニュース(記事中使用)	30,000円				
テレビ放送	30,000円	・複数波による同時再送信を含む。 ・再放送は1年内2回まで含む。 ・上記を越える使用は、都度1カット換算する。 ・PPV、ダウンロード販売、DVD等での販売する場合は、別途東京マラソン財団マーケティング本部 広報部へお問い合わせください。			

【映像使用料】消費税別(スポーツニュース協会規定とは別となります)

	60秒まで	以後毎秒	備考
テレビ放送 (ニュース、情報番組等)	60,000円	1,000円	・複数波による同時再送信を含む。 ・再放送は1年内2回まで含む。 ・上記を越える使用は、都度1番組として換算する。 ・PPV、ダウンロード販売、DVD等での販売する場合は、別途東京マラソン財団マーケティング本部 広報部へお問い合わせください。
WEBニュース(記事中使用)	60,000円	1,000円	

- (2) 商業利用を目的とする使用 ※大会オフィシャルパートナーの協賛権利に抵触しない場合に限りします。
商品の製造・販売、サービスの提供、販売促進(景品を含みます)などへの使用を指し、別途ロイヤリティが発生します。
利用者については、報道機関、一般企業、団体を問いません。

【申請書式】プロパティ使用申請書をダウンロードしてご使用ください。

Filming and Photography

1. Use in news reporting and marathon publicity

Videos and photographs may only be used for news reporting/informational purposes or to provide publicity for the Tokyo Marathon, such as providing an overview of the marathon, explaining its intent, and reporting on marathon activities, etc. Submit a "Permission Request Form" (containing the name of the media/program name, release date/ broadcast date, etc.) and a written content plan, along with supplementary documentation.

[Application Form] Download the **Permission Request Form**.

- (1) Photography and filming of the Tokyo Marathon requires the permission of the organizer, the Tokyo Marathon Foundation.
- (2) If an application for coverage is made in advance and the photographs and videos taken on the day of the event are used within 8 days from the day of the event, no application is required. If they will be used more than 8 days after the day of the event, a separate application is required. * This does not apply to media partners.
- (3) Representative clips (scenes) that are symbolic of the event compiled from the official record photographs taken by the Foundation will be provided in batch form. If using such photographs, usage fees are generally not required (expenses such as delivery fees for the materials are separate). If using photographs or videos provided by the official photo/video service company, usage fees set by the company will be separately charged.
- (4) Secondary use and unauthorized reproduction of Tokyo Marathon photographs and videos are strictly prohibited.
- (5) Videos provided by the Foundation will be the on-air videos broadcasted by official live coverage TV station. Please delete the play-by-play sounds and captions when using such videos.
- (6) Filming and photography by participants (including volunteers and supporters, etc.) is only permitted for private use. Please be aware that video and photographs cannot be used except for private use.

User	Application Procedure / Rules	Usable Properties	Cost
News media (including media partners)	No application is required if the application for coverage is made prior to the event being held and the Properties are used within 8 days from the day of the event. A Properties application is required if the Properties will be used more than 8 days after the day of the event.	Photographs	Free if using images owned by the Foundation. * Usage fees will be required when using photographs and videos provided by the official image/video services company.
		Video	

2. Use other than for news coverage and marathon publicity

- (1) Non-commercial use by news media

Photographs and videos can be used in limited quantities by media organizations (newspapers, television stations, publishing companies, wire services, etc.) for non-commercial purposes only in media such as publications, on websites, and on television, etc.

[Application Form] Download the **Permission Request Form**.

Separate licensing contract is required, and license usage fees (royalties) will be incurred for active use of Tokyo Marathon photographs, videos, etc., and for publications, DVDs, websites, and applications, etc., which use the Tokyo Marathon name as a title or subtitle. Please refer to the procedure provided below.

[Photograph usage fees] Consumption tax not included. (Photographic imagery copyrighted by Foundation.)

	Single image	1/2page	Single page	Spread/ back cover	Dust cover / bellyband / front cover
Magazine, Newspaper, Free newspaper, In-house newsletter, Bulletin	30,000JPY	35,000JPY	50,000JPY	80,000JPY	100,000JPY
Books	30,000JPY	35,000JPY	50,000JPY	80,000JPY	100,000JPY
Web magazine (use in articles)	30,000JPY				
TV broadcast	30,000JPY	• Includes simultaneous retransmissions over multiple channels. • Up to two rebroadcasts per year. Use exceeding the above limits is converted to a single cut for calculation purposes. • Provide detailed plan to the License Management Office when distributing by PPV, download sales or DVD.			

[Video usage fees] Consumption tax not included.

	Up to 60 seconds	Every second thereafter	Remarks
Television broadcast (News, information program, etc.)	60,000JPY	1,000JPY	• Includes simultaneous retransmissions over multiple channels. • Up to two rebroadcasts per year. Use exceeding the above limit is converted into single clips for calculation purposes. • Provide detailed plan to the License Management Office when distributing by PPV, download sales or DVD.
Web magazine (Use in articles)	60,000JPY	1,000JPY	

- (2) Use for Commercial Purposes * Restricted to cases in which use does not conflict with the sponsorship rights of the event's official partners.

This refers to use for product production and sales, provision of services, and sales promotion (including gifts), and royalties will be separately incurred. This applies regardless of whether users are the news media, companies or organizations.

[Application Form] Download the **Permission Request Form**.

メディアセンターについて Media Center

メディアセンターには記事及び写真配信のためのLAN環境(無線、有線)は用意しておりますが、数には限りがありますので、予めご了承ください。また、各種連絡事項等を掲示いたします。

3月3日(日) ※大会当日のみ

丸ビル7階ホール内 メディアセンター(兼選手会見)

- | | |
|-----|---|
| 場 所 | 丸ビル7階 丸ビルホール |
| 住 所 | 東京都千代田区丸の内2-4-1 |
| 時 間 | 8:00 から 18:00 まで |
| 連 絡 | TEL: 03-5500-6639 FAX: 03-3217-7507 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">1. メディアセンター内では日本テレビ放送網の中継が流れます。2. メディアセンター前方は0エリア(選手会見)のエリアパスをお持ちの方を優先にご案内します。席に限りがございますので、混雑時には譲り合ってください。3. 選手情報、リザルト等の配布及び掲示をいたします。4. 記事及び写真配信のためのLAN環境(有線、無線)を用意しておりますので、ご利用ください。配信終了後は速やかに他の方へお譲りください。5. 競技終了後の選手会見は、マラソン男女1位、日本人男女1位、車いす男女1位の選手を予定しております。6. その他の選手会見については、幹事社が各社の意見を取りまとめて広報部にお伝えください。7. クロークの用意はございません。貴重品は各自の責任において管理してください。8. 事前に申請しADカードをお持ちの報道各社の方のみのご利用となります。 |

There are Internet connections (wireless and wired) available in the Media Center for uploading articles and photographs, but please be aware that access is limited. Also, notices will be posted in the Media Center.

March 3 (Sun) *Race Day only

Media Center, Marunouchi Building, 7F

- | | |
|----------|--|
| Location | Marunouchi Building 7F, MARUBIRU Hall |
| | * Press conferences following the marathon finish will be held at the Media Center stage. |
| Time | 8:00 a.m. to 6:00 p.m. |
| Contact | TEL: 03-5500-6639 FAX: 03-3217-7507 |
| Content | <ol style="list-style-type: none">1. Live coverage on the Nippon Television Network will be shown in the Media Center.2. There will be a mixed zone for conducting interviews with runners immediately after finishing (not including wheelchair racers).3. Athlete information, results, etc., will be distributed and posted.4. Internet connections (wireless and wired) will be available for uploading articles and photographs. When you have finished uploading, please let others use these connection points.5. After the marathon ends, a press conference will be held for the 1st place men's and women's runners, the 1st place men's and women's Japanese runners, and the 1st place men's and women's wheelchair racers.6. There will not be a cloak room. Please manage all valuables yourself.7. Only members of media companies who have submitted applications in advance and received media credentials will be allowed to use the Media Center. |

3月3日(日) ※大会当日のみ

10km フィニッシュ コンGRESクエア日本橋 メディアルーム

- | | |
|-----|--|
| 場 所 | 10km フィニッシュ運営本部内 |
| 住 所 | 東京都中央区日本橋1-3-13 東京建物日本橋ビル2階・3階 |
| 時 間 | 8:00 から 15:00 |
| 内 容 | <ol style="list-style-type: none">1. LAN 環境(有線)を用意しております。2. 表彰式はコンGRESクエア日本橋2階アトリウムにて行います。取材については、広報部までお問合せください。3. クロークの用意はございません。貴重品は各自の責任において管理してください。4. スペースに限りがありますので、大きいお荷物などお預かり出来ない場合がございます。予めご了承ください。 <p>※リザルトは丸ビル内のメディアセンターのみでの配信です。</p> |

大会データ年次推移

》 MEDIA INFORMATION 》

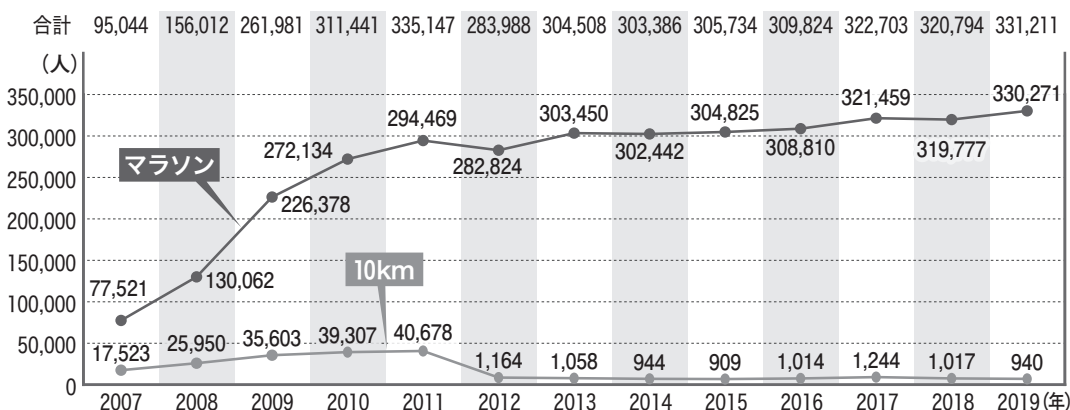
Statistics by Year

開催日/Race day		2007 2/18(Sun)	2008 2/17(Sun)	2009 3/22(Sun)	2010 2/28(Sun)	2011 2/27(Sun)	2012 2/26(Sun)	2013 2/24(Sun)	2014 2/23(Sun)	2015 2/22(Sun)	2016 2/28(Sun)	2017 2/26(Sun)	2018 2/25(Sun)
定員 Capacity	マラソン Marathon	25,000	25,000	30,000	32,000	※5 33,000	※4 35,500	※4 35,500	※4 35,500	※3 35,500	※2 36,500	※1 35,500	※1 35,500
	10km	5,000	5,000	5,000	3,000	3,000	※6 500	※6 500	※6 500	※6 500	※6 500	※6 500	※6 500
	定員合計 Total	30,000	30,000	35,000	35,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	37,000	36,000	36,000
マラソン Marathon	出走者 (うち海外ランナー) Starters (International starters)	26,058 (1,030)	27,386 (1,719)	30,164 (2,338)	32,080 (2,248)	33,353 (2,502)	35,954 (2,613)	36,228 (2,972)	35,556 (5,057)	35,310 (5,305)	36,173 (6,443)	35,378 (6,241)	35,911 (6,385)
	完走者 Finishers	25,102	26,665	29,128	30,182	32,415	34,678	34,819	34,126	34,049	34,697	33,974	34,542
	完走率 Finisher ratio(%)	96.3	97.4	96.6	94.1	97.2	96.5	96.1	96.0	96.4	95.9	96	96.2
	男女比率 M/W ratio(%)	Men 77.7 Women 22.3	Men 77.8 Women 22.2	Men 78.3 Women 21.7	Men 78.9 Women 21.1	Men 76.1 Women 23.9	Men 78.9 Women 21.1	Men 79.9 Women 20.1	Men 79.7 Women 20.3	Men 78.8 Women 21.2	Men 78.1 Women 21.9	Men 77.3 Women 22.7	Men 77.1 Women 22.9
10km 10km	出走者 Starters	4,812	5,040	4,808	2,948	3,096	453	448	474	487	475	446	337
	完走者 Finishers	4,720	4,898	4,635	2,919	3,086	451	432	458	478	468	439	329
	完走率 Finisher ratio(%)	98.1	97.2	96.4	99.0	99.7	99.6	96.4	96.6	99.2	98.5	98.4	97.6
	男女比率 M/W ratio(%)	Men 72.5 Women 27.5	Men 72.9 Women 27.1	Men 55.4 Women 44.6	Men 52.2 Women 47.8	Men 71.0 Women 29.0	Men 69.4 Women 30.6	Men 65.3 Women 34.7	Men 68.3 Women 31.7	Men 64.0 Women 36.0	Men 72.0 Women 28.0	Men 69.0 Women 31.0	Men 64.7 Women 35.3
チャリティランナー出走者数 Charity runner starters		—	—	—	—	694	1,637	2,128	2,473	2,756	2,846	2,831	3,687

- ※1 抽選対象 26,370人 (エリート、車いすマラソンエリート、RUN as ONE - Tokyo Marathon (準エリート・一般)、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く)
 ※2 抽選対象 27,370人 (エリート、車いすマラソンエリート、RUN as ONE - Tokyo Marathon (準エリート・一般)、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く)
 ※3 抽選対象 28,400人 (エリート、準エリート、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く)
 ※4 抽選対象 29,400人 (エリート、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く)
 ※5 抽選対象 32,000人 (チャリティランナー1,000人除く)
 ※6 抽選対象 400人 (復興支援事業除く)
 ※7 小数点第二位を四捨五入しているため100%にならない場合あり

- *1 26,370 runners chosen by the drawing (excluding Elite, Elite Wheelchair, RUN as ONE - Tokyo Marathon Semi-Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
 *2 27,370 runners chosen by the drawing (excluding Elite, Elite Wheelchair, RUN as ONE - Tokyo Marathon Semi-Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
 *3 28,400 runners chosen by the drawing (excluding Elite, Semi-Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
 *4 29,400 runners chosen by the drawing (excluding Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
 *5 32,000 runners chosen by the drawing (excluding 1,000 Charity runners)
 *6 400 runners chosen by the drawing (excluding the runners invited through the educational program under the Great East Japan Earthquake recovery efforts)
 *7 Percentages are rounded to one decimal place.

申込人数の推移(※抽選対象) Changes in number of applicants*



※マラソン、10kmの募集人数は年により異なります。
 * Marathon & 10km entry places available vary by year.

2004年	4月	東京都と日本陸連で平成17年度に大都市マラソンを開催することを目標に協議を開始
2005年	2月 23日	「東京大都市マラソン開催準備委員会」を設置・開催
	10月 20日	東京都と日本陸連で「東京マラソンに関する基本合意」締結
	11月 21日	東京マラソン組織委員会を設立
2007年	2月 18日	東京マラソン2007
2008年	2月 17日	東京マラソン2008
	9月	IAAF ロードレースラベリング「シルバーラベル」取得
2009年	3月 22日	東京マラソン2009
	9月 16日	IAAF ロードレースラベリング「ゴールドラベル」取得
2010年	2月 28日	東京マラソン2010 東京マラソンファミリーラン初開催
	6月 30日	一般財団法人東京マラソン財団設立
	12月 15日	チャリティ事業開始
	2月	東京マラソンウィーク初実施
2011年	2月 23日	東京マラソン財団公式クラブONE TOKYO 開設
	2月 27日	東京マラソン2011
	4月 1日	東京マラソン財団事務所移転
	2月 25日	東京マラソンフレンドシップラン初開催
2012年	2月 26日	東京マラソン2012
	10月 1日	ワールドマラソンメジャーズ (WMM)に加入 ※現アボット・ワールドマラソンメジャーズ (AbbottWMM)
	2月 24日	東京マラソン2013
2013年	5月 12日	ランナーサポート施設『ジョグポート有明』開設
	6月	警備救護強化プロジェクト発足
	2月 23日	東京マラソン2014
2014年	6月 27日	スポーツレガシー事業開始 RUN as ONE – Tokyo Marathon プログラム導入
	2月 22日	東京マラソン2015
	6月 30日	大会ロゴリニューアル 車いすマラソン国際化
2016年	2月 28日	東京マラソン2016 (10回記念大会)
	3月	新コース発表 (2017大会) RUN as ONE – Tokyo Marathon プログラムに学生を追加 (2017大会)
	10月 6日	東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ「VOLUNTAINER」開設
	2月 26日	東京マラソン2017
2017年	3月	チャリティランナー定員4,000人に増員
	12月	2019大会より開催日を3月第1日曜日に設定
	2月 25日	東京マラソン2018
2018年	5月 13日	東京マラソン財団オフィシャルイベント「有明・お台場リレーハーフマラソン」開催
	6月	マラソン定員を2,000人増員 (うちチャリティランナーは1,000人) マラソン・10km合わせて38,000人
	10月 27日	東京マラソン財団オフィシャルイベント「東京トライアルハーフマラソン2018」開催
	2月 19日	普通救命講習会開催
2019年	1月 29日	危機管理講習会開催
	3月 3日	東京マラソン2019

History

2004	April		Tokyo Metropolitan Government, together with JAAF (Japan Association Of Athletics Federations), started discussions toward holding a big-city marathon in 2005
2005	February	23	Tokyo Marathon Preparatory Committee established and first meeting held
	October	20	Tokyo Metropolitan Government and JAAF signed the Basic Agreement on the Tokyo Marathon
	November	21	Tokyo Marathon Organizing Committee established
2007	February	18	Tokyo Marathon 2007
2008	February	17	Tokyo Marathon 2008
	September		Tokyo Marathon receives "Silver Label" from IAAF Road Race Labeling
2009	March	22	Tokyo Marathon 2009
	September	16	Tokyo Marathon receives "Gold Label" from IAAF Road Race Labeling
2010	February	28	Tokyo Marathon 2010
			Tokyo Marathon Family Run inaugurated
	June	30	Tokyo Marathon Foundation established
	December	15	Tokyo Marathon Charity program introduced
2011	February		Tokyo Marathon Week introduced
		23	Tokyo Marathon Foundation Official club "ONE TOKYO" established
		27	Tokyo Marathon 2011
	April	1	Tokyo Marathon Foundation Office relocated
2012	February	25	Tokyo Marathon Friendship Run inaugurated
		26	Tokyo Marathon 2012
	October	1	Tokyo Marathon joined the World Marathon Majors (WMM)* *Currently called:Abbott World Marathon Majors (AbbottWMM)
2013	February	24	Tokyo Marathon 2013
	May	12	JOGPORT ARIAKE (runner support facility) opened
	June		SAFE & SECURE Project inaugurated
2014	February	23	Tokyo Marathon 2014
	June	27	Sports Legacy Program started
			RUN as ONE – Tokyo Marathon program introduced
2015	February	22	Tokyo Marathon 2015
	June	30	New logo introduced
			Internationalization of the wheelchair marathon announced
2016	February	28	Tokyo Marathon 2016 (tenth anniversary)
	March		New course announced (Tokyo Marathon 2017) The Semi-Elite (Students) category added to the RUN as ONE – Tokyo Marathon 2017 program
	October	6	Tokyo Marathon Foundation's official volunteer club "VOLUNTAINER" established
2017	February	26	Tokyo Marathon 2017
	March		Charity runner capacity increased to 4,000
	December		Commencement dates of the 2019 edition and subsequent marathons set to the first Sunday of March
2018	February	25	Tokyo Marathon 2018
	May	13	Official event "ARIAKE / ODAIBA Relay Half Marathon"
	Jun		Runner capacity for the marathon increased by 2,000 (1,000 of which will be charity runners) totaling to 38,000
	October	27	Official event "Tokyo Trial Half Marathon 2018"
2019	January	19	First Aid Seminar
	January	29	Crisis Management Seminar
	March	3	Tokyo Marathon 2019

東京マラソン財団 概要

》MEDIA INFORMATION《

Tokyo Marathon Foundation Corporate Profile

設立目的

この法人は、東京マラソンを安定的に運営し、国内外から多くのランナーが集う世界最高水準の大会へと発展させるとともに、ランニングスポーツの普及振興を通じて、都民の健康増進と豊かな都民生活の形成に寄与することを目的とする。

Foundation Objectives

The main objective in establishing the Tokyo Marathon Foundation is to build a race that meets the world's highest standard while gathering runner from all over the world to spread running of sports to create better and healthier lifestyles.

大会会長／役員名簿 Chairperson / Board Members

2019大会会長	Chairperson	小池 百合子	Yuriko KOIKE			
最高顧問	Supreme Advisers	石原 慎太郎	Shintaro ISHIHARA	河野 洋平	Yohei KONO	
名誉顧問	Honorary Adviser	帖佐 寛章	Hiroaki CHOSA			
顧問	Adviser	櫻井 孝次	Koji SAKURAI			

評議員 Council Members

猪熊 純子	Junko INOKUMA	遠藤 雅彦	Masahiko ENDO	潮田 勉	Tsutomu USHIODA	野田 健	Takeshi NODA
梶原 洋	Hiroshi KAJIHARA	浜 佳葉子	Kayoko HAMA	友永 義治	Yoshiharu TOMONAGA	前島 伸行	Nobuyuki MAEJIMA

理事 Executive Board Members

理事長	伊藤 静夫	副理事長	白石 弥生子
理事	小室 一人	山澤 文裕	青柳 正登
	鳥田 浩平	瀬古 利彦	大槻 高弘
	小室 明子	風間 明	上田 裕子
	奈良部 瑞枝	大嶋 康弘	高角 和道
	小沼 博靖	下条 由紀子	河内 由博
	鹿田 哲也	田中 利雄	平 眞
	中村 昌明	中野 人志	田中 充
	根木 義則	有澤 政雄	新井 悟
	古川 浩二	平塚 和則	鈴木 孝雄
	尾縣 貢	黒川 岩人	桑島 俊彦
	清水 真	松本 達夫	金 哲彦
	鈴木 一弘	友岡 新	

President / CEO	Shizuo ITO	Vice President	Yaeko SHIRAIISHI
Trustee	Kazuto KOMURO	Fumihiko YAMASAWA	Masato AOYAGI
	Kohei TORITA	Toshihiko SEKO	Takahiro OTSUKI
	Akiko KOMURO	Akira KAZAMA	Yuko UEDA
	Mizue NARABU	Yasuhiro OSHIMA	Kazumichi TAKATSUNO
	Hiroyasu ONUMA	Yukiko SHIMOJO	Yoshihiro KAWAUCHI
	Tetsuya SHIKADA	Toshio TANAKA	Shin TAIRA
	Masaaki NAKAMURA	Hitoshi NAKANO	Mitsuru TANAKA
	Yoshinori NEKI	Masao ARISAWA	Satoru ARAI
	Kouji FURUKAWA	Kazunori HIRATSUKA	Takao SUZUKI
	Mitsugi OGATA	Iwato KUROMAWA	Toshihiko KUWAJIMA
	Makoto SHIMIZU	Tatsuo MATSUMOTO	Tetsuhiko KIN
	Kazuhiro SUZUKI	Shin TOMOOKA	

監事 Auditors

中村 倫治	Rinji NAKAMURA	曾根 眞人	Masahito SONE
-------	----------------	-------	---------------

概要

理事長	伊藤 静夫
副理事長	白石 弥生子
事務局長	大森 文秋
事業担当局長	
／レースディレクター	早野 忠昭
参与	戸部 節三
	筑井 賢次
経営企画室長	酒井 謙介
管理本部長	黒田 明生
マーケティング本部長	柳川 智学
事業本部長	加藤 智久
運営統括本部長	新城 薫
設立	平成22年6月30日
設立者	東京都、公益財団法人日本陸上競技連盟
基本財産	8.8億円

所在地：〒135-0063 東京都江東区有明3丁目7-26
有明フロンティアビルB棟8階
代表電話：TEL 03-5500-6677
www.marathon.tokyo/en/

Profile

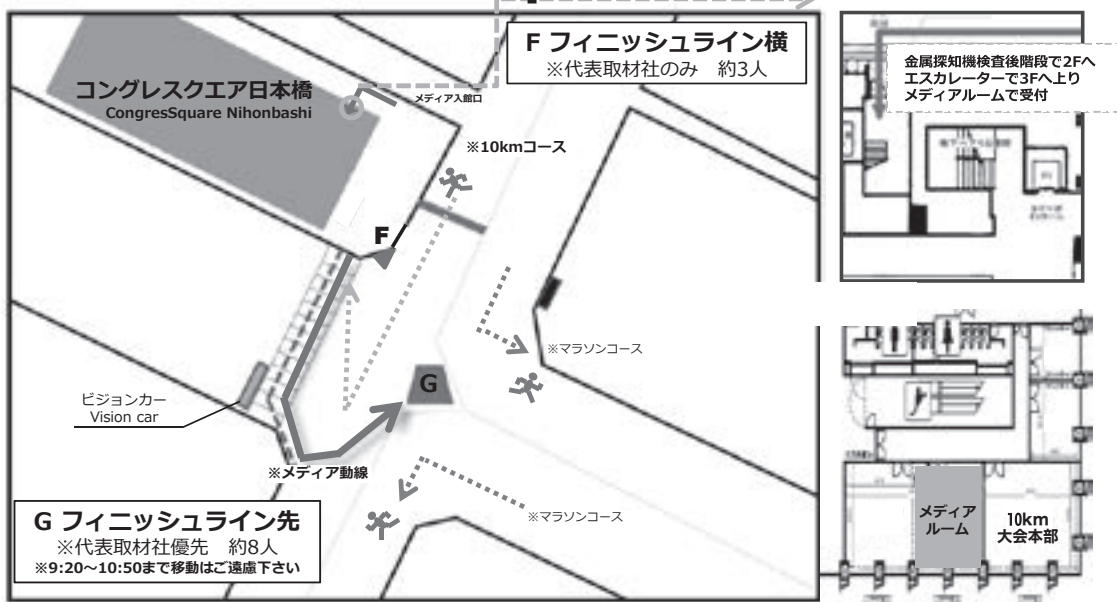
President / CEO	Shizuo ITO
Vice-President	Yaeko SHIRAIISHI
Director General / COO	Fumiaki OMORI
Race Director / CSO	Tadaaki HAYANO
Advisors	Setsuzo TOBE Kenji TSUKUI
Administration Div. Director	Kensuke SAKAI
Management Div. Director	Akio KURODA
Marketing Div. Director	Tomonori YANAGAWA
Business Div. Director	Tomohisa KATO
Race Management Div. Director	Kaoru SHINJO
Date of Establishment	June 30, 2010
Founders	Tokyo Metropolitan Government, Japan Association of Athletics Federations
Total Assets	880 million JPY

Address : Ariake Frontier Building, Tower B, 8F, 3-7-26,
Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-0063, Japan
Tel : +81-3-5500-6677
www.marathon.tokyo/en/

MEDIA INFORMATION

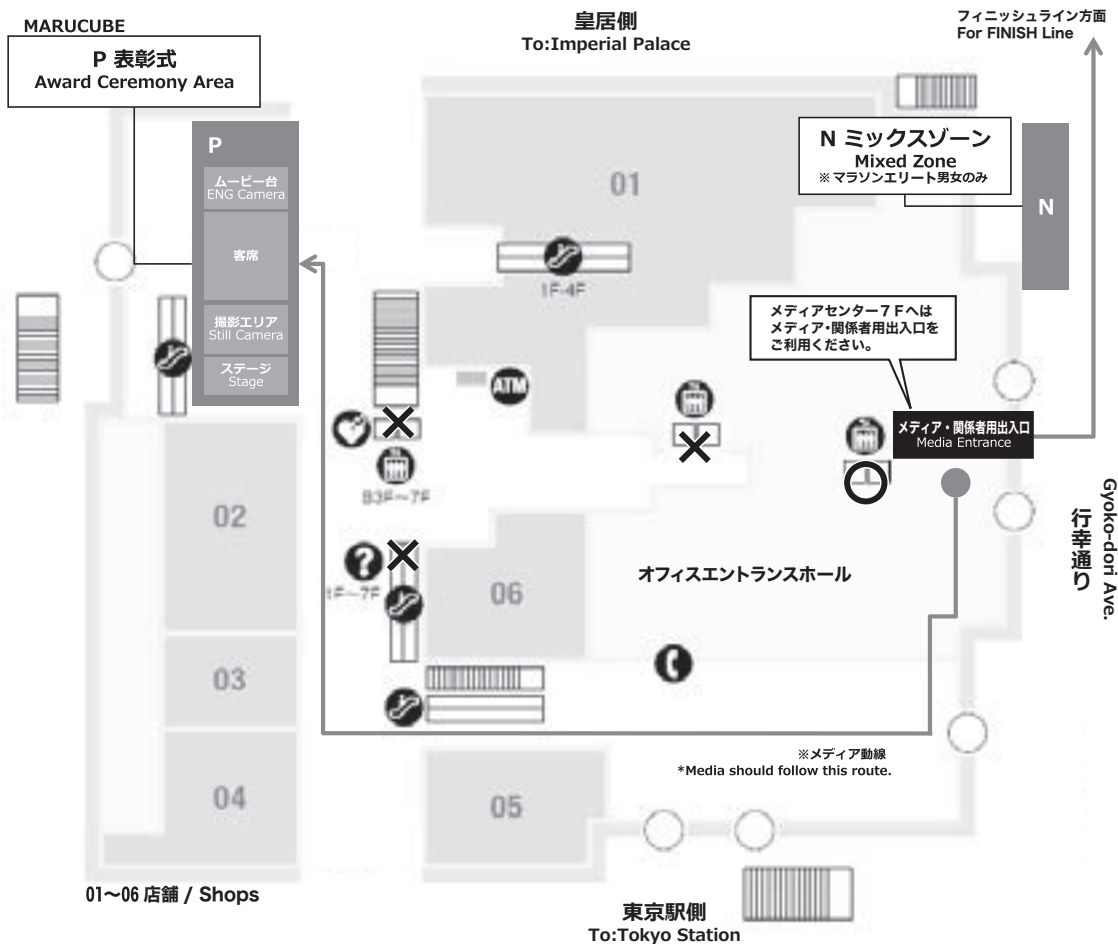
TOKYO
MARATHON
2019

10km Finish Area Map



表彰式 Area Map

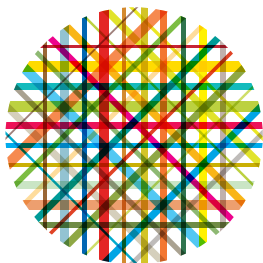
丸ビル1F「マルキューブ」 Award Ceremony @ Marunouchi Building 1F



Finish Area Map



MEDIA GUIDE



TOKYO
MARATHON
2019

THE DAY WE UNITE.